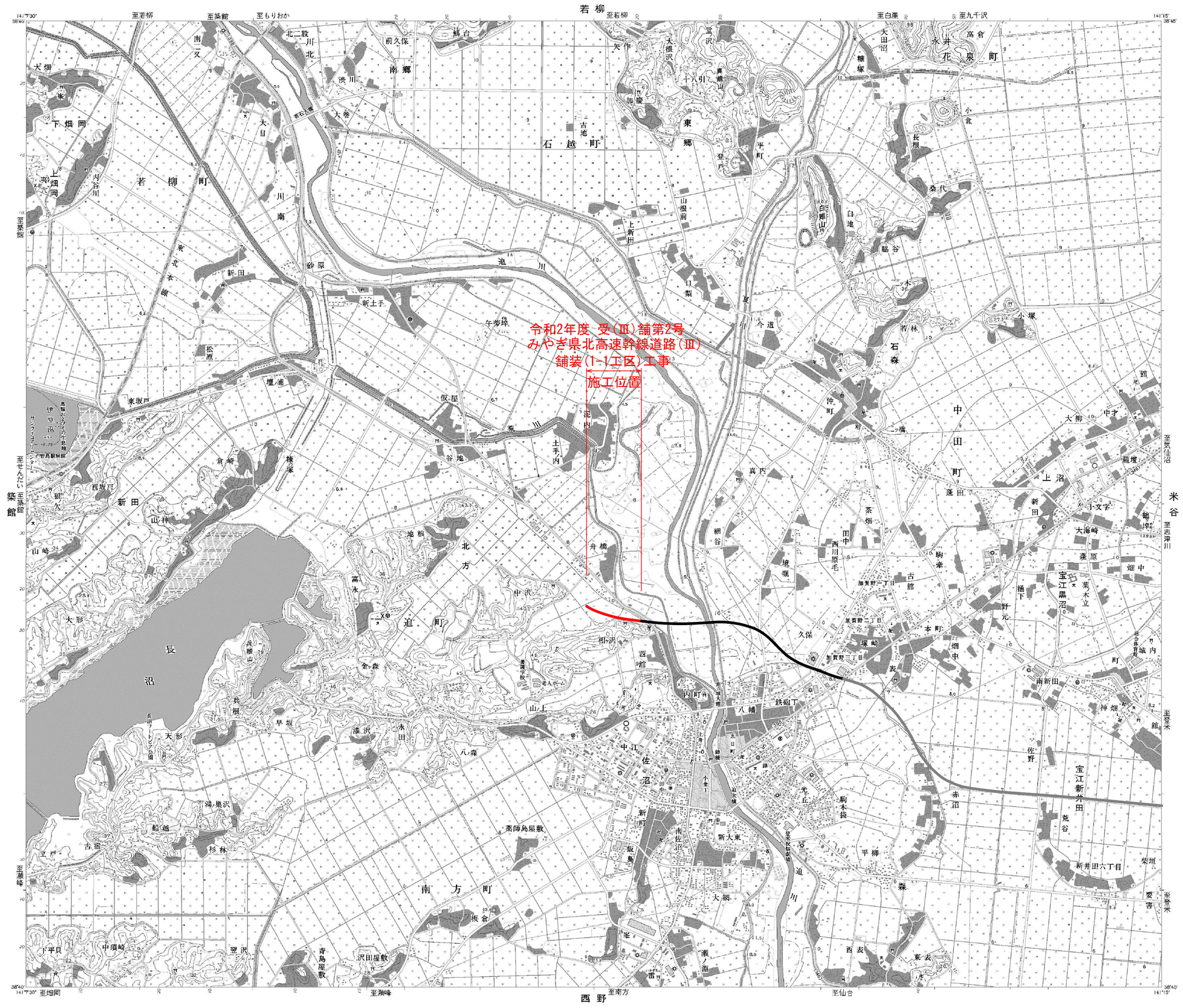
位 置 図 S=1:25000


若柳
至若柳
至若柳
至もりおか
至白鳥
至九千沢
至若柳
至若柳
至若柳

平面図(2)

S=1:1000

令和２年度 受(Ⅲ)舗第２号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(１－１工区)工事

施工延長 L=694.0m 幅員 W=6.5(8.5)m

※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

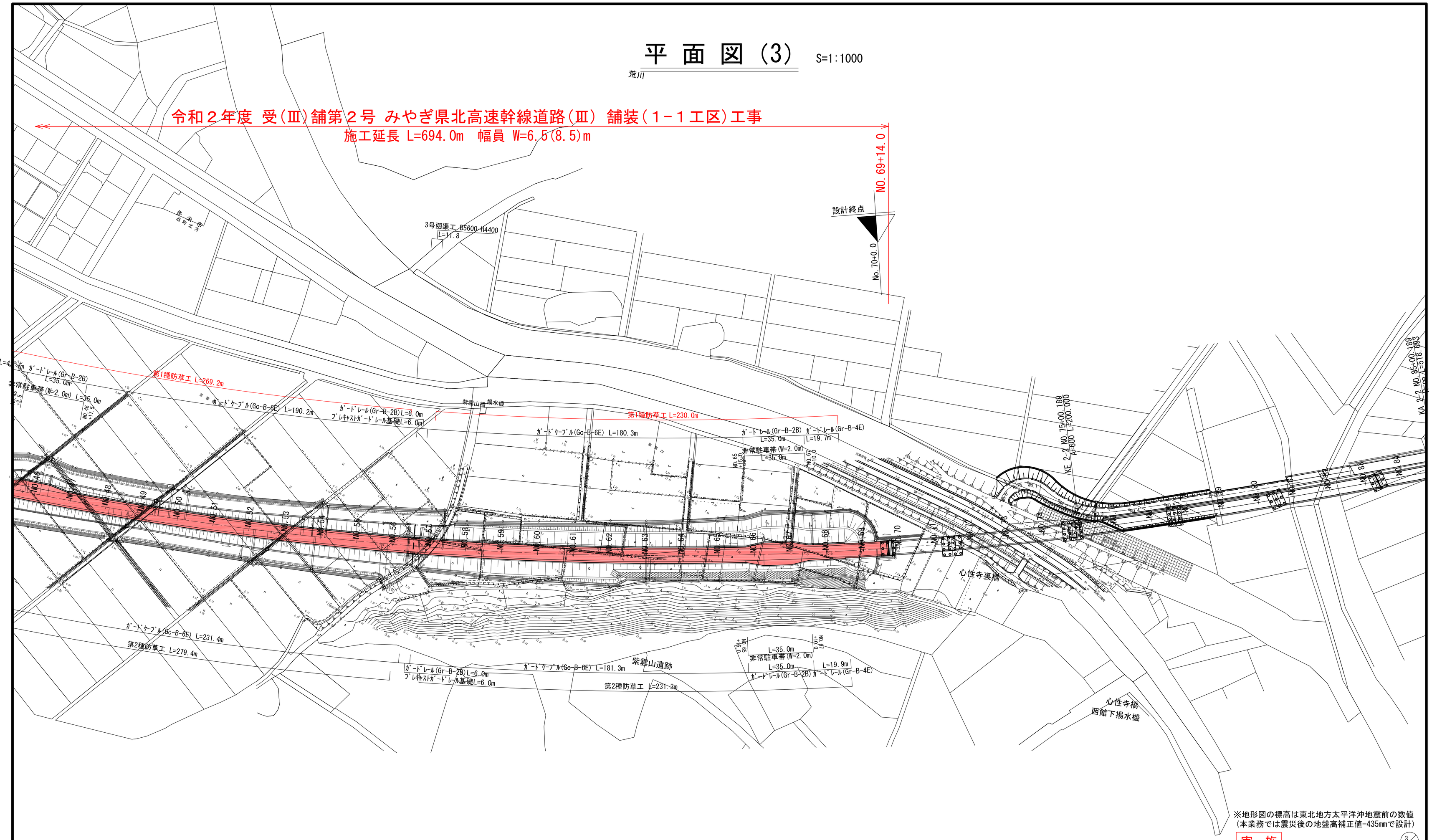
実施

2/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	平面図(2)		
縮尺	1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

平 面 図 (3)

S=1:1000



※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実 施

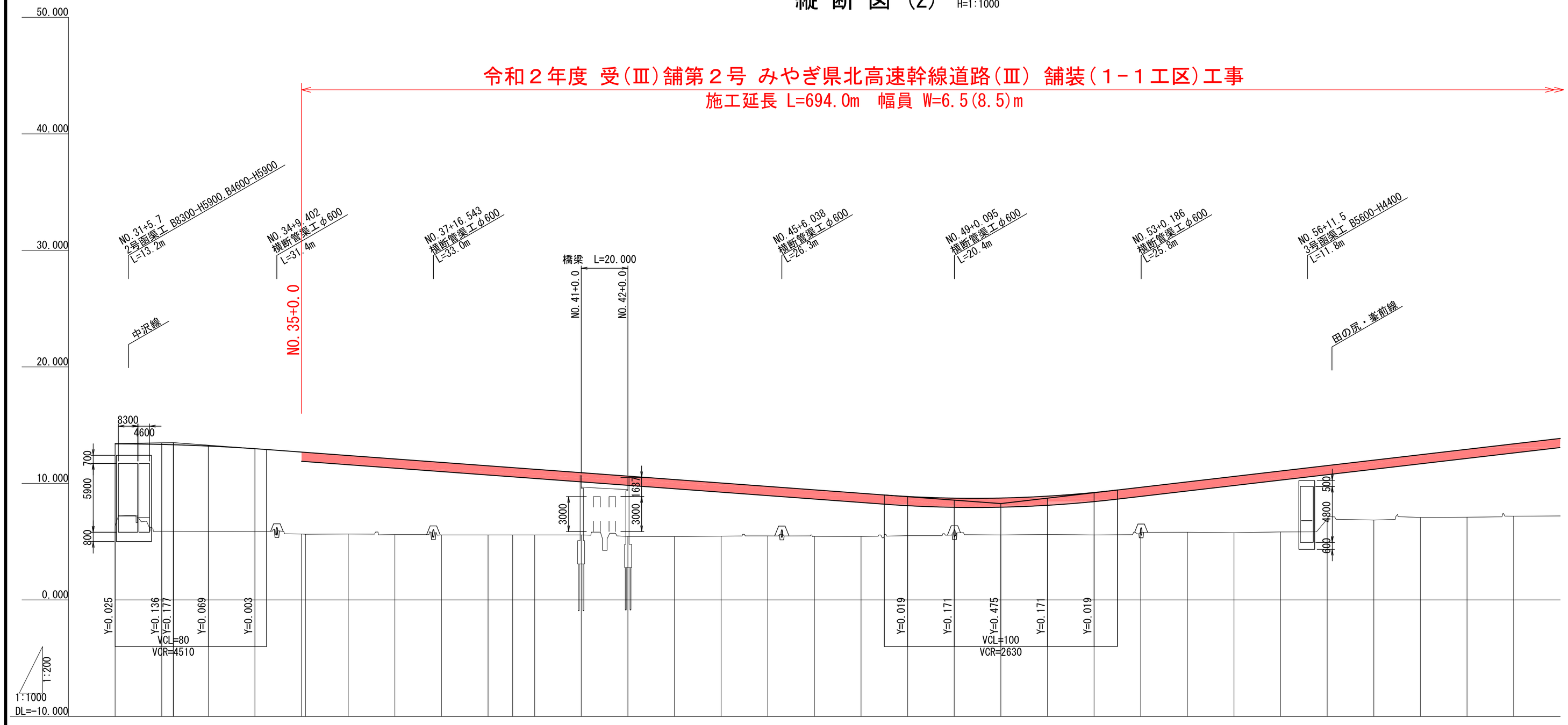
3/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路 線 名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇 所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図 名	平 面 図 (3)		
縮 尺	1：1000	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	

縦 断 図 (2)

V=1: 200
H=1:1000

令和２年度 受(Ⅲ)舗第２号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(１－１工区)工事
施工延長 L=694.0m 幅員 W=6.5(8.5)m

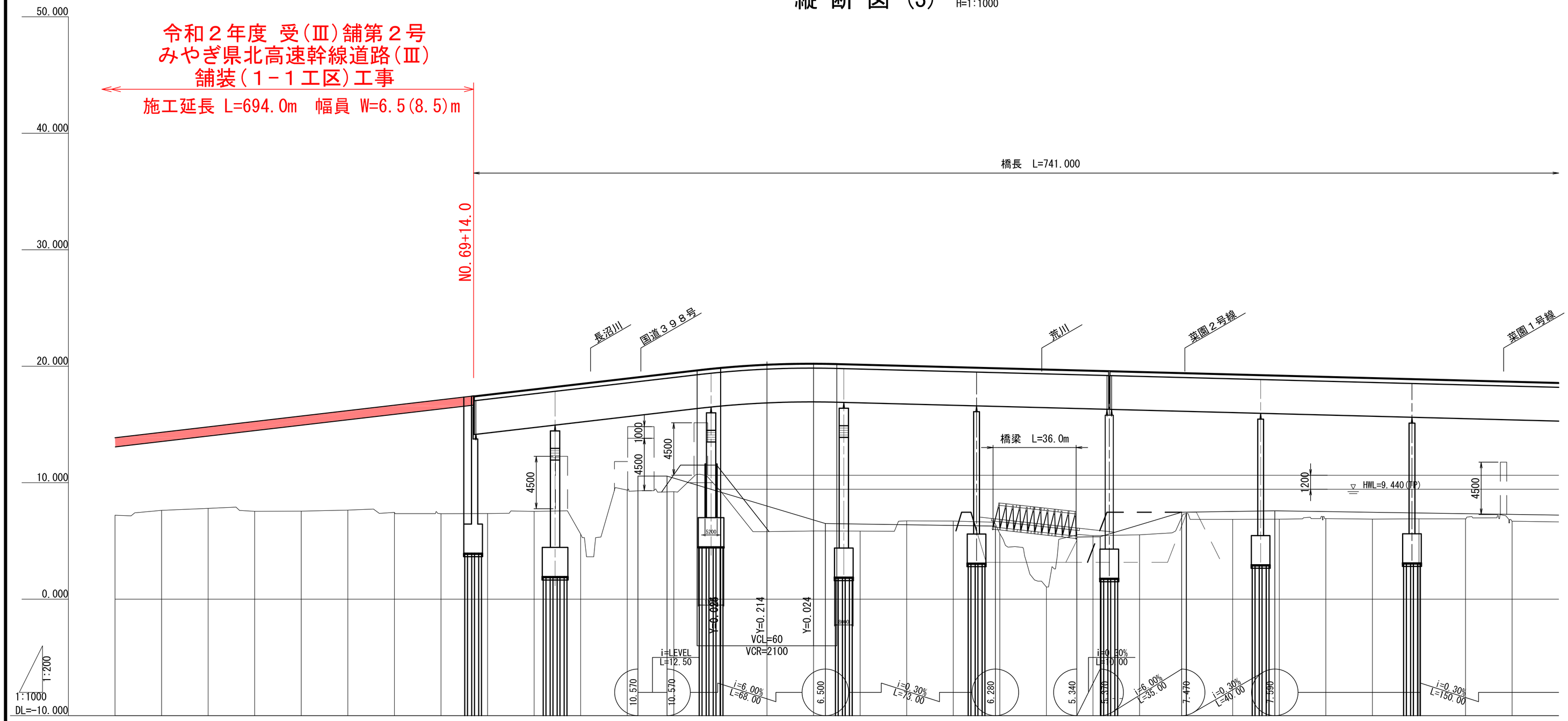


| | | |

縦 断 図 (3)

V=1: 200
H=1:1000

令和２年度 受(Ⅲ)舗第２号
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)
舗装(１－１工区)工事
施工延長 L=694.0m　幅員 W=6.5(8.5)m

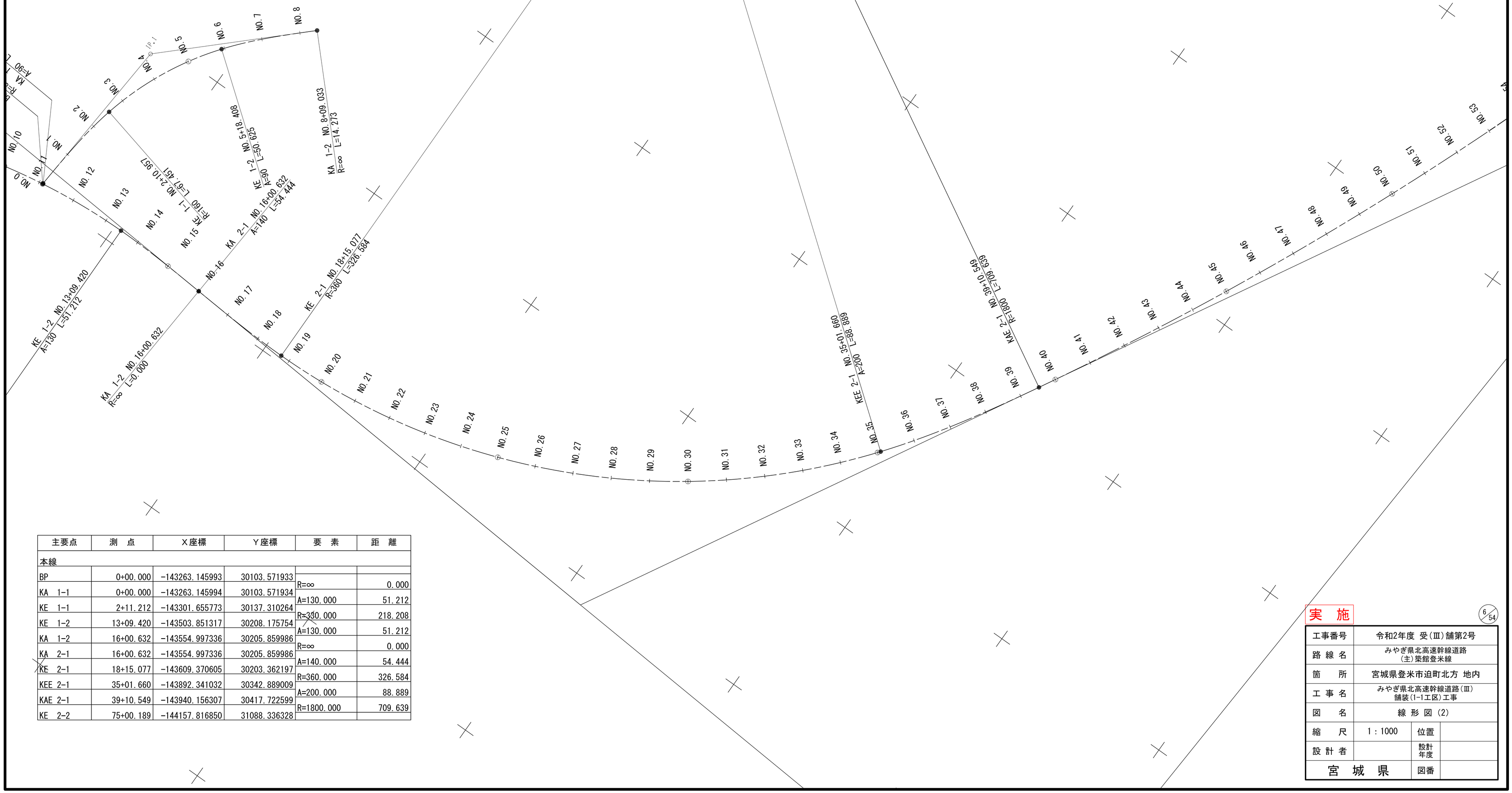


| | | |

線 形 図 (2)

S=1:1000

主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
V60交差道路					
BP	0+00.000	-143456.580173	30204.462581		
KA　1-1	0+00.332	-143456.605357	30204.793319	R=∞	0.332
KE　1-1	2+10.957	-143463.096655	30254.943667	A=90.000	50.625
KE　1-2	5+18.408	-143491.916098	30315.376298	R=160.000	67.451
KA　1-2	8+09.033	-143526.799759	30351.986740	A=90.000	50.625



主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
本線					
BP	0+00.000	-143263.145993	30103.571933		
KA　1-1	0+00.000	-143263.145994	30103.571934	R=∞	0.000
KE　1-1	2+11.212	-143301.655773	30137.310264	A=130.000	51.212
KE　1-2	13+09.420	-143503.851317	30208.175754	R=380.000	218.208
KA　1-2	16+00.632	-143554.997336	30205.859986	A=130.000	51.212
KA　2-1	16+00.632	-143554.997336	30205.859986	R=∞	0.000
KE　2-1	18+15.077	-143609.370605	30203.362197	A=140.000	54.444
KEE 2-1	35+01.660	-143892.341032	30342.889009	R=360.000	326.584
KAE 2-1	39+10.549	-143940.156307	30417.722599	A=200.000	88.889
KE　2-2	75+00.189	-144157.816850	31088.336328	R=1800.000	709.639

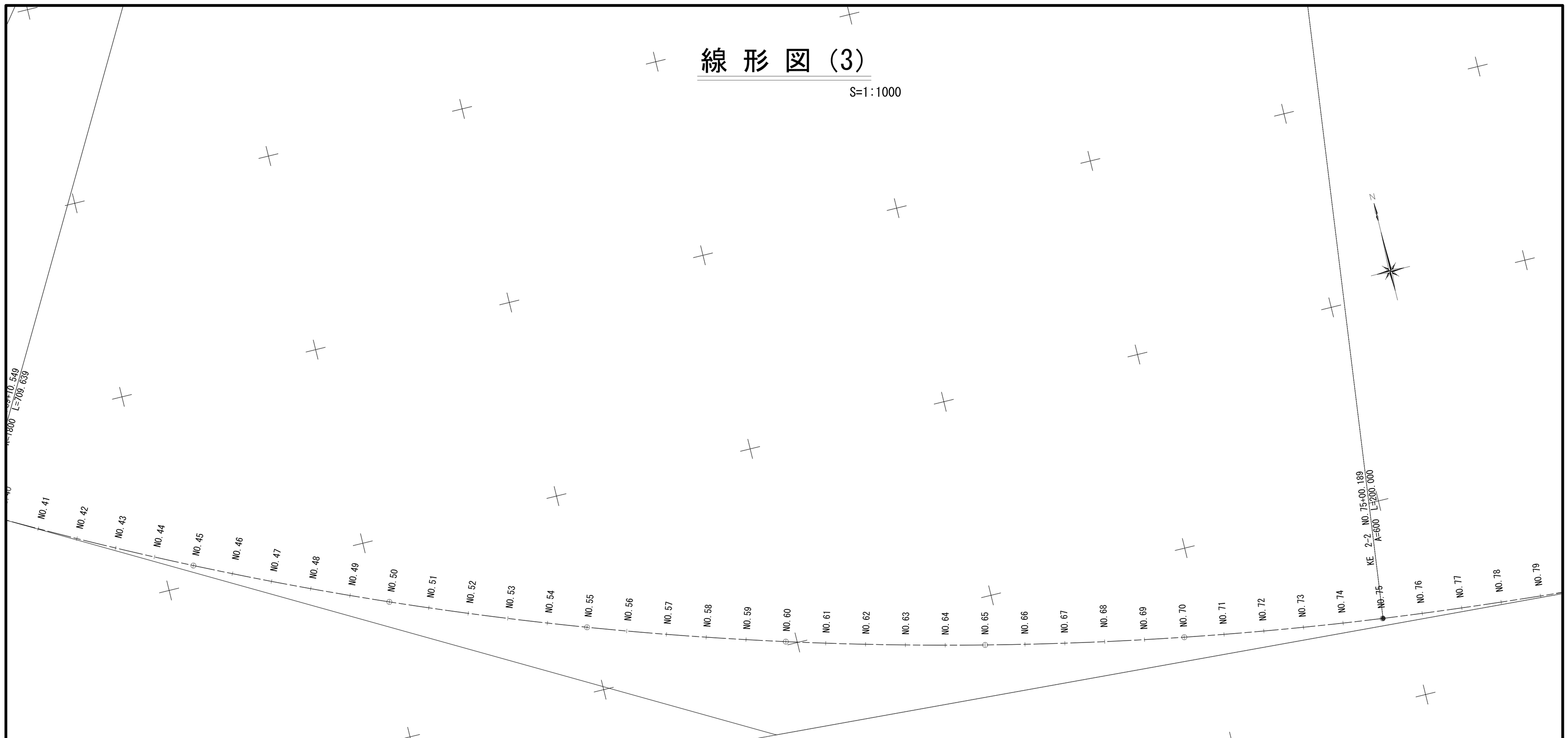
実　施

6/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	線 形 図 (2)		
縮尺	1：1000	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	

線 形 図 (3)

S=1:1000



主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
本線					
BP	0+00.000	-143263.145993	30103.571933		
KA 1-1	0+00.000	-143263.145994	30103.571934	R=∞	0.000
KE 1-1	2+11.212	-143301.655773	30137.310264	A=130.000	51.212
KE 1-2	13+09.420	-143503.851317	30208.175754	R=330.000	218.208
KA 1-2	16+00.632	-143554.997336	30205.859986	A=130.000	51.212
KA 2-1	16+00.632	-143554.997336	30205.859986	R=∞	0.000
KE 2-1	18+15.077	-143609.370605	30203.362197	A=140.000	54.444
KEE 2-1	35+01.660	-143892.341032	30342.889009	R=360.000	326.584
KAE 2-1	39+10.549	-143940.156307	30417.722599	A=200.000	88.889
KE 2-2	75+00.189	-144157.816850	31088.336328	R=1800.000	709.639

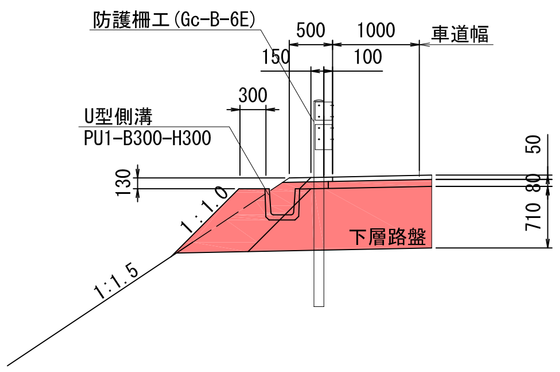
実 施

7/54

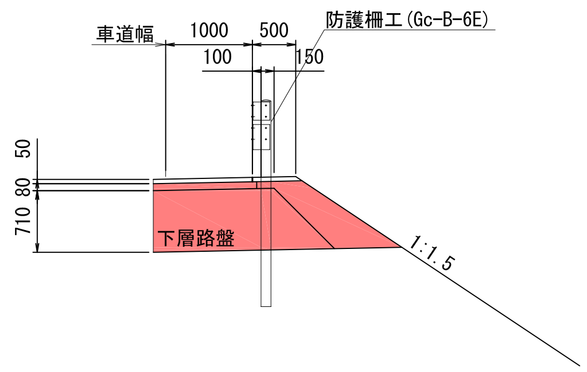
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	線 形 図 (3)		
縮尺	1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

標 準 横 断 図 S=1:100

B部詳細図
S=1:50



A部詳細図
S=1:50



標 準 部

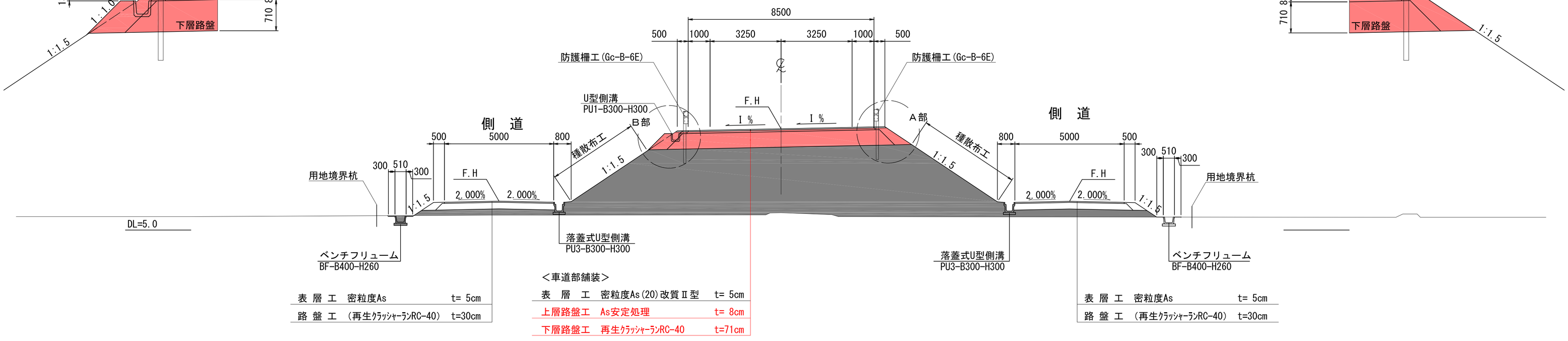


表 層 工	密粒度As	t= 5cm
路 盤 工	(再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t=30cm

＜車道部舗装＞

表 層 工	密粒度As(20)改質Ⅱ型	t= 5cm
上層路盤工	As安定処理	t= 8cm
下層路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t=71cm

表 層 工	密粒度As	t= 5cm
路 盤 工	(再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t=30cm

非 常 駐 車 帯 部

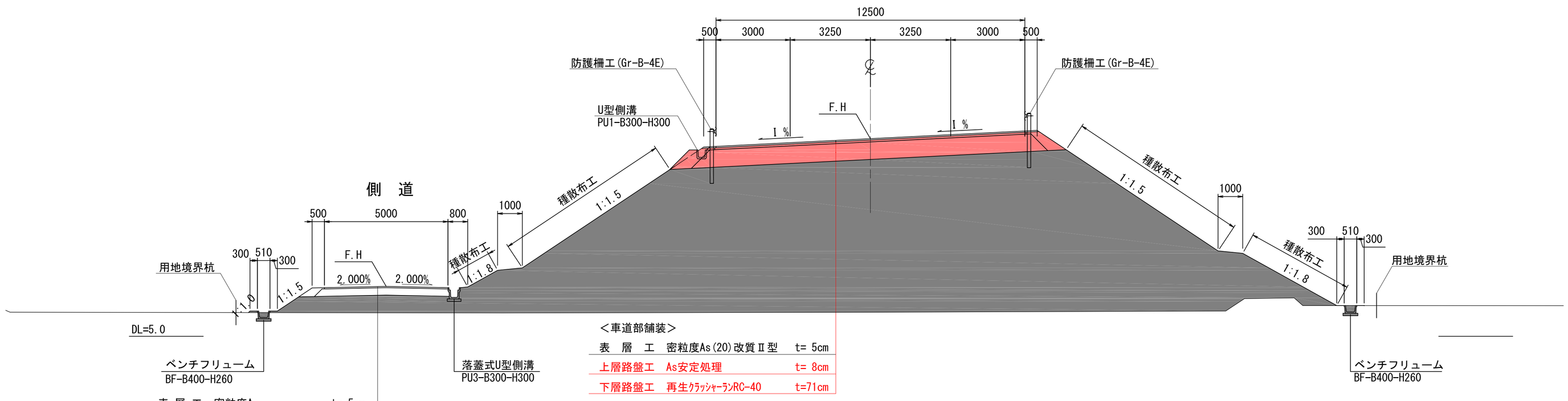


表 層 工	密粒度As	t= 5cm
路 盤 工	(再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t=30cm

＜車道部舗装＞

表 層 工	密粒度As(20)改質Ⅱ型	t= 5cm
上層路盤工	As安定処理	t= 8cm
下層路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t=71cm

設計条件

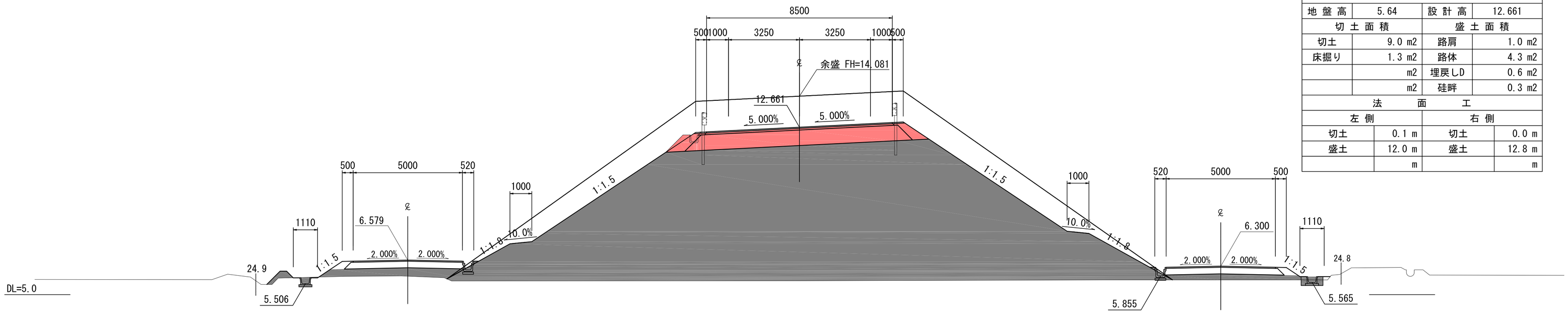
道路規格	第3種 第2級
設計速度	V＝60ｋｍ／ｈ
交通区分	N5 交 通
設計 CBR	3%

実 施

8/54

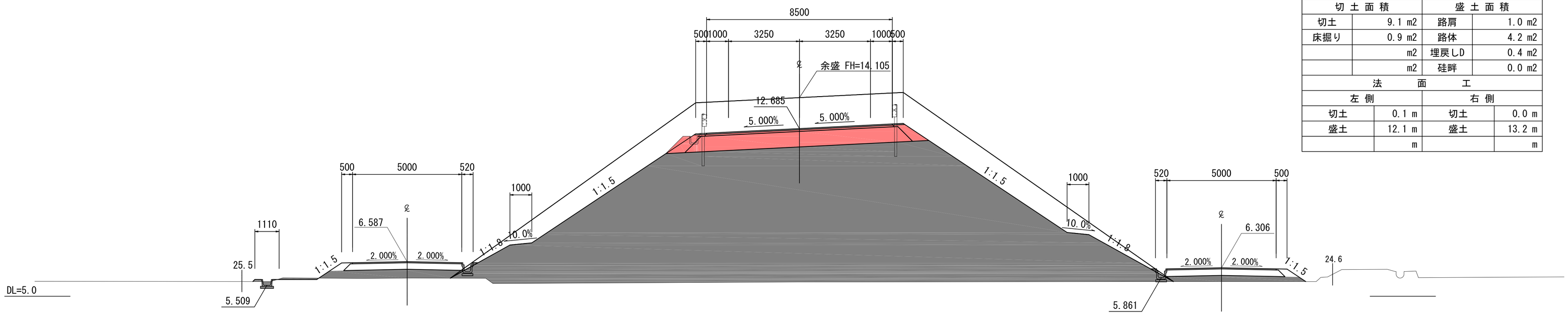
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	標 準 横 断 図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	

NO.35+01.661
GH= 5.64
FH=12.661



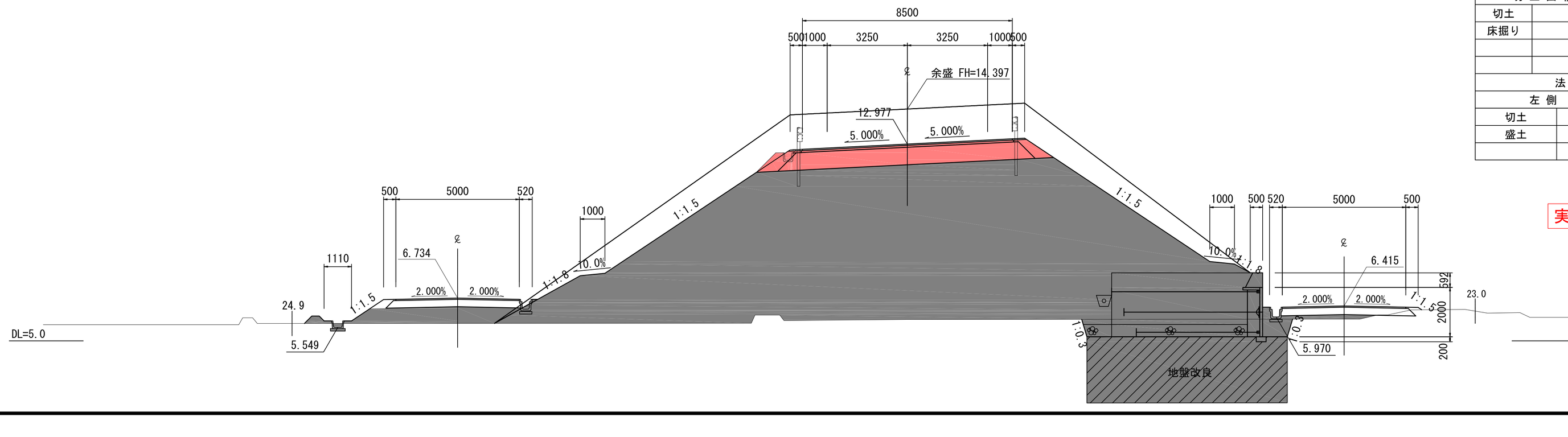
NO.35+01.661			
地盤高	5.64	設計高	12.661
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	4.3 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.0 m
盛土	12.0 m	盛土	12.8 m
	m		m

NO.35
GH= 5.66
FH=12.685



NO.35			
地盤高	5.66	設計高	12.685
切土面積		盛土面積	
切土	9.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	4.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.0 m
盛土	12.1 m	盛土	13.2 m
	m		m

NO.34
GH= 5.87
FH=12.977



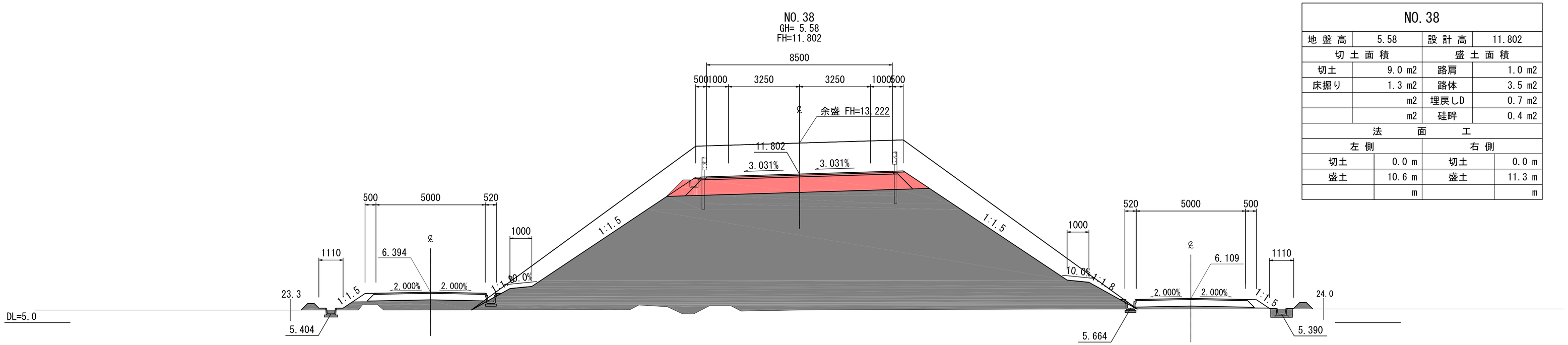
NO.34			
地盤高	5.87	設計高	12.977
切土面積		盛土面積	
切土	9.2 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	5.0 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.6 m	盛土	9.9 m
	m		m

道路改良時(沈下後)

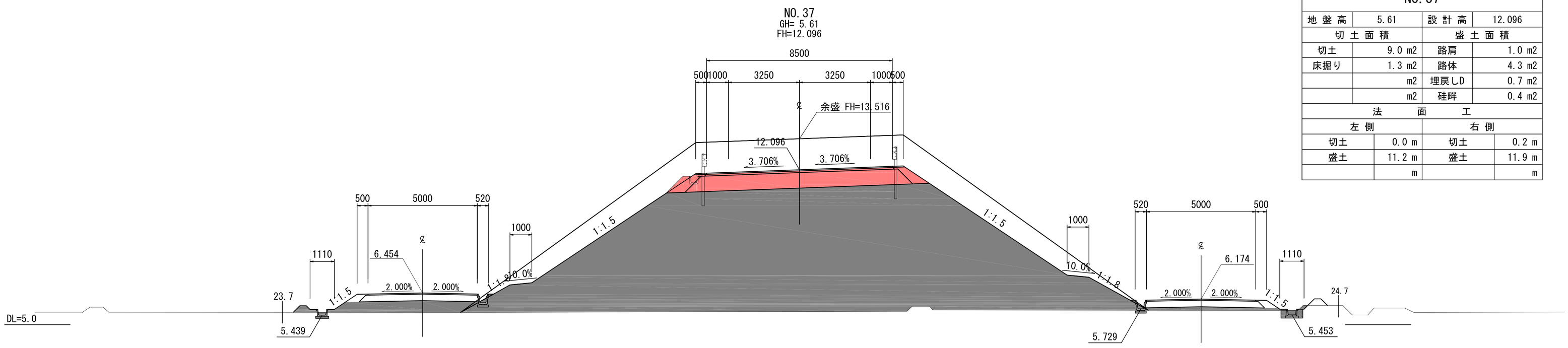
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

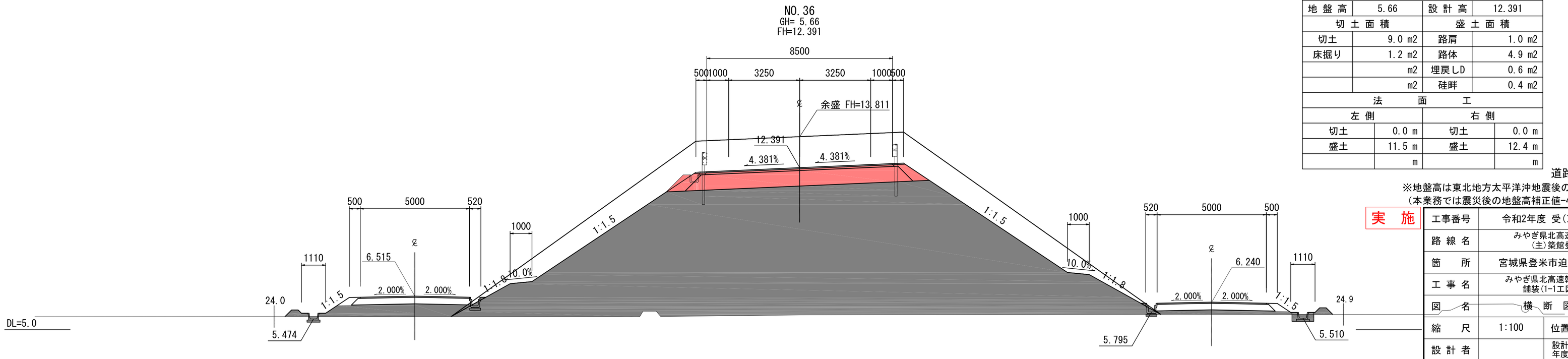
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(12)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



NO.38			
地盤高	5.58	設計高	11.802
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	3.5 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.6 m	盛土	11.3 m
	m		m



NO.37			
地盤高	5.61	設計高	12.096
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	4.3 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土	11.2 m	盛土	11.9 m
	m		m



NO.36			
地盤高	5.66	設計高	12.391
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	4.9 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	11.5 m	盛土	12.4 m
	m		m

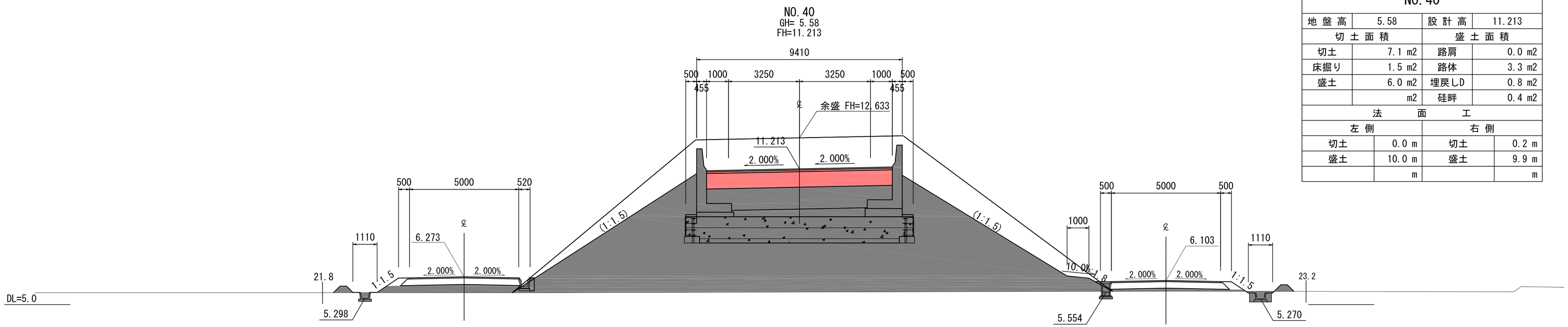
10/54

道路改良時(沈下後)

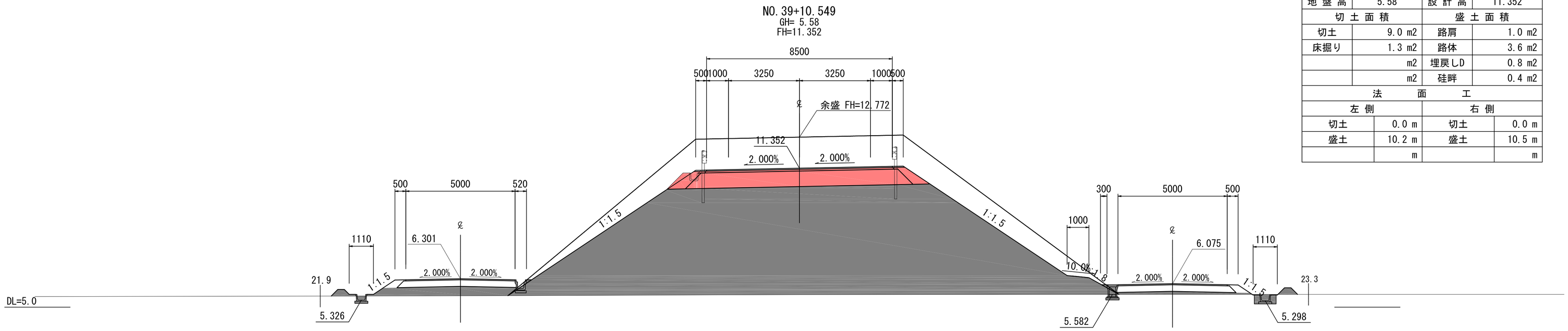
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実 施

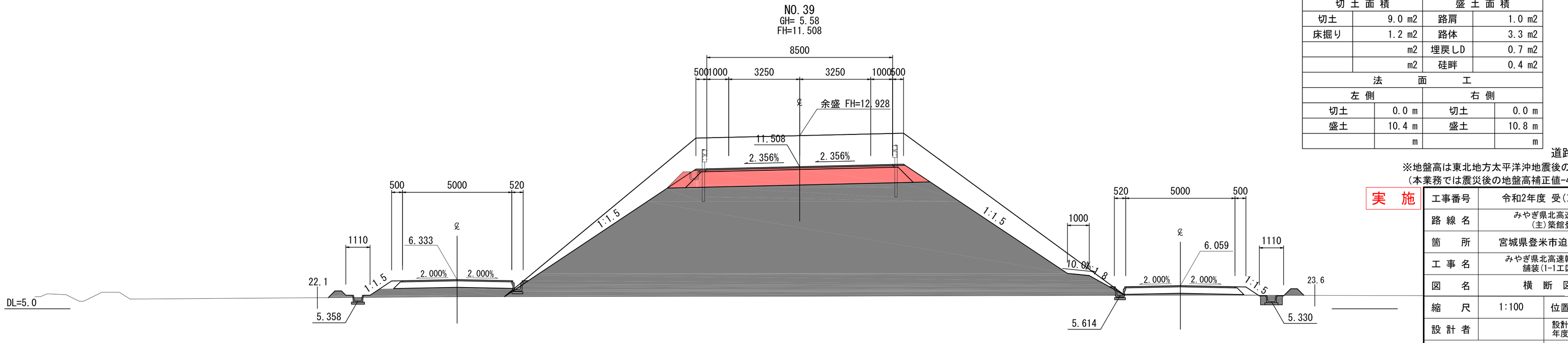
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(13)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



NO.40			
地盤高	5.58	設計高	11.213
切土面積		盛土面積	
切土	7.1 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	1.5 m2	路体	3.3 m2
盛土	6.0 m2	埋戻しD	0.8 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土	10.0 m	盛土	9.9 m
	m		m



NO.39+10.549			
地盤高	5.58	設計高	11.352
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	3.6 m2
	m2	埋戻しD	0.8 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.2 m	盛土	10.5 m
	m		m



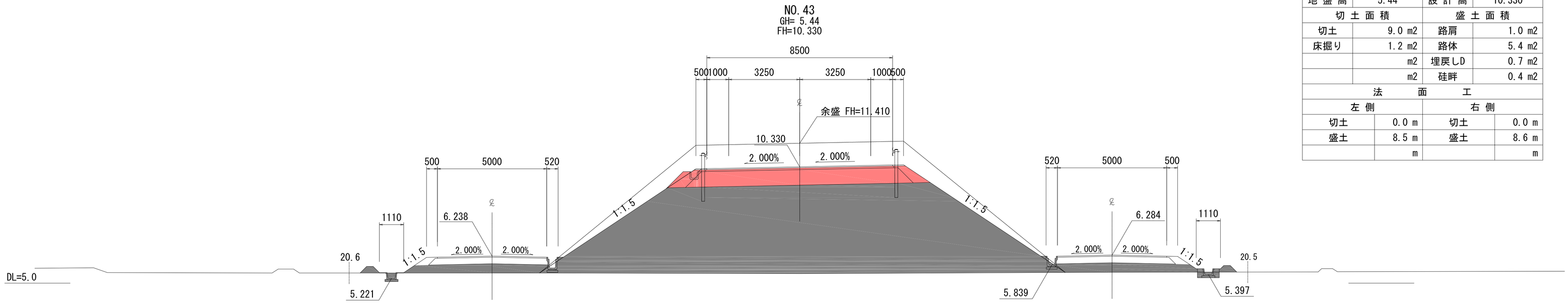
NO.39			
地盤高	5.58	設計高	11.508
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	3.3 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.4 m	盛土	10.8 m
	m		m

道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

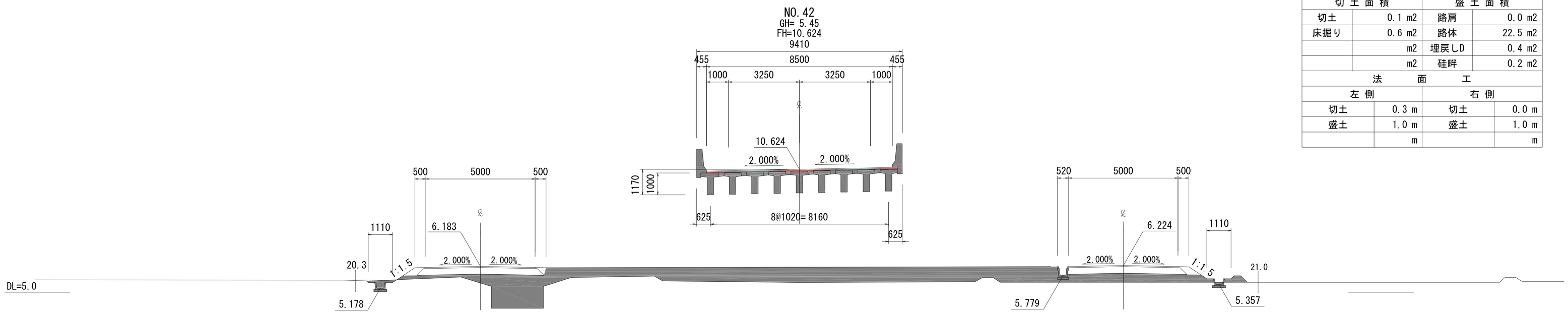
実施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(14)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



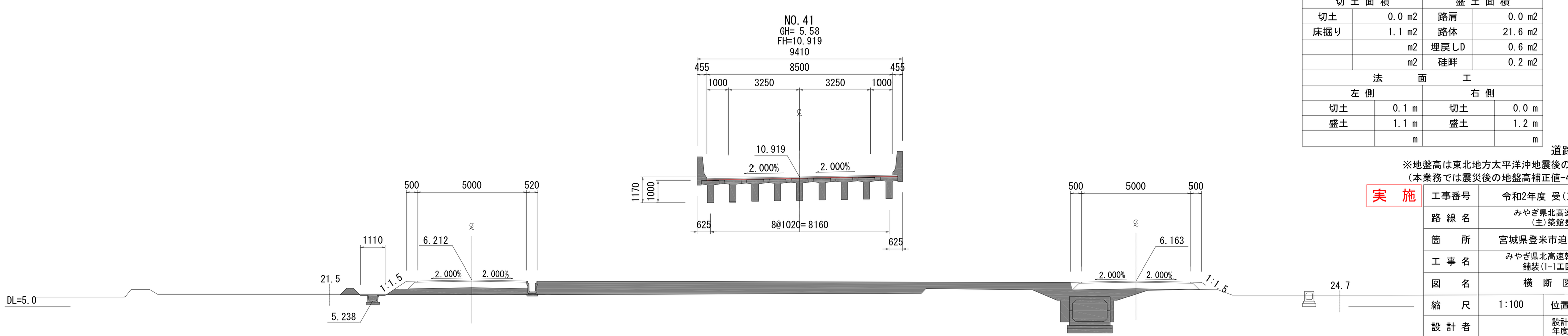
※橋梁設計で計上

NO.43			
地盤高	5.44	設計高	10.330
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	5.4 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	8.5 m	盛土	8.6 m
	m		m



※橋梁設計で計上

NO.42			
地盤高	5.45	設計高	10.624
切土面積		盛土面積	
切土	0.1 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	22.5 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.3 m	切土	0.0 m
盛土	1.0 m	盛土	1.0 m
	m		m



※橋梁設計で計上

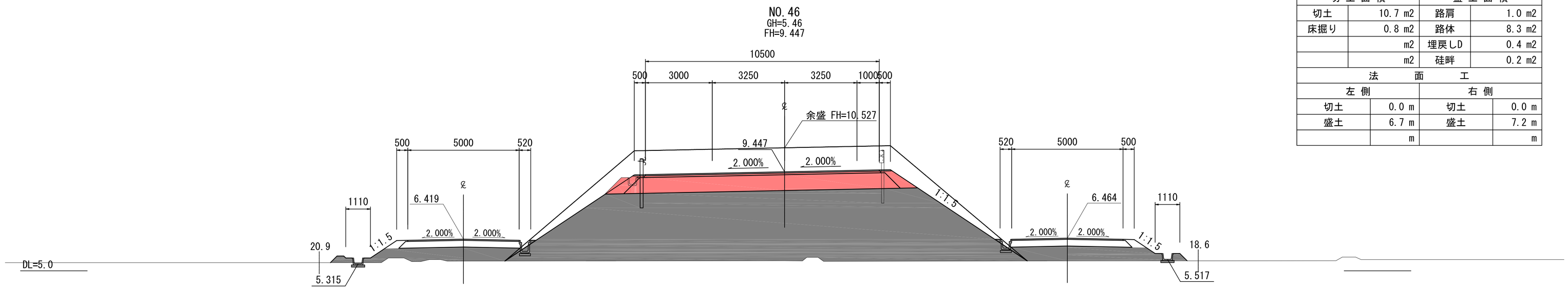
NO.41			
地盤高	5.58	設計高	10.919
切土面積		盛土面積	
切土	0.0 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	1.1 m2	路体	21.6 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.0 m
盛土	1.1 m	盛土	1.2 m
	m		m

道路改良時(沈下後)

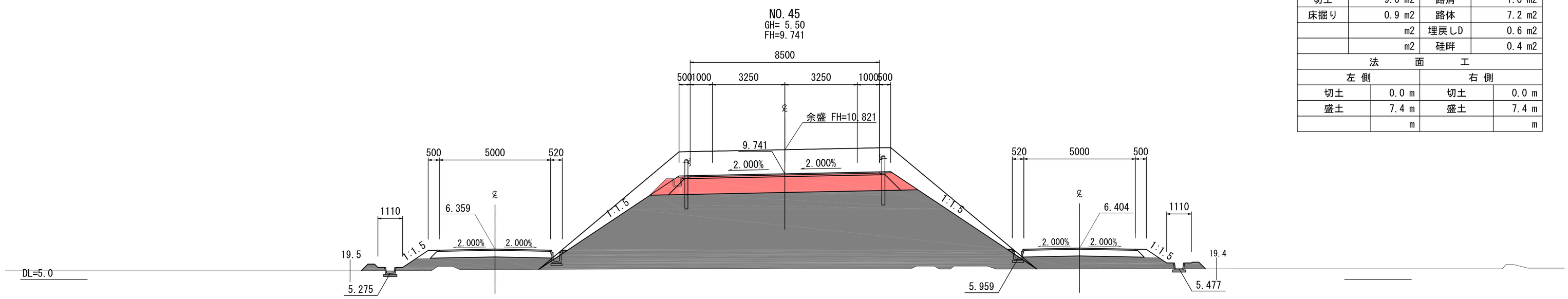
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

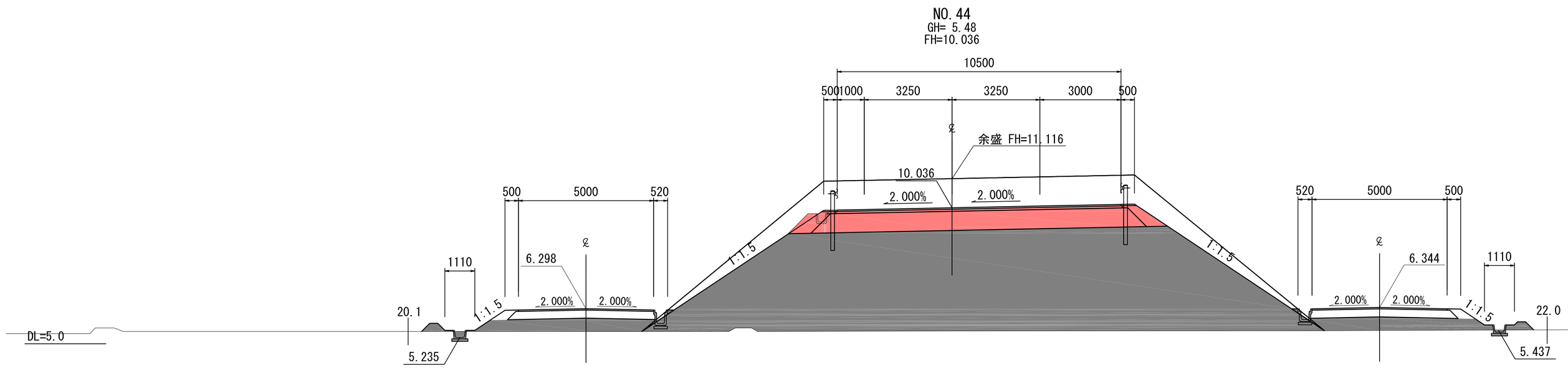
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(15)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



NO.46			
地盤高	5.46	設計高	9.447
切土面積		盛土面積	
切土	10.7 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	8.3 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	6.7 m	盛土	7.2 m
	m		m



NO.45			
地盤高	5.50	設計高	9.741
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	7.2 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	7.4 m	盛土	7.4 m
	m		m



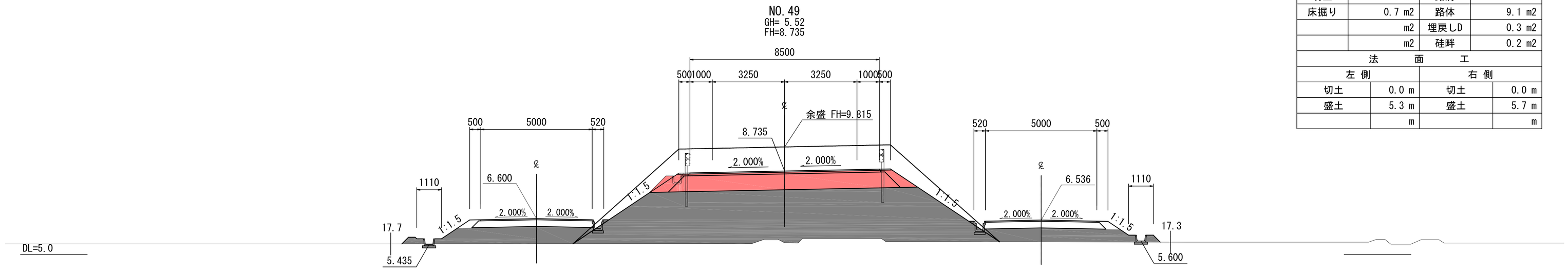
NO.44			
地盤高	5.48	設計高	10.036
切土面積		盛土面積	
切土	10.7 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	6.2 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	8.0 m	盛土	8.1 m
	m		m

道路改良時(沈下後)

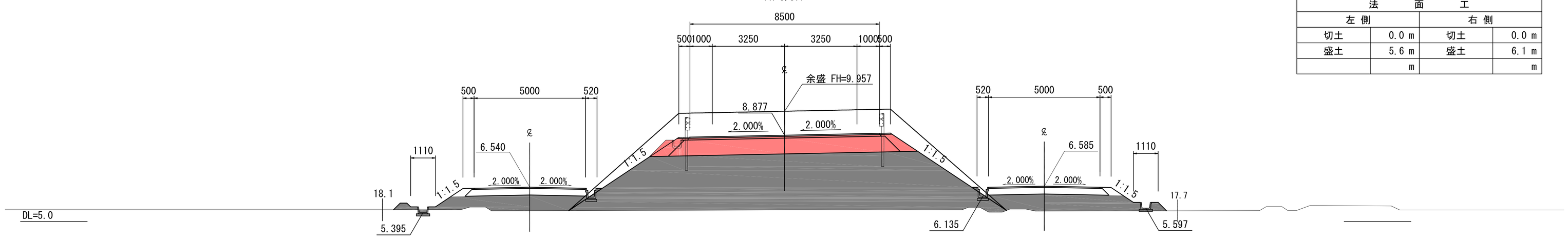
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

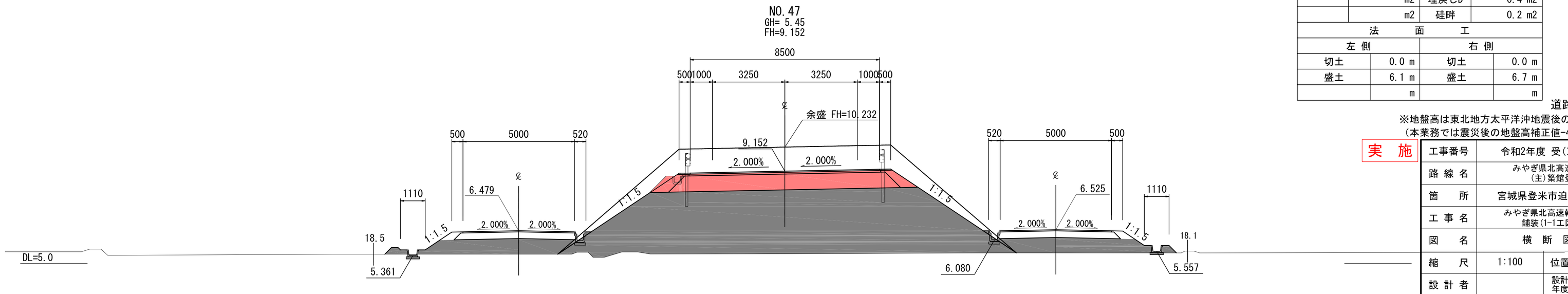
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(16)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



NO.49			
地盤高	5.52	設計高	8.732
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	9.1 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.3 m	盛土	5.7 m
	m		m



NO.48			
地盤高	5.52	設計高	8.877
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	9.1 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.6 m	盛土	6.1 m
	m		m



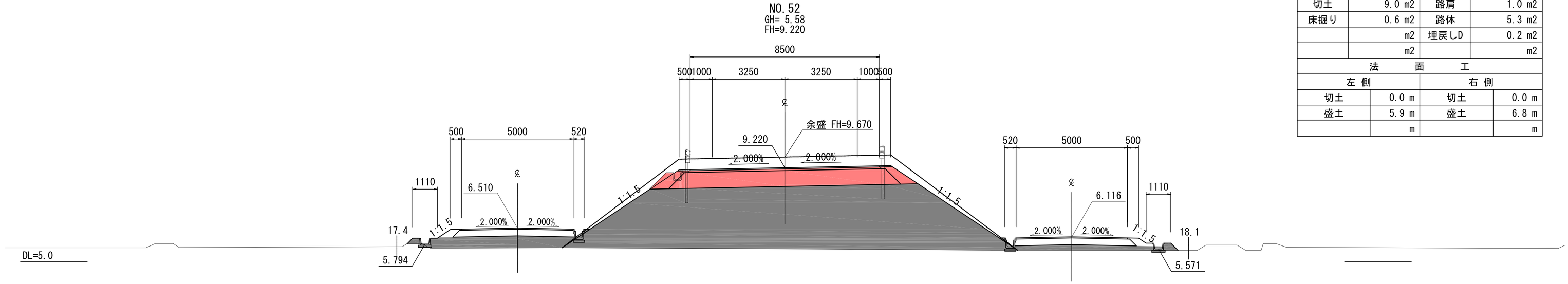
NO.47			
地盤高	5.45	設計高	9.152
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	8.9 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	6.1 m	盛土	6.7 m
	m		m

道路改良時(沈下後)

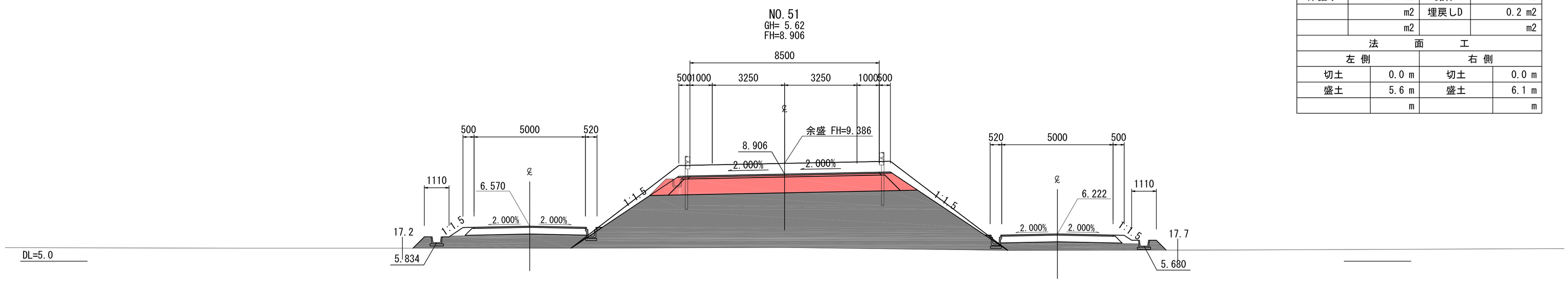
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

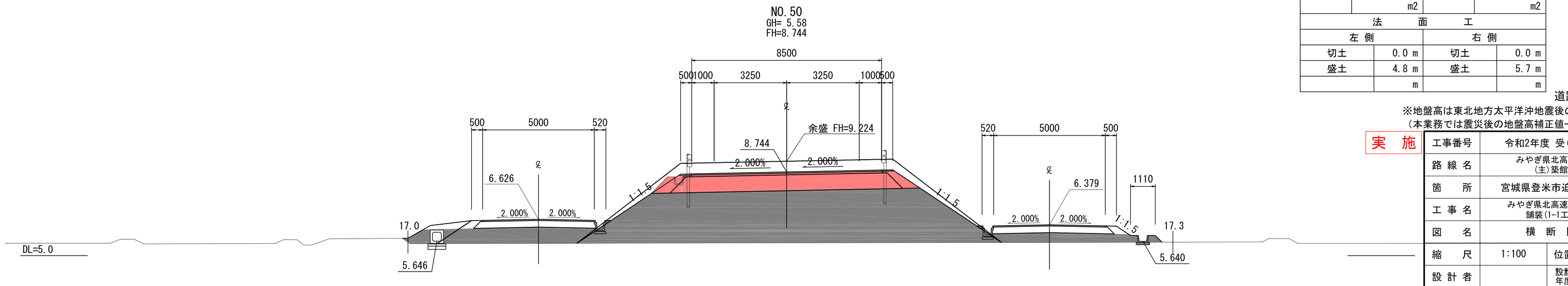
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(17)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



NO.52			
地盤高	5.58	設計高	9.196
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	5.3 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.9 m	盛土	6.8 m
	m		m



NO.51			
地盤高	5.62	設計高	8.891
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	6.9 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.6 m	盛土	6.1 m
	m		m



NO.50			
地盤高	5.58	設計高	8.737
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	8.4 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	4.8 m	盛土	5.7 m
	m		m

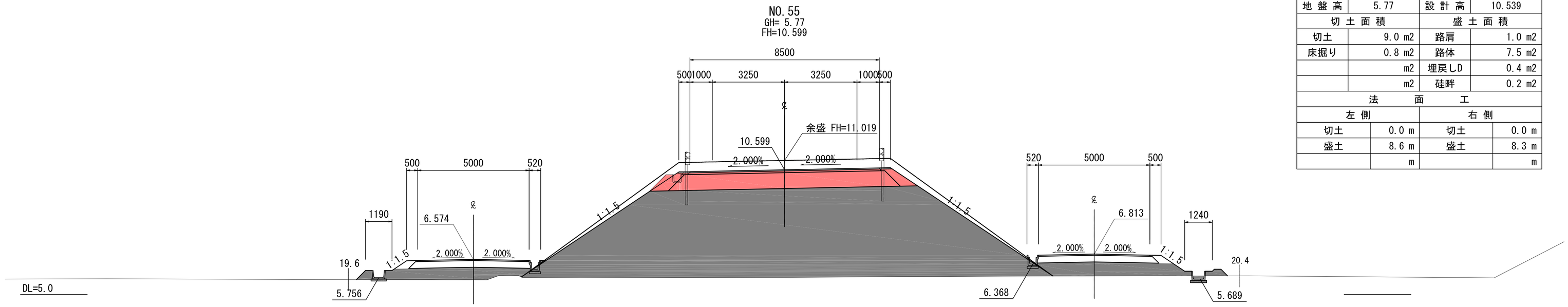
15/54

道路改良時(沈下後)

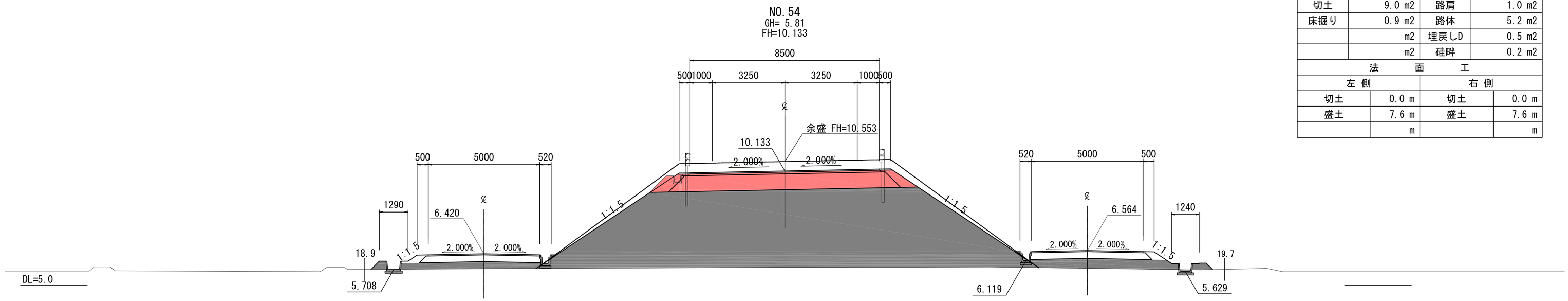
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

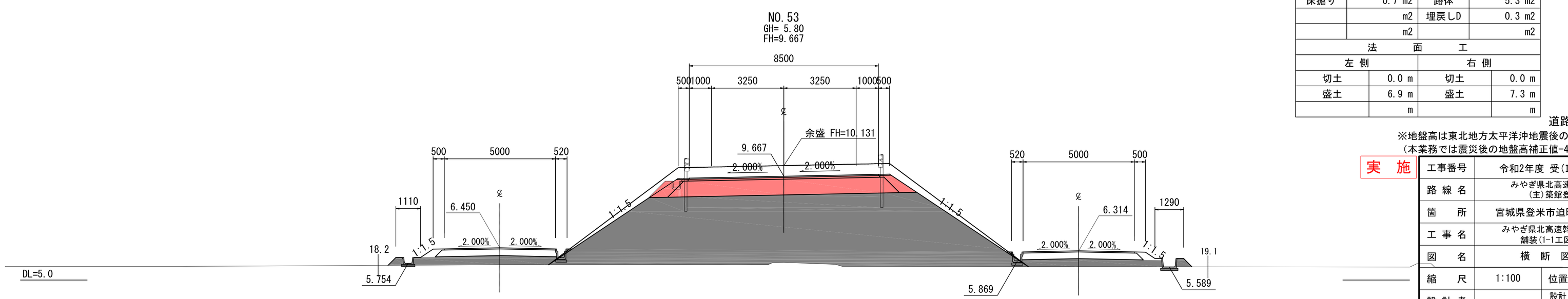
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(18)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	



NO.55			
地盤高	5.77	設計高	10.539
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	7.5 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	8.6 m	盛土	8.3 m
	m		m



NO.54			
地盤高	5.81	設計高	10.085
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	5.2 m2
	m2	埋戻しD	0.5 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	7.6 m	盛土	7.6 m
	m		m



NO.53			
地盤高	5.80	設計高	9.631
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	5.3 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	6.9 m	盛土	7.3 m
	m		m

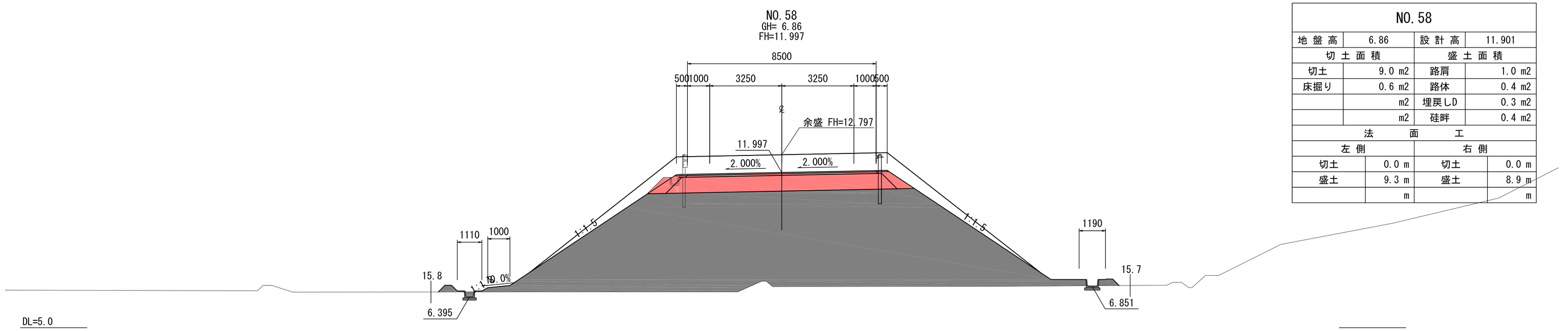
16/54

道路改良時(沈下後)

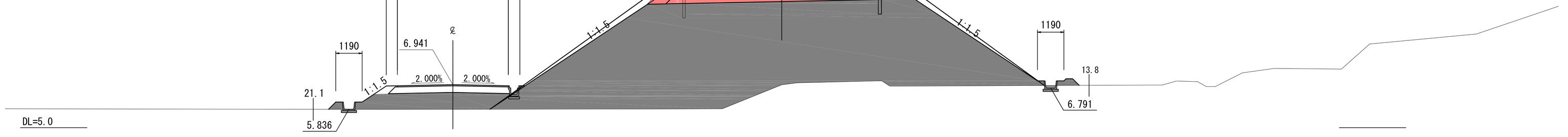
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

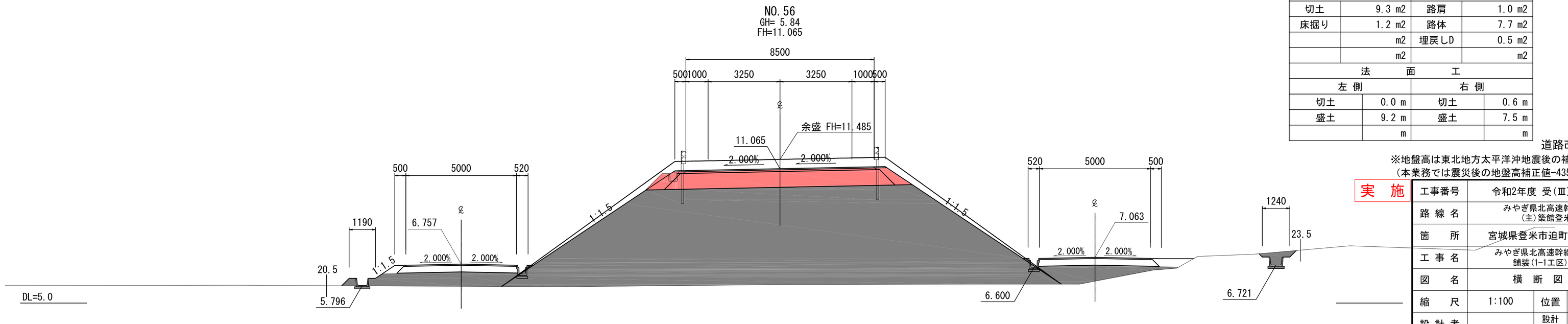
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事
図名	横断図(19)
縮尺	1:100
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番



NO.58			
地盤高	6.86	設計高	11.901
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	0.4 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	9.3 m	盛土	8.9 m
	m		m



NO.57			
地盤高	6.94	設計高	11.447
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	5.1 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.0 m	盛土	8.1 m
	m		m



NO.56			
地盤高	5.84	設計高	10.993
切土面積		盛土面積	
切土	9.3 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	7.7 m2
	m2	埋戻しD	0.5 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.6 m
盛土	9.2 m	盛土	7.5 m
	m		m

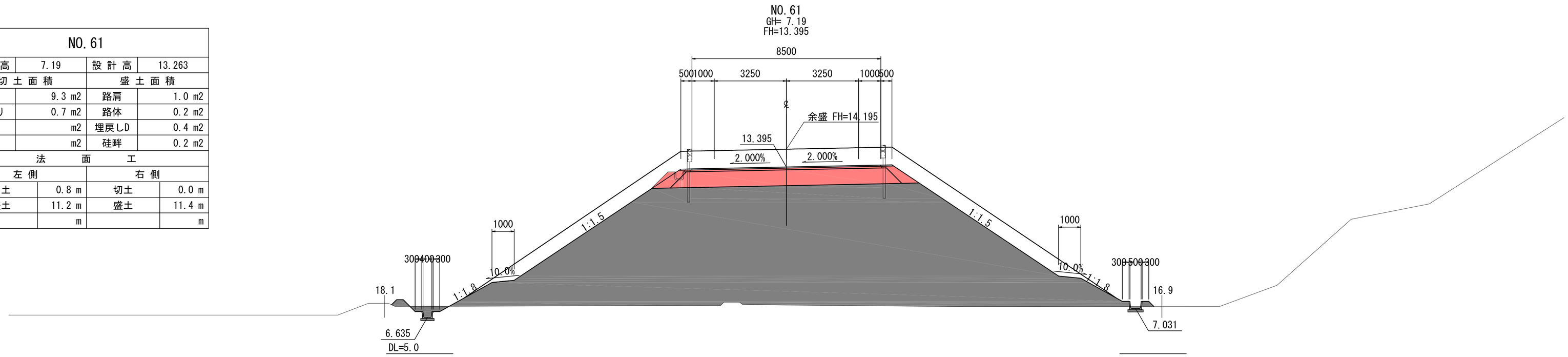
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

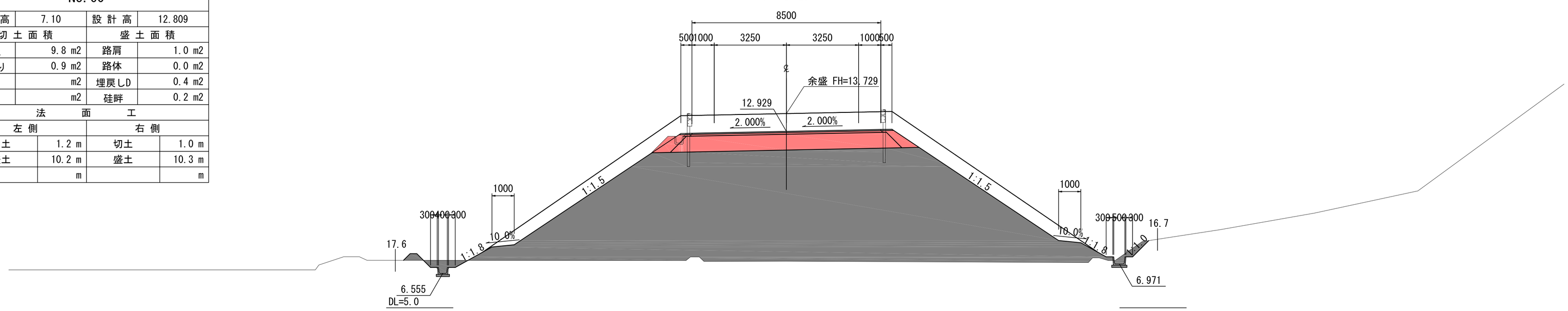
実施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(20)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

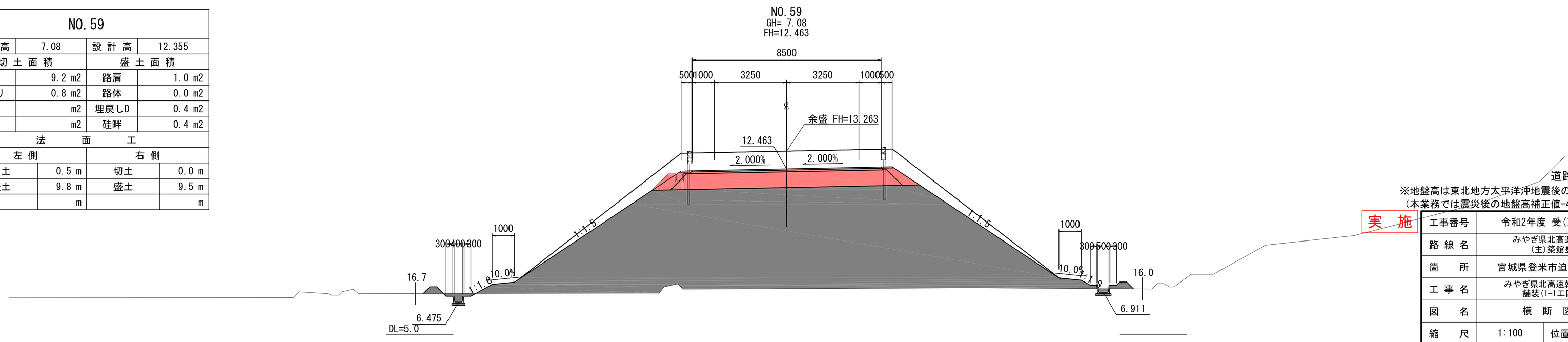
NO.61			
地盤高	7.19	設計高	13.263
切土面積		盛土面積	
切土	9.3 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	0.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.8 m	切土	0.0 m
盛土	11.2 m	盛土	11.4 m
	m		m



NO.60			
地盤高	7.10	設計高	12.809
切土面積		盛土面積	
切土	9.8 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	1.2 m	切土	1.0 m
盛土	10.2 m	盛土	10.3 m
	m		m



NO.59			
地盤高	7.08	設計高	12.355
切土面積		盛土面積	
切土	9.2 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.5 m	切土	0.0 m
盛土	9.8 m	盛土	9.5 m
	m		m



18/54

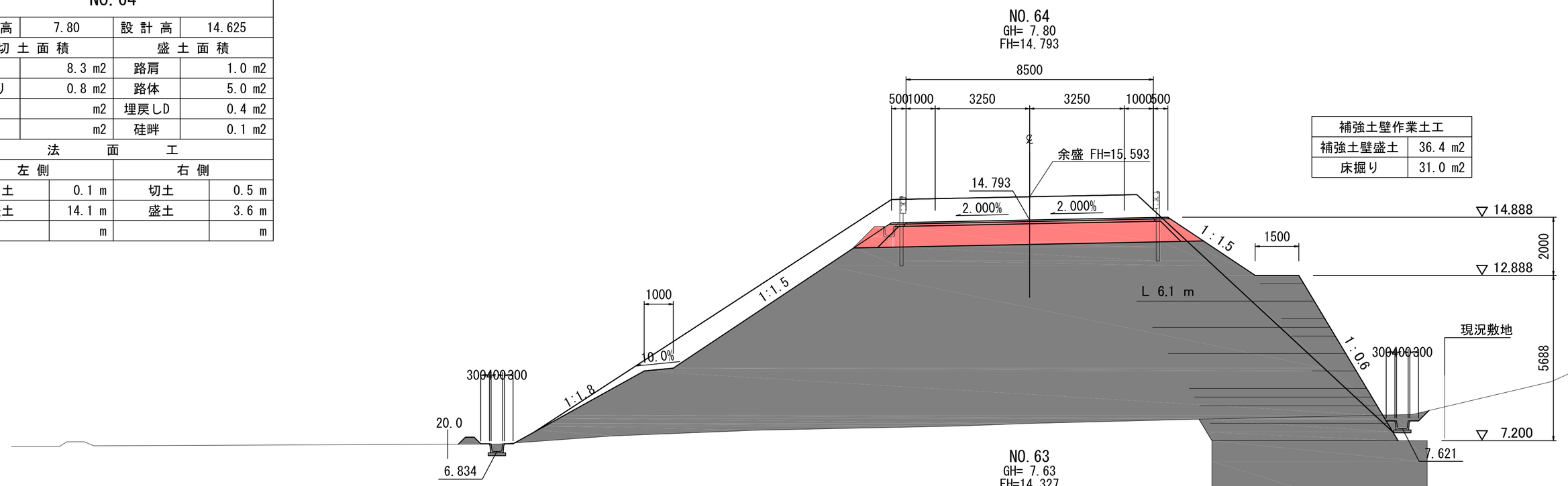
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

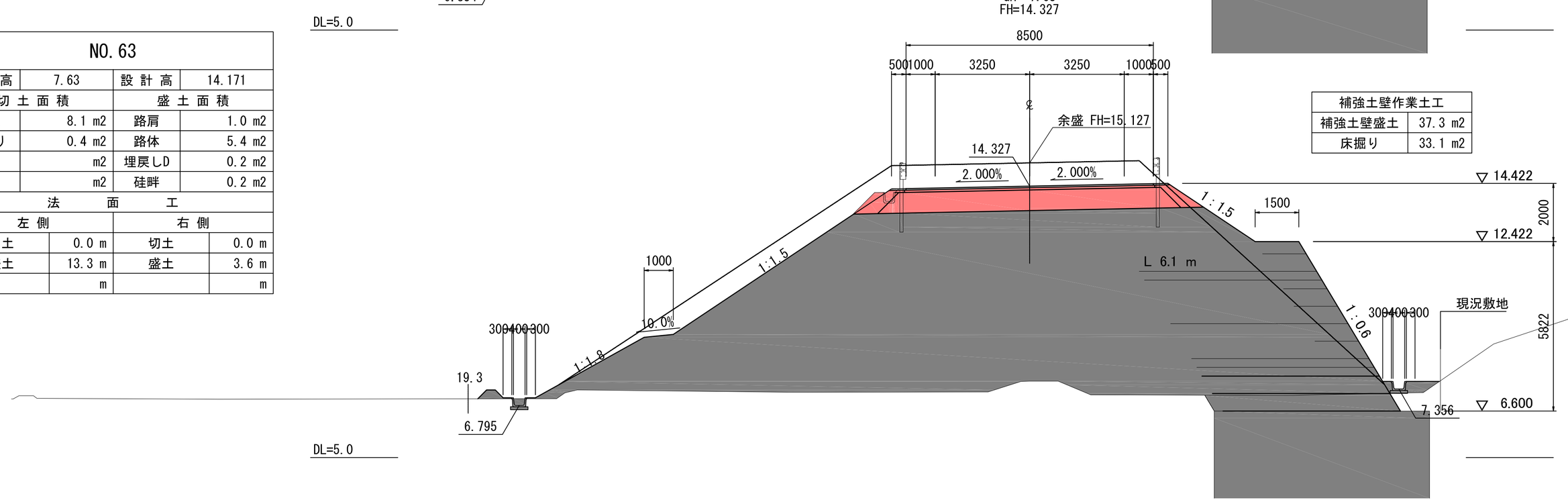
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(21)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

NO.64			
地盤高	7.80	設計高	14.625
切土面積		盛土面積	
切土	8.3 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	5.0 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.1 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.5 m
盛土	14.1 m	盛土	3.6 m
	m		m



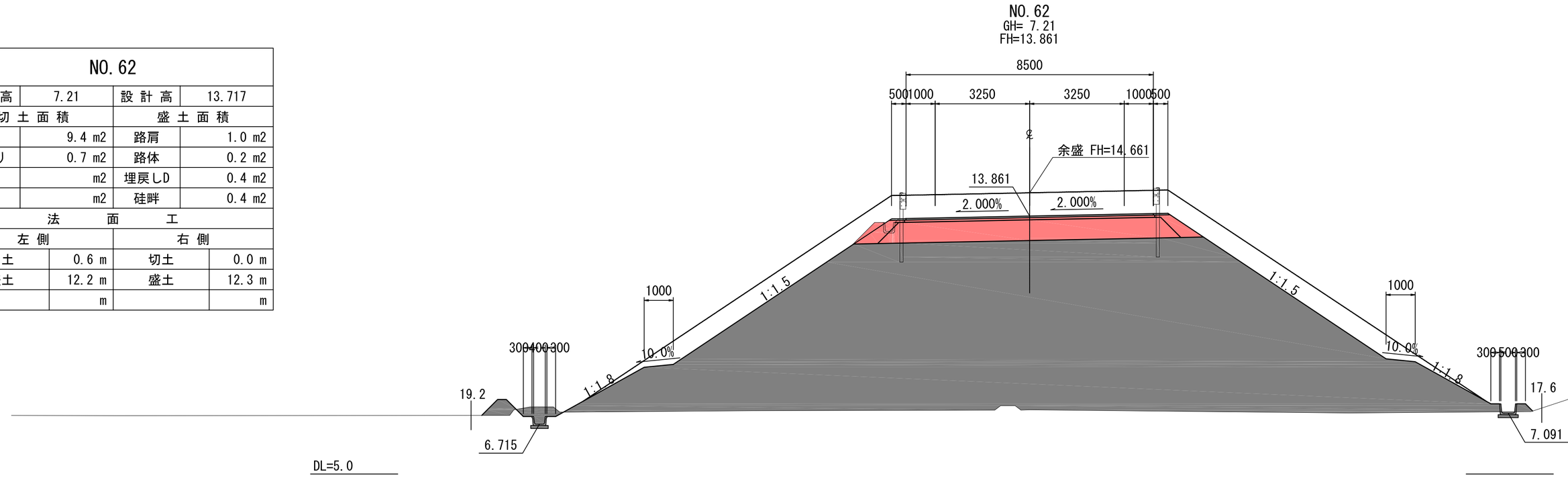
補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	36.4 m2
床掘り	31.0 m2

NO.63			
地盤高	7.63	設計高	14.171
切土面積		盛土面積	
切土	8.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	5.4 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	13.3 m	盛土	3.6 m
	m		m



補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	37.3 m2
床掘り	33.1 m2

NO.62			
地盤高	7.21	設計高	13.717
切土面積		盛土面積	
切土	9.4 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	0.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.0 m
盛土	12.2 m	盛土	12.3 m
	m		m



19/54

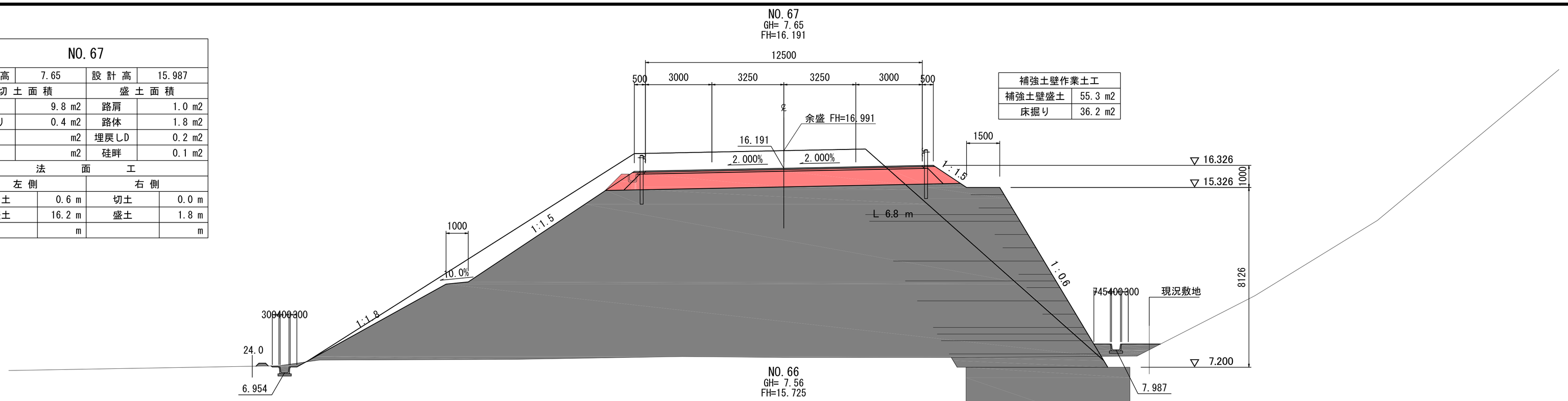
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

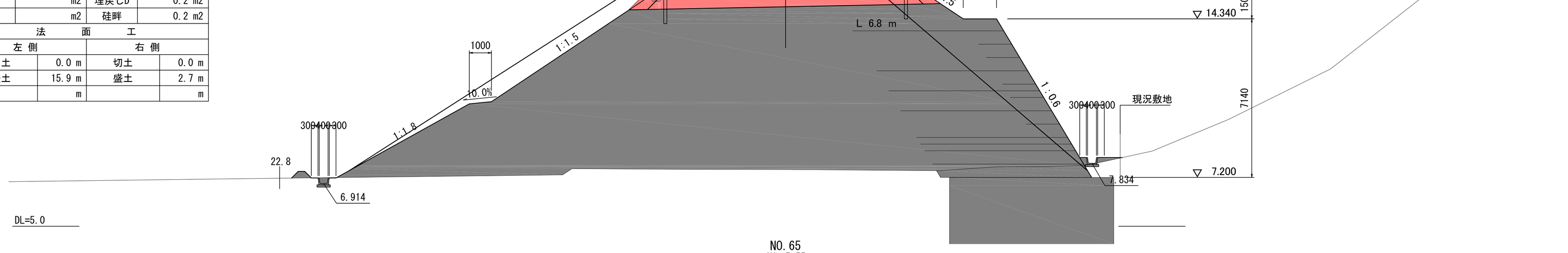
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(22)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

NO.67			
地盤高	7.65	設計高	15.987
切土面積		盛土面積	
切土	9.8 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	1.8 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.1 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.0 m
盛土	16.2 m	盛土	1.8 m
	m		m



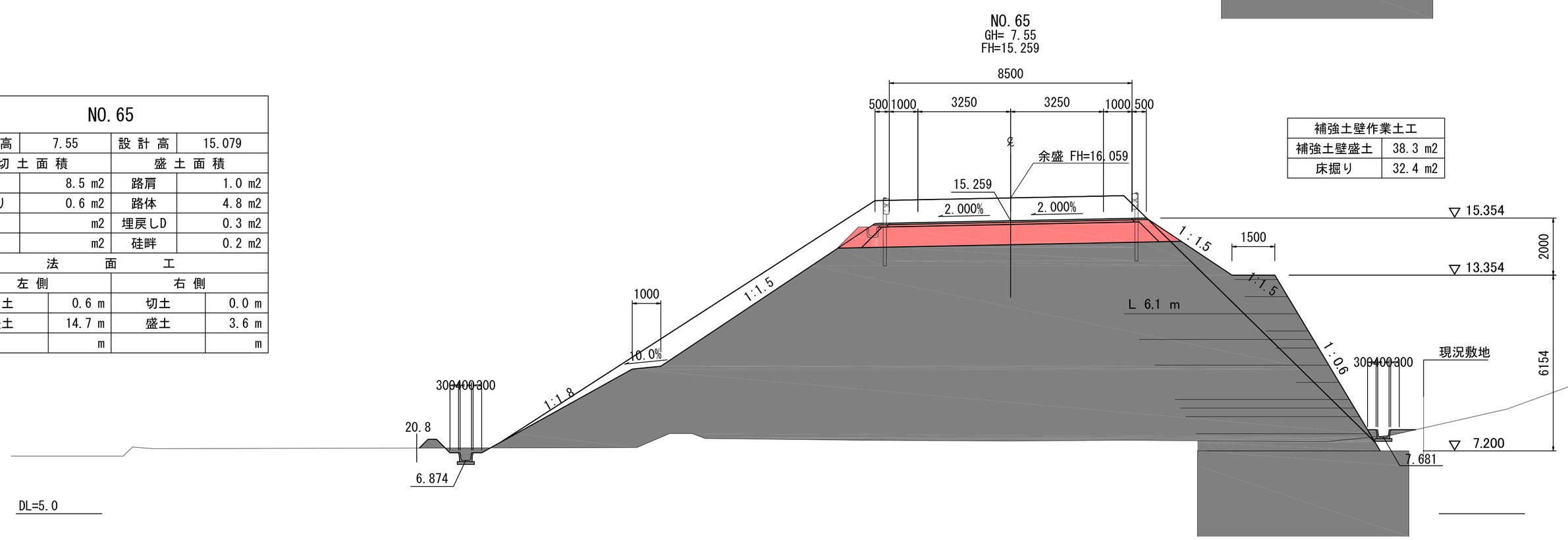
DL=5.0

NO.66			
地盤高	7.56	設計高	15.533
切土面積		盛土面積	
切土	8.4 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	3.4 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	15.9 m	盛土	2.7 m
	m		m



DL=5.0

NO.65			
地盤高	7.55	設計高	15.079
切土面積		盛土面積	
切土	8.5 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	4.8 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.0 m
盛土	14.7 m	盛土	3.6 m
	m		m



DL=5.0

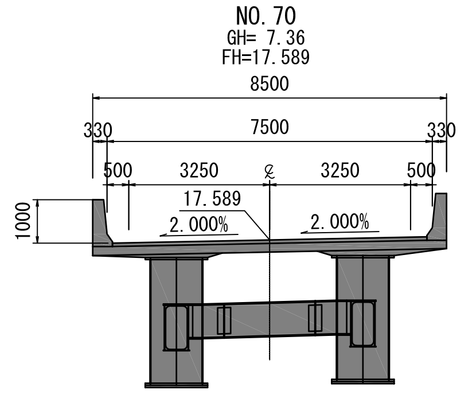
道路改良時(沈下後)

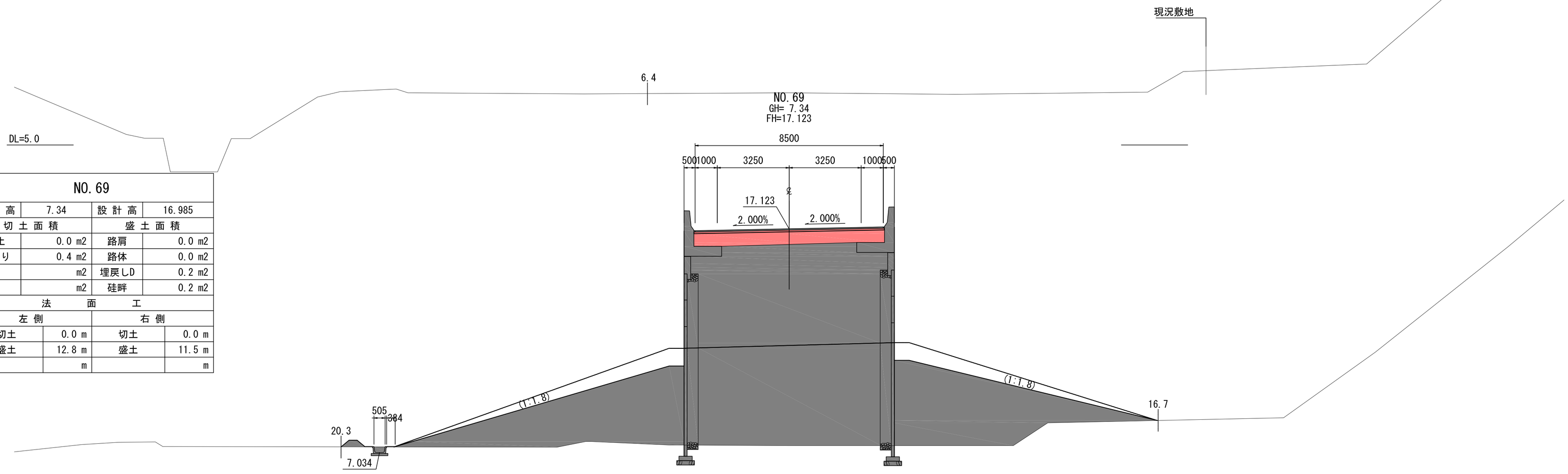
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

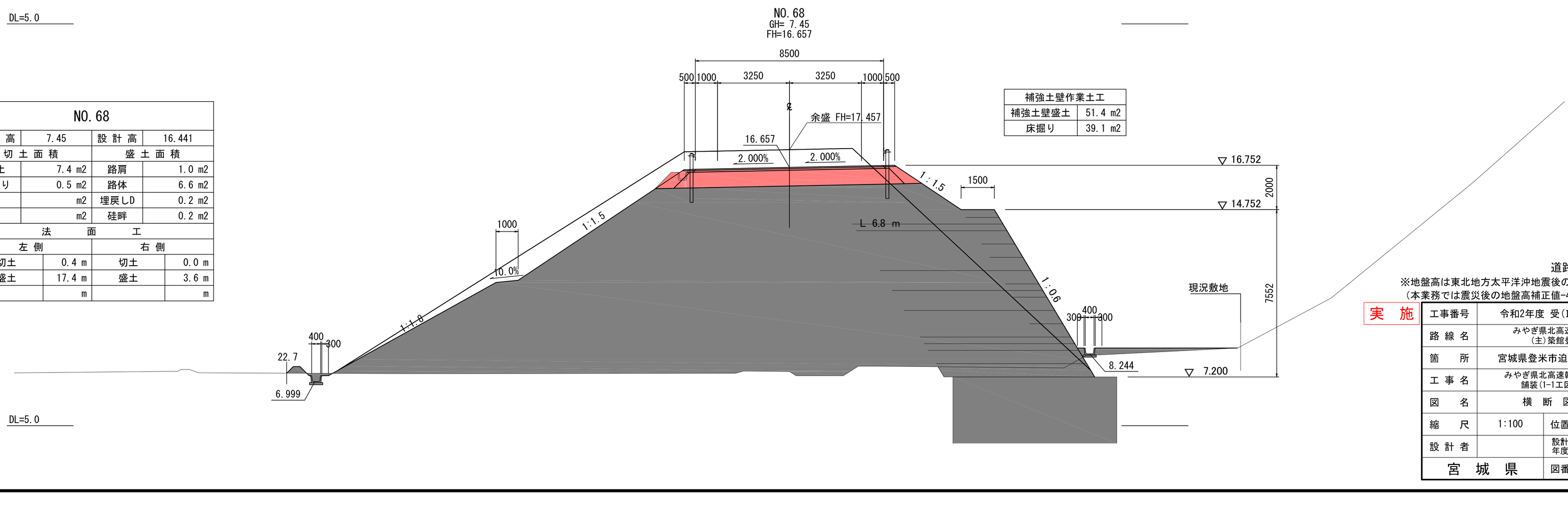
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(23)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

NO.70			
地盤高	7.36	設計高	17.323
切土面積		盛土面積	
切土	0.0 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	0.0 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.0 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	0.0 m	盛土	0.0 m
	m		m





NO.69			
地盤高	7.34	設計高	16.985
切土面積		盛土面積	
切土	0.0 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.8 m	盛土	11.5 m
	m		m



NO.68			
地盤高	7.45	設計高	16.441
切土面積		盛土面積	
切土	7.4 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.5 m2	路体	6.6 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.0 m
盛土	17.4 m	盛土	3.6 m
	m		m

補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	51.4 m2
床掘り	39.1 m2

道路改良時(沈下後)

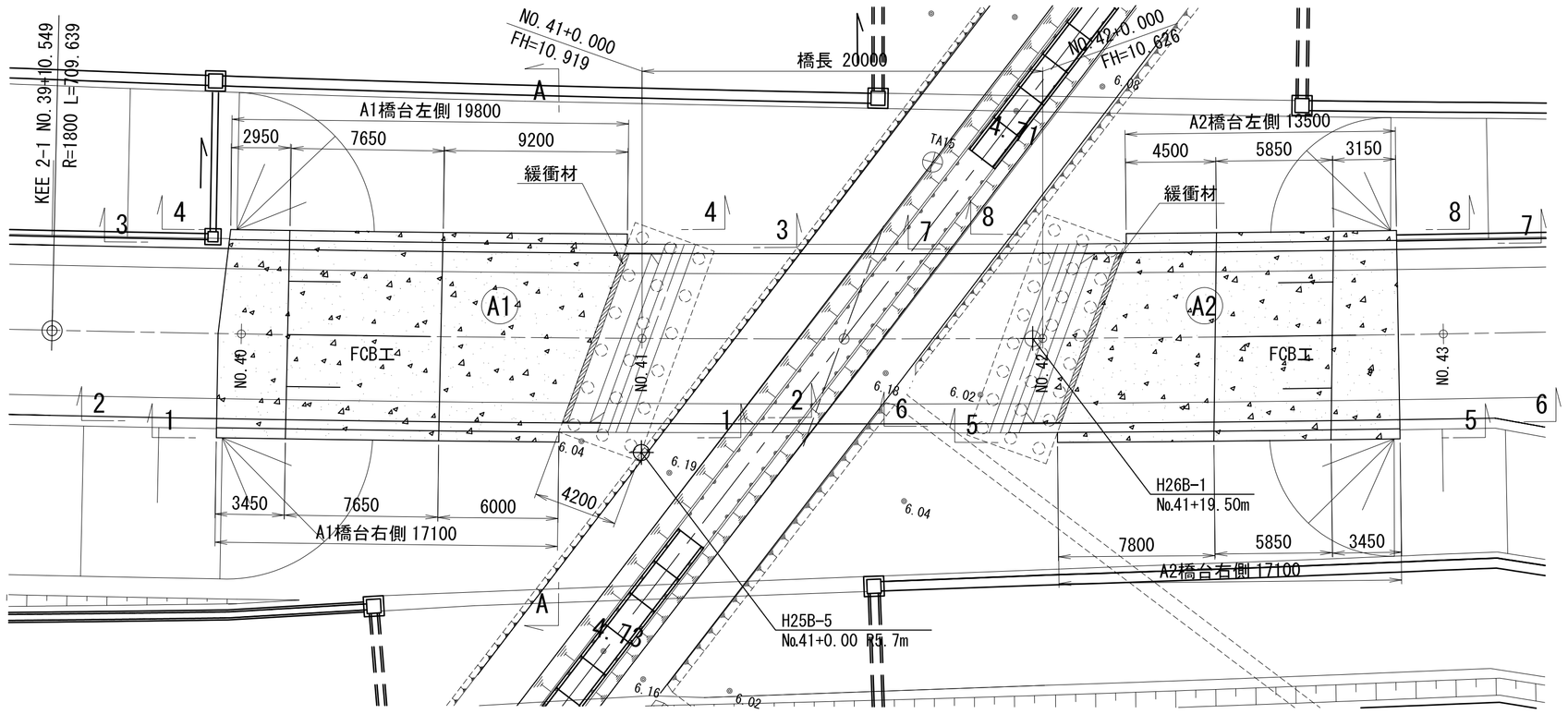
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

実施

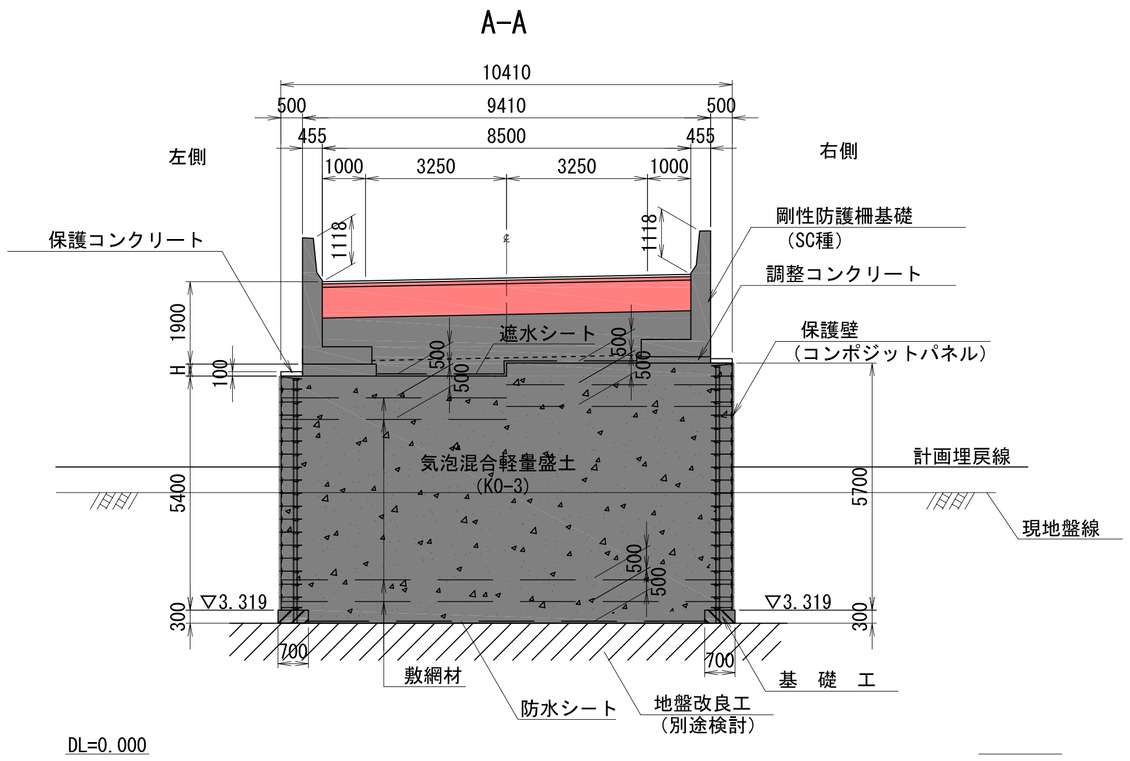
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	横断図(24)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

ＦＣＢ工一般図（田ノ尻橋）

FCB工　平面図　S=1:200



FCB工　標準断面図　S=1:100



NEXCO暫定配合表

フロー値(180mm)

配合	一軸圧縮強度 qu (kN/㎡)	空気量 (%)	水ｾﾒﾝﾄ比 w／c (%)	砂ｾﾒﾝﾄ比 s／c	セメント c (kg/m3)	砂 s (kg/m3)	起泡剤 (L)	起泡剤 m1 (kg/m3)	希釈水 m2 (kg/m3)	混練水 m3 (kg/m3)	水量 m1+m2+m3 (kg/m3)	湿潤密度(生比重) (g/cm3)	単位体積重量 (kN/m3)
K0-3	300	66.5	92.0	0	268	0	1.15	1.15	26.45	219	246.6	0.52	5.1

ＦＣＢ工法　設計条件			
ＦＣＢ の 高 さ		Hmax＝ 6.000m	
ＦＣＢ の 配 合		K0-3	
設 計 水 平 震 度		レベル2･Ⅲ種地盤-A地域：kh＝0.24	
安全率		常　　時	地　震　時
	ＦＣＢの強度に対して	3.0	
	滑動に対して	1.25	1.00
	転倒に対して	e≦B/6	e≦B/3
	支持力に対して（傾斜地盤）	3.00	2.00
衝突荷重		SC種（35kN）	

地盤改良設計基準強度（参考）	
A1橋台側	86kN/m2×3.0(常時安全率)≒260kN/m2以上
A2橋台側	82kN/m2×3.0(常時安全率)≒250kN/m2以上

実　施

【４号橋】

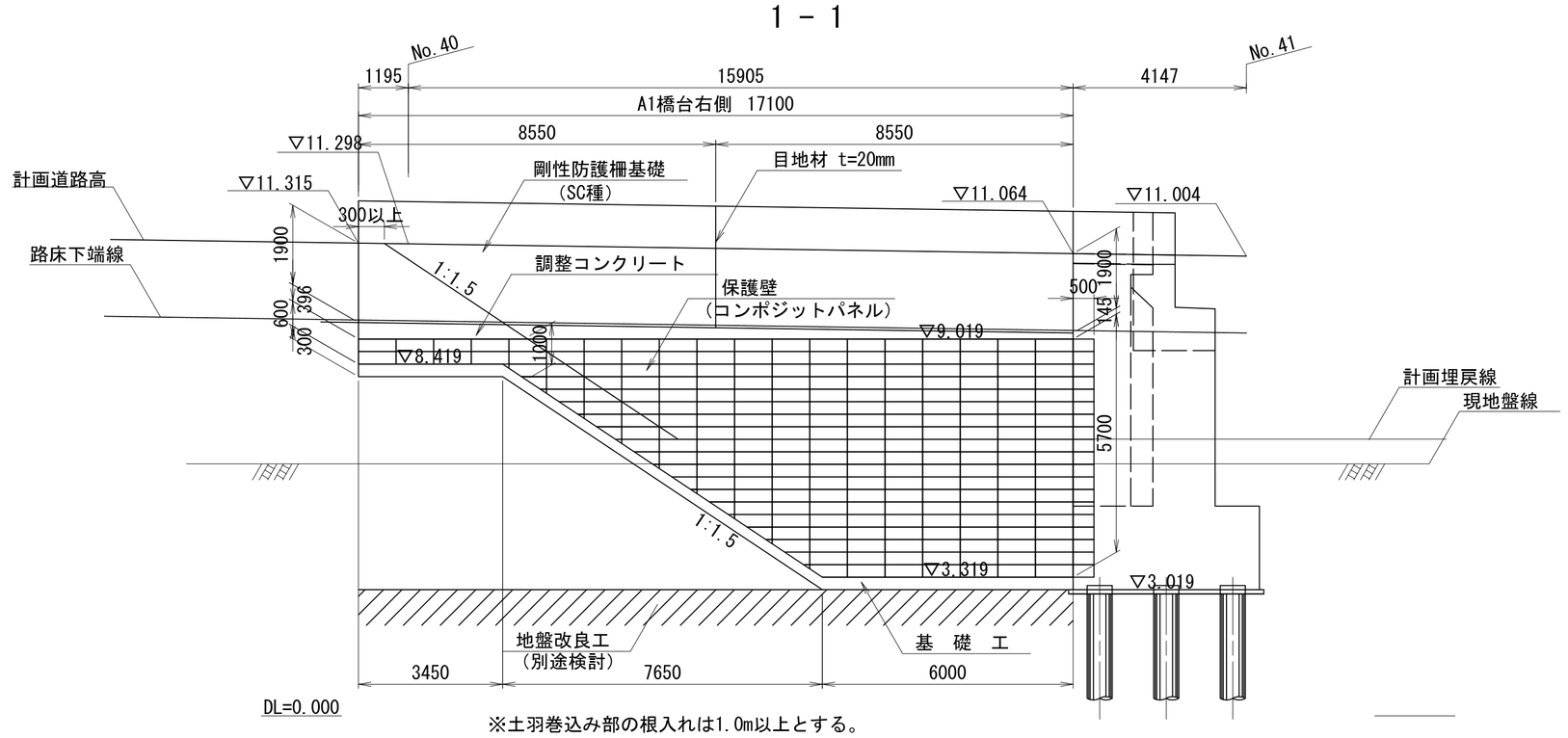
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	ＦＣＢ工一般図(田ノ尻橋)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

ＦＣＢ工縦断図（Ａ１橋台側）

A1橋台右側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

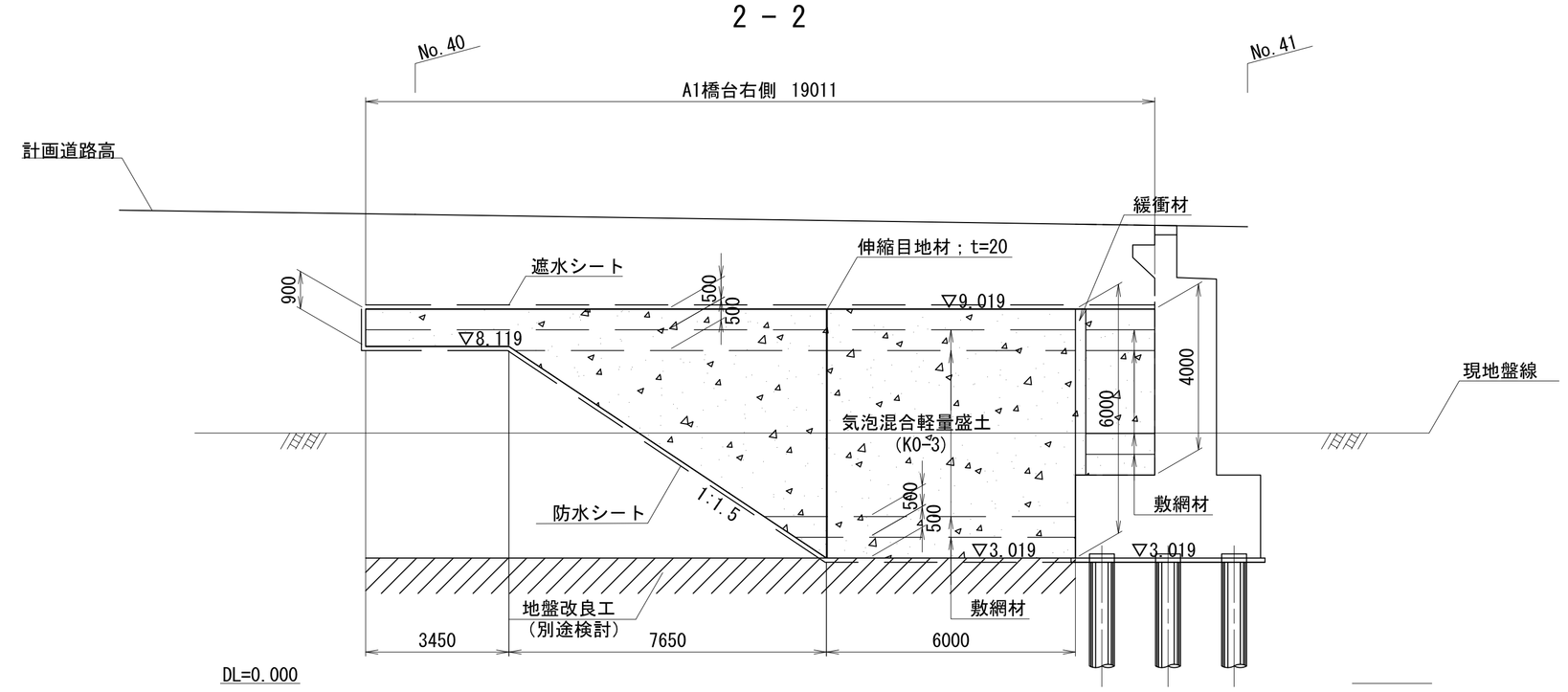
1 － 1



※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

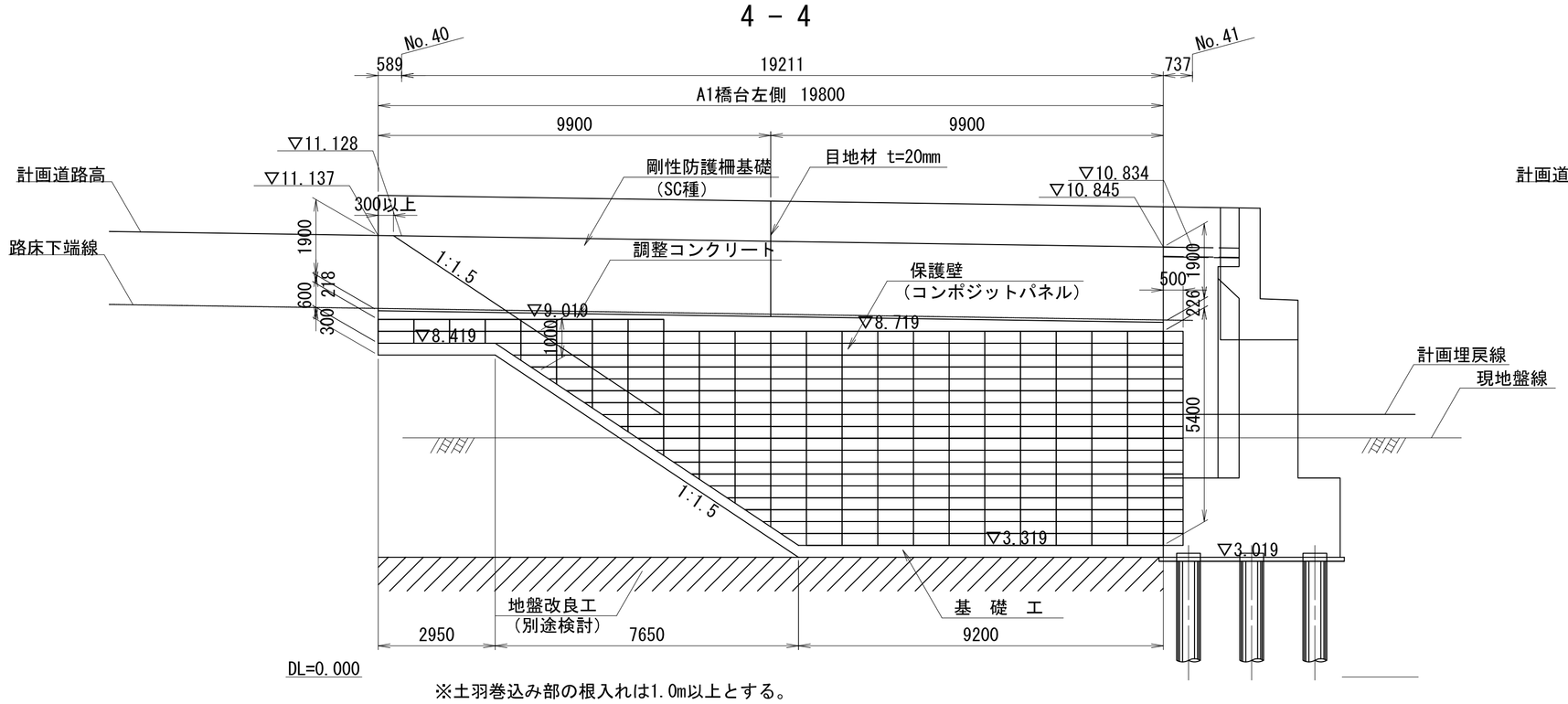
2 － 2



A1橋台左側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

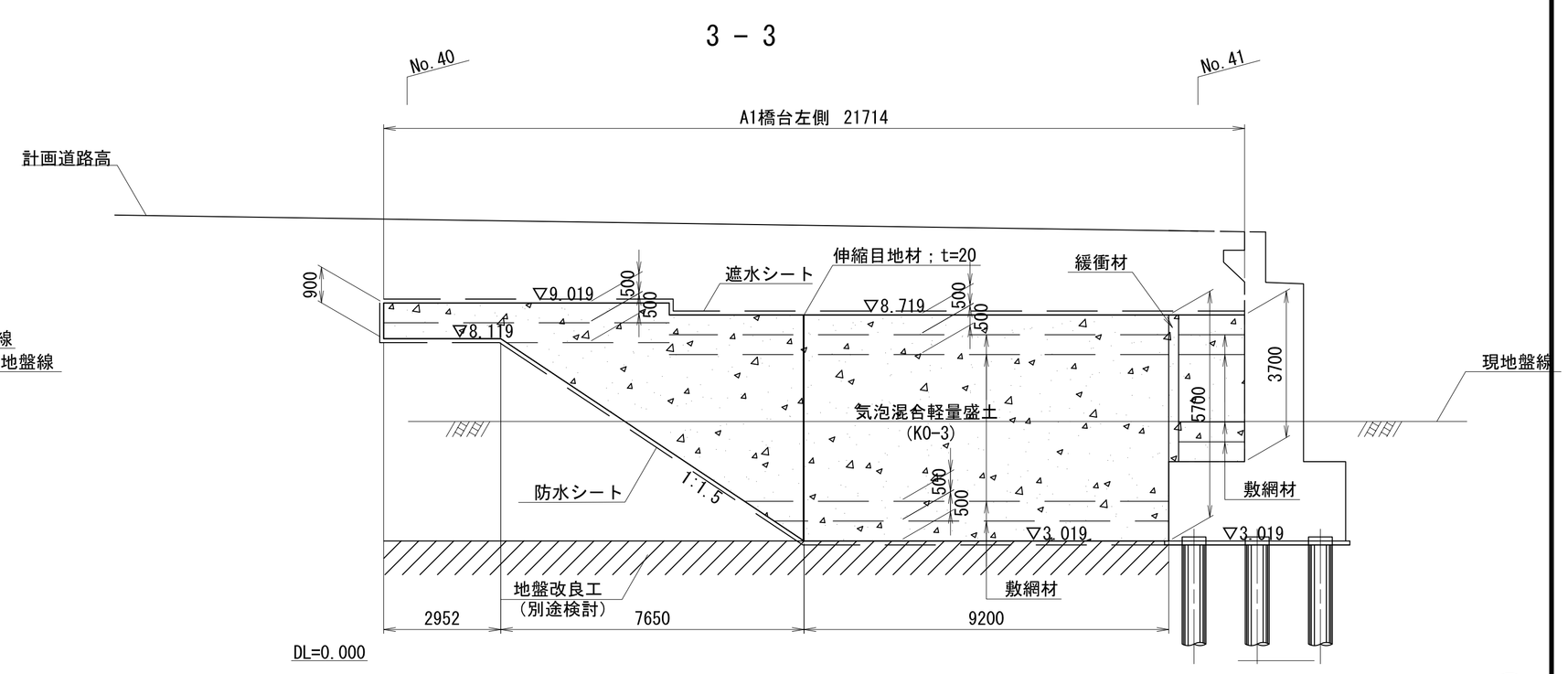
4 － 4



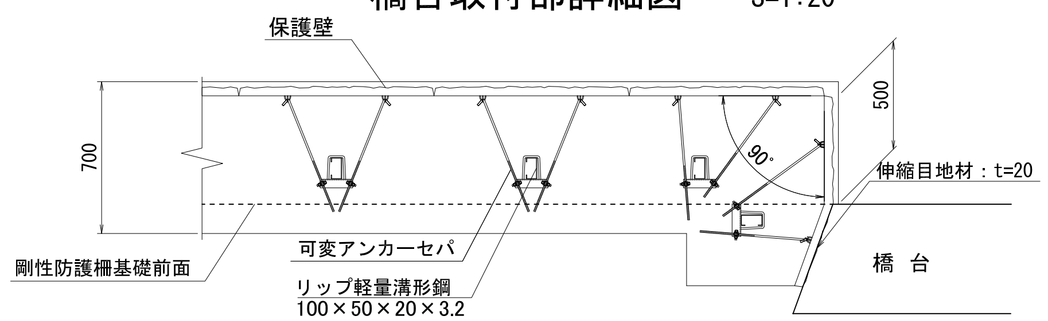
※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

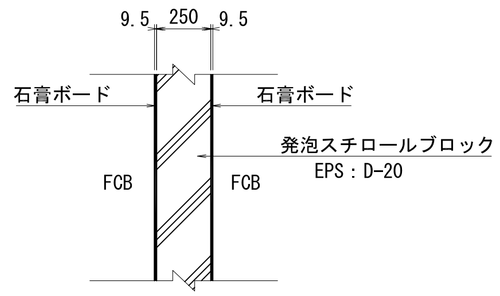
3 － 3



橋台取付部詳細図　S=1:20



緩衝材部詳細図 S=1:20



※　EPSは橋台への側圧防止、石膏ボードはFCB打設時の発熱に対してEPSを保護するために用いる。

【４号橋】

実　施

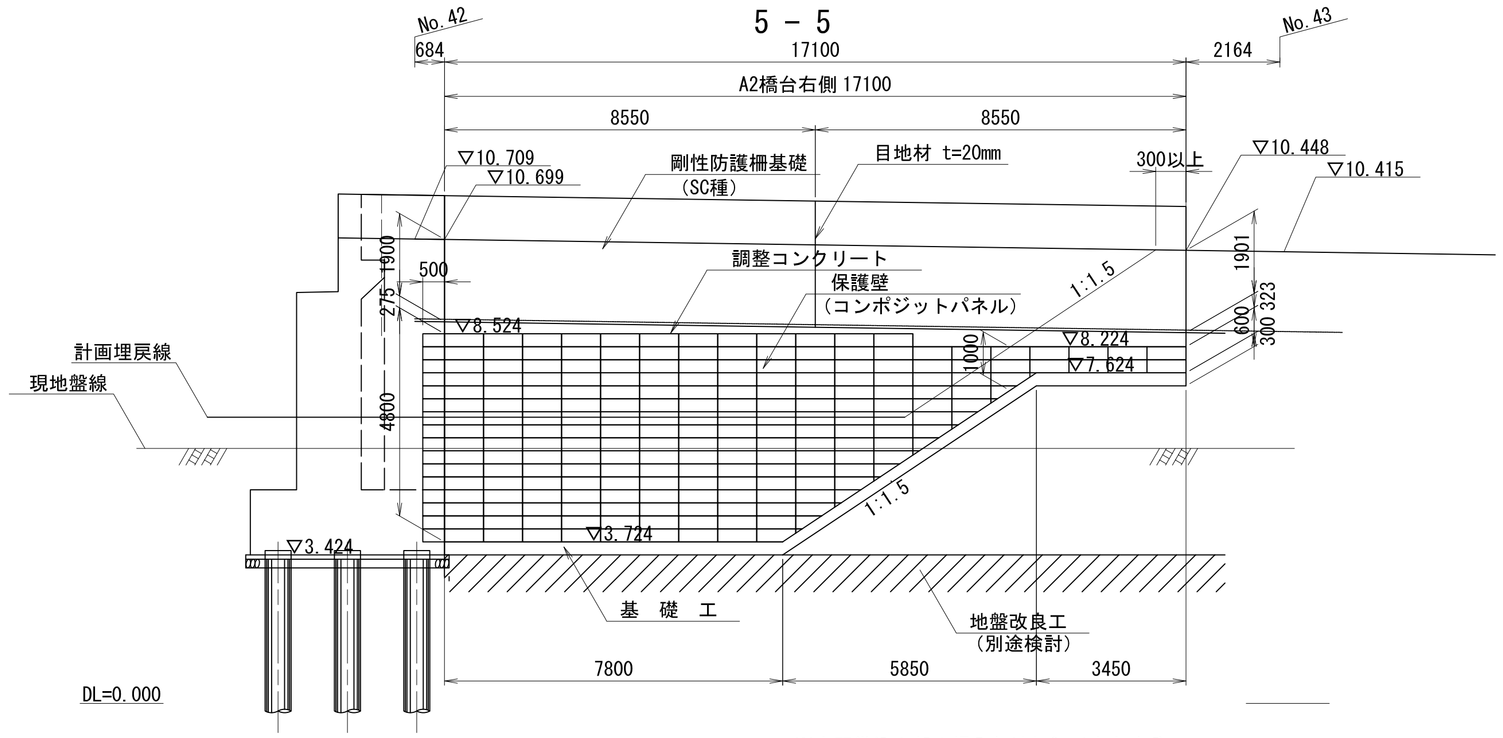
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	ＦＣＢ工縦断図（Ａ１橋台側）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

ＦＣＢ工縦断図（Ａ２橋台側）

A2橋台右側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

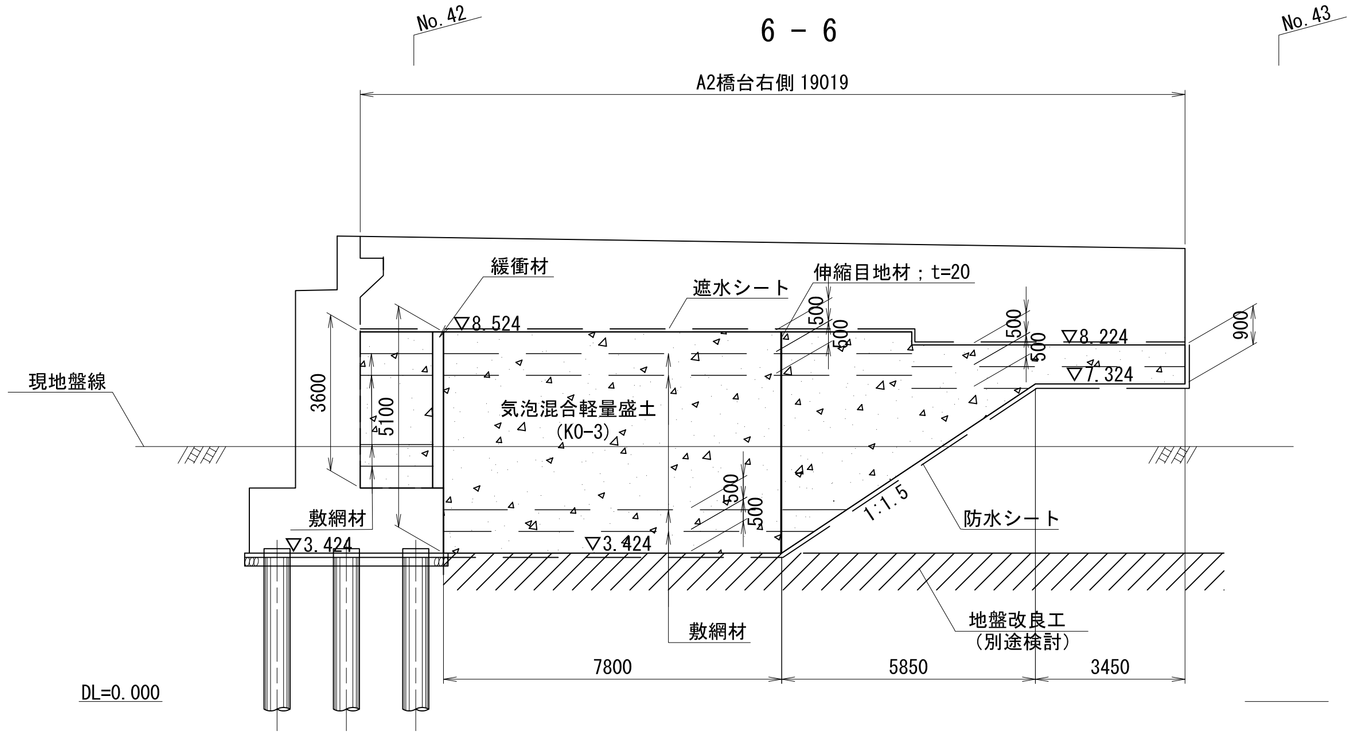
5 － 5



※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

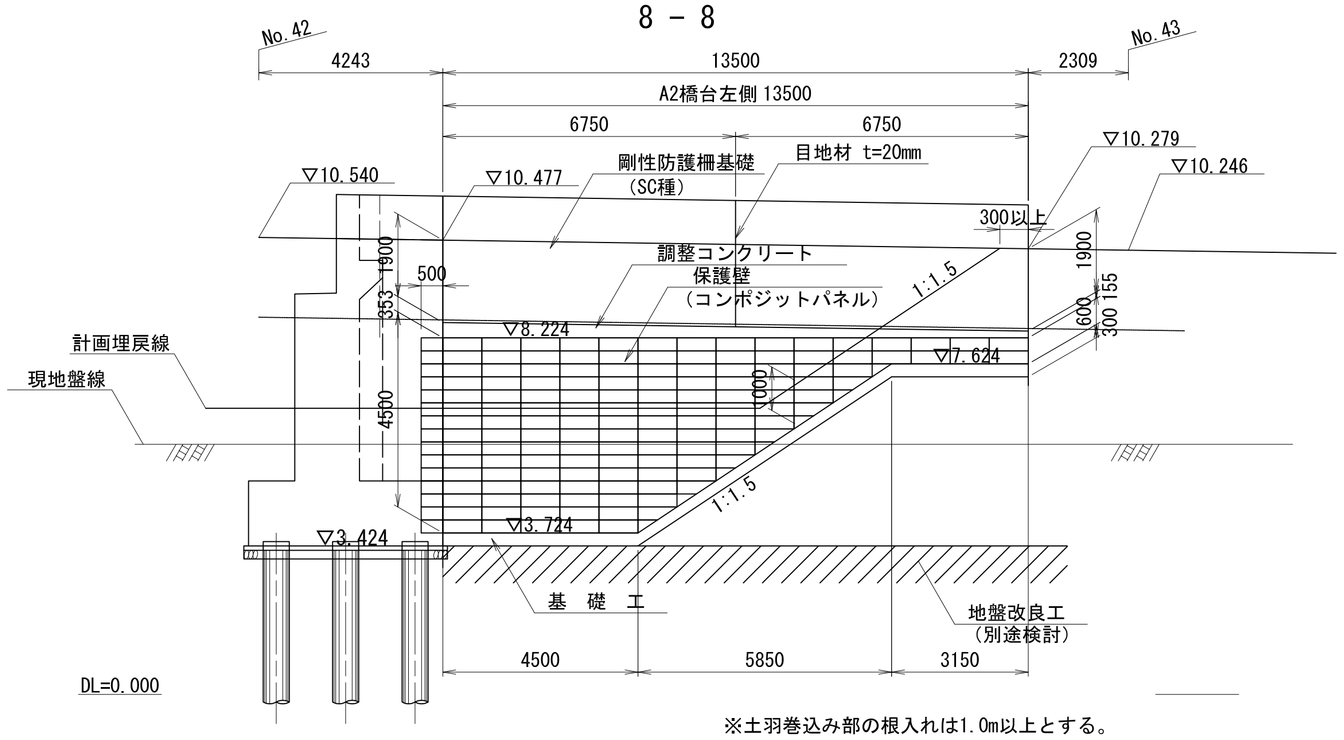
6 － 6



A2橋台左側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

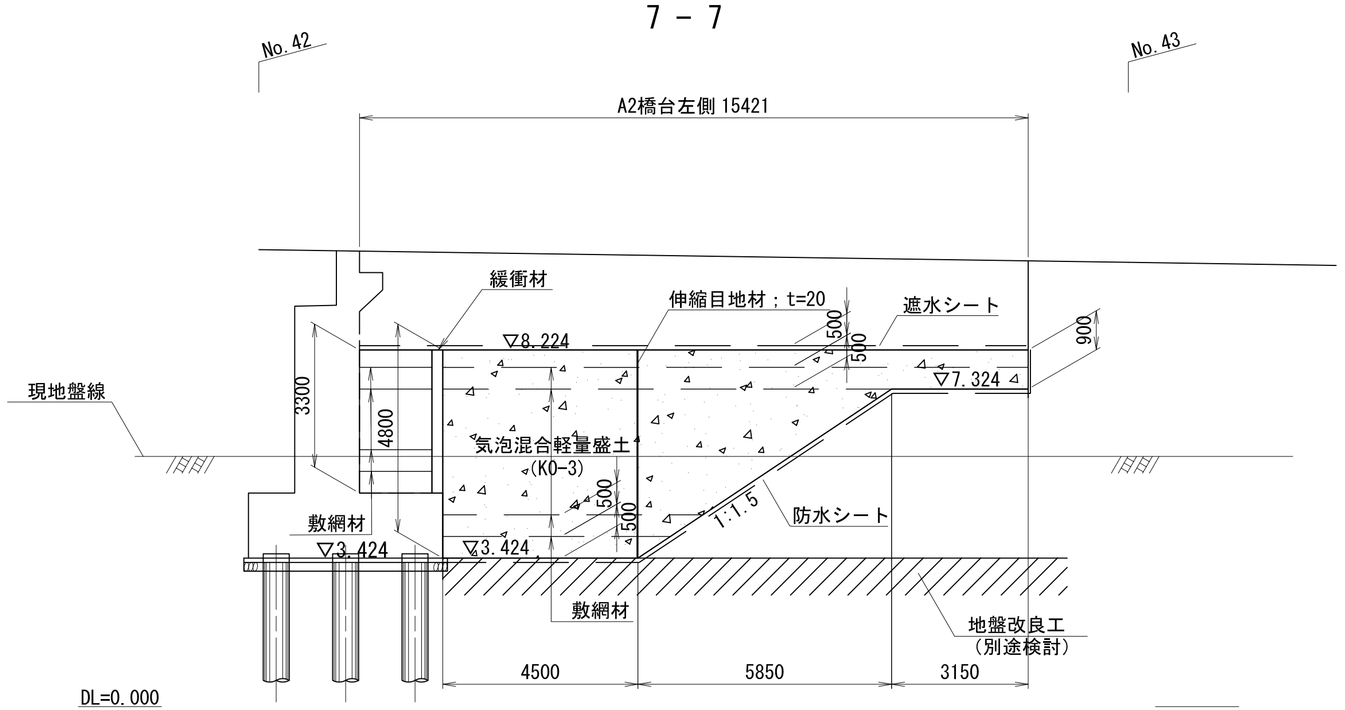
8 － 8



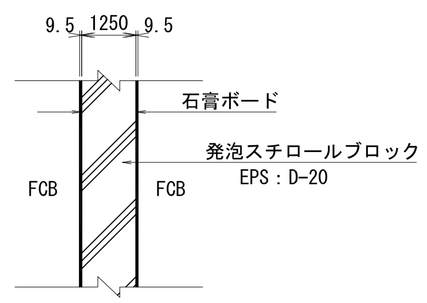
※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

7 － 7

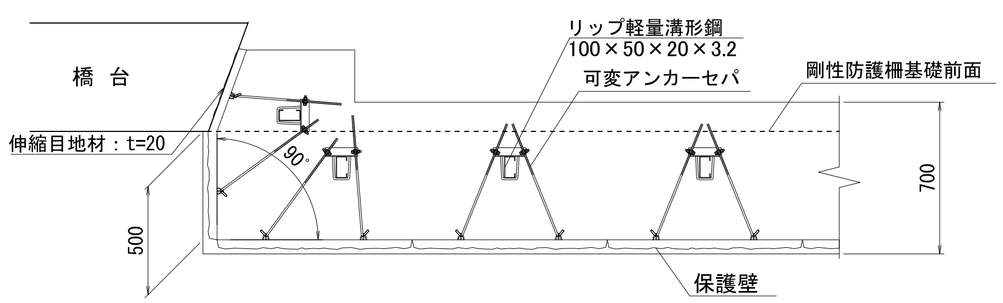


緩衝材部詳細図 S=1:20



※　EPSは橋台への側圧防止、石膏ボードはFCB打設時の発熱に対してEPSを保護するために用いる。

橋台取付部詳細図　S=1:20

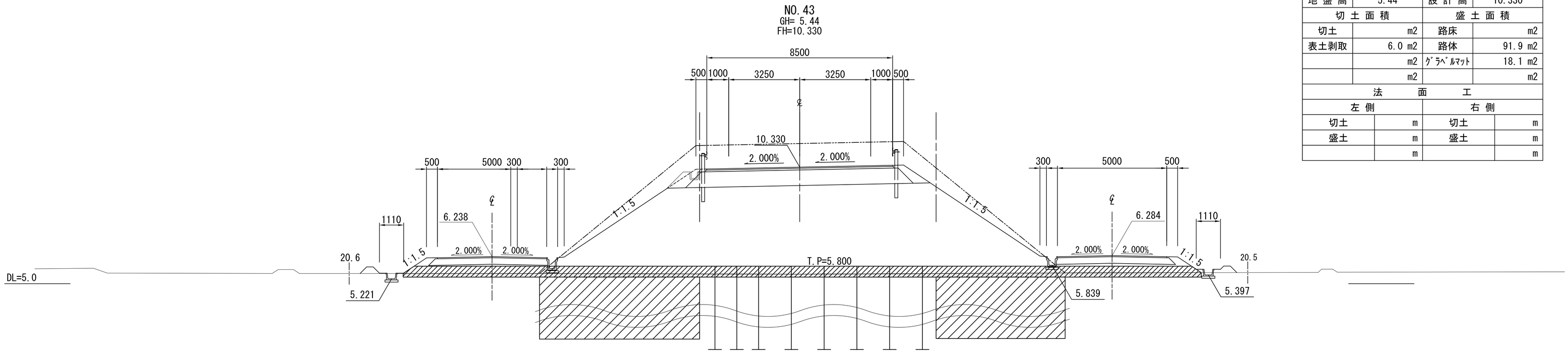


実　施

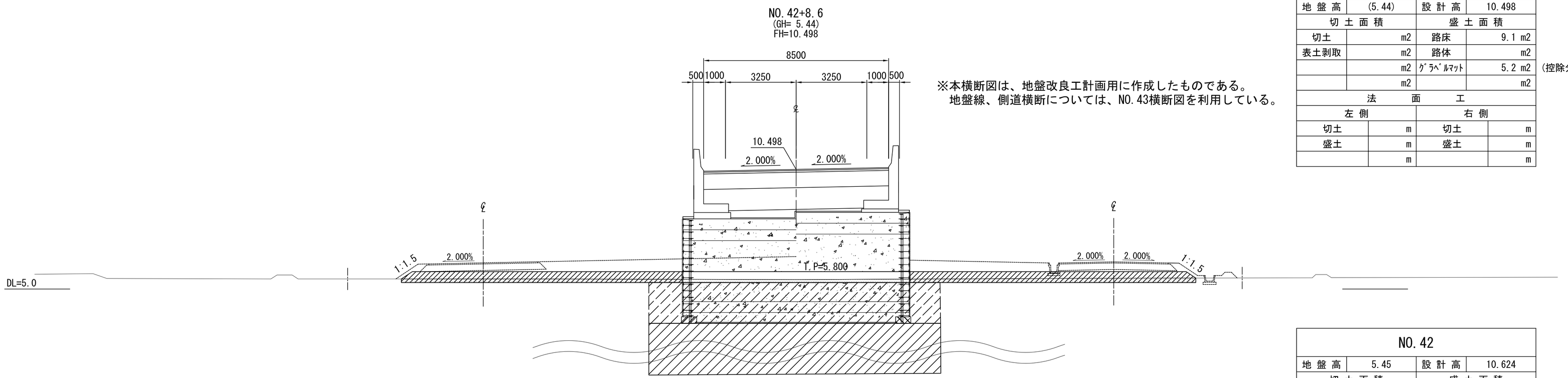
【４号橋】

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	ＦＣＢ工縦断図（Ａ２橋台側）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

ＦＣＢ横断図（その２）



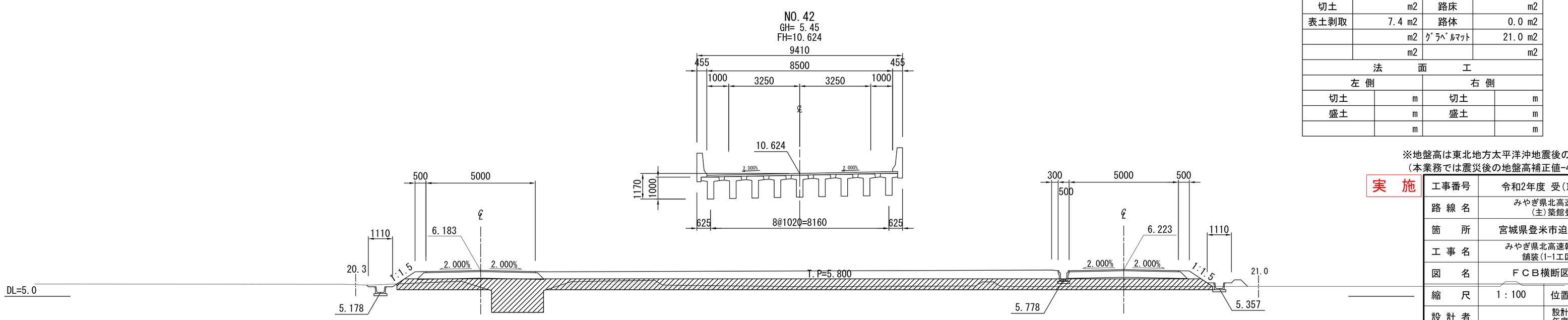
NO.43			
地盤高	5.44	設計高	10.330
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	6.0 m2	路体	91.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	18.1 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m



※本横断図は、地盤改良工計画用に作成したものである。
地盤線、側道横断については、NO.43横断図を利用している。

NO.42+8.6			
地盤高	(5.44)	設計高	10.498
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	9.1 m2
表土剥取	m2	路体	m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

（控除分：FCB工部分）



NO.42			
地盤高	5.45	設計高	10.624
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	7.4 m2	路体	0.0 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	21.0 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

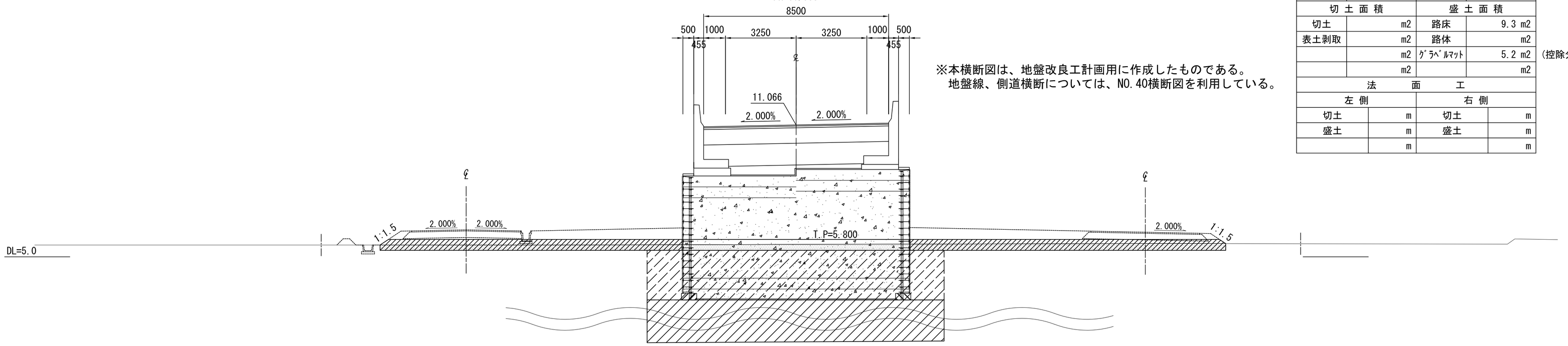
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事
図名	ＦＣＢ横断図（その２）
縮尺	1：100　位置
設計者	設計年度
宮城県	図番

ＦＣＢ横断図（その１）

NO.40+10.0
(GH= 5.58)
FH=11.066

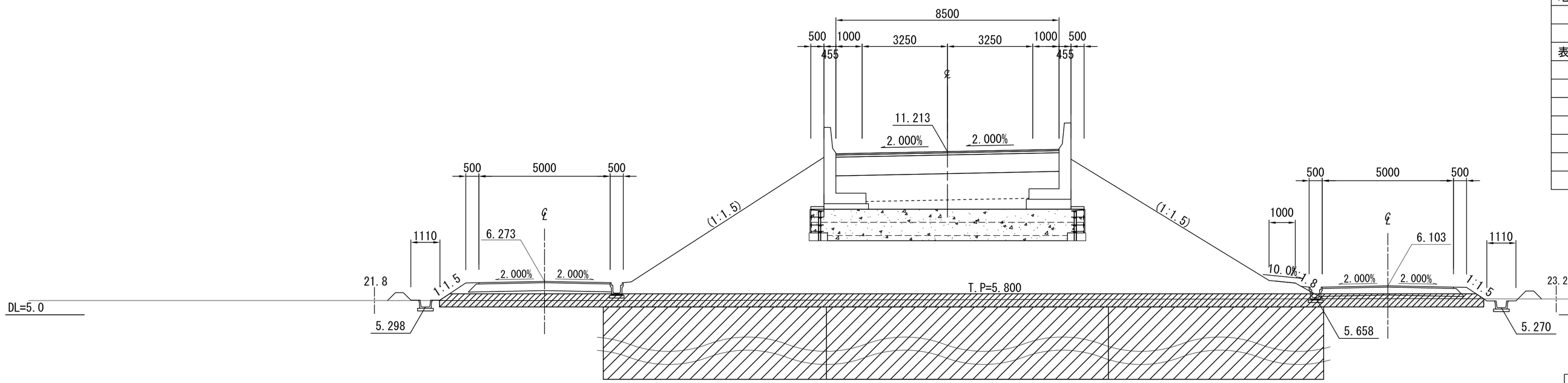


※本横断図は、地盤改良工計画用に作成したものである。
地盤線、側道横断については、NO.40横断図を利用している。

NO.40+10.0			
地盤高	(5.58)	設計高	11.066
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	9.3 m2
表土剥取	m2	路体	m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

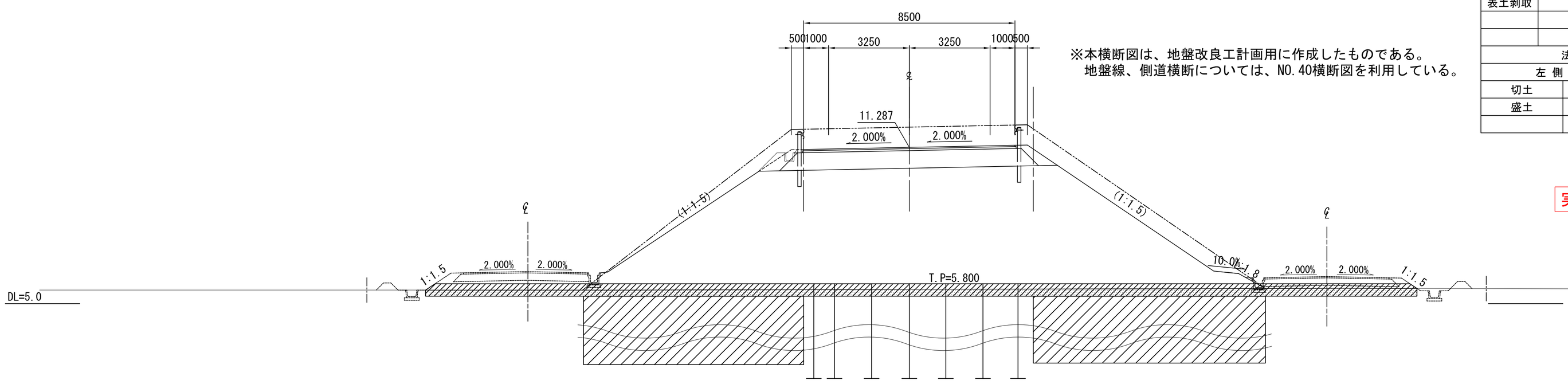
（控除分：FCB工部分）

NO.40
GH= 5.58
FH=11.213



NO.40			
地盤高	5.58	設計高	11.213
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	9.6 m2
表土剥取	11.0 m2	路体	124.3 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.8 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.39+15.0
(GH= 5.58)
FH=11.287



※本横断図は、地盤改良工計画用に作成したものである。
地盤線、側道横断については、NO.40横断図を利用している。

NO.39+15.0			
地盤高	(5.58)	設計高	11.287
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	m2	路体	114.6 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

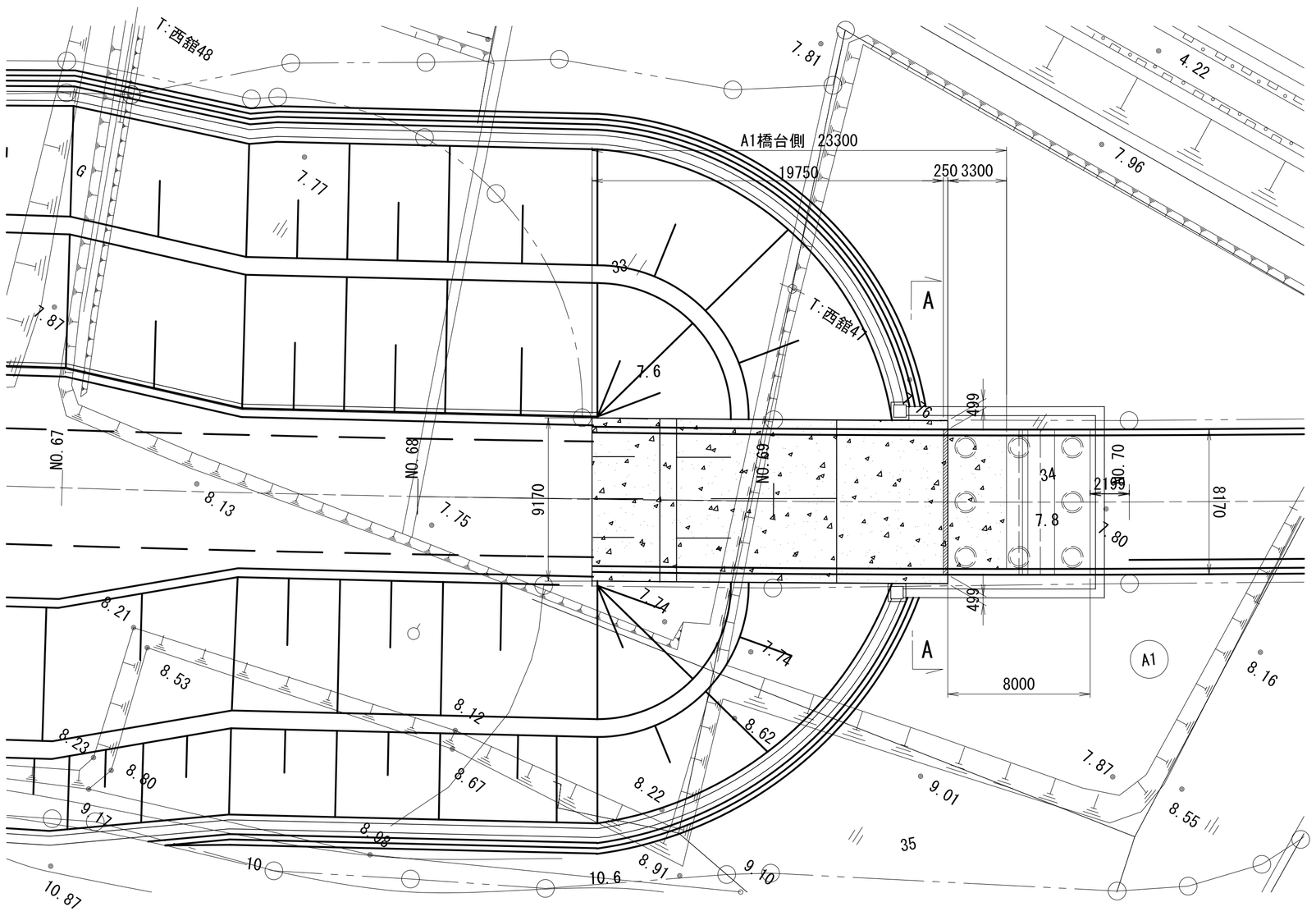
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

実　施

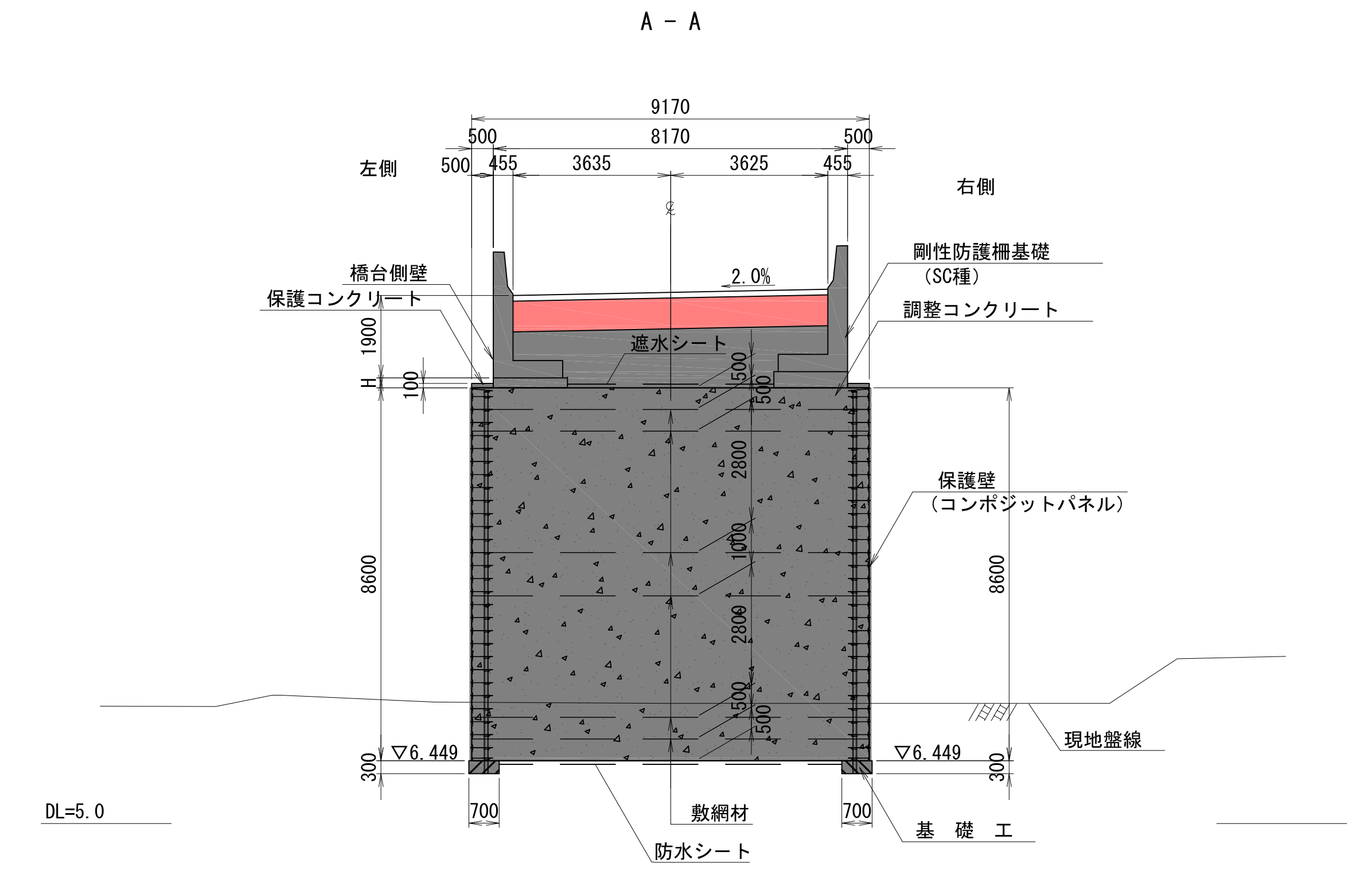
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	ＦＣＢ横断図（その１）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

A1橋台側　FCB工一般図

FCB工　平面図　S=1:200



FCB工　標準断面図　S=1:100



NEXCO暫定配合表

フロー値(180mm)

配合	一軸圧縮強度 qu (kN/m²)	空気量 (%)	水セメント比 w/c (%)	砂セメント比 s/c	セメント c (kg/m3)	砂 s (kg/m3)	起泡剤 (L)	起泡剤 m1 (kg/m3)	希釈水 m2 (kg/m3)	混練水 m3 (kg/m3)	水量 m1+m2+m3 (kg/m3)	湿潤密度(生比重) (g/cm3)	単位体積重量 (kN/m3)
K0-5	500	64.0	88.0	0	298	0	1.11	1.11	25.53	235	262	0.56	5.5

ＦＣＢ工法　設計条件			
ＦＣＢ の 高 さ		Hmax＝ 8.600m	
ＦＣＢ の 配 合		K0-5	
設 計 水 平 震 度		レベル2･Ⅱ種地盤-A地域：kh＝0.20	
安全率		常　　時	地　震　時
	ＦＣＢの強度に対して	3.0	
	滑動に対して	1.25	1.00
	転倒に対して	e≦B/6	e≦B/3
	支持力に対して（傾斜地盤）	3.00	2.00
衝突荷重		SC種（35kN）	

地盤改良設計基準強度（参考）	
A1橋台側	107kN/m2×3.0(常時安全率)≒330kN/m2以上

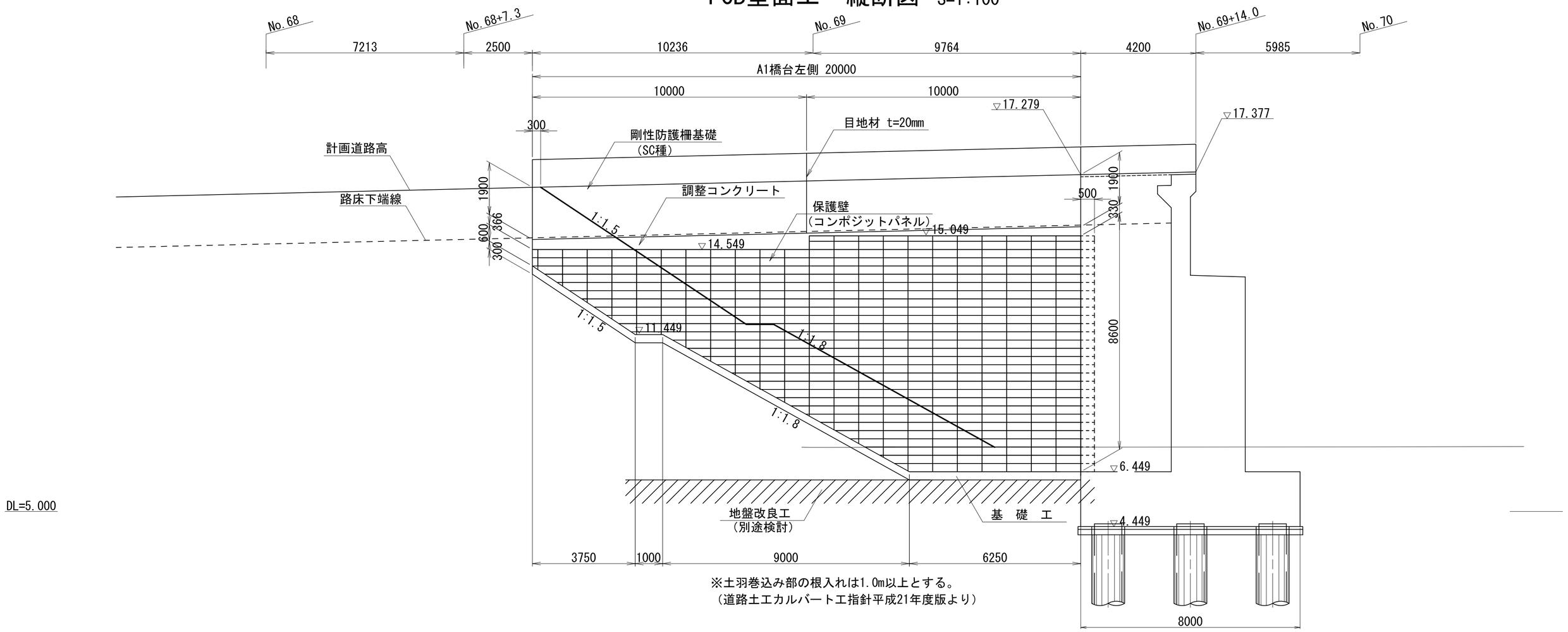
実　施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	A1橋台 FCB工一般図		
縮尺	1:200,1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

A1橋台側　FCB工縦断図（その１）

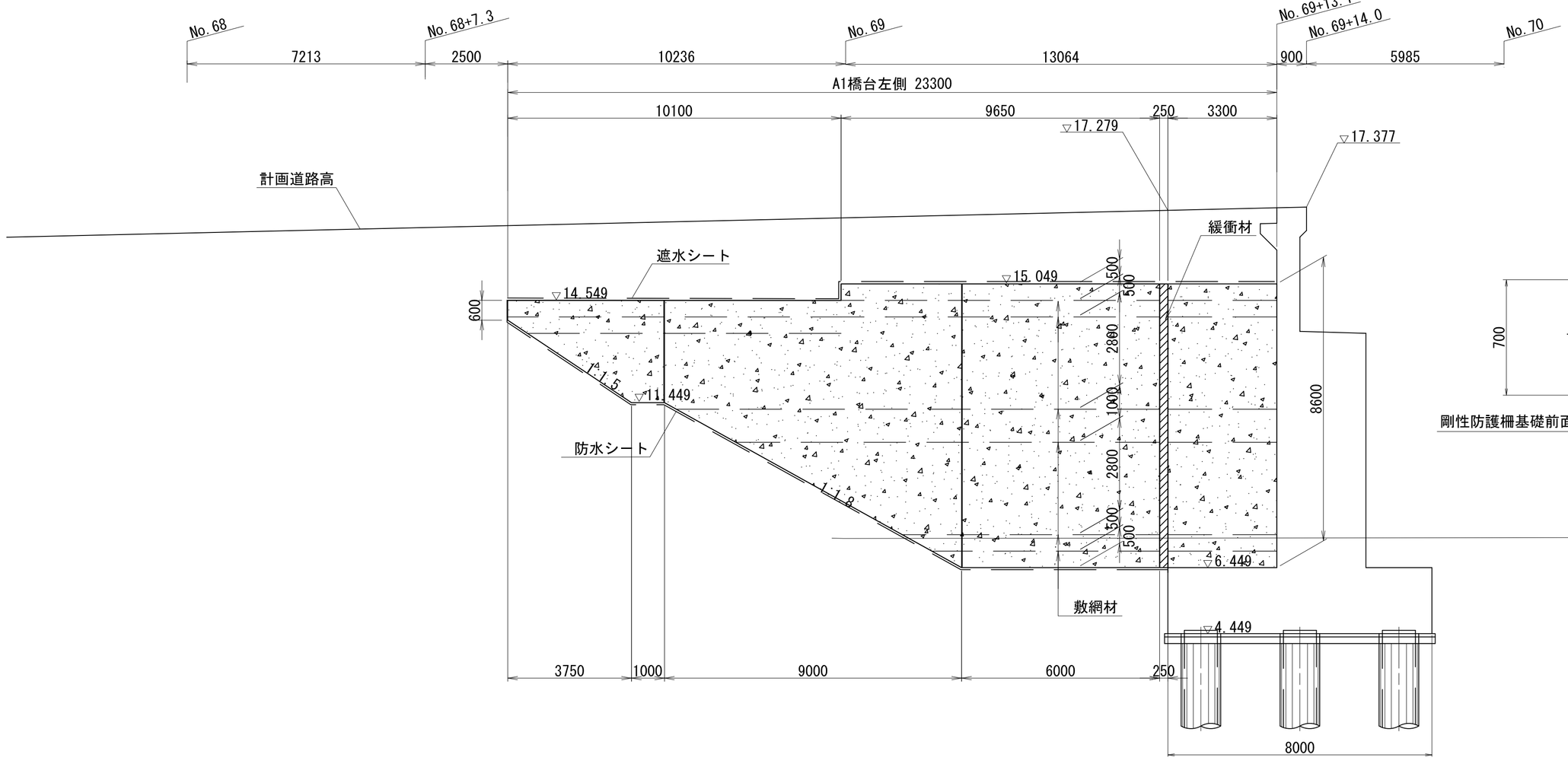
A1橋台左側

FCB壁面工　縦断図　S=1:100

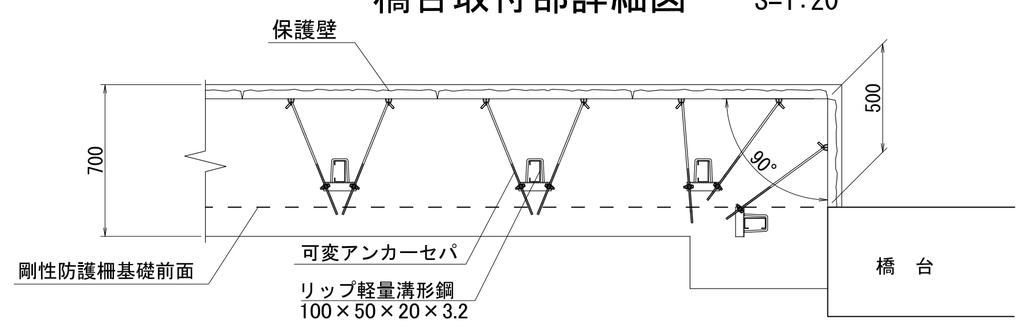


※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図　S=1:100



橋台取付部詳細図　S=1:20



実　施

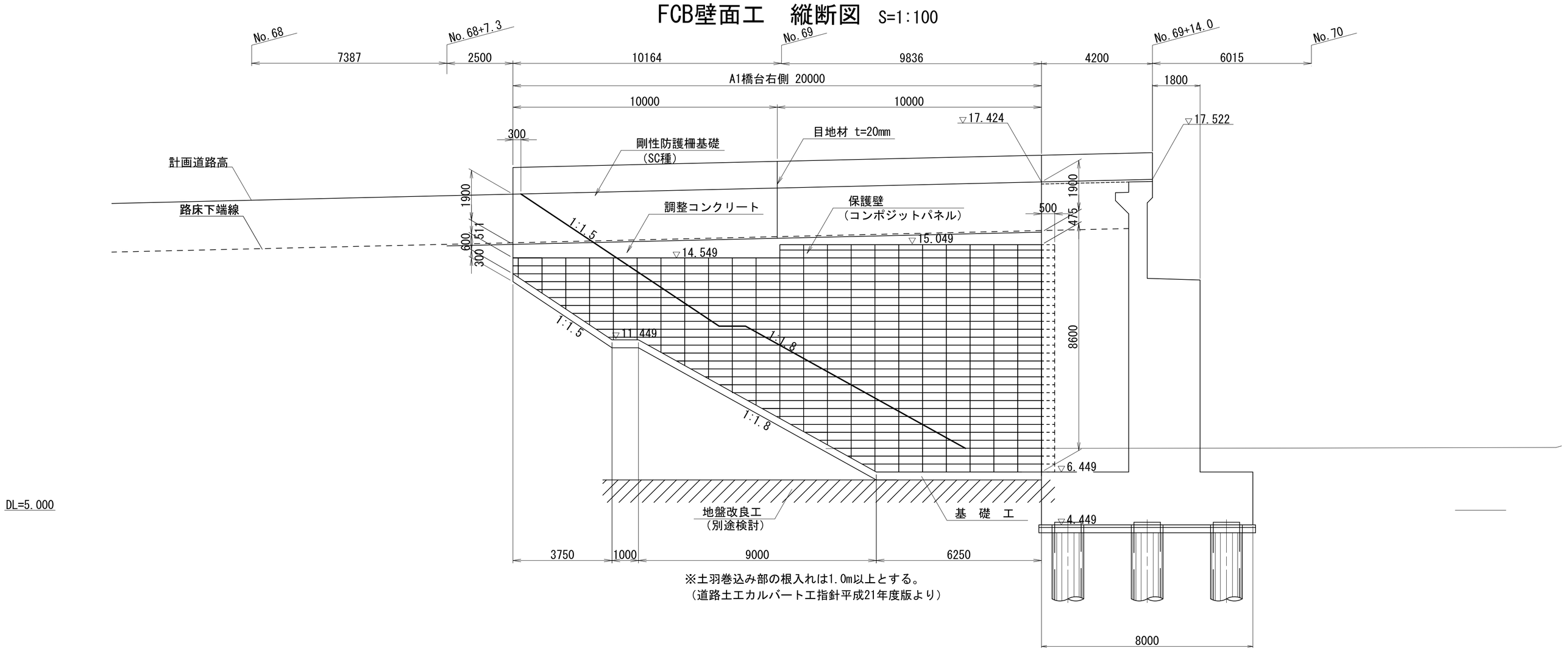
28/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	A1橋台 FCB工縦断図（その１）		
縮尺	1:100, 1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

A1橋台側　FCB工縦断図（その２）

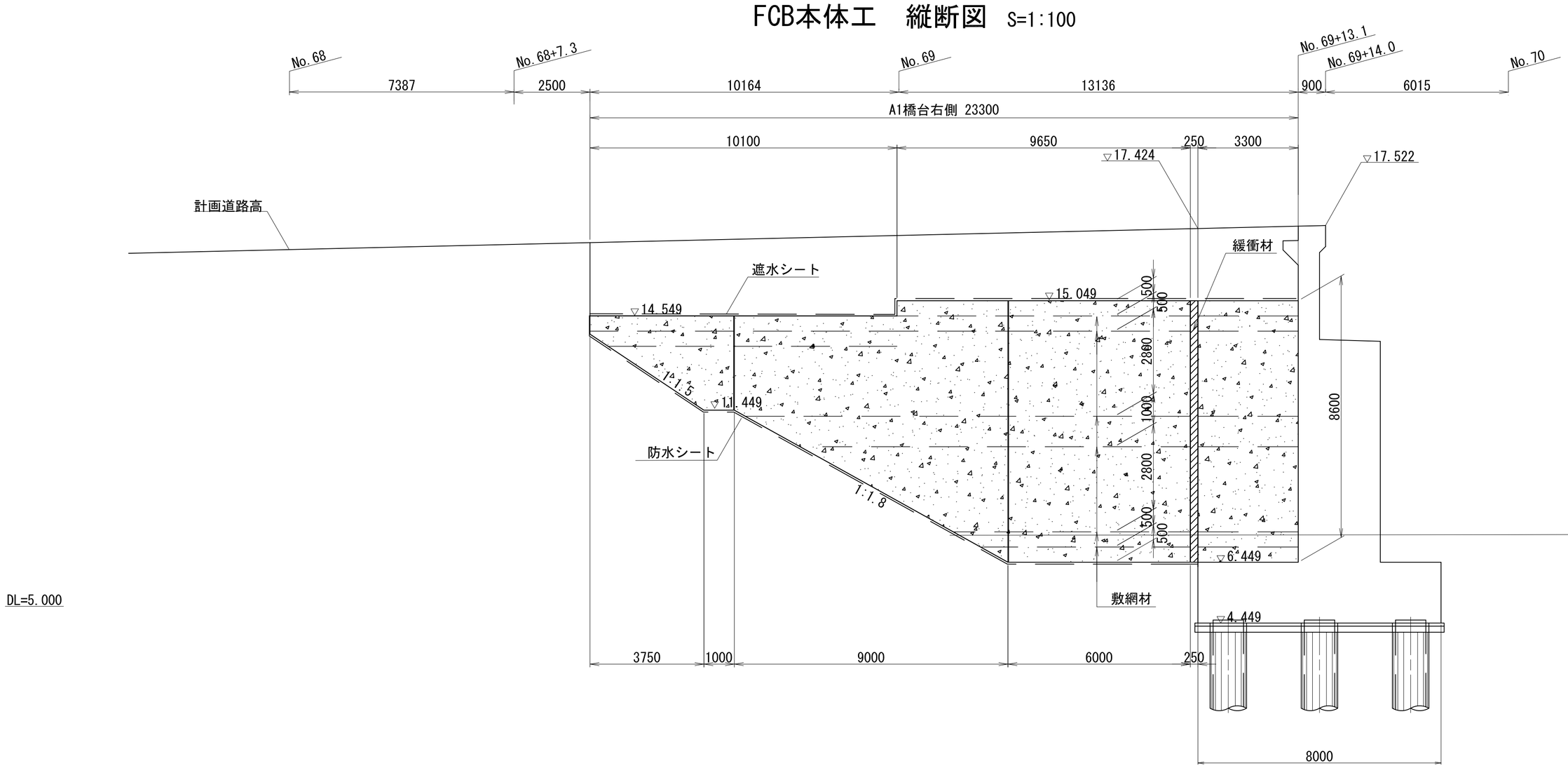
A1橋台右側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

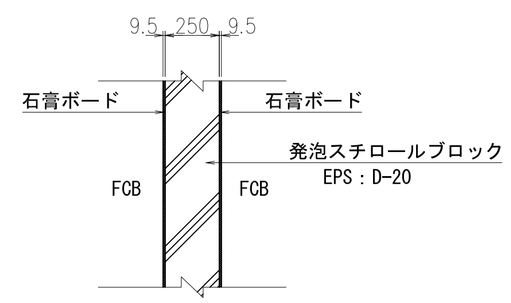


※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100



緩衝材部詳細図 S=1:20



※　EPSは橋台への側圧防止、石膏ボードはFCB打設時の発熱に対してEPSを保護するために用いる。

実　施

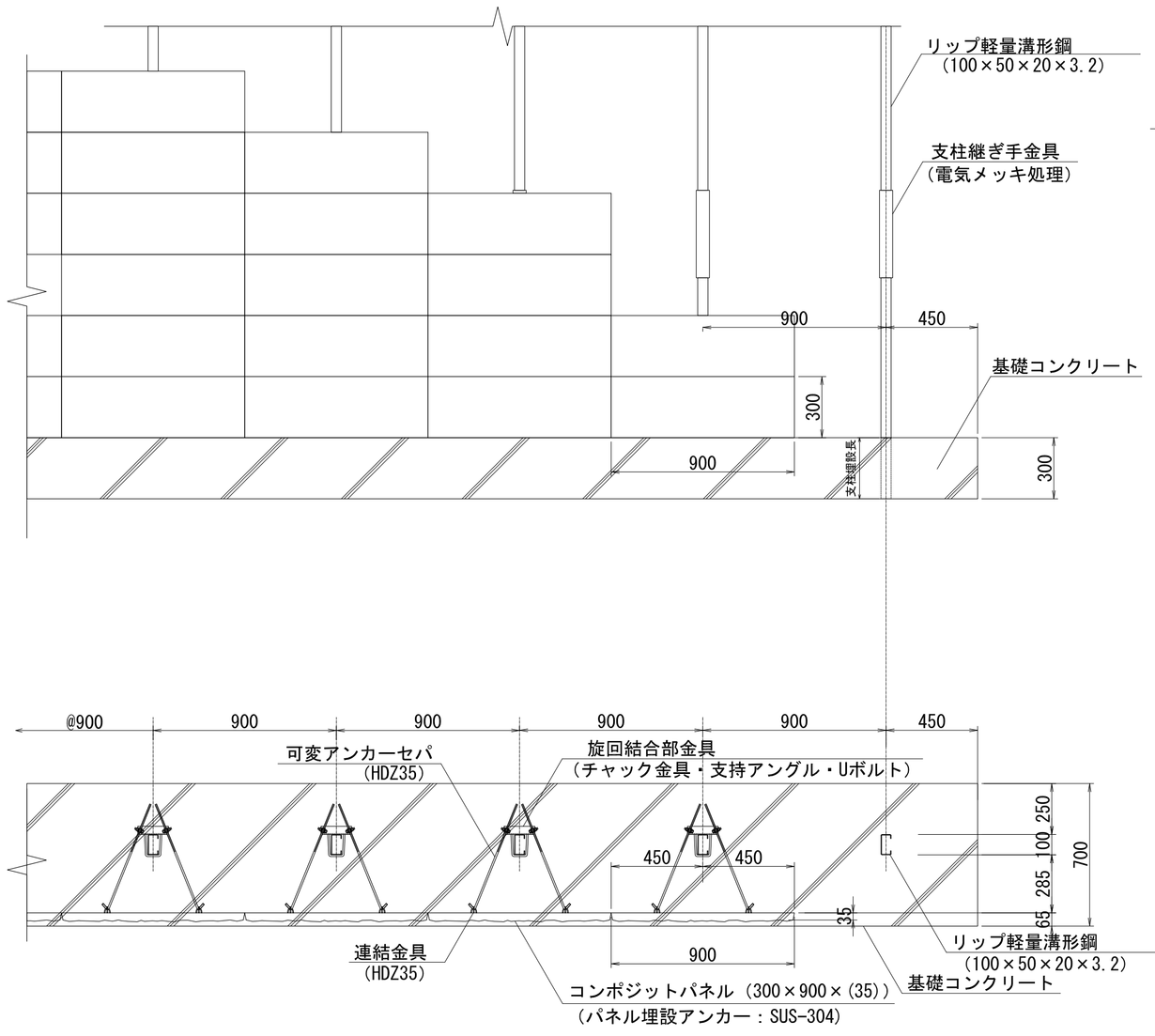
29/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	A1橋台 FCB工縦断図（その２）		
縮尺	1:100,1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

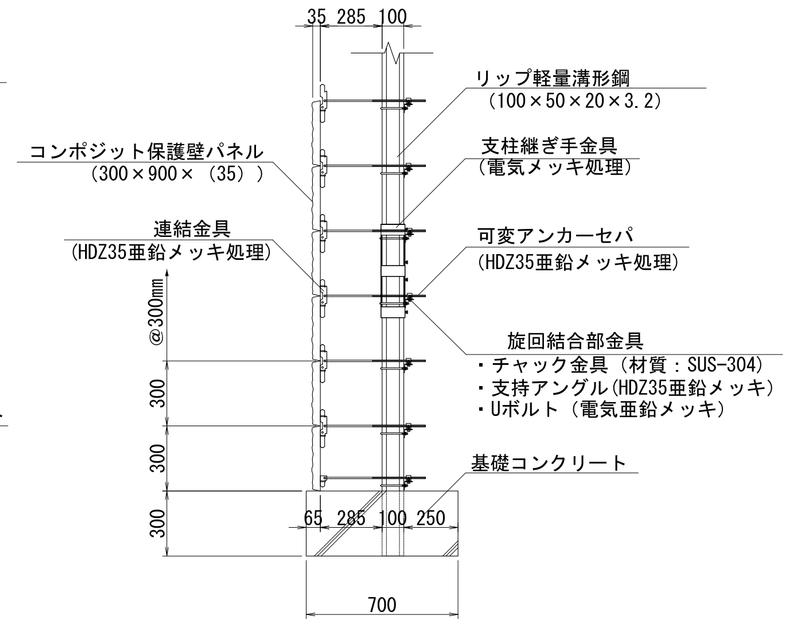
FCB工　壁面部詳細図

ＦＣＢ壁面材設置工標準図 S=1:20

〈展開図〉

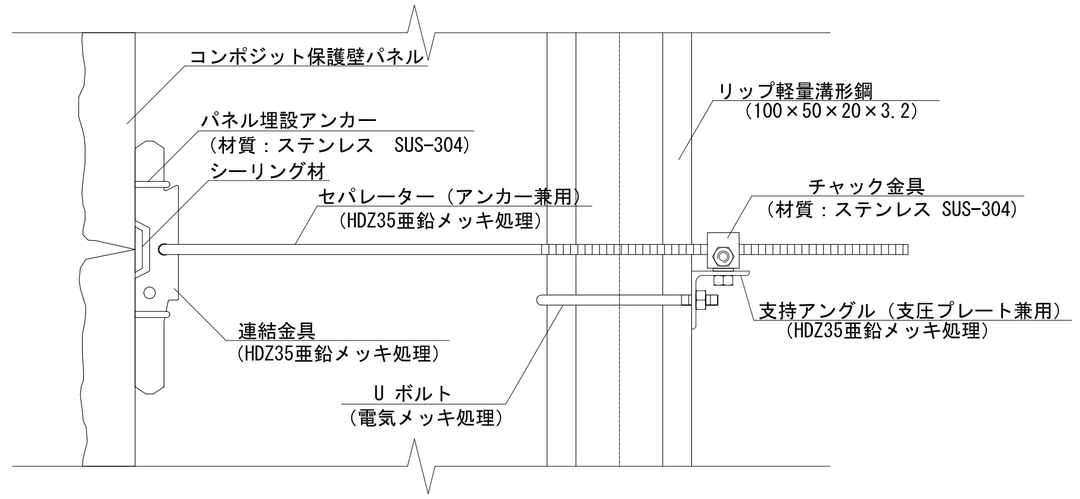


〈断面図〉

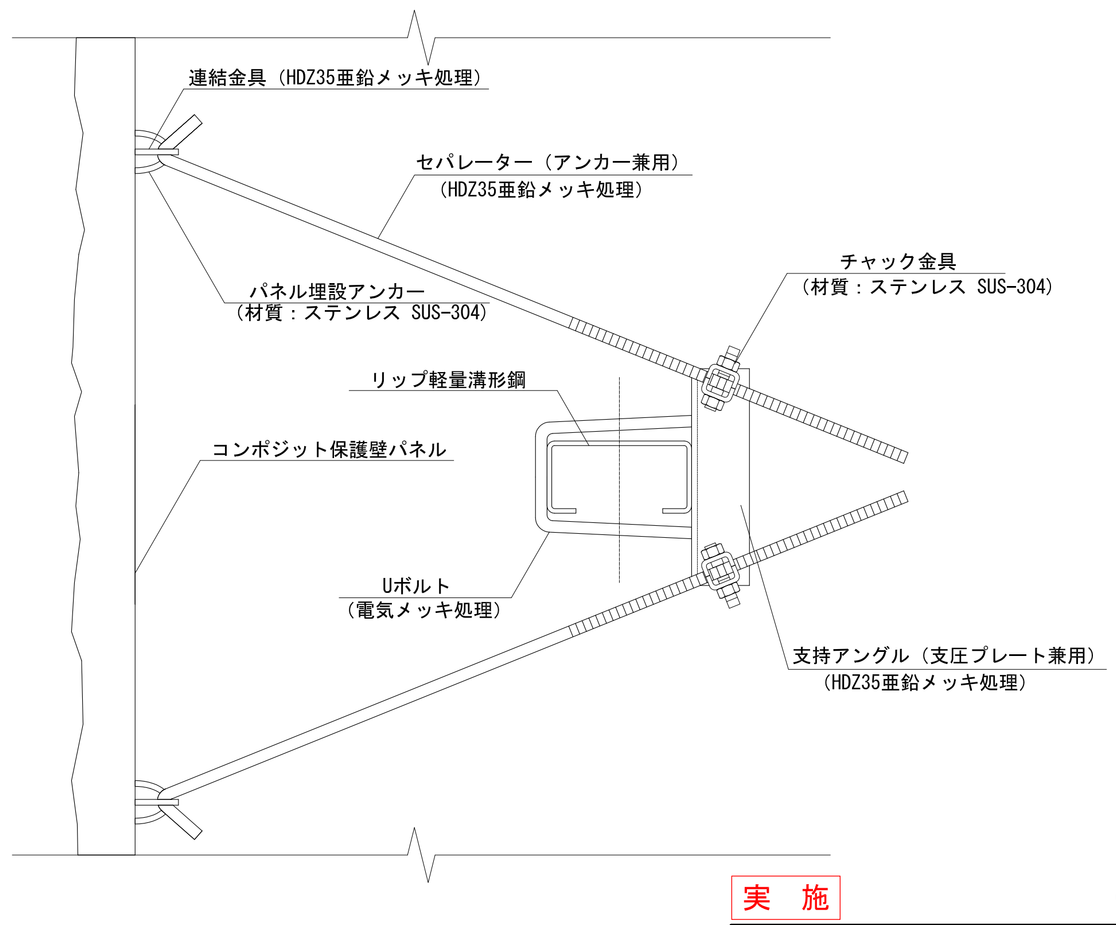


ＦＣＢ壁面材詳細図 S=1:2

断面詳細図



平面詳細図



材料表

保護壁

（1.00m2当たり）

品名	形状・寸法	単位	数量	壁面部材数量計算式(延長20m*高さ5m=100m2を基本とする)
①コンポジット保護壁パネル	300×900×（35）	枚	3.70	1.0/(0.3*0.9)
②可変アンカーセパ・連結金具	亜鉛メッキ（HDZ 35）	set	8.00	{壁面数量(m2)/0.27m2(1枚)*2組+施工延長(m)/0.45(m)}*1.02(ロス)
③旋回結合金具	チャック金具（SUS -304） 支持アングル（HDZ 35）	set	4.00	②数量/2
④支柱継手金具	電気亜鉛メッキ	set	0.37	1m(延長)/0.9(支柱設置間隔)*壁面数量(m2)/3.0(継手間隔)
⑤リップ軽量溝形鋼	100×50×20×3.2t	kg	6.80	{1m/0.9m*壁面数量(m2)+施工延長(m)/0.9m*0.3m(根入長)}*5.5kg/m*1.05(ロス)
⑥目地シーリング材	シリコンコーキング	ℓ	0.66	1m2当たり0.66ℓ(0.33ℓ*2本)使用

〈特記事項〉

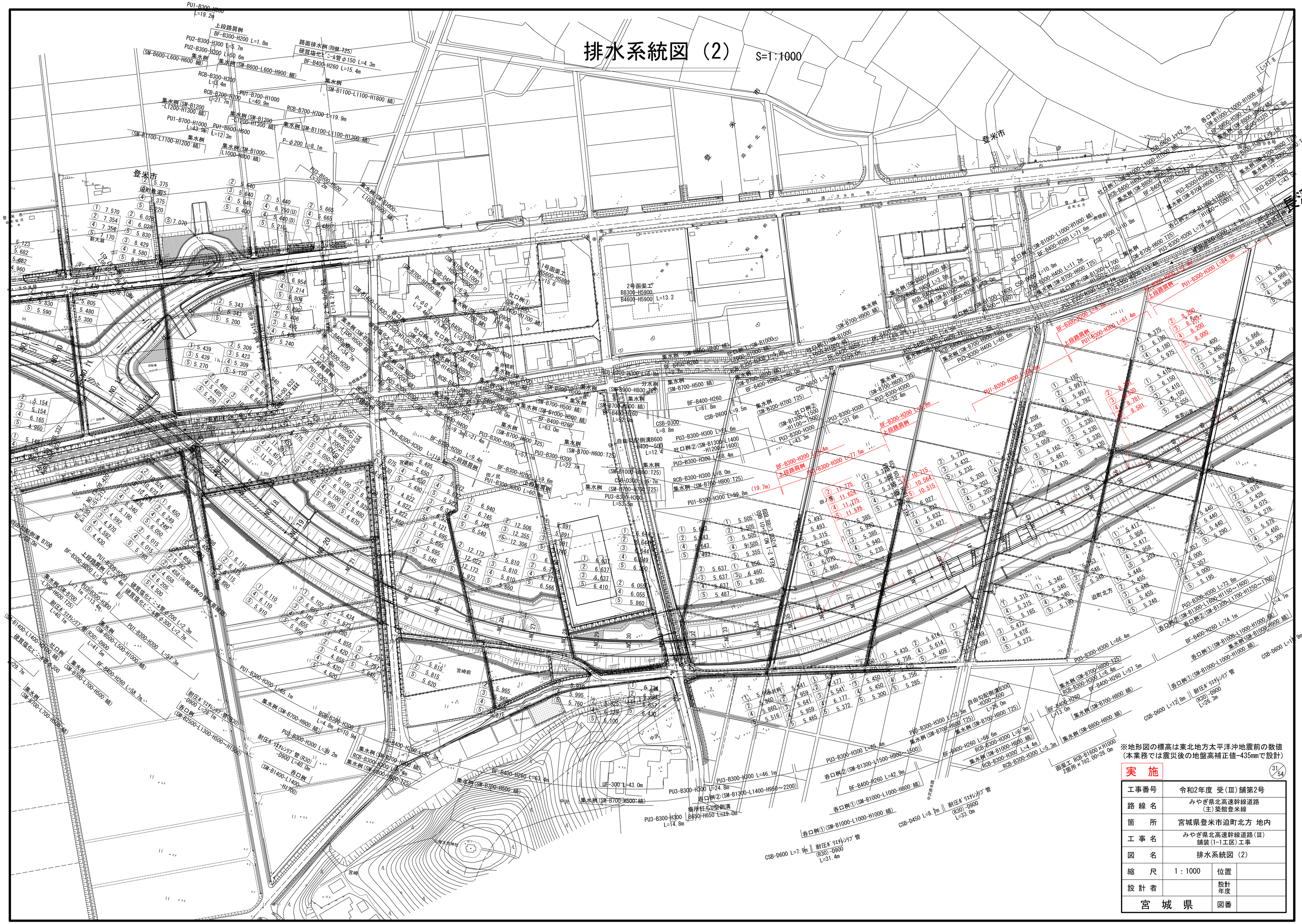
「ＦＣＢ工法設計・施工要領」（平成19年1月）を遵守するものとし、構造部材は、溶融亜鉛めっき（HDZ35）以上の防錆処理またはステンレス鋼材（SUS-304）を使用する。

実　施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	FCB工　壁面部詳細		
縮尺	1:20,1:2	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

排水系統図（2）

S=1:1000


登米市
迫町北方
長沼川
宮崎前
宮崎
中沢
国道398号
2号函渠工 B8300-H5900 B4600-H5900 L=13.2
1号函渠工 B5500-H5800 L=15.6
PU1-B300-H600 L=19.2m
PU2-B300-H300 L=5.7m
PU2-B300-H300 L=50.6m
RCB-B300-H300 L=3.4m
RCB-B700-H700 L=21.7m
PU1-B700-H1000 L=43.9m
PU1-B600-H600 L=12.3m
PU1-B700-H1000 L=40.9m
RCB-B700-H700 L=19.9m
P-φ200 L=8.1m
PU2-B500-H600 L=35.4m
PU1-B300-H300 L=57.3m
PU1-B300-H300 L=65.1m
PU1-B300-H300 L=54.2m
PU1-B300-H300 L=60.6m
PU1-B300-H300 L=21.4m
PU1-B300-H300 L=99.8m (19.7m)
PU1-B300-H300 L=84.9m
PU1-B300-H300 L=61.4m
PU1-B300-H300 L=77.5m
PU3-B300-H300 L=32.5m
PU3-B300-H300 L=65.4m
PU3-B300-H300 L=46.1m
PU3-B300-H300 L=24.8m
PU3-B300-H300 L=14.8m
PU3-B300-H300 L=53.5m
PU3-B300-H300 L=66.4m
PU3-B300-H300 L=51.6m
PU3-B300-H300 L=43.3m
PU3-B300-H300 L=58.4m
PU3-B300-H300 L=22.7m
PU3-B300-H300 L=57.7m
PU3-B300-H300 L=32.4m
PU3-B300-H600 L=73.8m
PU3-B300-H600 L=78.5m
PU3-B300-H600 L=45.5m
PU3-B300-H600 L=60.6m
PU3-B300-H600 L=60.6m
PU3-B300-H600 L=60.6

排水系統図（3）　S=1:1000

設計終点
No.70+0.0

※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

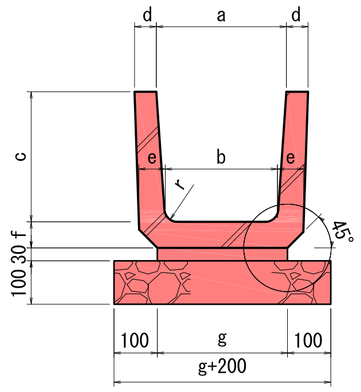
実　施

32/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	排水系統図（3）		
縮尺	1：1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

排　水　工　詳　細　図（1）

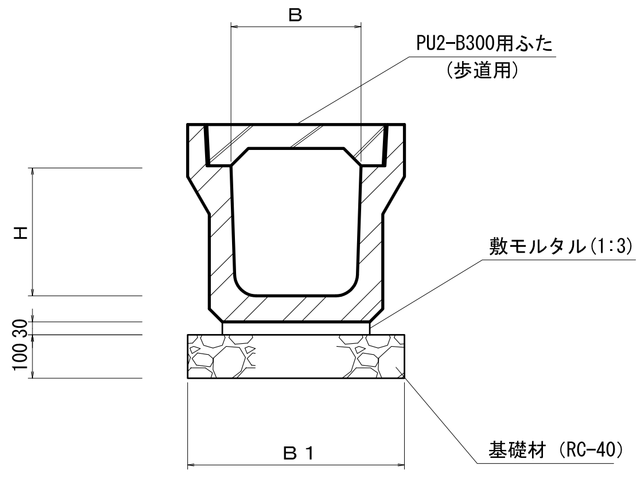
U型側溝（路肩排水用）



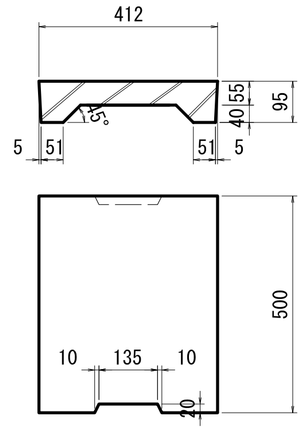
寸　法　表

種　別	a	b	c	d	e	f	g	r	L	摘　要
PU1-B300-H300	300	260	300	50	60	60	300	50	600	
PU1-B600-H600	600	540	600	70	80	80	600	70	600	

落蓋式U型側溝（歩道用）



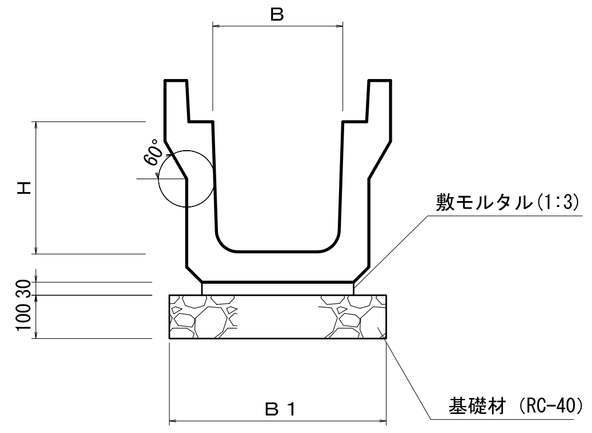
PU2-B300用ふた（歩道用）



寸　法　表

種　別	B	H	B 1	摘　要
PU2-B300-H300	300	300	500	歩道用

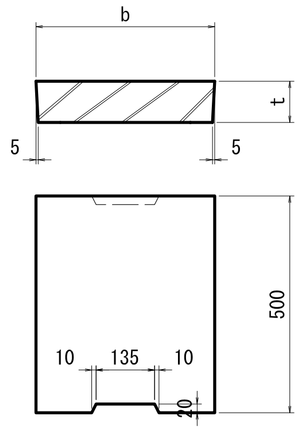
落蓋式U型側溝（車道用）



寸　法　表

種　別	呼び名	B	H	B 1	摘　要
PU3-B300-H300	300A	300	300	500	
PU3-B300-H400	300B	300	400	500	
PU3-B500-H500	500A	500	500	700	

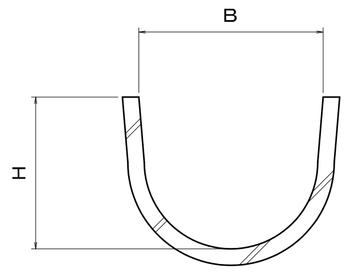
PU3用蓋（3種）（車道用）



寸　法　表

種　別	b	t	参考質量
PU3-B300-H300	412	95	45 kg/枚
PU3-B300-H400	412	95	45 kg/枚
PU3-B500-H500	622	125	92 kg/枚

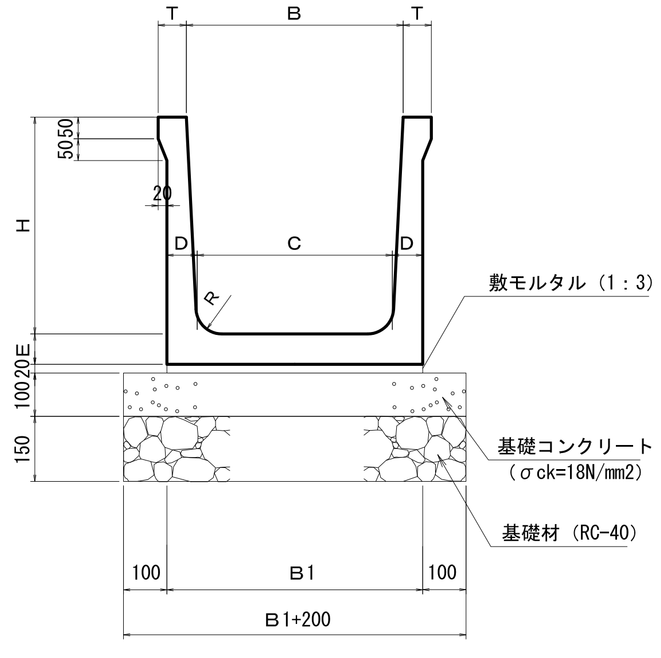
U型フリューム UF-（ ）



寸　法　表

種　別	B	H	摘　要
UF-300	310	275	

U型側溝 PU1-B（ ）-H（ ）

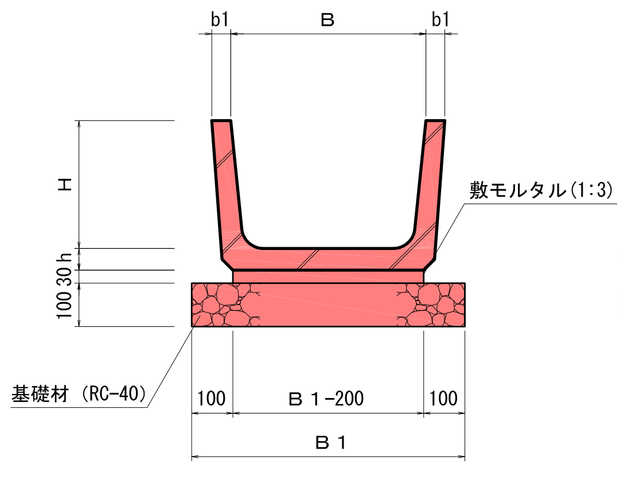


寸　法　表

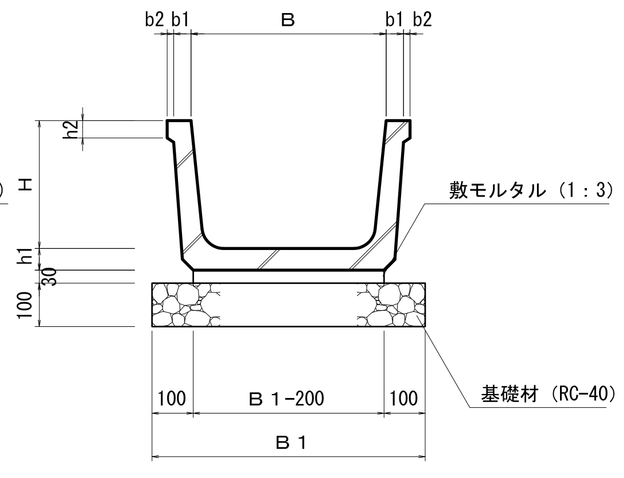
種　別	B	H	C	D	E	R	T	B 1	摘　要
PU1-B500-H500	500	500	450	70	70	60	65	590	
PU1-B700-H900	700	900	610	95	95	80	70	800	
PU1-B700-H1000	700	1000	600	100	100	100	70	800	

BF型側溝 BF-B（ ）-H（ ）

《縁なし》



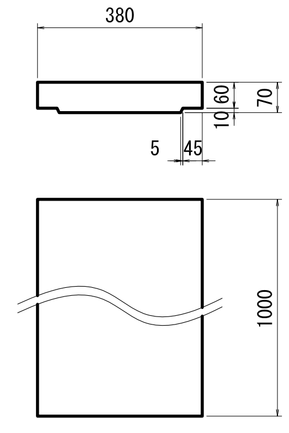
《縁あり》



寸　法　表

種　別	B	H	h1	h2	b1	b2	B 1	摘　要
BFⅡ-B300-H200	300	200	40	30	30	10	500	Ⅱ種
BFⅠ-B400-H260	400	260	50	40	40	15	600	Ⅰ種
BFⅠ-B500-H320	500	320	55	—	45	—	700	Ⅰ種
BFⅠ-B550-H355	550	355	60	—	45	—	750	Ⅰ種
BFⅠ-B600-H380	600	380	60	—	45	—	800	Ⅰ種

BFⅡ-B300用ふた



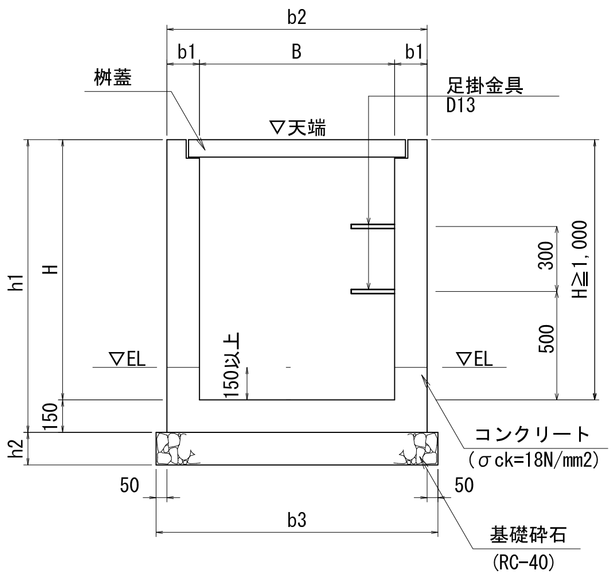
実　施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	排水工詳細図(1)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

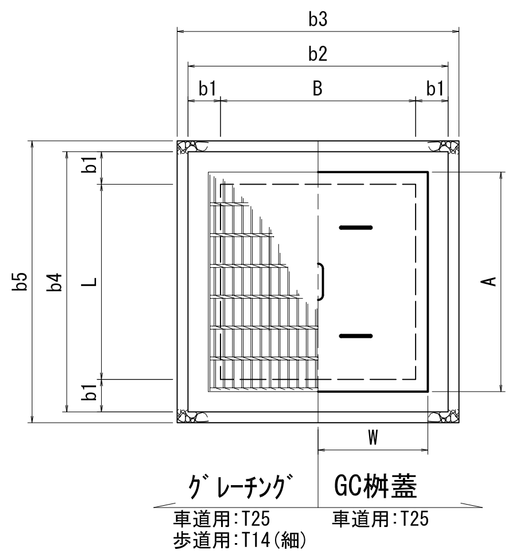
排 水 工 詳 細 図 (4)

集 水 桝 S=1:20
(G1:車道用/歩道用)

断 面 図

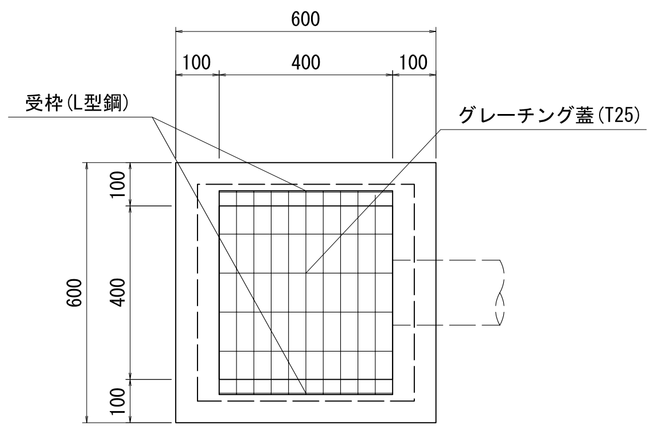


平 面 図

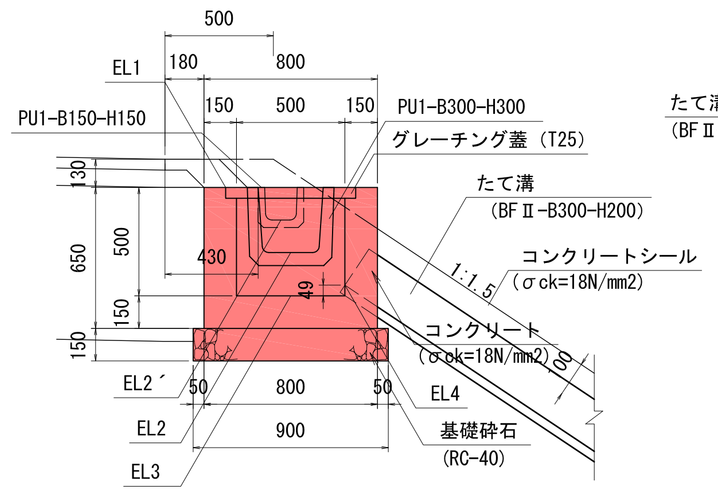


路面排水桝(RHM型:T25) S=1:10

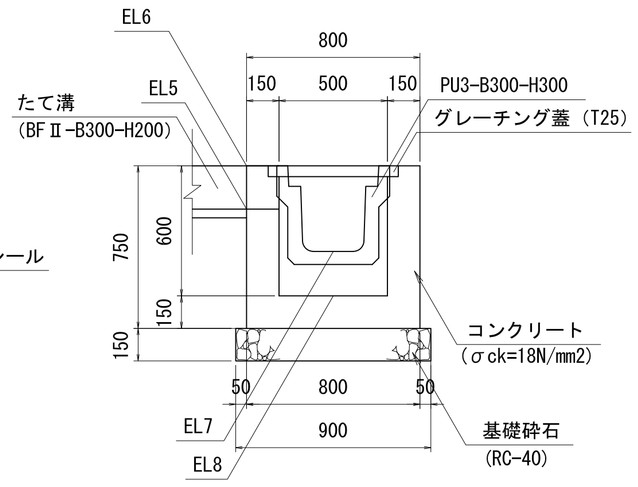
平 面 図



上段路肩桝 S=1:20
(A部詳細)

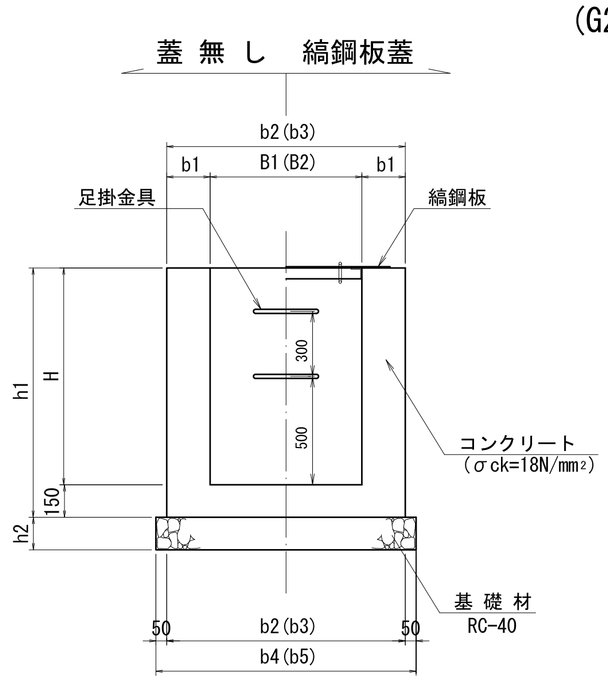


下段路肩桝 S=1:20

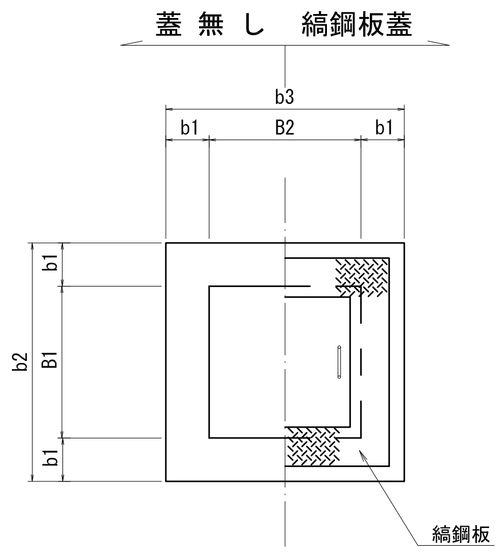


集 水 桝 S=1:20
(G2桝)

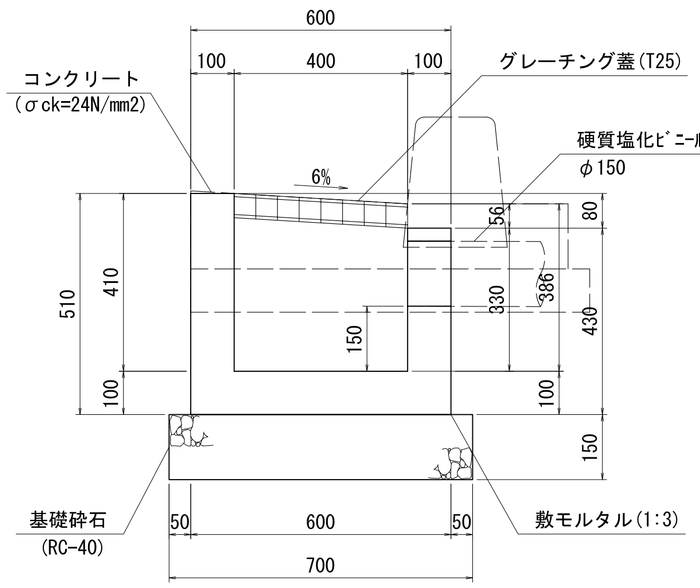
蓋 無 し 縞鋼板蓋



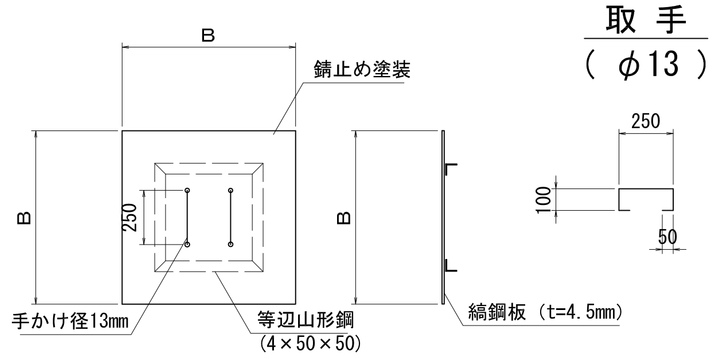
蓋 無 し 縞鋼板蓋



断 面 図

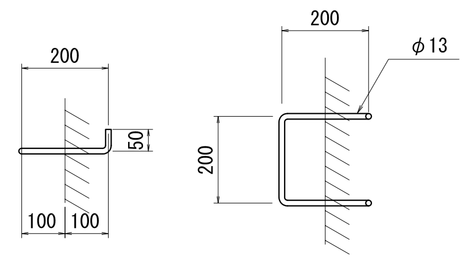


縞鋼板蓋 (1枚掛) S=1:20

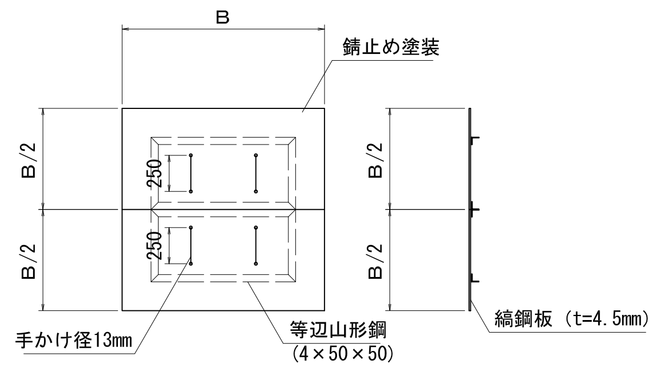


取 手 S=1:20
(φ13)

足掛金具 S=1:10



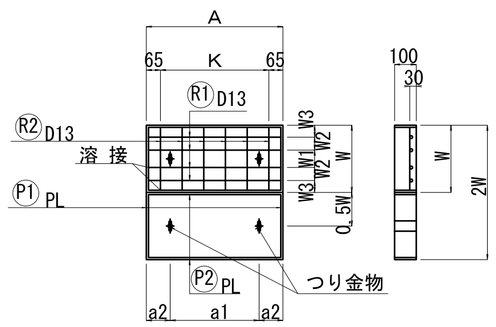
縞鋼板蓋 (2枚掛) S=1:30



縞鋼板蓋寸法表(mm)

桝寸法	寸 法		摘要
	B	B/2	
500×500用	800	—	
600×600用	900	—	
700×700用	1000	—	
800×800用	1100	—	
1000×1000用	1400	—	
1100×1100用	1500	750	2枚掛
1200×1200用	1600	800	2枚掛
1400×1400用	1800	900	2枚掛
1500×1500用	1900	950	2枚掛

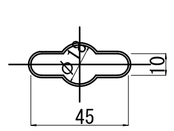
GC型街渠桝蓋 S=1:20



GC型街渠桝蓋寸法表(mm)

桝寸法	寸 法								摘要
	A	W	K	W1	W2	W3	a1	a2	
GC-B500-L500	630	310	500(=5×100)	80	60	55	410	110	
GC-B600-L600	730	360	600(=6×100)	80	70	70	510	110	
GC-B700-L700	830	410	700(=7×100)	100	80	75	390	220	
GC-B800-L800	930	460	800(=8×100)	100	100	80	490	220	
GC-B900-L900	1030	510	900(=9×100)	240	70	65	590	220	

つり金具詳細図 S=1:5



実 施

34/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	排水工詳細図(4)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

排 水 工 詳 細 図 (6)

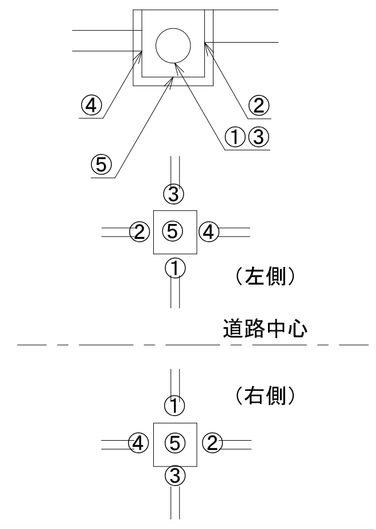
【本線-左側(NO.32～NO.70)】

測点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	排水構造物及び設置高 ①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.42+8.3	L	500	500	500	-	12.075	-	PU1-B300-H300 11.775	BF-B300-H200 11.624	PU1-B300-H300 11.775	11.575	上段路肩桝
No.39+18.5	L	500	500	500	-	11.015	-	PU1-B300-H300 10.715	BF-B300-H200 10.564	-	10.515	上段路肩桝
No.46+7.5	L	500	500	500	-	9.081	-	PU1-B300-H300 8.781	BF-B300-H200 8.630	PU1-B300-H300 8.781	8.581	上段路肩桝
No.49+9.4	L	500	500	500	-	8.500	-	PU1-B300-H300 8.200	BF-B300-H200 8.049	PU1-B300-H300 8.200	8.000	上段路肩桝
No.53+15.0	L	500	500	500	-	9.756	-	PU1-B300-H300 9.456	BF-B300-H200 9.305	PU1-B300-H300 9.456	9.256	上段路肩桝
No.57+0.0	L	500	500	500	-	11.232	-	PU1-B300-H300 10.932	BF-B300-H200 10.781	PU1-B300-H300 10.932	10.732	上段路肩桝
No.63+0.0	L	500	500	500	-	13.956	-	PU1-B300-H300 13.656	BF-B300-H200 13.505	PU1-B300-H300 13.656	13.456	上段路肩桝
No.67+12.5	L	500	500	500	-	16.420	-	PU1-B300-H300 16.120	BF-B300-H200 15.969	PU1-B300-H300 16.120	15.920	上段路肩桝
No.34+16.4	L	1300	1400	1200	1600		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.541	PU3-B300-H300 6.177	CSB-D600 5.541	PU3-B300-H300 6.177	5.372	側道路肩桝(吐口桝)
No.36+0.0	L	700	700	700	-	T25 6.565	BF-B300-H200 6.265	PU3-B300-H300 6.070	-	PU3-B300-H300 6.070	5.865	側道路肩桝
No.38+5.5	L	1300	1500	1100	1500		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.385	PU3-B300-H300 5.940	CSB-D600 5.385	PU3-B300-H300 5.940	5.235	側道路肩桝(吐口桝)
No.39+18.5	L	700	700	600	-	T25 6.227	BF-B300-H200 6.027	PU3-B300-H300 5.832	-	PU3-B300-H300 5.832	5.627	側道路肩桝
No.41+11.8	L	700	700	900	-	T25 6.132	-	PU3-B300-H300 5.737	RCB-B400-H400 5.432	-	5.232	側道路肩桝
No.42+13.1	L	700	700	900	-	T25 4.970	-	-	RCB-B400-H400 5.162	PU3-B300-H300 5.467	4.970	側道路肩桝
No.45+15.1	L	1300	1600	1200	1600		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.357	PU3-B300-H300 6.000	CSB-D600 5.357	PU3-B300-H300 6.000	5.195	側道路肩桝(吐口桝)
No.46+7.5	L	700	700	600	-	T25 5.792	BF-B300-H200 6.192	PU3-B300-H300 5.997	-	PU3-B300-H300 5.997	5.792	側道路肩桝
No.49+6.8	L	1300	1700	1350	1750		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.410	PU3-B300-H300 6.150	CSB-D600 5.410	PU3-B300-H300 6.150	5.255	側道路肩桝(吐口桝)
No.49+9.4	L	700	700	600	-	T25 5.975	BF-B300-H200 6.375	PU3-B300-H300 6.180	-	PU3-B300-H300 6.180	5.975	側道路肩桝
No.53+9.3	L	1300	1800	1000	1500		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.576	PU3-B300-H300 5.998	CSB-D600 5.576	PU3-B300-H300 5.998	5.393	側道路肩桝(吐口桝)
No.53+15.0	L	700	700	600	-	T25 5.763	BF-B300-H200 6.163	PU3-B300-H300 5.968	-	PU3-B300-H300 5.968	5.763	側道路肩桝
No.54+2.4	L	700	700	800	-	T25 6.380	-	PU3-B300-H300 5.985	RCB-B300-H300 5.780	PU3-B300-H300 5.985	5.580	側道路肩桝
No.56+8.7	L	700	700	600	-	T25 6.170	BF-B300-H200 6.375	PU3-B300-H300 6.375	-	PU3-B300-H300 6.375	6.170	側道路肩桝
No.57+0.0	L	700	700	600	-	T25 6.091	BF-B300-H200 6.691	PU3-B300-H300 6.496	-	PU3-B300-H300 6.496	6.091	側道路肩桝
No.57+7.7	L	700	700	800	-	T25 6.162	-	PU3-B300-H300 6.349	RCB-B400-H400 6.349	PU3-B300-H300 6.349	6.162	側道路肩桝

【本線-左側(NO.32～NO.70)】

測点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	排水構造物及び設置高 ①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.34+16.4	L	1300	1400	1200	1600		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.541	PU3-B300-H300 6.117	CSB-D600 5.541	PU3-B300-H300 6.117	5.372	吐口桝
No.35+1.8	L	1000	1000	1000	-	6.355	CSB-D600 5.505	BF-B400-H260 5.505	既設用水路 5.505	RCB-B300-H300 5.505	5.355	吐口桝(流末)
No.35+8.7	L	700	700	800	-	縞 6.115	-	RCB-B300-H300 5.493	-	BF-B400-H260 5.493	5.315	
No.38+5.5	L	1300	1500	1100	1500		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.385	PU3-B300-H300 5.940	CSB-D600 5.385	PU3-B300-H300 5.940	5.235	吐口桝
No.38+11.6	L	1000	1000	1000	-	6.220	CSB-D600 5.370	BF-B400-H260 5.385	既設用水路 5.370	BF-B400-H260 5.385	5.220	吐口桝(流末)
No.41+11.8	L	700	700	900	-	縞 5.941	RCB-B400-H400 5.203	BF-B400-H260 5.203	-	BF-B400-H260 5.203	5.103	
No.42+0.5	L	800	800	900	-	縞 5.928	BF-B400-H260 5.178	-	-	RCB-B400-H400 5.178	5.028	流末
No.42+13.6	L	1000	1000	900	-	縞 5.959	RCB-B400-H400 5.209	RCB-B400-H400 5.209	-	BF-B400-H260 5.209	5.059	流末
No.45+15.1	L	1300	1600	1200	1600		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.357	PU3-B300-H300 6.000	CSB-D600 5.357	PU3-B300-H300 6.000	5.195	吐口桝
No.46+3.2	L	1000	1000	1000	-	6.130	CSB-D600 5.330	BF-B400-H260 5.330	既設用水路 5.330	BF-B400-H260 5.330	5.130	吐口桝(流末)
No.49+6.8	L	1300	1700	1350	1750		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.410	PU3-B300-H300 6.150	CSB-D600 5.410	PU3-B300-H300 6.150	5.255	吐口桝
No.49+15.2	L	1000	1000	1000	-	6.250	CSB-D600 5.400	BF-B400-H260 5.465	既設用水路 5.400	RCB-B400-H400 5.400	5.250	吐口桝(流末)
No.50+4.2	L	800	800	900	-	縞 6.616	-	RCB-B400-H400 5.866	-	BF-B400-H260 5.866	5.716	
No.53+9.3	L	1300	1800	1000	1500		ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.576	PU3-B300-H300 5.998	CSB-D600 5.576	PU3-B300-H300 5.998	5.393	呑口桝
No.53+19.3	L	1000	1000	1000	-	6.384	CSB-D600 5.584	BF-B400-H260 5.706	-	BF-B600-H380 5.706	5.384	呑口桝
No.54+2.3	L	800	800	800	-	縞 6.320	RCB-B300-H300 5.720	BF-B600-H380 5.720	-	BF-B500-H320 5.720	5.520	
No.57+7.4	L	700	700	900	-	縞 6.601	RCB-B400-H400 5.851	BF-B500-H320 5.851	-	-	5.701	
No.57+13.5	L	700	700	800	-	縞 7.020	-	RCB-B300-H300 6.370	-	BF-B400-H260 6.370	6.220	
No.63+0.0	L	700	700	500	-	縞 7.060	BF-B300-H200 6.860	BF-B400-H260 6.795	-	BF-B400-H260 6.795	6.560	
No.67+12.5	L	700	700	500	-	縞 7.240	BF-B300-H200 7.040	BF-B400-H260 6.978	-	BF-B400-H260 6.978	6.740	
No.69+7.1	L	700	700	500	-	縞 7.330	-	-	BF-B400-H260 7.063	BF-B400-H260 7.063	6.830	
No.69+16.4	L	700	700	500	-	縞 7.330	BF-B400-H260 7.064	BF-B400-H260 7.064	-	BF-B400-H260 7.064	6.830	

桝高表示案内図



※P-φ：ｺﾙｹﾞｰﾄ管 (円形1形)
※ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ：耐圧ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 (R30)
※CSB：CSB管 (Ⅰ型)

実 施

35/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	排水工詳細図(6)		
縮尺	-	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

排 水 工 詳 細 図 (7)

【本線-右側(NO.0～NO.32)】

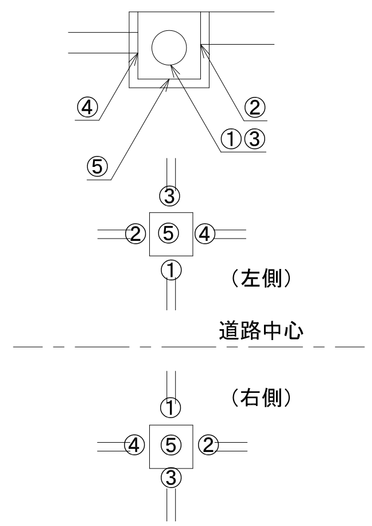
測 点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.6+0.0	R	500	500	500	-	6.284	-	PU1-B300-H300 5.984	-	BF-B300-H200 5.833	- 5.784	上段路肩桝
No.15+8.0	R	500	500	500	-	11.124	-	PU1-B300-H300 10.824	-	BF-B300-H200 10.673	- 10.624	上段路肩桝
No.6+0.0	R	600	600	800	-	細 6.125	BF-B300-H200 5.925	PU2-B300-H300 5.730	-	RCB-B300-H300 5.525	自由勾配側溝B300 5.575 5.325	歩道路肩桝
No.15+7.9	R	700	700	600	-	T25 6.650	BF-B300-H200 6.450	PU3-B300-H300 6.249	-	-	PU3-B300-H300 6.249 6.050	側道路肩桝
No.1+16.2	R	1400	1400	1500	-	縞 6.010	-	自由勾配側溝B1000 4.688	-	既設用排水路 4.710	自由勾配側溝B1000 4.688 4.510	既設用排水路に接続
No.4+13.8	R	1400	1400	1400	-	縞 5.978	-	自由勾配側溝B1000 4.798	-	既設用水路 ※5.420	自由勾配側溝B1000 4.798 4.578	分水桝 (既設用水路に接続)
No.6+0.0	R	1400	1400	1300	-	縞 6.095	RCB-B300-H300 5.470	自由勾配側溝B1000 4.915	-	-	自由勾配側溝B1000 4.915 4.770	
No.7+18.0	R	1200	1200	1300	-	6.090	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD600 5.055	PU1-B700-H1000 5.020	-	-	自由勾配側溝B1000 5.020 4.790	吐口桝①
No.10+19.6	R	1000	1000	1100	-	5.370	-	PU1-B700-H900 4.461	-	-	既設暗渠管 ※4.461 4.270	既設排水管に接続 (現地にて要確認)
No.11+6.8	R	1200	1200	1300	-	縞 6.280	RCB-B700-H700 5.148	-	-	-	PU1-B700-H1000 5.148 4.980	
No.11+7.3	R	1200	1200	1600	-	縞 6.560	-	自由勾配側溝B700 5.154	-	RCB-B700-H700 5.154	PU2-B300-H300 6.165 4.960	
No.14+2.7	R	1400	1400	1500	-	縞 5.930	-	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.592	-	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 4.970	PU1-B700-H900 4.592 4.430	
No.14+6.4	R	700	700	1000	-	縞 6.190	-	BF-B400-H260 5.926	-	-	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.340 5.190	
No.15+17.3	R	700	700	500	-	縞 6.280	-	既設用水路 6.015	-	-	BF-B400-H260 6.015 5.780	既設用水路に接続
No.16+2.1	R	1400	1400	2100	-	縞 6.600	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.658	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.392	既設用排水管VPφ200 ※5.458	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.658	PU3-B300-H300 6.205 4.500	吐口桝 (既設用排水管に接続)
No.16+5.8	R	500	500	1000	-	縞 6.200	-	PU1-B300-H300 5.898	-	-	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.400 5.200	既設用水路に接続
No.16+6.6	R	700	700	500	-	縞 6.380	BF-B400-H260 6.115	既設用水路 6.115	-	-	既設用水路 6.115 5.880	既設用水路に接続
No.19+2.9	R	2500	1300	500	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 6.110	-	-	-	BF-B400-H260 6.110 5.910	吞口桝
No.22+6.6	R	700	700	900	-	縞 6.180	-	RCB-B300-H300 5.434	-	-	PU1-B300-H300 5.873 5.280	
No.22+12.0	R	1400	1400	1700	-	縞 6.320	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.855	RCB-B300-H300 5.420	-	既設排水路 4.855	RCB-B300-H300 5.420 4.620	吞口桝 (既設排水路に接続)
No.23+3.2	R	800	800	800	-	T25 6.445	-	-	-	RCB-B300-H300 5.797	RCB-B300-H300 5.797 5.645	
No.23+6.1	R	700	700	800	-	縞 6.420	RCB-B300-H300 5.815	BF-B400-H260 5.815	-	-	- 5.620	
No.25+16.0	R	700	700	500	-	縞 6.315	-	BF-B400-H260 5.965	-	既設用水路 5.965	BF-B400-H260 5.965 5.815	既設用水路に接続
No.28+16.6	R	700	700	500	-	縞 6.600	-	UF-300 6.325	-	-	BF-B400-H260 6.325 6.100	
No.7+18.0	R	1000	1400	1800	2300	6.693	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.070	PU2-B300-H300 6.298	-	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD600 5.070	PU2-B300-H300 6.298 4.893	吐口桝②

(※：現地にて既設管高 要確認)

【本線-右側(NO.32～NO.70)】

測 点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.34+2.9	R	1300	1400	950	2200	6.415	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.641	PU3-B300-H300 5.959	CSB-D600 5.641	PU3-B300-H300 5.959	5.465	側道路肩桝(吞口桝)
No.37+7.1	R	1300	1500	900	1500	6.185	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.435	PU3-B300-H300 5.756	CSB-D450 5.435	PU3-B300-H300 5.756	5.285	側道路肩桝(吞口桝)
No.39+0.0	R	700	700	600	-	T25 6.009	-	自由勾配側溝B300 5.614	-	PU3-B300-H300 5.614	5.409	側道路肩桝
No.40+6.8	R	700	700	800	-	T25 6.073	-	-	RCB-B300-H300 5.473	自由勾配側溝B300 5.678	5.273	側道路肩桝
No.41+11.6	R	700	700	800	-	T25 6.148	-	PU3-B300-H300 5.753	RCB-B300-H300 5.548	-	5.348	側道路肩桝
No.44+18.2	R	1300	1600	1150	1600	6.353	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.417	PU3-B300-H300 5.958	CSB-D600 5.417	PU3-B300-H300 5.958	5.203	側道路肩桝(吞口桝)
No.48+13.1	R	1300	1700	1250	1700	6.528	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.428	PU3-B300-H300 6.075	CSB-D600 5.428	PU3-B300-H300 6.075	5.278	側道路肩桝(吞口桝)
No.51+17.6	R	700	700	800	-	T25 6.063	-	PU3-B300-H300 5.668	RCB-B300-H300 5.463	PU3-B300-H300 5.668	5.263	側道路肩桝
No.52+11.2	R	1300	1700	950	1500	6.331	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.560	PU3-B300-H300 5.894	CSB-D450 5.560	PU3-B300-H300 5.894	5.381	側道路肩桝(吞口桝)
No.56+8.7	R	700	700	600	-	T25 7.180	PU3-B300-H300 6.785	-	-	PU3-B300-H300 6.785	6.580	側道路肩桝
No.33+19.1	R	1000	1000	1000	-	6.516	CSB-600 5.666	既設用水路 5.860	-	既設用水路 5.860	5.516	吞口桝
No.34+2.9	R	1300	1400	950	2200		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.641	PU3-B300-H300 5.959	CSB-600 5.641	PU3-B300-H300 5.959	5.465	吞口桝
No.37+1.6	R	1000	1000	800	-	6.100	CSB-450 5.641	BF-B400-H260 5.450	既設用水路 5.450	BF-B400-H260 5.450	5.300	吞口桝
No.37+7.1	R	1300	1500	900	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.435	PU3-B300-H300 5.756	CSB-450 5.435	PU3-B300-H300 5.756	5.285	吞口桝
No.40+7.2	R	1000	1000	800	-	縞 5.899	RCB-B300-H300 5.249	RCB-B300-H300 5.249	-	BF-B400-H260 5.249	5.099	流末
No.41+0.2	R	800	800	800	-	縞 5.965	BF-B400-H260 5.315	-	-	RCB-B300-H300 5.315	5.165	流末
No.41+11.8	R	700	700	800	-	縞 5.990	RCB-B300-H300 5.340	BF-B400-H260 5.340	-	BF-B400-H260 5.340	5.190	
No.44+9.2	R	1000	1000	1000	-	6.248	CSB-600 5.448	BF-B400-H260 5.455	既設用水路 5.448	BF-B400-H260 5.455	5.248	吞口桝
No.44+18.2	R	1300	1600	1150	1600		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.417	PU3-B300-H300 5.958	CSB-600 5.417	PU3-B300-H300 5.958	5.203	吞口桝
No.48+4.2	R	1000	1000	1000	-	6.290	CSB-600 5.440	RCB-B400-H400 5.440	既設用水路 5.440	-	5.290	吞口桝
No.48+13.1	R	1300	1700	1250	1700		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.428	PU3-B300-H300 6.075	CSB-600 5.428	PU3-B300-H300 6.075	5.278	吞口桝
No.48+9.5	R	1000	1000	900	-	縞 6.200	BF-B400-H260 5.578	-	-	RCB-B400-H400 5.450	5.300	
No.51+17.6	R	700	700	900	-	縞 6.020	RCB-B300-H300 5.311	BF-B400-H260 5.575	-	BF-B400-H260 5.575	5.120	
No.52+3.1	R	1000	1000	800	-	6.203	CSB-450 5.553	BF-B600-H380 5.565	既設用水路 5.553	BF-B400-H260 5.565	5.403	吐口桝(流末)
No.52+11.2	R	1300	1700	950	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.560	PU3-B300-H300 5.894	CSB-450 5.560	PU3-B300-H300 5.894	5.381	吐口桝
No.53+16.7	R	800	800	600	-	縞 6.000	-	BF-B550-H355 5.620	既設用水路 5.620	BF-B600-H380 5.620	5.400	既設用水路に接続
No.55+14.1	R	800	800	1200	-	縞 6.691	-	RCB-B500-H500 5.861	-	BF-B550-H355 5.731	5.491	
No.55+17.3	R	800	800	1000	-	T25 7.180	BF-B550-H355 6.710	-	-	RCB-B500-H500 6.330	6.180	
No.56+14.4	R	900	900	600	-	T25 7.225	-	BF-B500-H320 6.775	既設用水路 6.775	BF-B550-H355 6.775	6.625	既設用水路に接続
No.63+0.0	R	700	700	500	-	縞 8.620	-	BF-B400-H260 7.356	-	BF-B500-H320 7.296	7.116	
No.69+7.3	R	700	700	500	-	縞 7.360	-	BF-B400-H260 7.093	BF-B400-H260 7.093	-	6.860	
No.69+16.3	R	700	700	500	-	縞 7.350	BF-B400-H260 7.090	-	-	BF-B400-H260 7.090	6.850	

桝高表示案内図



※P-φ：ｺﾙｹﾞｰﾄ管 (円形1形)
※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ：耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 (R30)
※CSB：CSB管 (Ⅰ型)

実 施

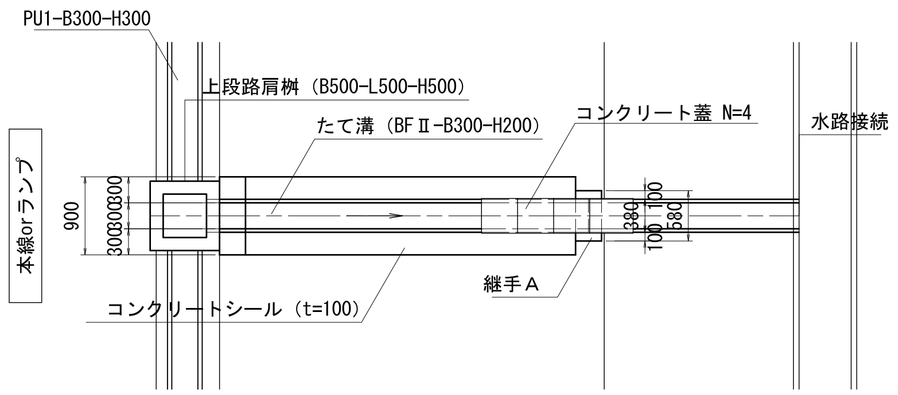
36/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	排水工詳細図(7)		
縮尺	-	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

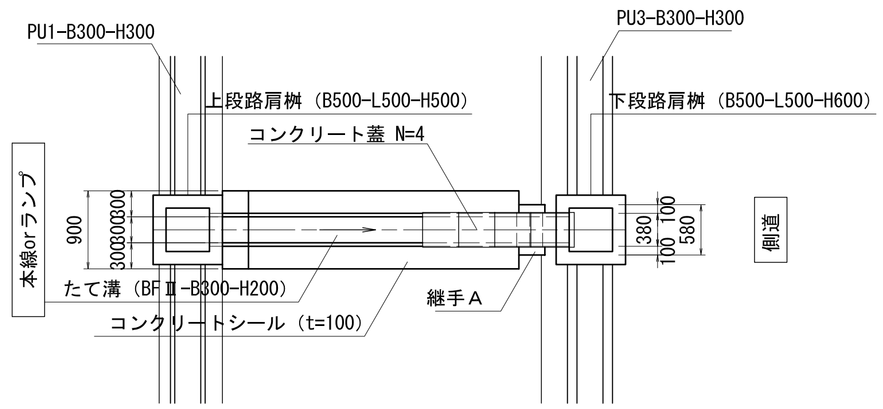
排　水　工　詳　細　図（10）

路肩排水工　S=1:10

平　面　図
上段路肩桝⇒たて溝⇒水路接続

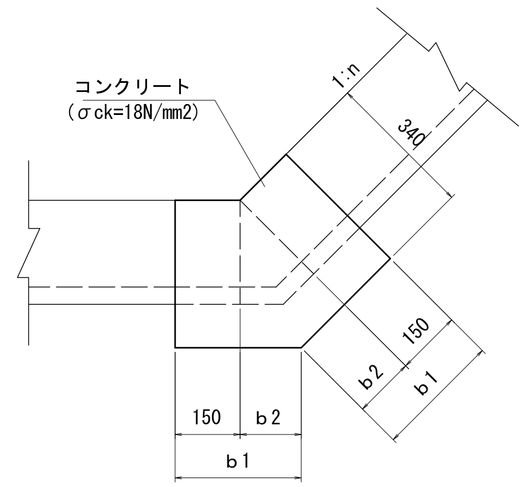


平　面　図
上段路肩桝⇒たて溝⇒下段路肩桝

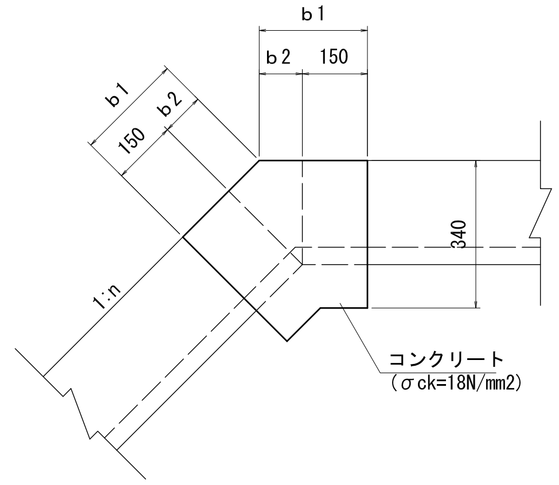


継手コンクリート（BF300用）詳細図　S=1:10

A,C,Dタイプ



Bタイプ



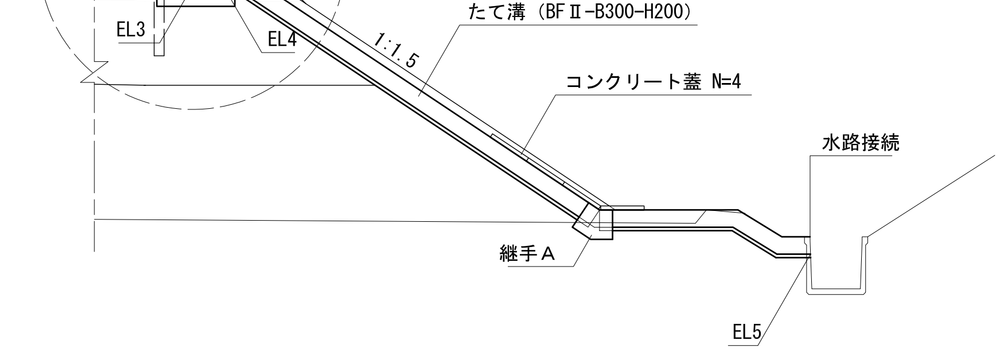
寸 法 表(BFⅡ-B300-H200)

タイプ	b1	b2	摘　　要
A	253	103	1:1.5
C	238	88	1:1.8
D	235	85	1:1.5

寸 法 表(BFⅡ-B300-H200)

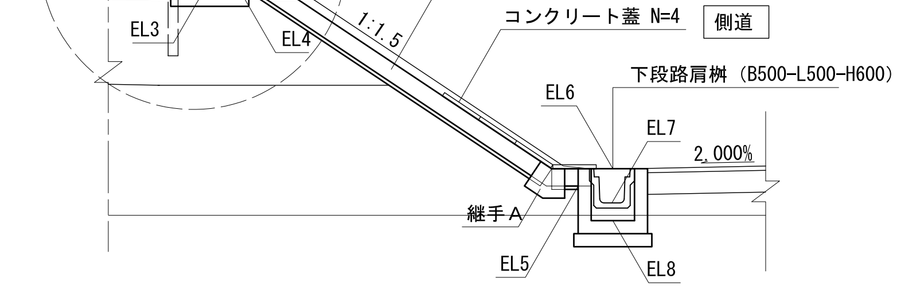
タイプ	b1	b2	摘　　要
B	200	50	1:1.8

断　面　図
上段路肩桝⇒たて溝⇒水路接続



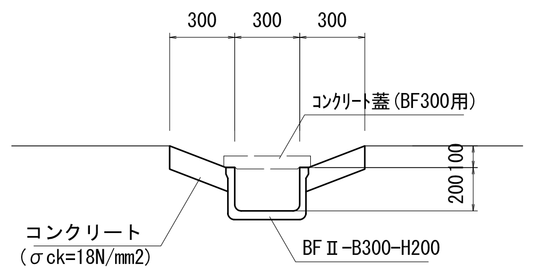
※ 接続水路が600×600以上（法尻側溝）の場合は直接接続

断　面　図
上段路肩桝⇒たて溝⇒下段路肩桝

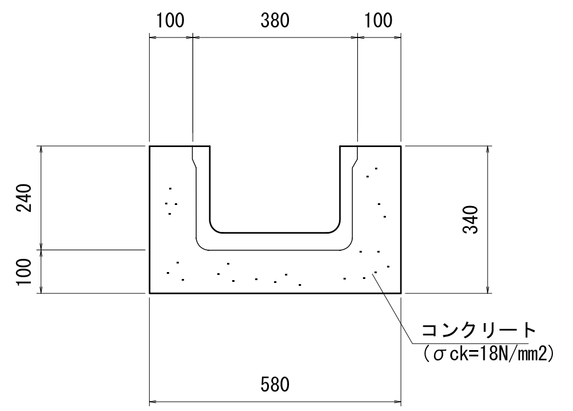


※ PU3-B300-H300とのみ接続の場合は下段路肩桝設置

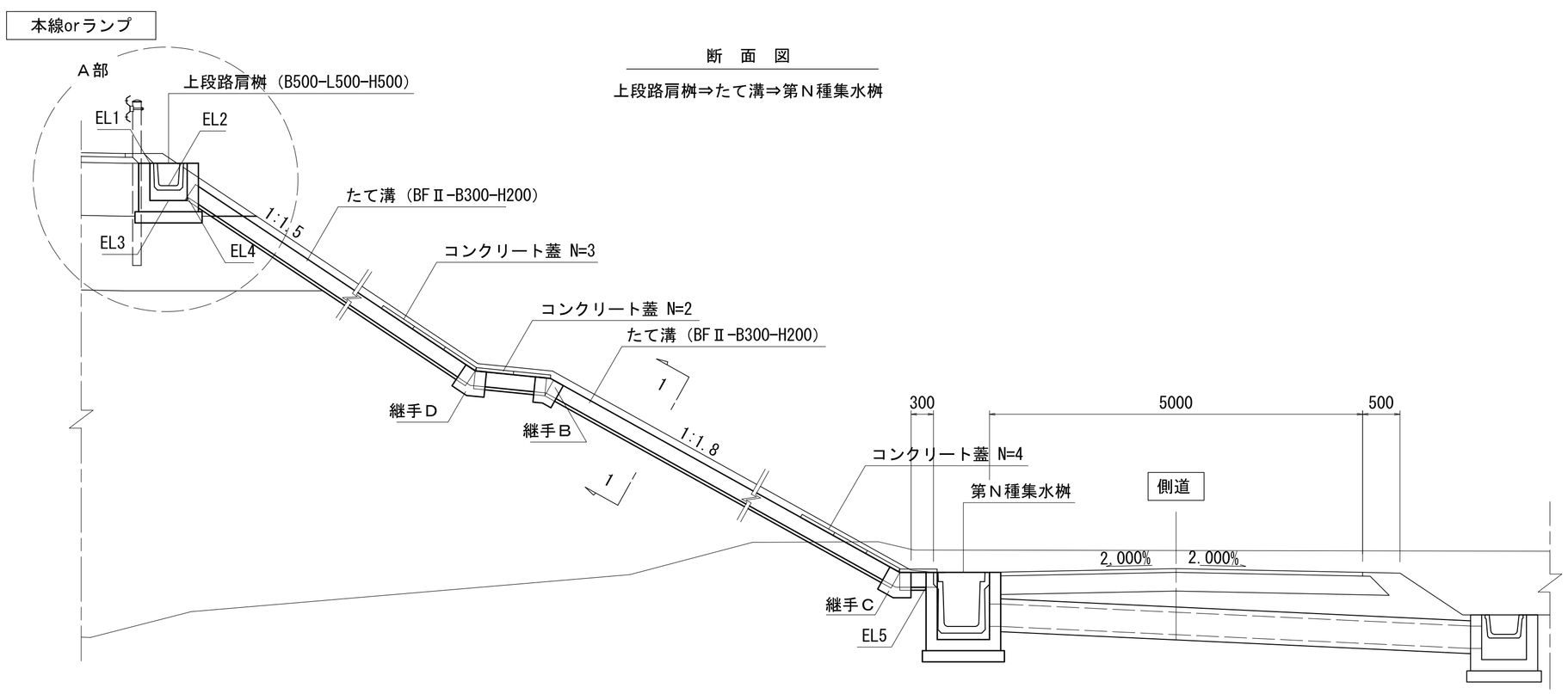
1 － 1　S=1:20



断面図



断　面　図
上段路肩桝⇒たて溝⇒第Ｎ種集水桝

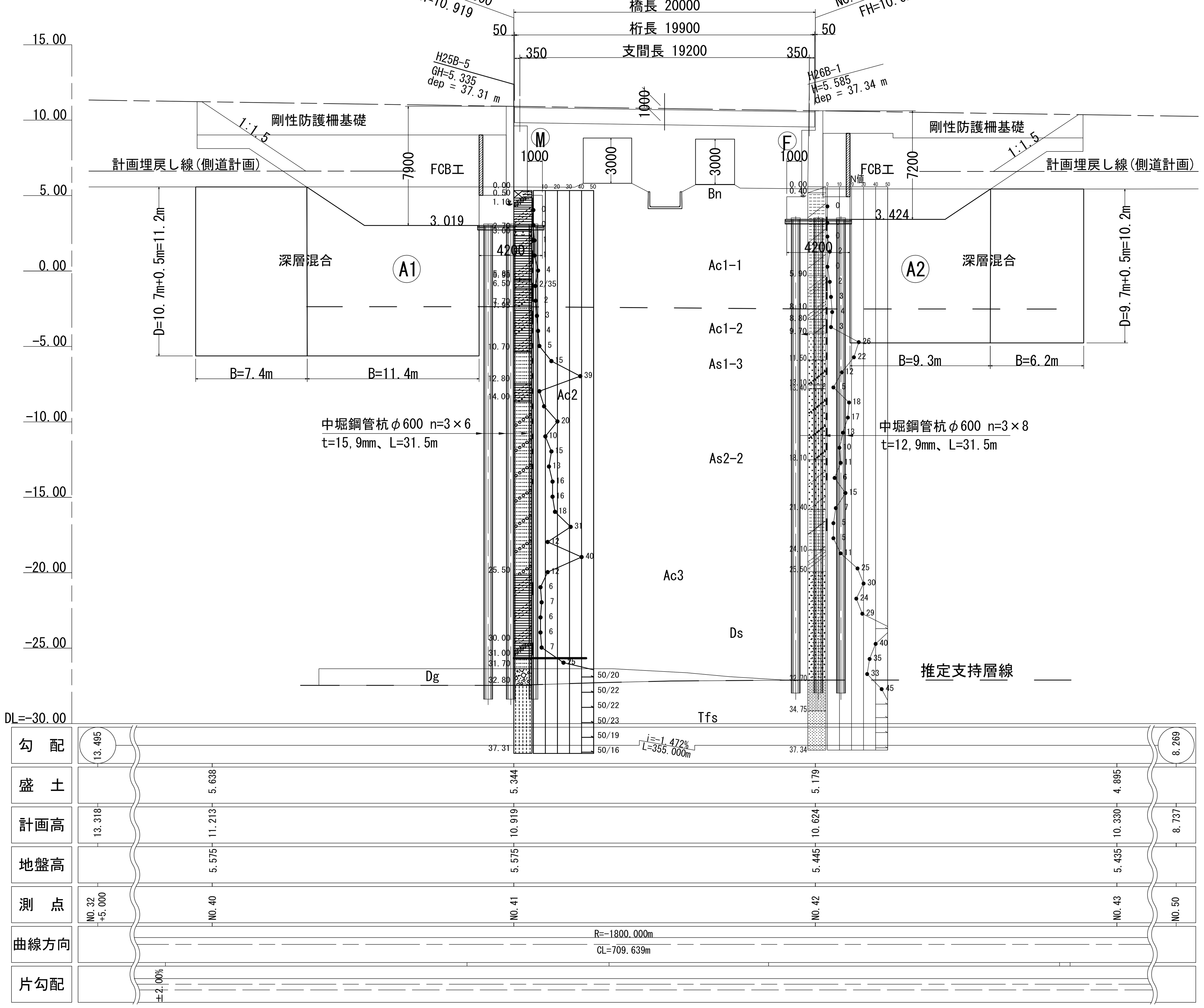


実　施

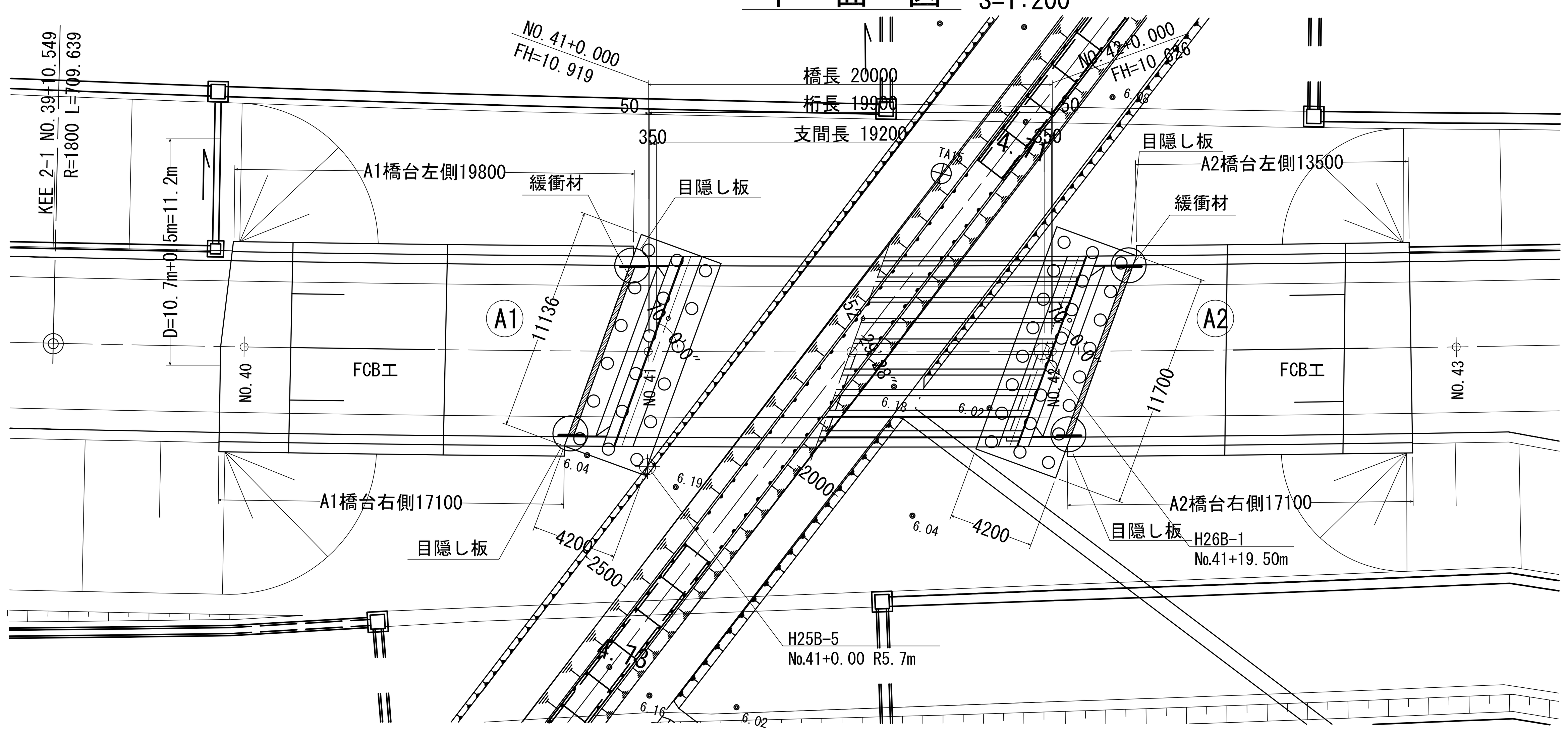
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	排水工詳細図(10)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	

佐沼工区田ノ尻橋　全体一般図

側面図　S=1:200

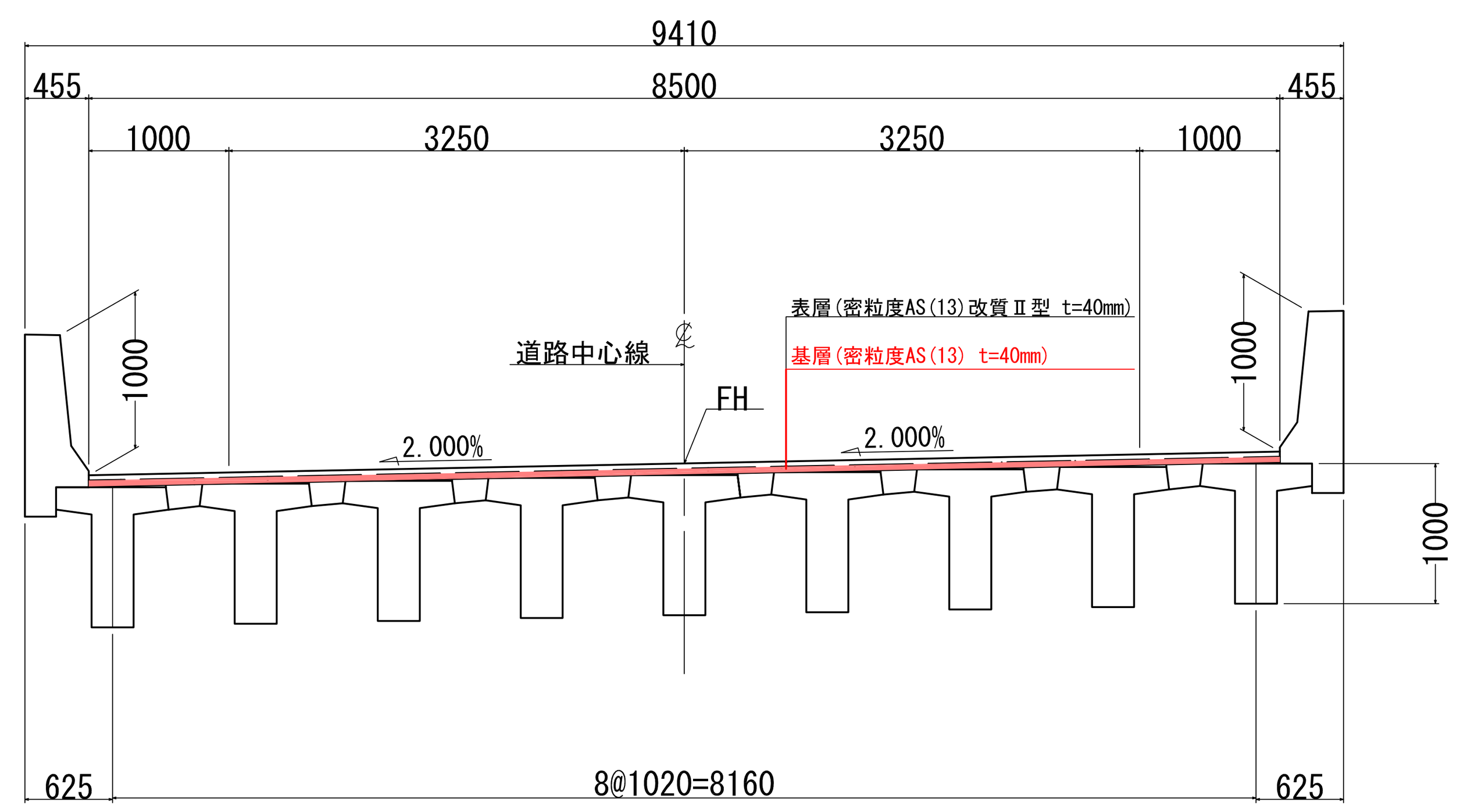


平面図　S=1:200



※平面図の単点及び等高線は震災前の標高である。
震災後標高＝震災前標高－0.435m

断面図　S=1:50



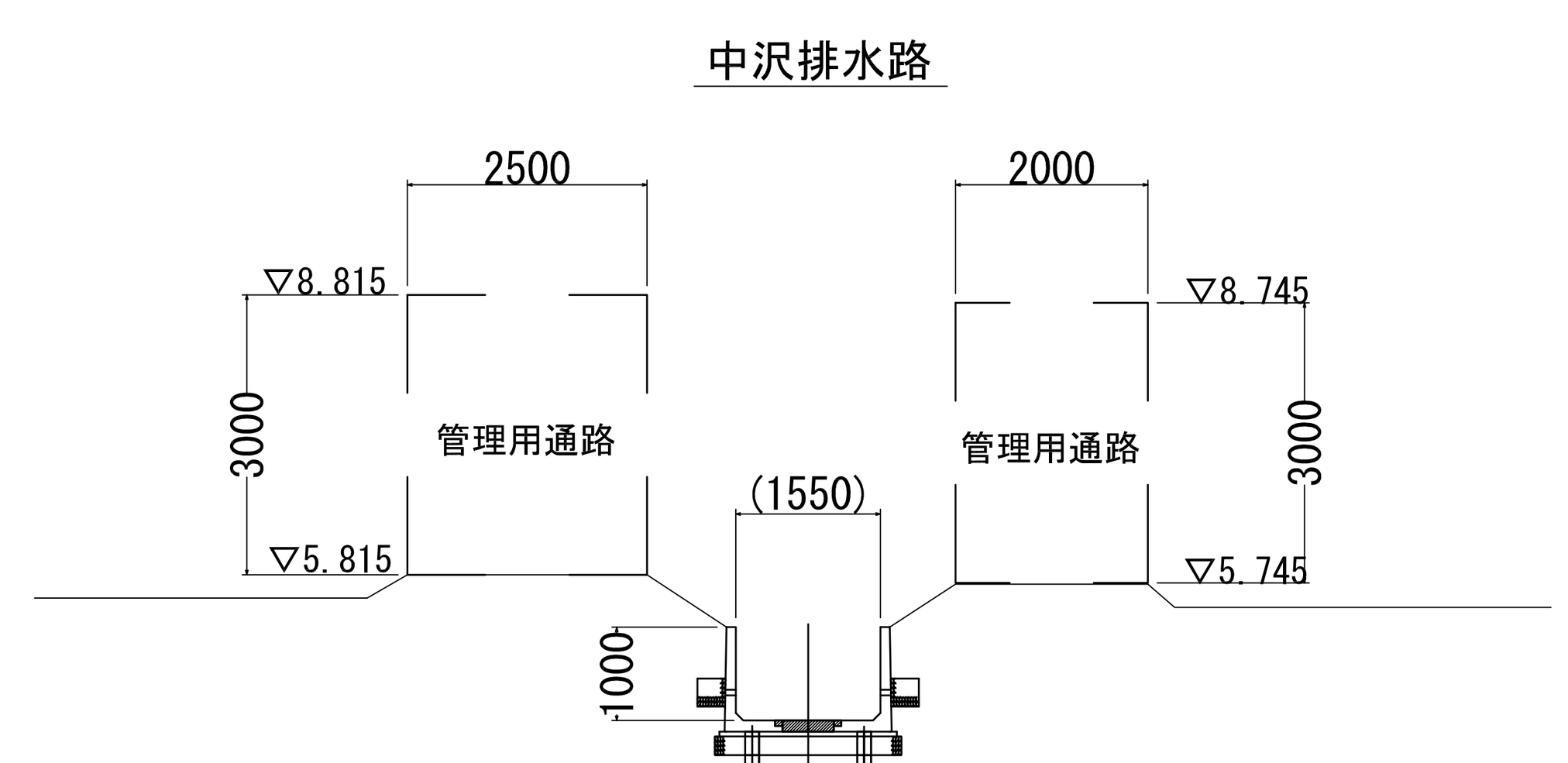
地層凡例

地質時代		記号		地層区分 土層名	N値	土質・岩質
第四紀	完新世	Bn		盛土・表土	—	シルト質粘土、礫混り粘土
		Ac1	Ac1-1	第1粘性土層-1	0~4	シルト質粘土、有機質粘土
			Ac1-2	第1粘性土層-2	2~5	砂混りシルト質粘土、砂質シルト
			Ac1-3	第1粘性土層-3	—	砂混りシルト質粘土
			Ac1-s	第1挟在砂質土層	—	シルト混り砂、シルト質砂
		Acv		火山灰質粘性土層	—	火山灰質粘土
		As1	As1-1	第1砂質土層-1	—	シルト混り砂〜シルト質砂
			As1-2	第1砂質土層-2	—	シルト質砂〜砂
			As1-3	第1砂質土層-3	12~39	シルト混り砂、礫混り砂
			As1-4	第1砂質土層-4	—	礫混り砂
			As1-c	第1挟在粘性土層	—	砂混りシルト質粘土
		Ac2	Ac2	第2粘性土層	5	シルト質粘土、砂質シルト
			Ac2-s	第2挟在砂質土層	—	礫混り砂〜有機質砂
		As2	As2-1	第2砂質土層-1	—	シルト混り砂〜シルト混り砂
			As2-2	第2砂質土層-2	6~40	砂〜礫混り砂
			As2-c	第2挟在粘性土層	—	砂混りシルト質粘土
		Ac3	Ac3	第3粘性土層	5~7	シルト質粘土、有機質粘土
			Ac3-s	第3挟在砂質土層	—	シルト質砂〜砂
		As3		第3砂質土層	—	シルト混り砂〜砂
		Ac4	Ac4-1	第4粘性土層-1	—	砂質シルト
			Ac4-2	第4粘性土層-2	—	砂質シルト、粘土混りシルト、貝殻混じりシルト
			Ac4-3	第4粘性土層-3	—	シルト質粘土〜凝灰質粘土
	更新世	Ds		洪積砂質土層	11~50以上	シルト質砂〜砂
		Dg		洪積礫質土層	50	礫混り砂、砂礫
新第三紀	中新世	Tfs	W-Tfs	風化-凝灰質砂岩	—	風化-凝灰質砂岩、砂岩、泥岩、シルト岩
			Tfs	凝灰質砂岩	45~50以上	凝灰質砂岩、砂岩、泥岩、シルト岩

設計条件

道路規格			第3種第2級
設計速度			V=60km/h
橋の重要度区分			B種の橋
設計荷重			B活荷重
橋長			20.000m
桁長			19.900m
支間長			19.200m
斜角			左70°00′00″
平面線形			R= 1800m
縦断勾配			i= 1.472%
横断勾配			i= 2.000%(片勾配)
橋面舗装			アスファルト舗装　8cm厚
設計水平震度			kh=0.30(Ⅲ種地盤)
雪荷重			なし
上部工	形式		プレテンション方式PC単純T桁橋
	材料強度	コンクリート	σck=50N/mm²(主桁部)　σck=30N/mm²(場所打部)
		PC鋼材	主桁1S15.2(SWPR7BL)、横桁1S21.8(SWPR19L)
	架設方法		トラッククレーン架設
下部工	躯体形式		逆T式橋台
	基礎形式		中堀鋼管杭φ600mm(コンクリート打設方式)
	使用材料	コンクリート	σck=24N/mm²、σca=8.0N/mm²
		鉄筋	SD345　σsa=180N/mm²(一般)　160N/mm²(水中)
		橋台裏込土	γ=20kN/m³、φ=30°
	支持地盤		凝灰質砂岩(N>50以上)
適用示方書			道路橋示方書・同解説Ⅰ〜Ⅴ(平成24年3月)

交差物件　S=1:100



38/54

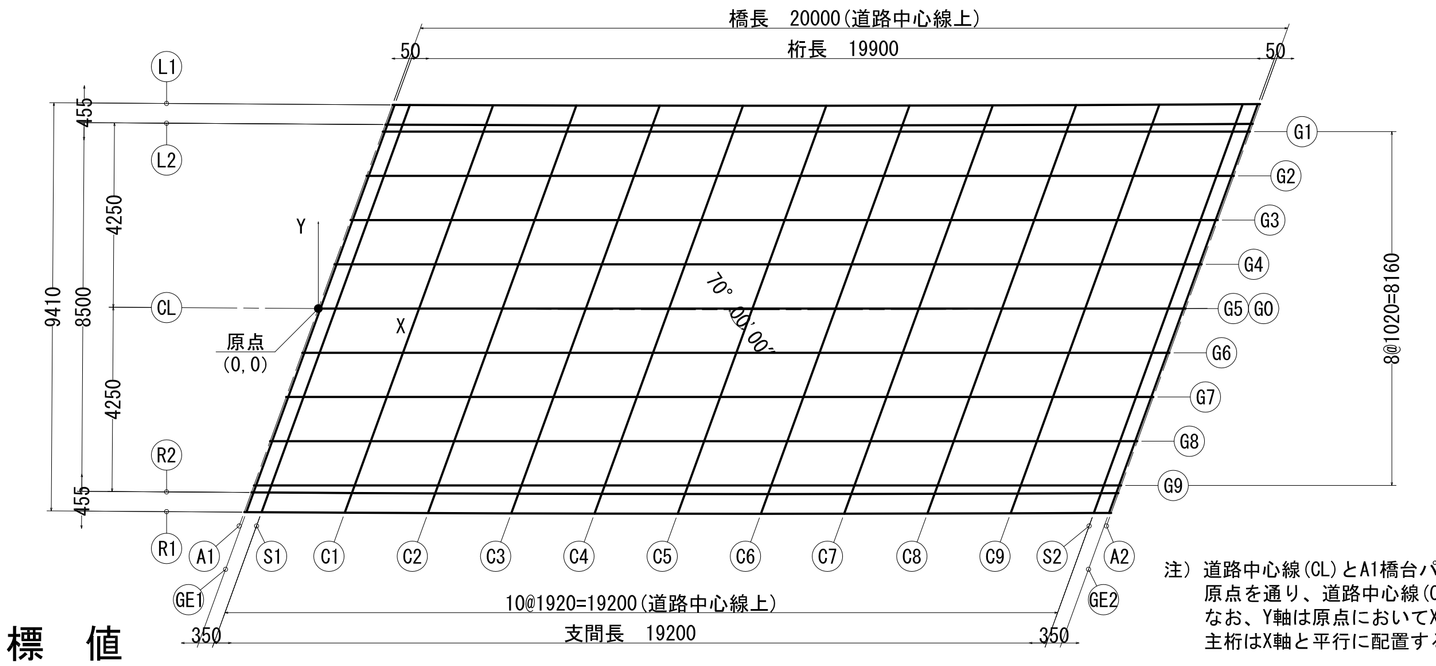
【田ノ尻橋】
【4号橋】

実施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(I-1工区)工事		
図名	佐沼工区田ノ尻橋　全体一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 ⊘　当該番号 ⊘

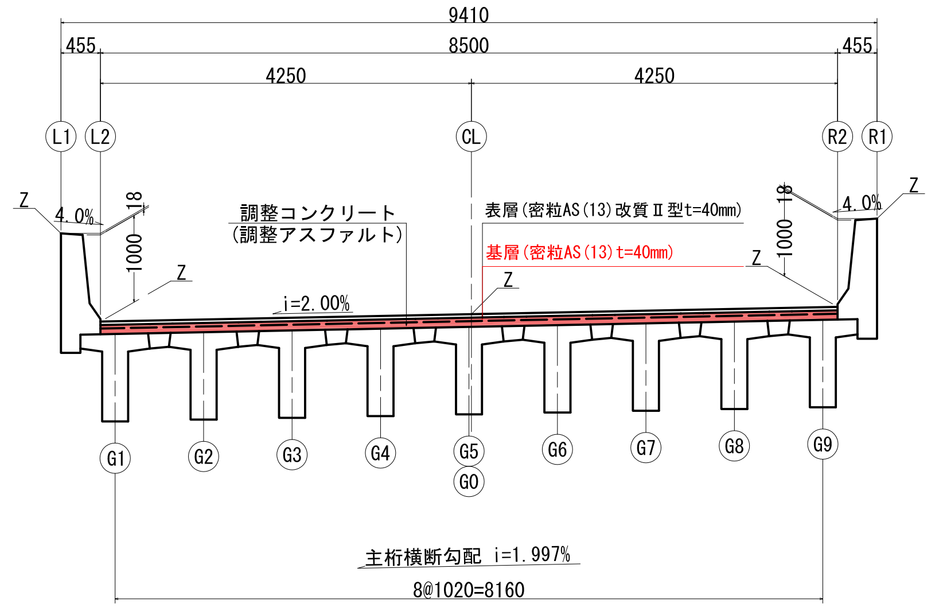
線　形　図

平　面　図　S=1:100



注）道路中心線(CL)とA1橋台パラペット前面(A1)との交点を原点(0,0)とする。
原点を通り、道路中心線(CL)とA2橋台パラペット前面(A2)との交点を結んだ直線をX軸とする。
なお、Y軸は原点においてX軸と直交する直線とする。
主桁はX軸と平行に配置する。

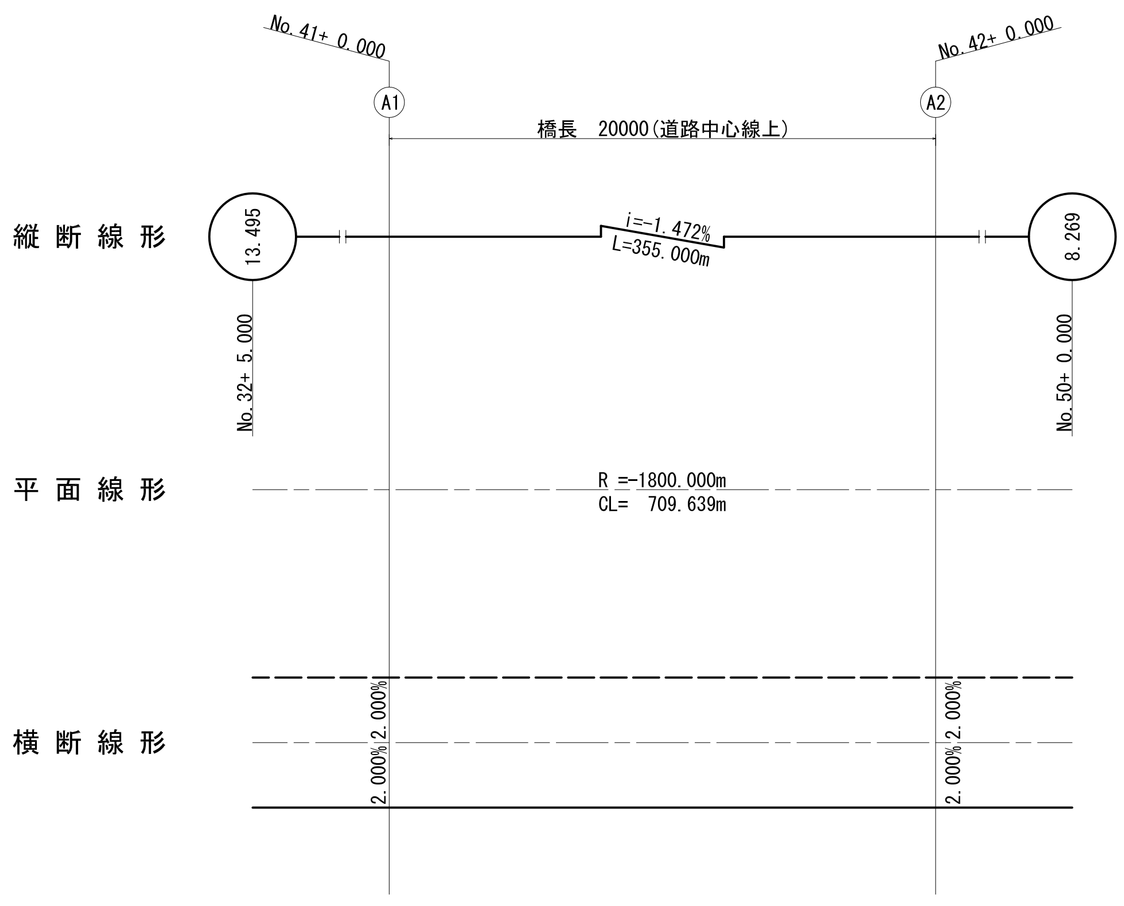
断　面　図　S=1:50



座　標　値

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	S2	GE2	A2
L1	X	1.709	1.759	2.109	4.030	5.951	7.871	9.792	11.713	13.633	15.554	17.475	19.395	21.316	21.666	21.716
	Y	4.696	4.696	4.695	4.687	4.682	4.678	4.677	4.678	4.681	4.686	4.693	4.702	4.713	4.715	4.715
	Z	11.827	11.826	11.821	11.793	11.765	11.736	11.708	11.680	11.651	11.623	11.594	11.566	11.538	11.533	11.532
L2	X	1.544	1.594	1.944	3.865	5.785	7.706	9.626	11.547	13.468	15.388	17.309	19.229	21.150	21.500	21.550
	Y	4.242	4.242	4.240	4.233	4.227	4.224	4.222	4.223	4.226	4.230	4.237	4.246	4.257	4.259	4.259
	Z	10.811	10.811	10.805	10.777	10.749	10.720	10.692	10.664	10.635	10.607	10.579	10.550	10.522	10.517	10.516
G1	X	1.485	1.535	1.886	3.809	5.732	7.654	9.575	11.495	13.415	15.334	17.252	19.169	21.086	21.435	21.485
	Y	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080	4.080
	Z	10.815	10.815	10.810	10.781	10.753	10.724	10.696	10.667	10.639	10.611	10.583	10.555	10.527	10.521	10.521
G2	X	1.114	1.164	1.515	3.438	5.360	7.282	9.203	11.124	13.043	14.962	16.880	18.798	20.714	21.064	21.114
	Y	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060	3.060
	Z	10.841	10.841	10.835	10.807	10.778	10.750	10.722	10.693	10.665	10.637	10.609	10.581	10.552	10.547	10.547
G3	X	0.742	0.793	1.143	3.067	4.989	6.911	8.832	10.753	12.672	14.591	16.509	18.427	20.343	20.692	20.742
	Y	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040	2.040
	Z	10.867	10.866	10.861	10.833	10.804	10.776	10.747	10.719	10.691	10.663	10.635	10.606	10.578	10.573	10.573
G4	X	0.371	0.421	0.772	2.695	4.618	6.540	8.461	10.381	12.301	14.220	16.138	18.055	19.972	20.321	20.371
	Y	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020	1.020
	Z	10.893	10.892	10.887	10.859	10.830	10.802	10.773	10.745	10.717	10.689	10.660	10.632	10.604	10.599	10.598
G5	X	0.000	0.050	0.401	2.324	4.247	6.169	8.090	10.010	11.930	13.849	15.767	17.684	19.601	19.950	20.000
	Y	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	Z	10.919	10.918	10.913	10.884	10.856	10.828	10.799	10.771	10.743	10.714	10.686	10.658	10.630	10.625	10.624
G0	X	0.000	0.050	0.401	2.324	4.247	6.169	8.090	10.010	11.930	13.849	15.767	17.684	19.601	19.950	20.000
	Y	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	Z	10.919	10.918	10.913	10.884	10.856	10.828	10.799	10.771	10.743	10.714	10.686	10.658	10.630	10.625	10.624
CL	X	0.000	0.050	0.400	2.320	4.240	6.160	8.080	10.000	11.920	13.840	15.760	17.680	19.600	19.950	20.000
	Y	0.000	0.000	-0.002	-0.011	-0.019	-0.024	-0.027	-0.028	-0.027	-0.024	-0.019	-0.011	-0.002	0.000	0.000
	Z	10.919	10.918	10.913	10.885	10.856	10.828	10.800	10.772	10.743	10.715	10.687	10.659	10.630	10.625	10.624
G6	X	-0.371	-0.321	0.030	1.953	3.875	5.797	7.718	9.639	11.558	13.477	15.395	17.313	19.229	19.579	19.629
	Y	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020	-1.020
	Z	10.945	10.944	10.939	10.910	10.882	10.853	10.825	10.797	10.769	10.740	10.712	10.684	10.656	10.651	10.650
G7	X	-0.742	-0.692	-0.342	1.582	3.504	5.426	7.347	9.268	11.187	13.106	15.024	16.942	18.858	19.207	19.257
	Y	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040	-2.040
	Z	10.970	10.970	10.964	10.936	10.908	10.879	10.851	10.823	10.794	10.766	10.738	10.710	10.682	10.677	10.676
G8	X	-1.114	-1.064	-0.713	1.210	3.133	5.055	6.976	8.896	10.816	12.735	14.653	16.570	18.487	18.836	18.886
	Y	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060	-3.060
	Z	10.996	10.996	10.990	10.962	10.933	10.905	10.877	10.848	10.820	10.792	10.764	10.736	10.708	10.703	10.702
G9	X	-1.485	-1.435	-1.084	0.839	2.762	4.684	6.605	8.525	10.445	12.364	14.282	16.199	18.116	18.465	18.515
	Y	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080	-4.080
	Z	11.022	11.021	11.016	10.988	10.959	10.931	10.903	10.874	10.846	10.818	10.790	10.762	10.734	10.729	10.728
R2	X	-1.544	-1.494	-1.144	0.776	2.695	4.615	6.534	8.453	10.373	12.292	14.211	16.131	18.050	18.400	18.450
	Y	-4.241	-4.241	-4.243	-4.254	-4.263	-4.270	-4.274	-4.277	-4.278	-4.276	-4.273	-4.267	-4.260	-4.258	-4.258
	Z	11.026	11.025	11.020	10.992	10.964	10.936	10.907	10.879	10.851	10.823	10.795	10.767	10.738	10.733	10.732
R1	X	-1.709	-1.659	-1.309	0.610	2.530	4.449	6.368	8.288	10.207	12.126	14.046	15.965	17.884	18.234	18.284
	Y	-4.695	-4.695	-4.697	-4.708	-4.717	-4.724	-4.729	-4.732	-4.733	-4.732	-4.728	-4.723	-4.716	-4.714	-4.714
	Z	12.047	12.046	12.041	12.013	11.984	11.956	11.928	11.900	11.872	11.844	11.815	11.787	11.759	11.754	11.753

線　形　要　素



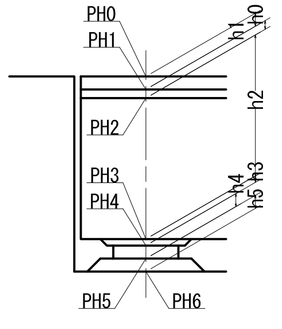
構　造　高　表

(m)

		S1(A1側)(M)									
		G1	G2	G3	G4	G5	CL	G6	G7	G8	G9
計画路面高	PH0	10.8095	10.8354	10.8612	10.8870	10.9129	10.9129	10.9387	10.9645	10.9903	11.0161
調整コンクリート	PH1	10.7295	10.7554	10.7812	10.8070	10.8329	10.8329	10.8587	10.8845	10.9103	10.9361
主桁天端高	PH2	10.6683	10.6942	10.7200	10.7458	10.7717	10.7717	10.7975	10.8233	10.8491	10.8749
主桁下端高	PH3	9.6683	9.6942	9.7200	9.7458	9.7717	9.7717	9.7975	9.8233	9.8491	9.8749
レアー下端高	PH4	9.6583	9.6842	9.7100	9.7358	9.7617	9.7617	9.7875	9.8133	9.8391	9.8649
支承下端高	PH5	9.5843	9.6102	9.6360	9.6618	9.6877	9.6877	9.7135	9.7393	9.7651	9.7909
下部工天端高	PH6	9.5543	9.5802	9.6060	9.6318	9.6577	9.6577	9.6835	9.7093	9.7351	9.7609
アスファルト舗装厚	h0	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800
調整コンクリート	h1	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612	0.0612
主桁高	h2	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
レアー高(上部工)	h3	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100
支承高	h4	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740	0.0740
沓座モルタル	h5	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300
合計		1.2552	1.2552	1.2552	1.2552	1.2552	1.2552	1.2552	1.2552	1.2552	1.2552

(m)

		S2(A2側)(F)									
		G1	G2	G3	G4	G5	CL	G6	G7	G8	G9
計画路面高	PH0	10.5266	10.5525	10.5784	10.6043	10.6302	10.6303	10.6561	10.6820	10.7079	10.7338
調整コンクリート	PH1	10.4466	10.4725	10.4984	10.5243	10.5502	10.5503	10.5761	10.6020	10.6279	10.6538
主桁天端高	PH2	10.3858	10.4117	10.4376	10.4635	10.4894	10.4895	10.5153	10.5412	10.5671	10.5930
主桁下端高	PH3	9.3858	9.4117	9.4376	9.4635	9.4894	9.4895	9.5153	9.5412	9.5671	9.5930
レアー下端高	PH4	9.3758	9.4017	9.4276	9.4535	9.4794	9.4795	9.5053	9.5312	9.5571	9.5830
支承下端高	PH5	9.3078	9.3337	9.3596	9.3855	9.4114	9.4115	9.4373	9.4632	9.4891	9.5150
下部工天端高	PH6	9.2778	9.3037	9.3296	9.3555	9.3814	9.3815	9.4073	9.4332	9.4591	9.4850
アスファルト舗装厚	h0	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800
調整コンクリート	h1	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608	0.0608
主桁高	h2	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
レアー高(上部工)	h3	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100	0.0100
支承高	h4	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680	0.0680
沓座モルタル	h5	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300
合計		1.2488	1.2488	1.2488	1.2488	1.2488	1.2488	1.2488	1.2488	1.2488	1.2488



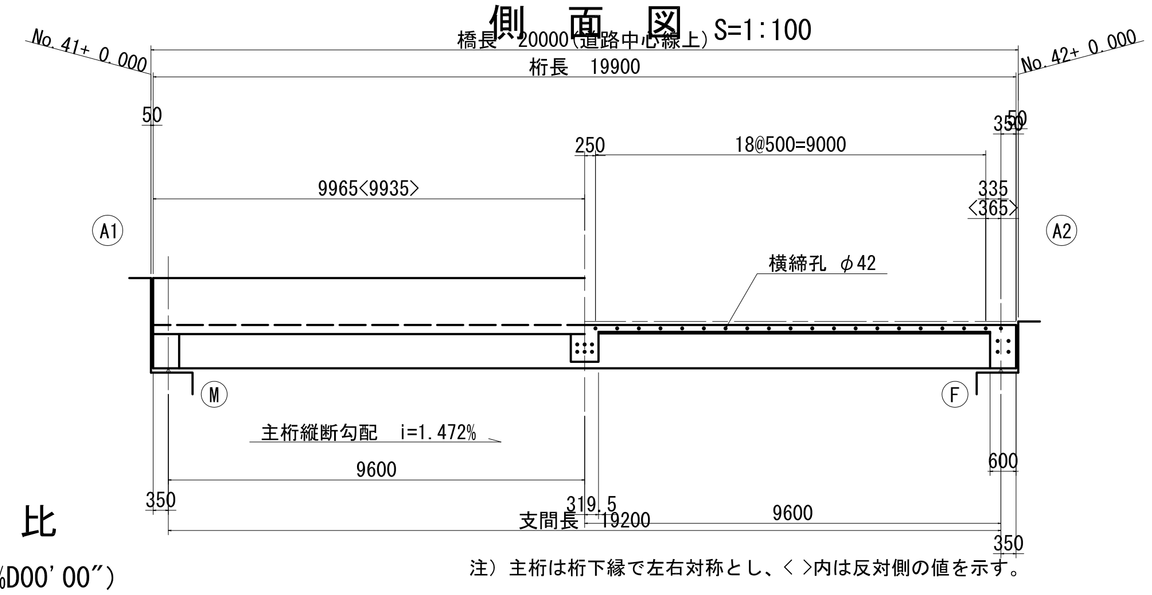
【田ノ尻橋】
【4号橋】

実　施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	線形図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

上 部 工 構 造 一 般 図

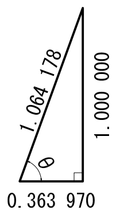
側 面 図 S=1:100



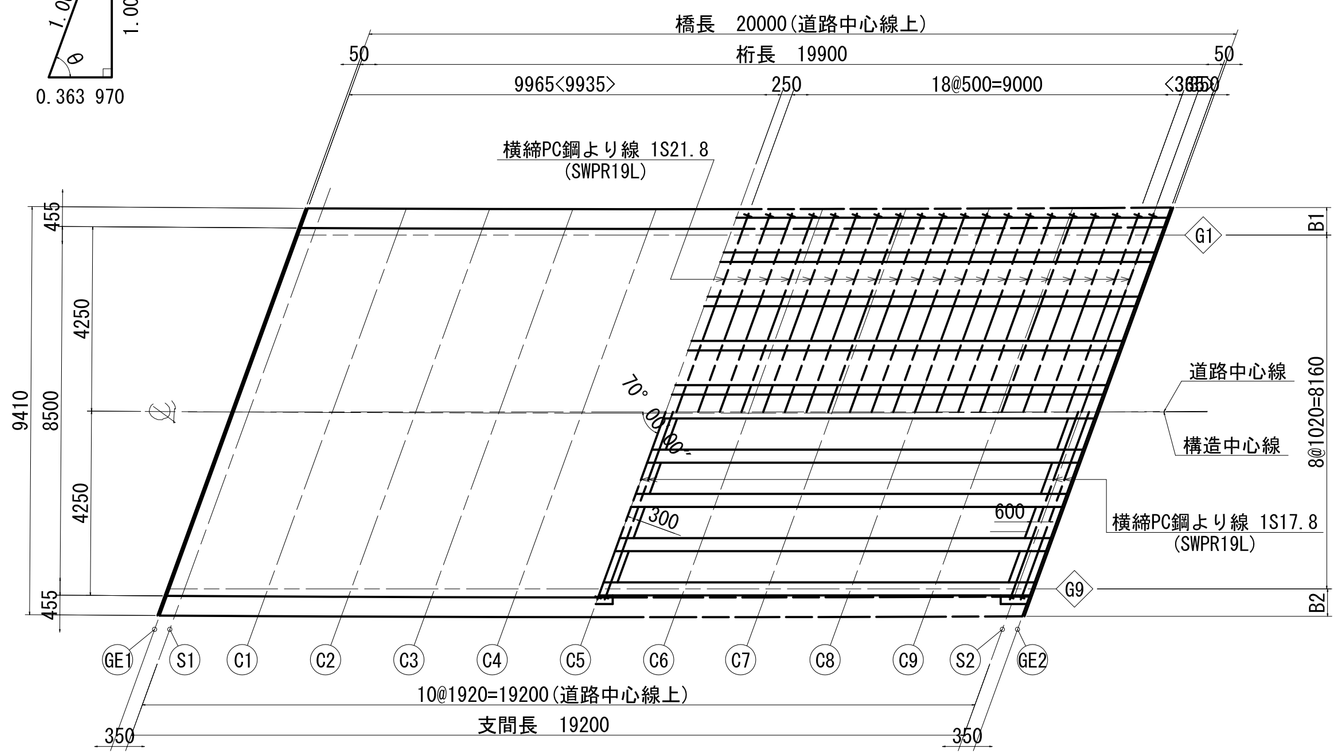
注）主桁は桁下線で左右対称とし、< >内は反対側の値を示す。

斜　比

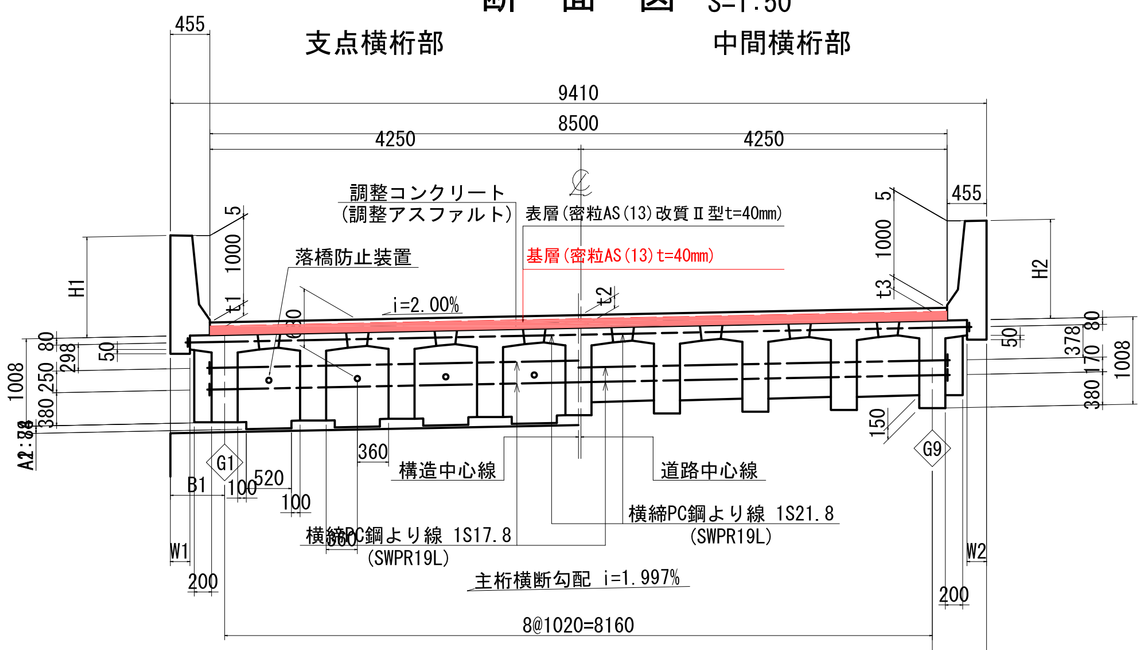
（θ=70%%D00'00"）



平 面 図 S=1:100



断 面 図 S=1:50



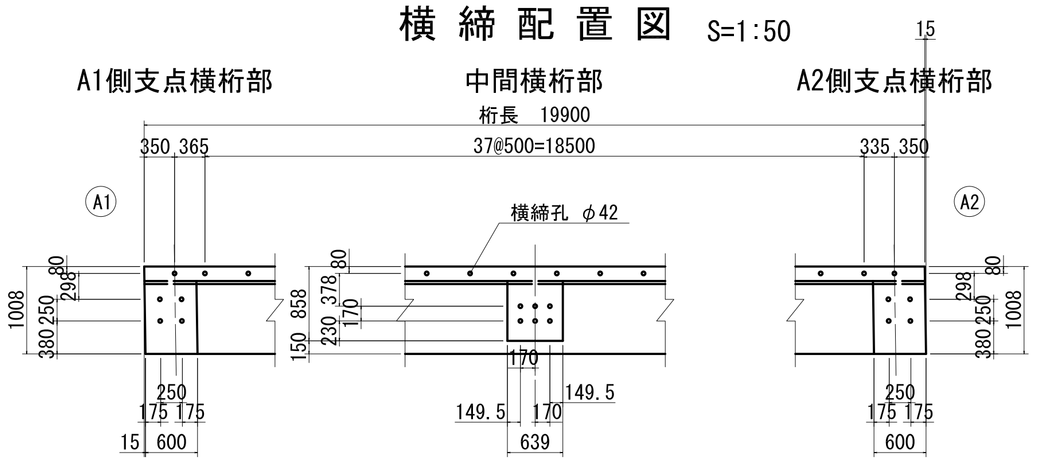
注）橋面寸法は道路中心線法線方向での値を示し、
橋体寸法は主桁直角方向での値とする。

寸 法 表

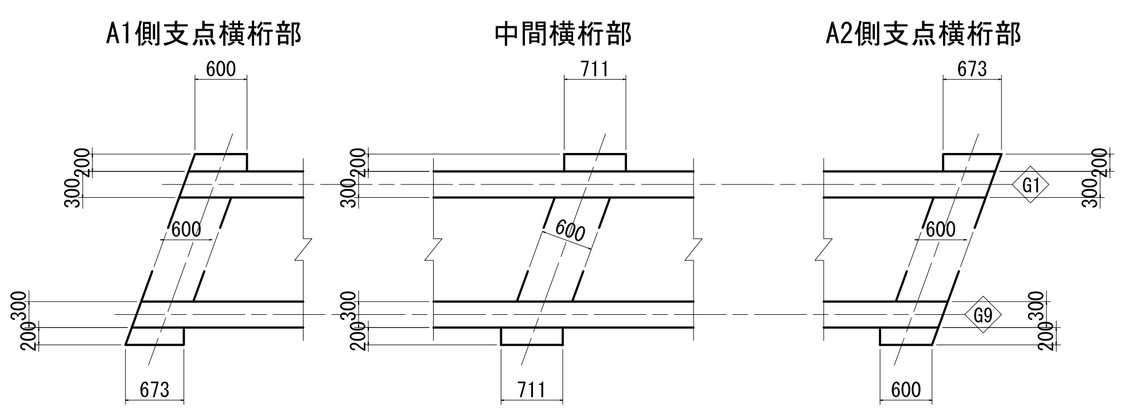
(mm)

	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	S2	GE2
t1	146	141	119	102	90	83	80	82	90	102	119	141	145
t2	146	141	119	102	90	83	80	83	90	102	119	141	146
t3	146	141	119	102	90	83	80	83	90	102	119	141	146
H1	1160	1155	1133	1116	1104	1097	1094	1096	1104	1116	1133	1155	1159
H2	1142	1137	1115	1098	1086	1079	1076	1079	1086	1098	1115	1137	1142
B1	616	615	607	602	599	597	598	601	606	613	622	633	635
B2	615	617	628	637	644	649	652	653	652	648	643	636	634
W1	216	215	207	202	199	197	198	201	206	213	222	233	235
W2	215	217	228	237	244	249	252	253	252	248	243	236	234

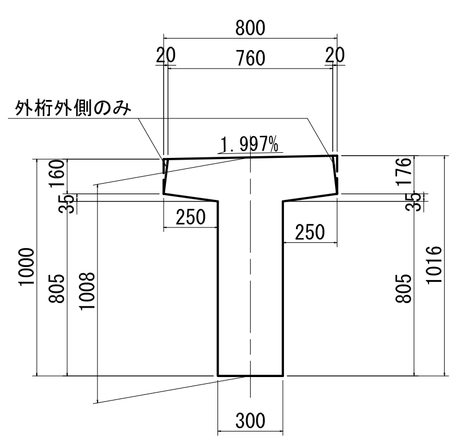
横 締 配 置 図 S=1:50



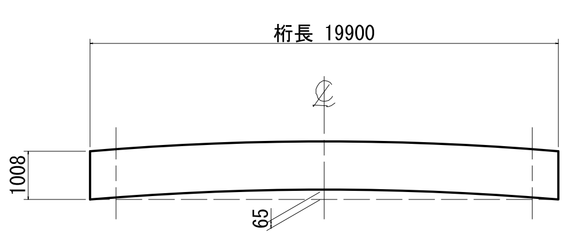
ダイヤフラム S=1:50



主桁断面図 S=1:20



主桁キャンバー図



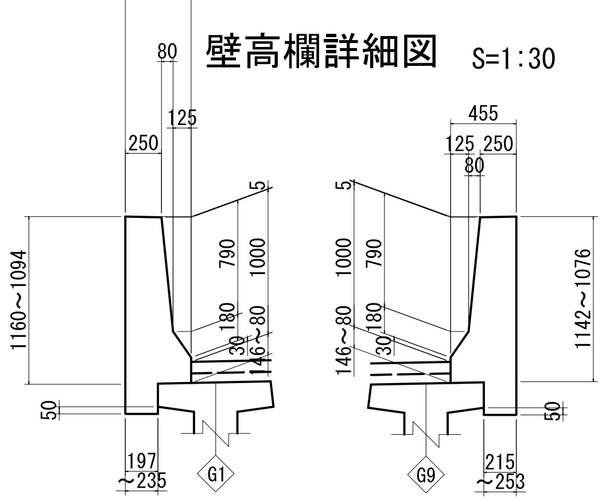
設計条件

種　別	プレストレストコンクリート道路橋
構造形式	プレテンション方式PC単純T桁橋
橋　長	20.000m　(道路中心線上)
桁　長	19.900m
支間長	19.200m
有効幅員	8.500m
斜　角	始点　左70%%D00'00"　　終点　左70%%D00'00"
活荷重	B活荷重-L
衝撃係数	i=10/(25+L)

材料表および許容応力度

	種別		単位	主桁	場所打ち
コンクリート	設計基準強度		N/mm²	50	30
	許容曲げ圧縮応力度	プレストレス導入直後	N/mm²	21.00	15.00
		死荷重時	N/mm²	16.00	11.00
		設計荷重時	N/mm²	16.00	11.00
	許容曲げ引張応力度	プレストレス導入直後	N/mm²	1.80	0.00
		死荷重時	N/mm²	0.00	0.00
		設計荷重時	N/mm²	1.80	0.00
	コンクリートが負担できる平均せん断応力度	設計荷重時	N/mm²	0.65	0.45
	コンクリートの平均せん断応力度の最大値	せん断orねじり	N/mm²	6.00	4.00
		せん断＋ねじり	N/mm²	6.80	4.80
	許容斜引張応力度	死荷重時(せん断orねじり)	N/mm²	1.20	0.80
		死荷重時(せん断＋ねじり)	N/mm²	1.50	1.10
		設計荷重時(せん断orねじり)	N/mm²	2.30	1.70
		設計荷重時(せん断＋ねじり)	N/mm²	2.80	2.20
	プレストレス導入時圧縮強度		N/mm²	35.0	25.0
PC鋼材	種別			主桁 SWPR7BL 1S15.2	横桁 SWPR19L 1S17.8	床版 SWPR19L 1S21.8
	引張強度		N/mm²	1850	1850	1800
	降伏点応力度		N/mm²	1600	1600	1600
	許容引張応力度	設計荷重時	N/mm²	1110	1110	1080
		プレストレス導入直後	N/mm²	1295	1295	1260
		引張作業時	N/mm²	1440	1440	1440
鉄筋	種別					SD345
	降伏点応力度		N/mm²			345
	許容引張応力度	一般部	N/mm²			180
		床版部	N/mm²			140

壁高欄詳細図 S=1:30



40/54

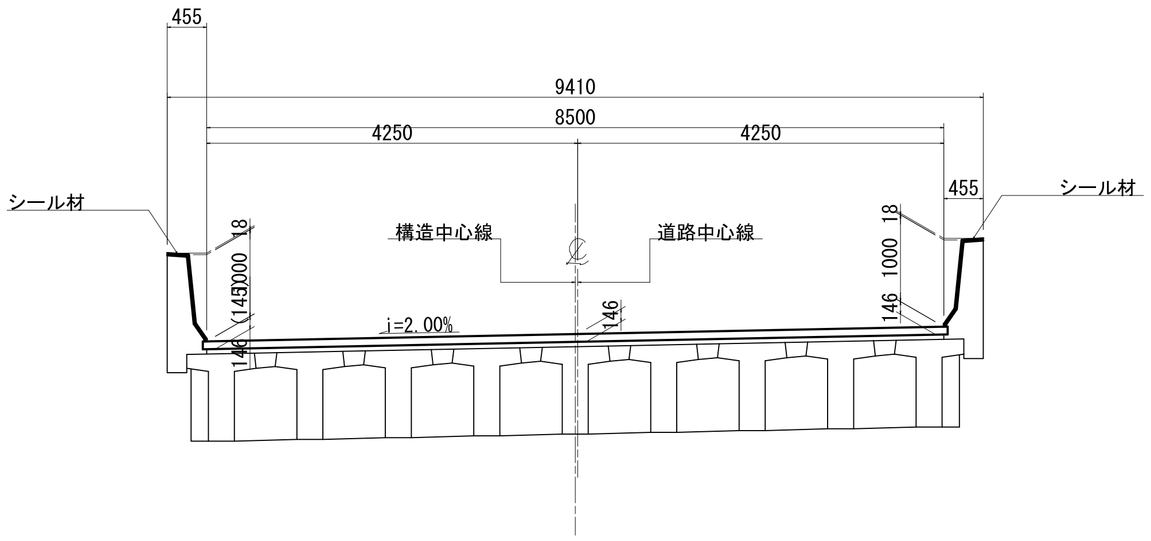
【田ノ尻橋】
【4号橋】

実　施

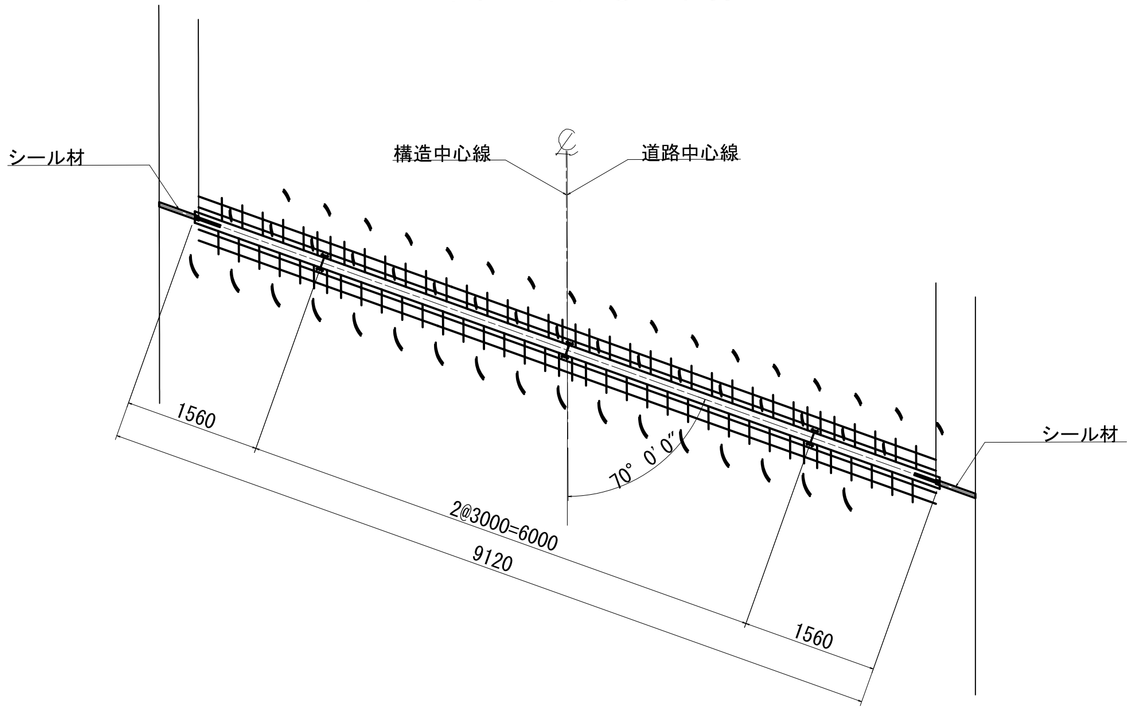
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	上部工構造一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

伸 縮 装 置 詳 細 図

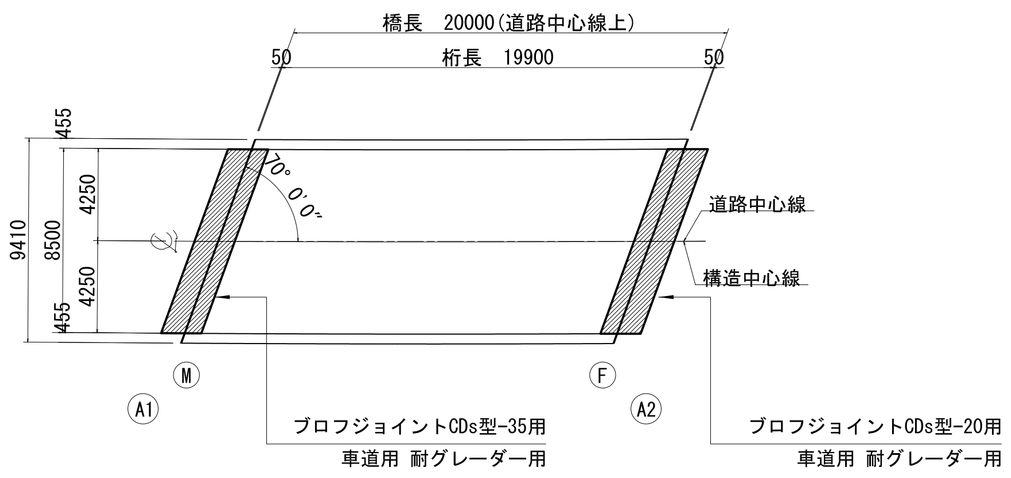
断　面　図 S＝1:50



平　面　図 S＝1:50

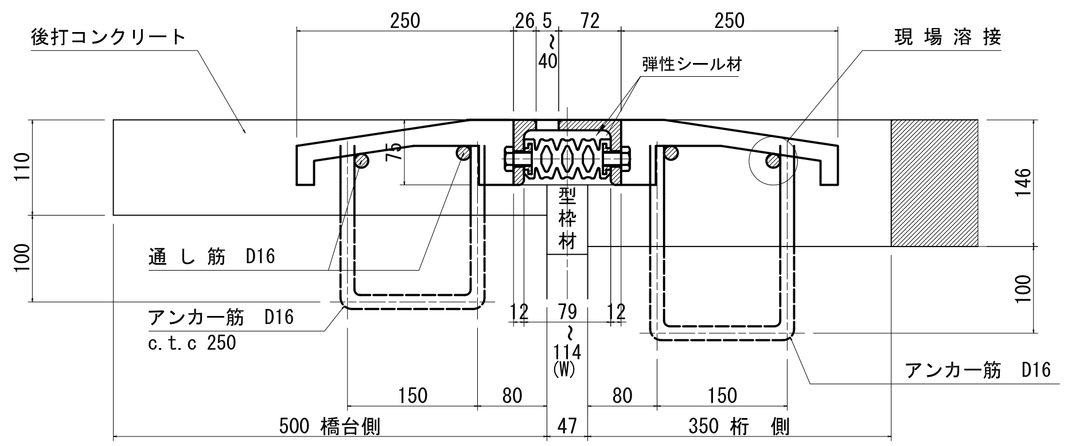


配　置　図 S＝1:200

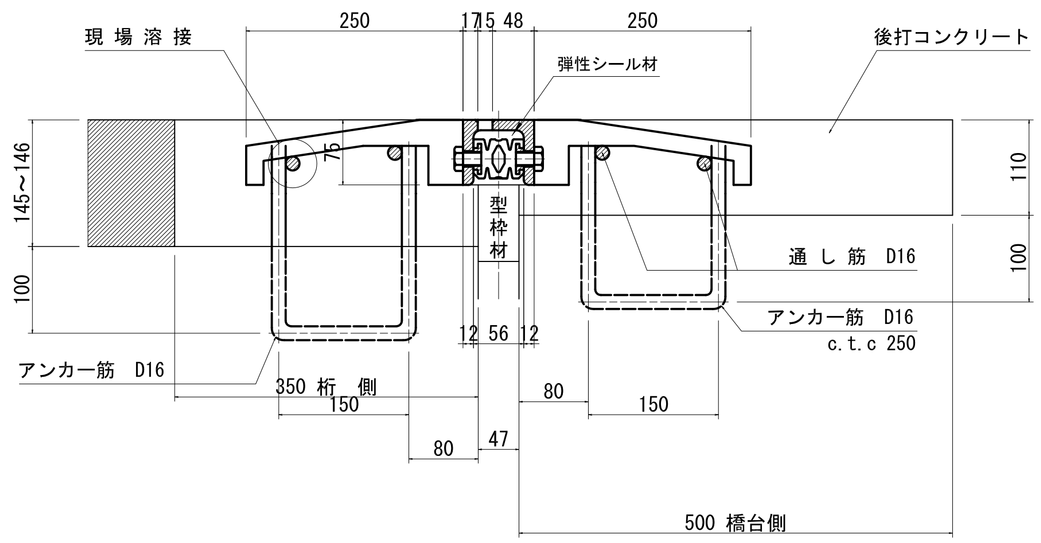


伸縮装置断面図 S＝1:5

ブロフジョイントCDs型-35用
A1部　車道部



ブロフジョイントCDs型-20用
A2部　車道部

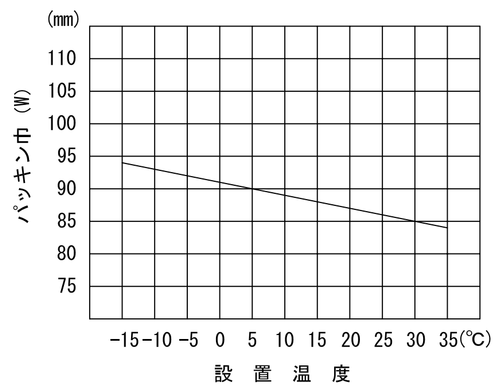


アンカー筋埋設図 S＝1:20

鉄 筋 加 工 図 S＝1:10

シール材充填図 S＝1:3

予備圧縮量



伸 縮 装 置 材 料 表

名　称	材　質	Ａ１数量	Ａ２数量	合計数量	備　考
ブロフジョイントCDs型-35用	SS400 合成ゴム 弾性シール材	9.120 m		9.120 m	車道用 耐グレーダー用
ブロフジョイントCDs型-20用	〃		9.120 m	9.120 m	〃
バックアップ材		2.620 m	2.620 m	5.240 m	壁高欄部
シール材	シリコン系	3.1 ﾘｯﾀｰ	3.1 ﾘｯﾀｰ	6.2 ﾘｯﾀｰ	〃
後打コンクリート		0.968 m3	0.967 m3	1.935 m3	

ア ン カ ー 筋 表

寸　法	Ａ１数量	Ａ２数量	合計数量	１本当り質量	合計質量	備　考
D16x600	42 本	42 本	84 本	0.936 kg	78.6 kg	アンカー筋　桁側
D16x520	36 本	36 本	72 本	0.811 kg	58.4 kg	アンカー筋　橋台側
D16x9120	4 本	4 本	8 本	14.227 kg	113.8 kg	通し筋

41/54

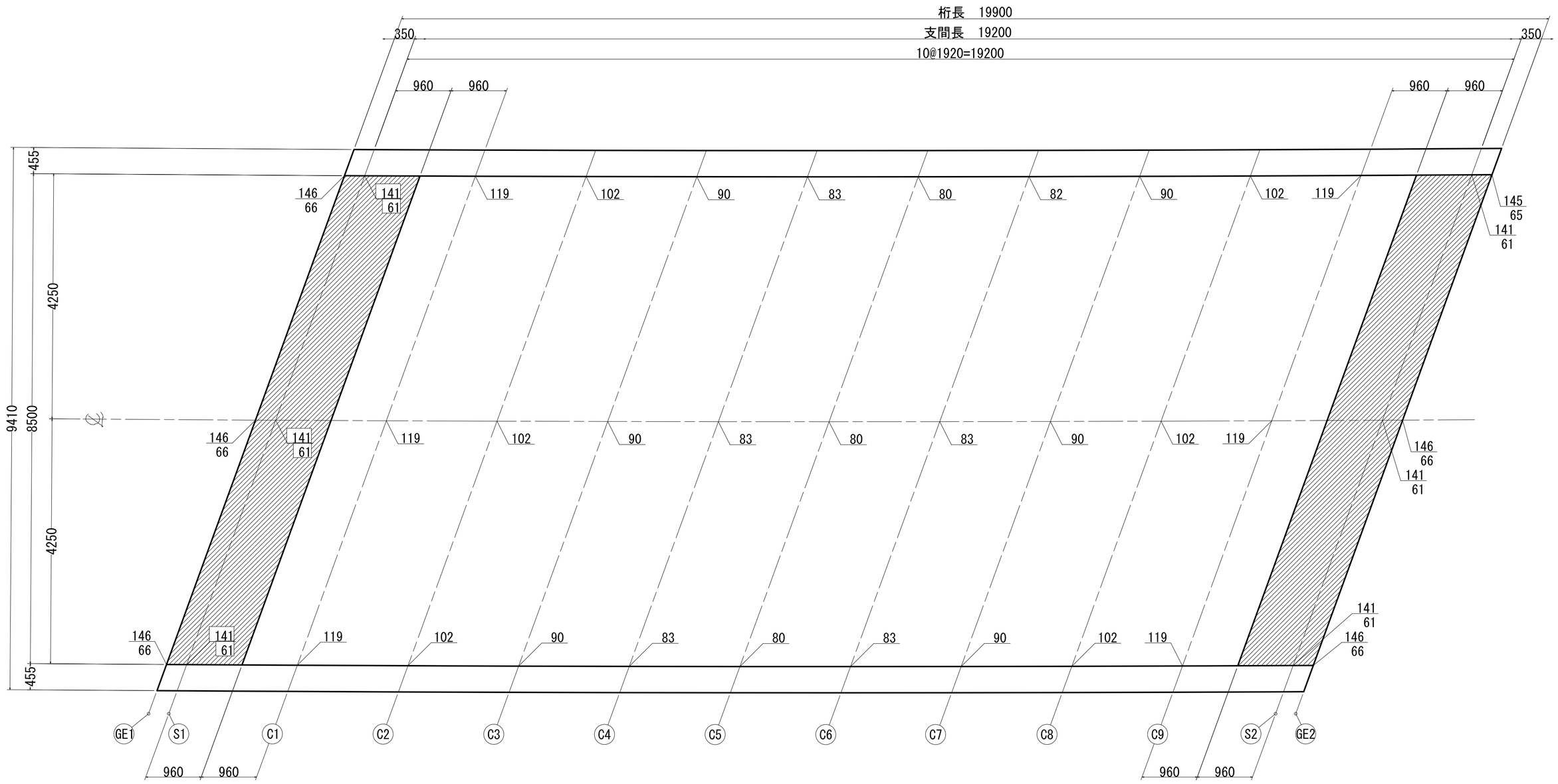
【田ノ尻橋】
【４号橋】

実　施

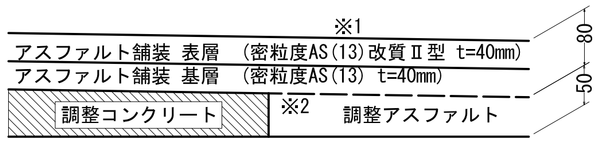
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	伸縮装置詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

舗 装 厚 詳 細 図

平 面 図 S=1:50



舗装断面詳細図



※1 アスファルト舗装の最小厚
※2 調整コンクリートの最小厚

注）1. 上段：全舗装厚
下段：調整コンクリート厚

2. 最小舗装厚
アスファルト舗装 t=80mm

3. ▨ は調整コンクリート範囲を示す。
調整コンクリートの最小厚は t=50mm とする。

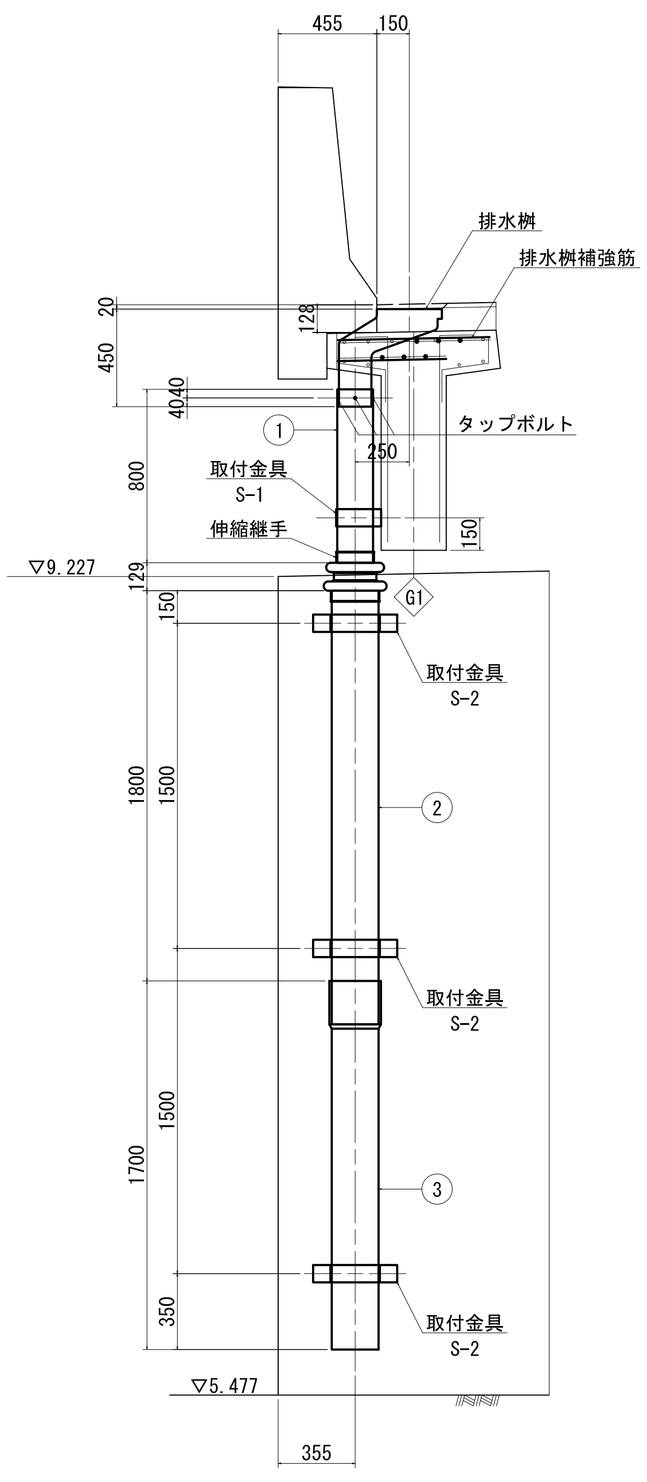
実 施

【田ノ尻橋】
【４号橋】

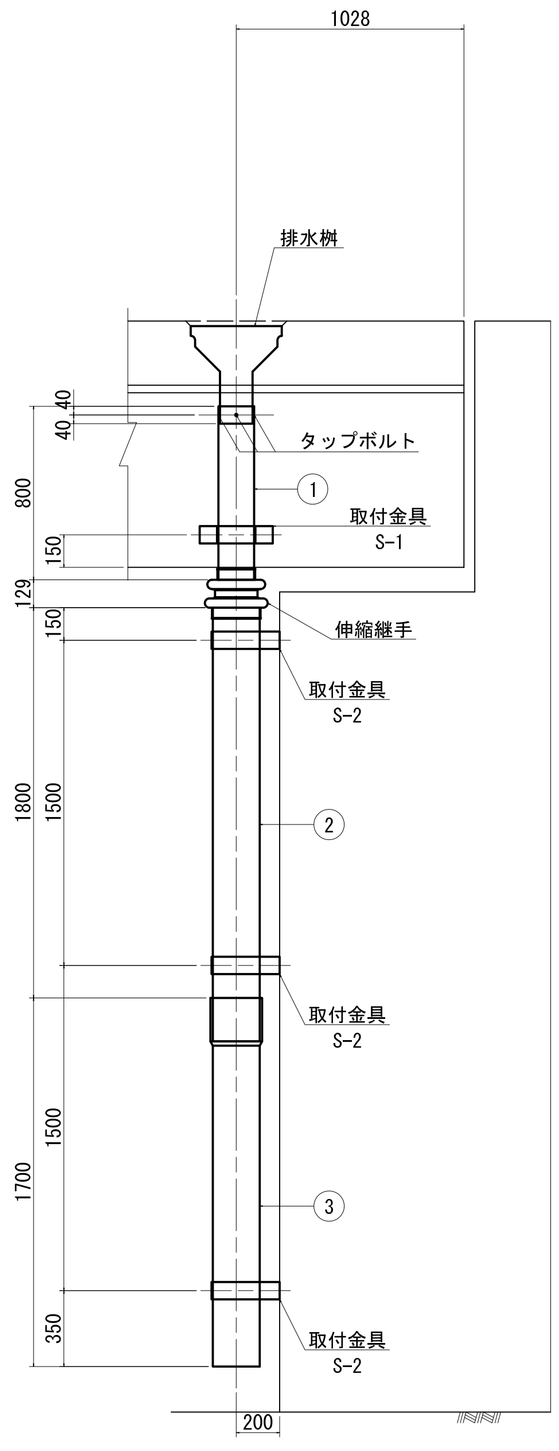
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図名	舗装厚詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

排水装置詳細図(その1)

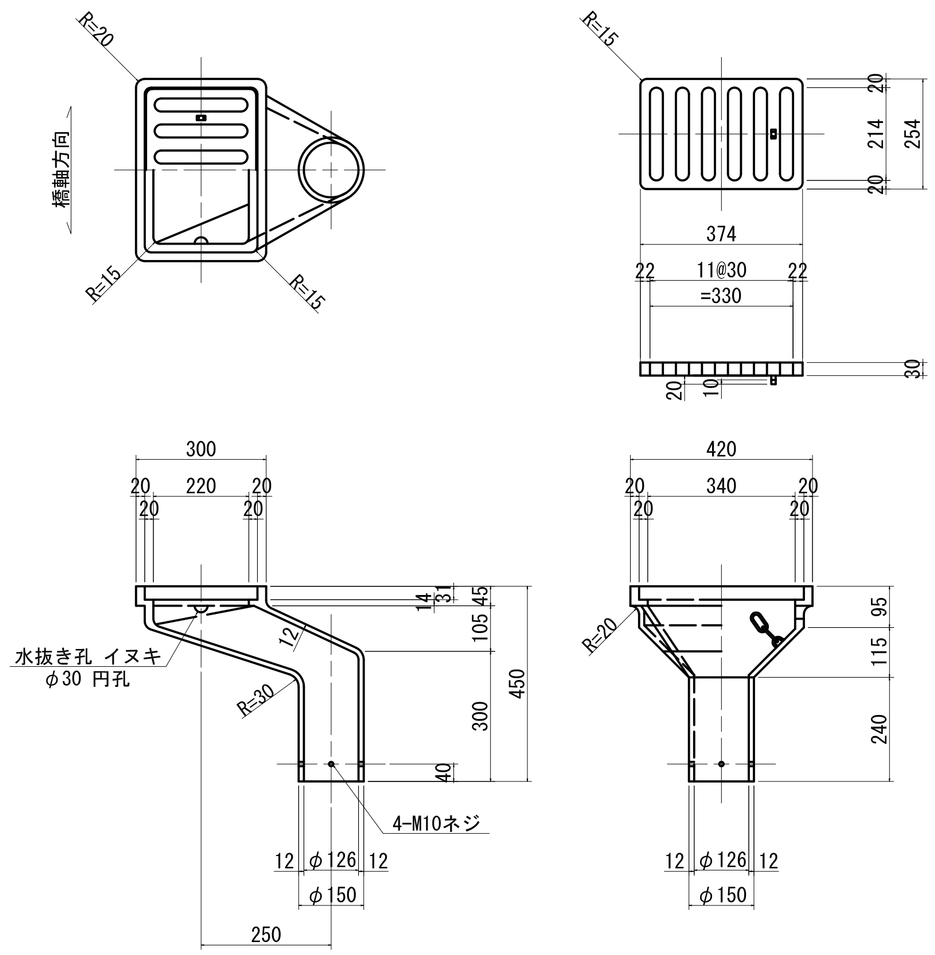
断　面　図 S=1:20



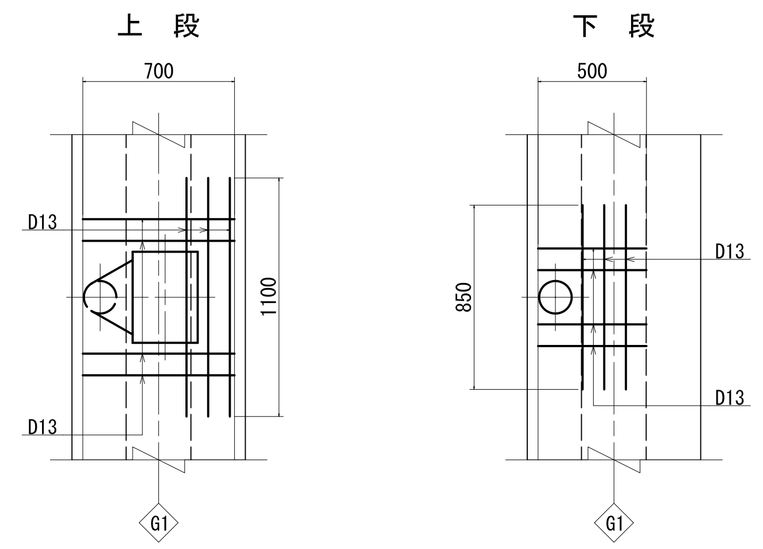
側　面　図 S=1:20



排　水　桝 S=1:10



排水桝補強筋 S=1:20



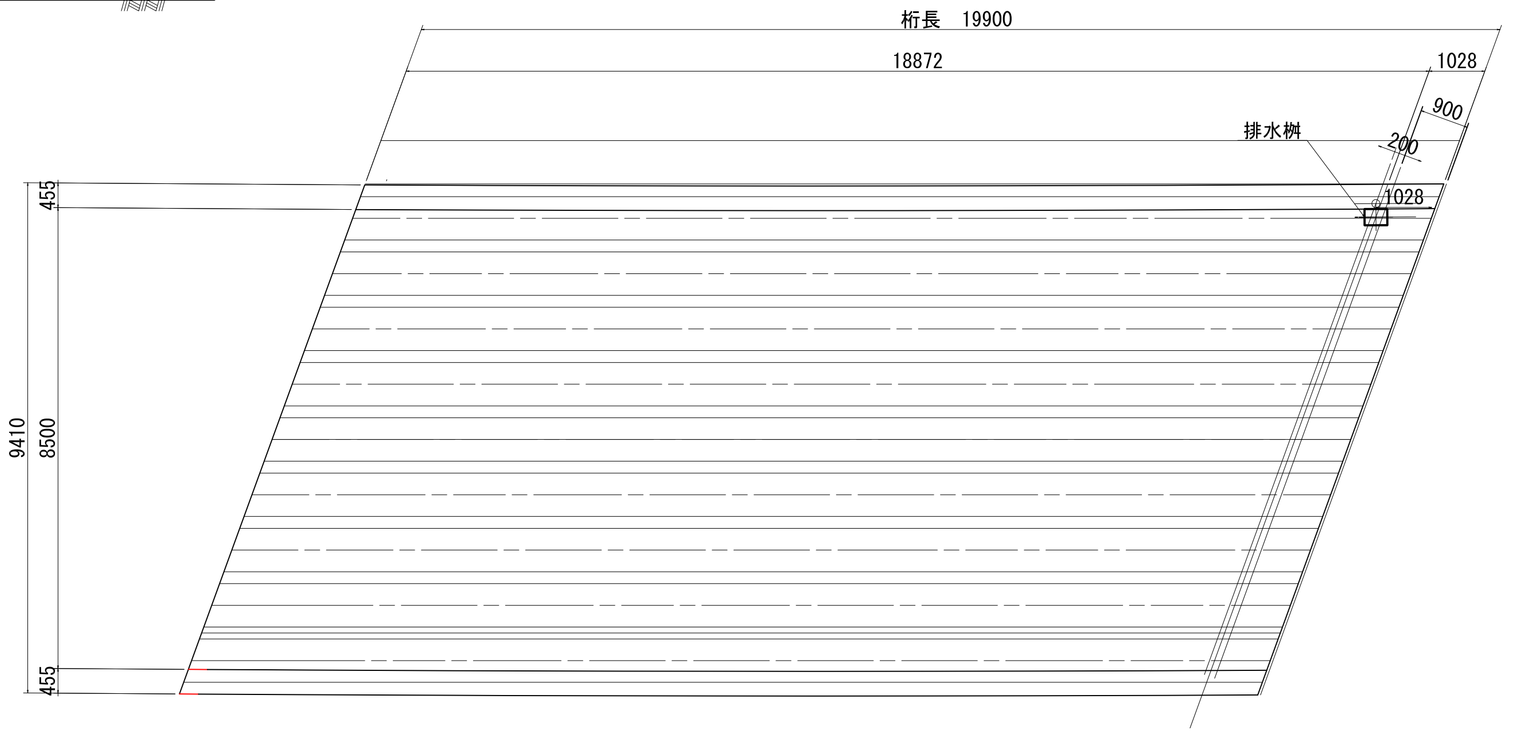
上段			
3 - D13 x 1100 =	3	kg	
4 - D13 x 700 =	3	kg	
1箇所当り D13	6	kg	

下段			
3 - D13 x 850 =	3	kg	
4 - D13 x 500 =	2	kg	
1箇所当り D13	5	kg	

排水桝数量表

名　称	材　質	個数	質　量	摘　要
本　体	FC250	1	52.8	
スクリーン	FC250	1	12.5	
チェーン	SS400	1	0.1	L=450 溶船メッキ
1組当り 合計			65.4 kg	

位　置　図 S=1:80



実　施

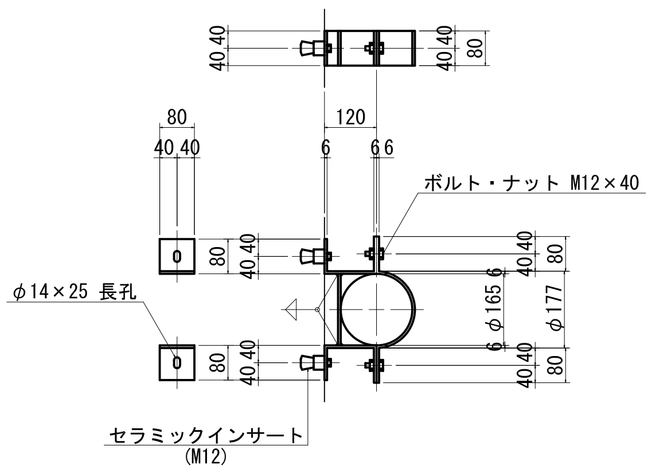
【田ノ尻橋】
【4号橋】

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	排水装置詳細図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

排水装置詳細図(その2)

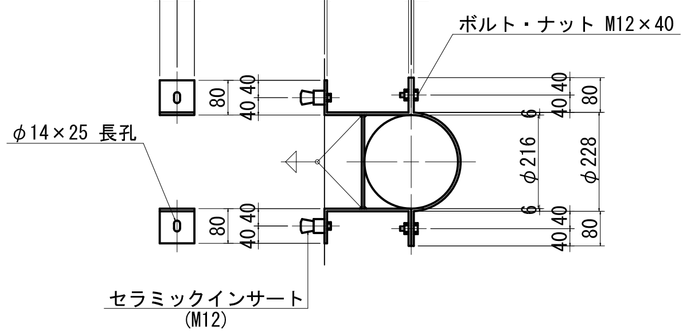
取付金具 S=1:10

S-1



1- PL 80×6×429	1.62	kg
1- PL 80×6×165	0.62	kg
2- PL 80×6×274	2.06	kg
2- ボルト・ナット(M12×40)		
2- セラミックインサート(M12)		
<インサート用ボルト(M12)>		
1組当り	4.30	kg

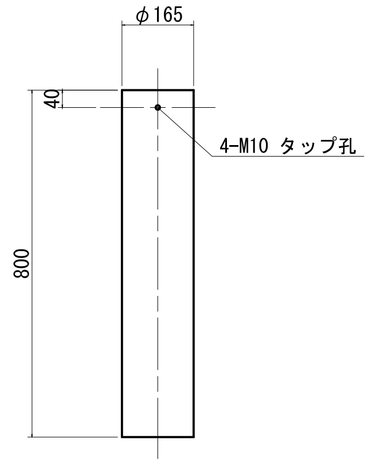
S-2



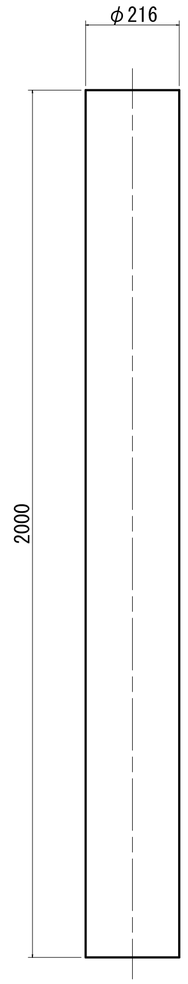
1- PL 80×6×509	1.92	kg
1- PL 80×6×216	0.81	kg
2- PL 80×6×354	2.67	kg
2- ボルト・ナット(M12×40)		
2- セラミックインサート(M12)		
<インサート用ボルト(M12)>		
1組当り	5.40	kg

排水管 S=1:10

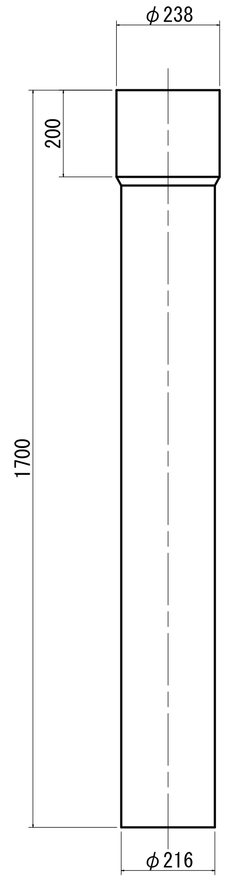
① VP150



② VP200

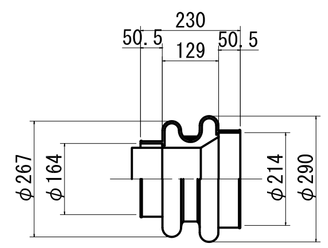


③ VP200



伸縮継手 S=1:10

φ200×φ150



材料表

(1橋当り)

品名	規格・寸法	単位	数量	質量(kg)	備考	亜鉛めっき
排水桝		組	1	65.4	W=65.4kg/組	施
排水管	① VP150 L=800	本	1	5.4	W=5.4kg/本	
	② VP200 L=2000	〃	1	20.3	W=20.3kg/本	
	③ VP200 L=1700	〃	1	17.2	W=17.2kg/本	
取付金具	S-1	組	1	4.3	W=4.30kg/組	施
	S-2	〃	3	16.2	W=5.40kg/組	〃
伸縮継手	φ200×φ150	個	1	――		
排水桝補強筋	SD345:D13	〃	1	6	上段:W=6kg/組	
	SD345:D13	〃	1	5	下段:W=5kg/組	
	合 計	―	――	11		
タップボルト	M10×40	本	4	――	N=4本/箇所	

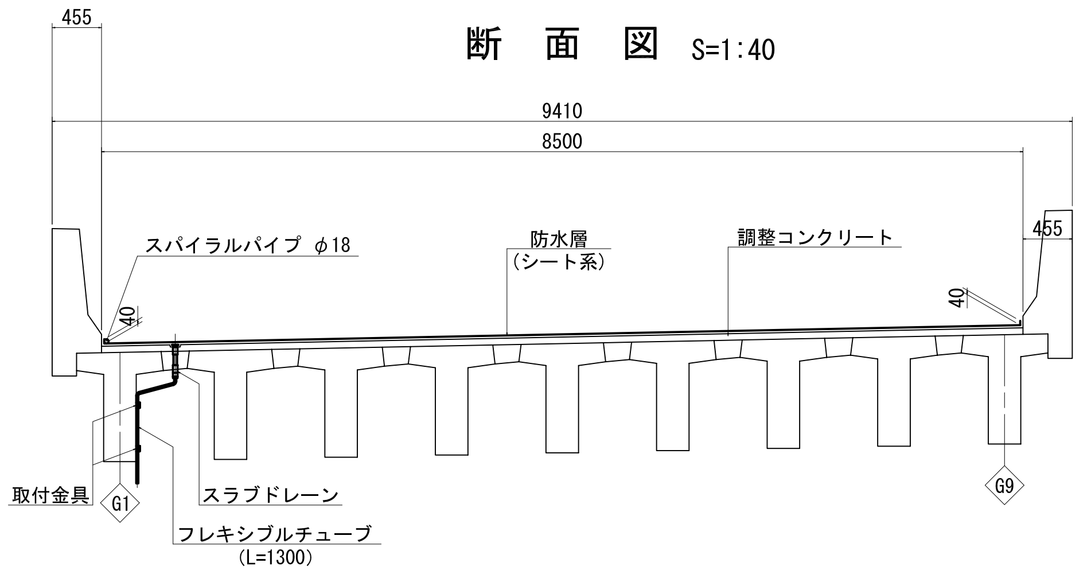
実 施

【田ノ尻橋】
【4号橋】

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	排水装置詳細図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

防 水 工 詳 細 図

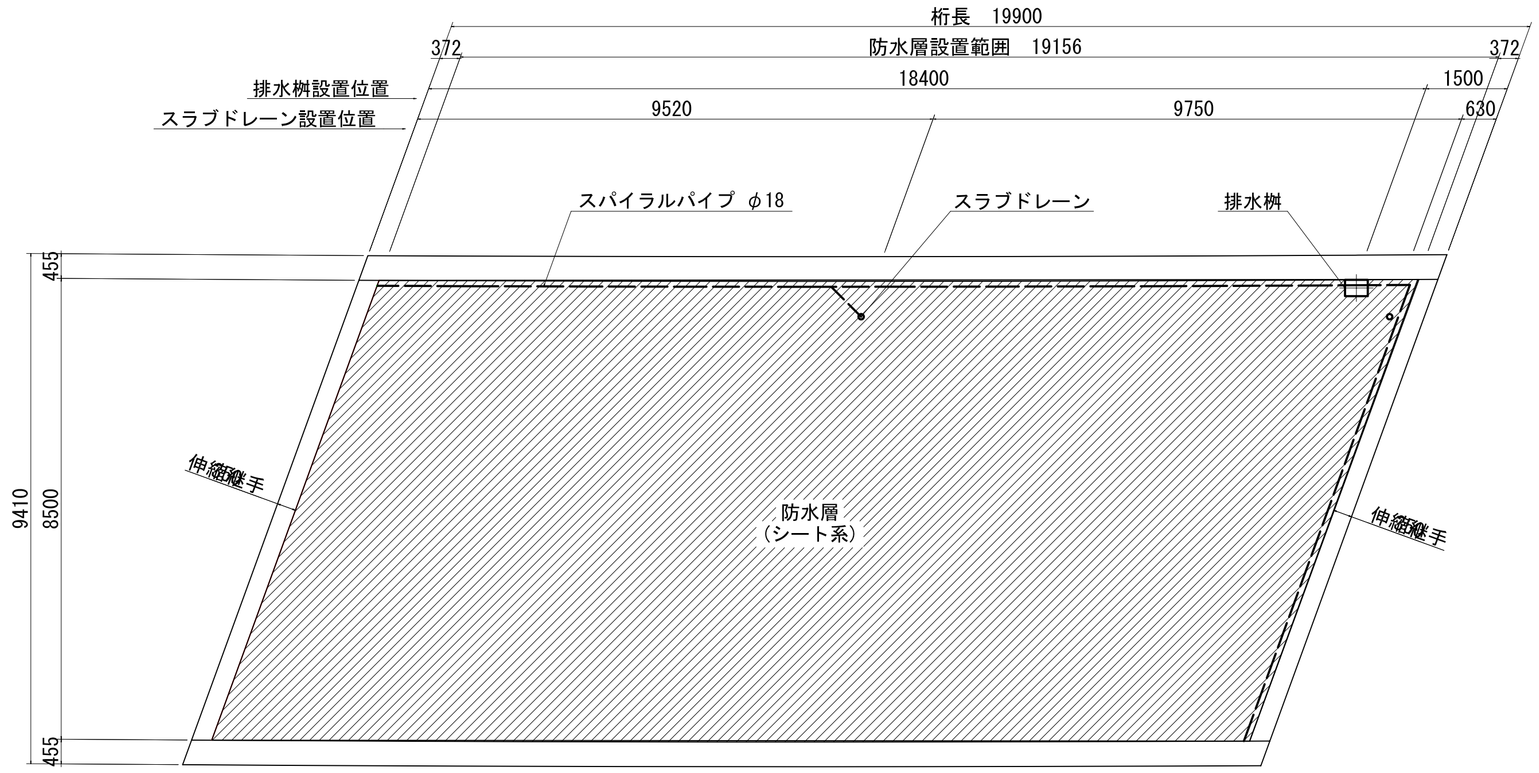
断 面 図 S=1:40



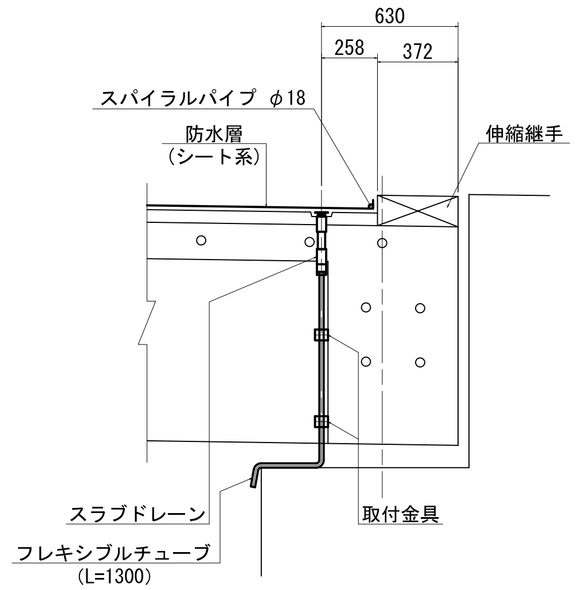
材 料 表 (1橋当り)

品 名	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	質量(kg)	備 考	亜鉛めっき
防水層	シート系	m^2	162.8	———		
スパイラルパイプ	φ18	m	29.1	———		
スラブドレーン		組	2	———		
フレキシブルチューブ		m	2.6	———	L=1.3m,N=2本	
取付金具	図面参照	組	4	1.0	W=0.25kg/組	施
端部目地処理材	目地材	m	56.4	———		
	端部処理材	〃	56.4	———		

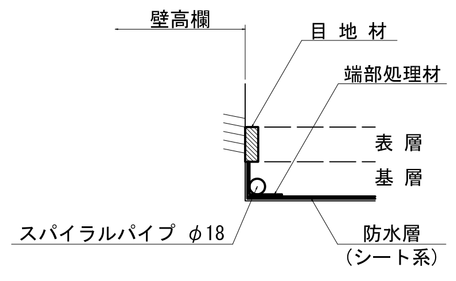
位 置 図



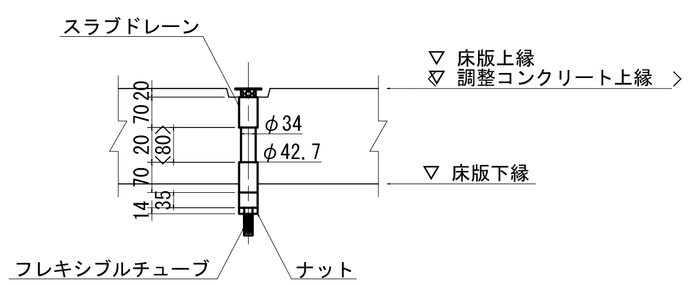
桁端部防水詳細図 S=1:20



端部処理詳細図 S=1:5

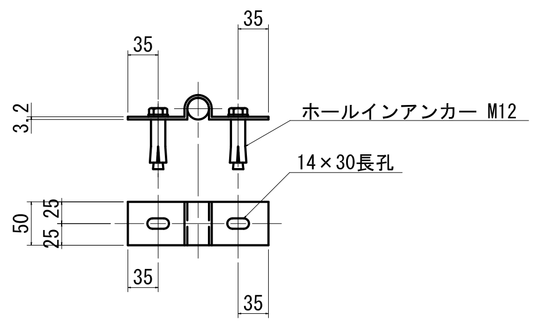


スラブドレーン S=1:10



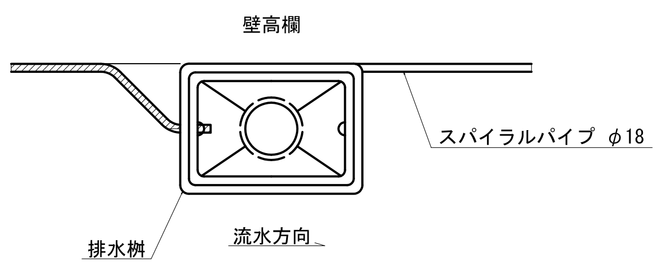
注) < >内は端部側の値を示す。

取 付 金 具 S=1:5



1 - PL 50×3.2×200 0.25 kg
2 - ホールインアンカー M12
1組当り 0.25 kg

排水桝接続部詳細図 S=1:10



実 施

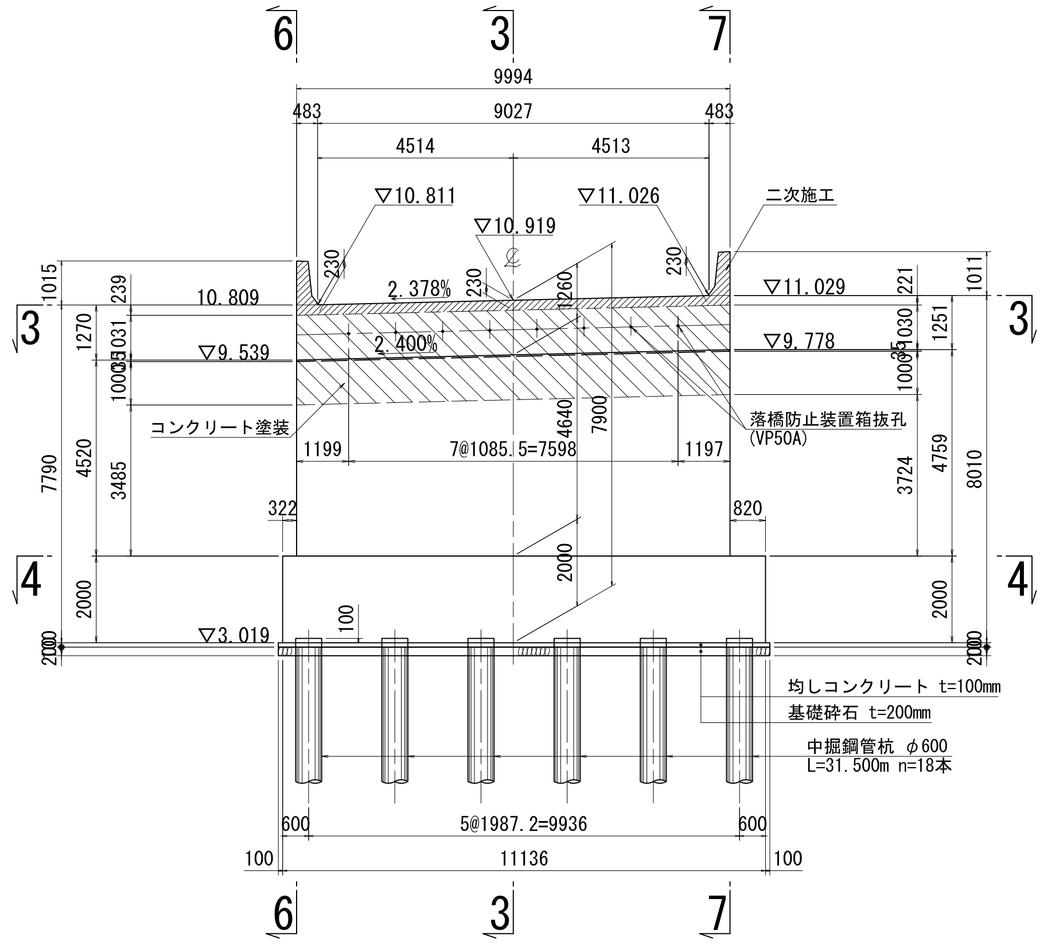
【田ノ尻橋】
【4号橋】

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)舗装(1-1工区)工事		
図名	防水工詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 / 当該番号

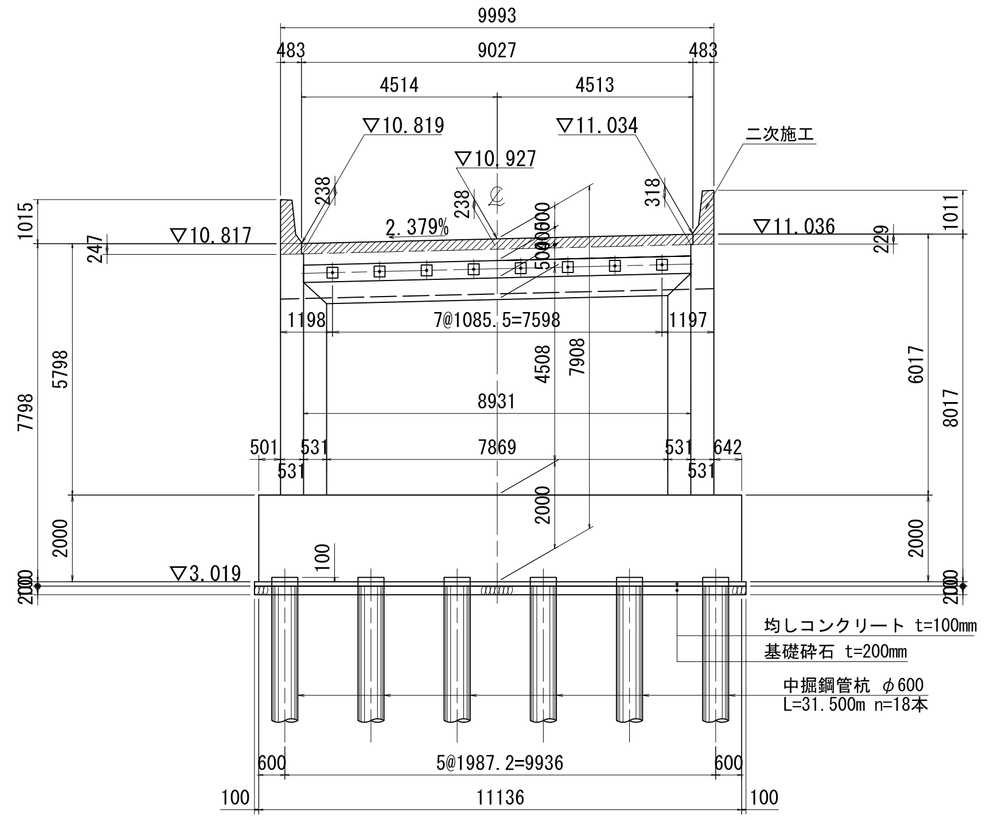
Ａ１橋台構造図（その１）　S=1:100

（支承条件：可動）

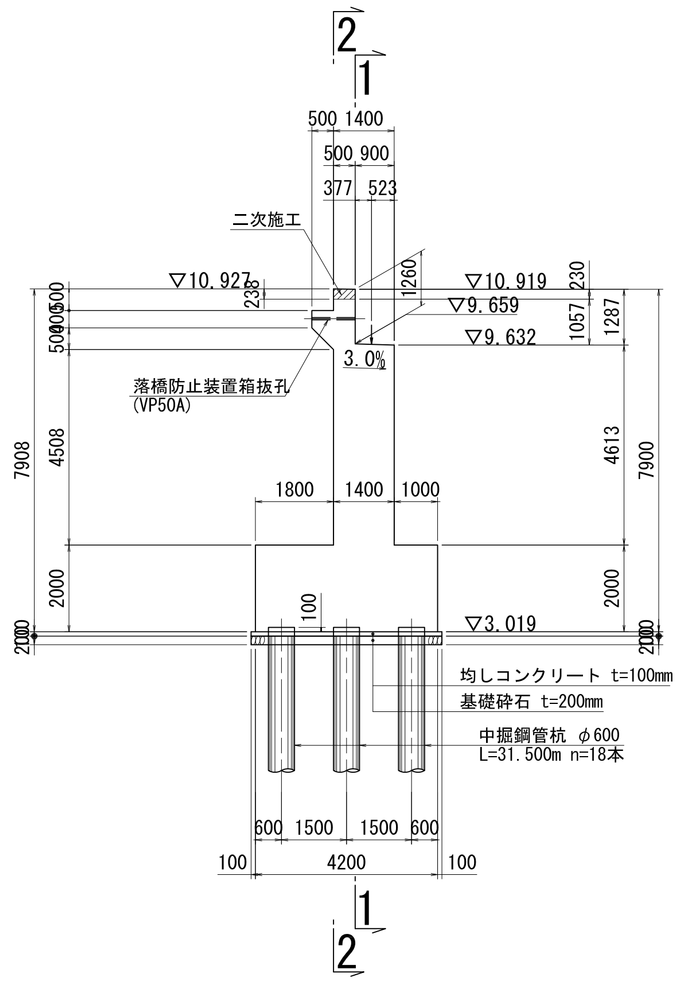
1 － 1



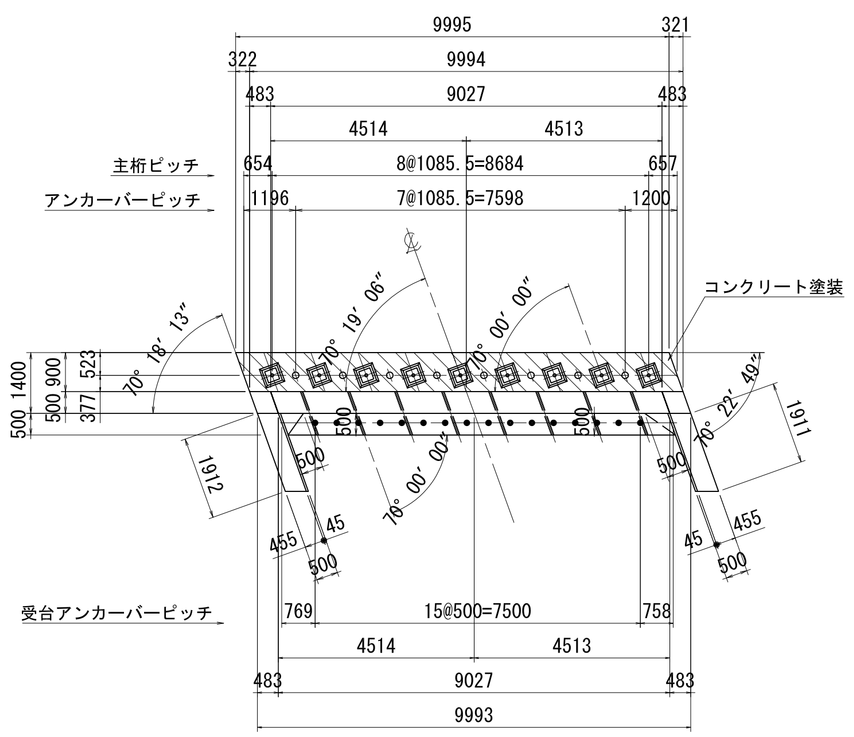
2 － 2



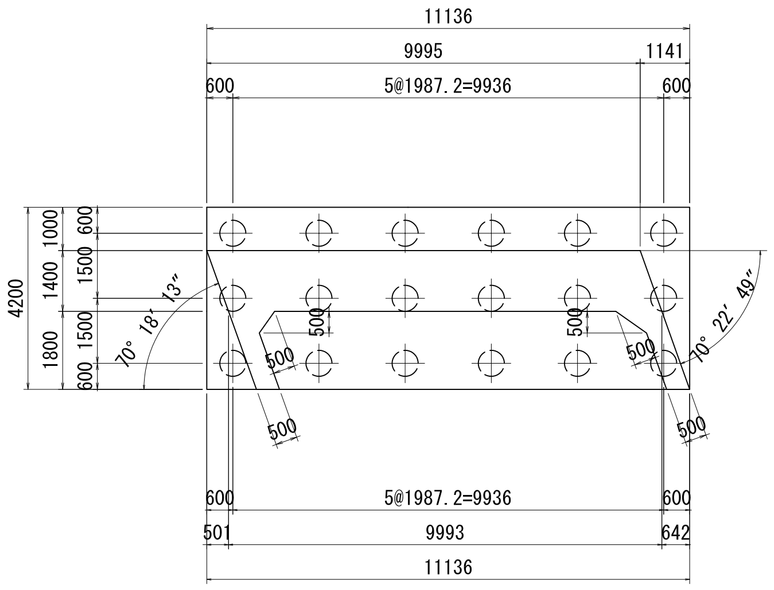
5 － 5



3 － 3



4 － 4



※落橋防止装置箱抜孔と受台アンカーバーが、
干渉する箇所については箱抜孔位置を優先すること。
その際のアンカー筋位置については、
現場で微調整にて対応することとする。

構造高表

(m)

		A1	S1 G1	S1 G9	A1
計画高	EL1	10.8095	11.0161		10.9188
舗装厚	H1	0.0800	0.0800		
調整コンクリート厚	H2	0.0612	0.0612		
桁高	H3	1.0000	1.0000		
レアー厚	H4	0.0100	0.0100		
支承厚	H5	0.0740	0.0740		
沓座モルタル	H6	0.0443	0.0425		パラ高
沓座高	EL2	9.5843	9.7909		1.2600
橋座高	EL3	9.5400	9.7484		9.6588

落橋防止装置設置標高（中心E.L）

(m)

	RB1	RB2	RB3	RB4	RB5	RB6	RB7	RB8
舗装天端	10.828	10.854	10.880	10.906	10.932	10.958	10.983	11.009
落橋EL	10.148	10.174	10.200	10.226	10.252	10.278	10.303	10.329

注記
1. 伸縮装置用ｱﾝｶｰ筋は、伸縮装置詳細図によること。
2. 踏掛版ずれ止めｱﾝｶｰは、踏掛版構造図によること。
3. 二次施工については、伸縮装置設置時に
コンクリートを打設すること。
4. 落橋防止装置箱抜孔は、落橋防止装置図によること。

使用材料		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck＝24N/mm²
鉄　筋	SD345	

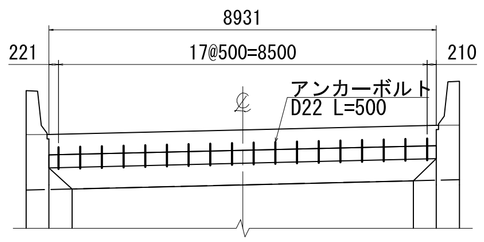
【４号橋】

実　施

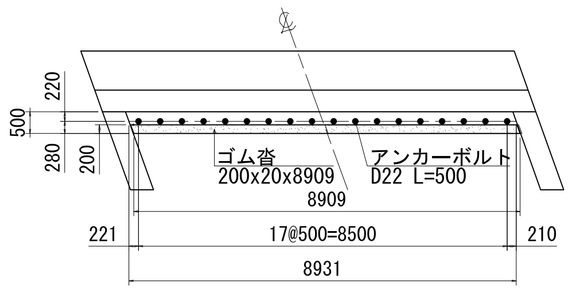
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	Ａ１橋台構造図(その1)		
縮尺	図示	位置	NO. ～NO.
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 ／ 当該番号 ／

A1橋台踏掛版配筋図 S=1:50

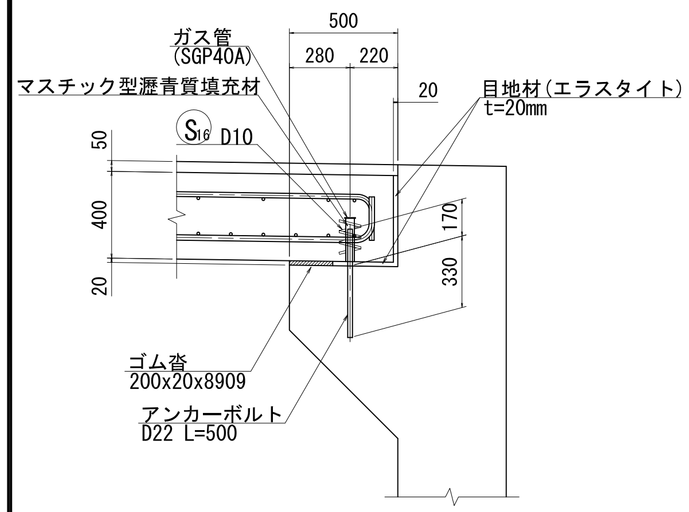
背面図 S=1:100



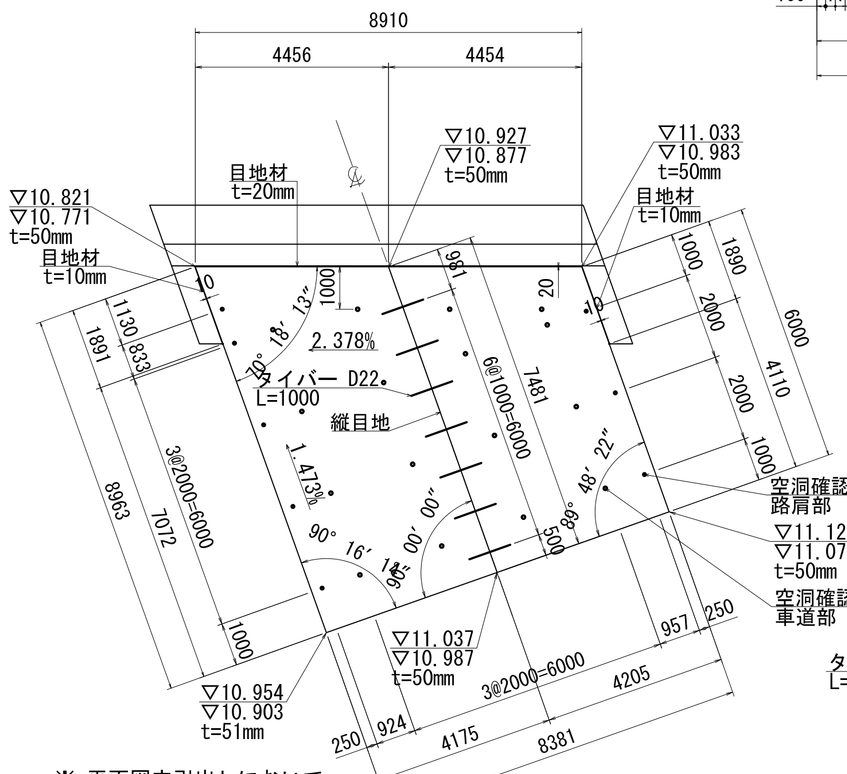
平面図 S=1:100



支承部詳細図 S=1:20



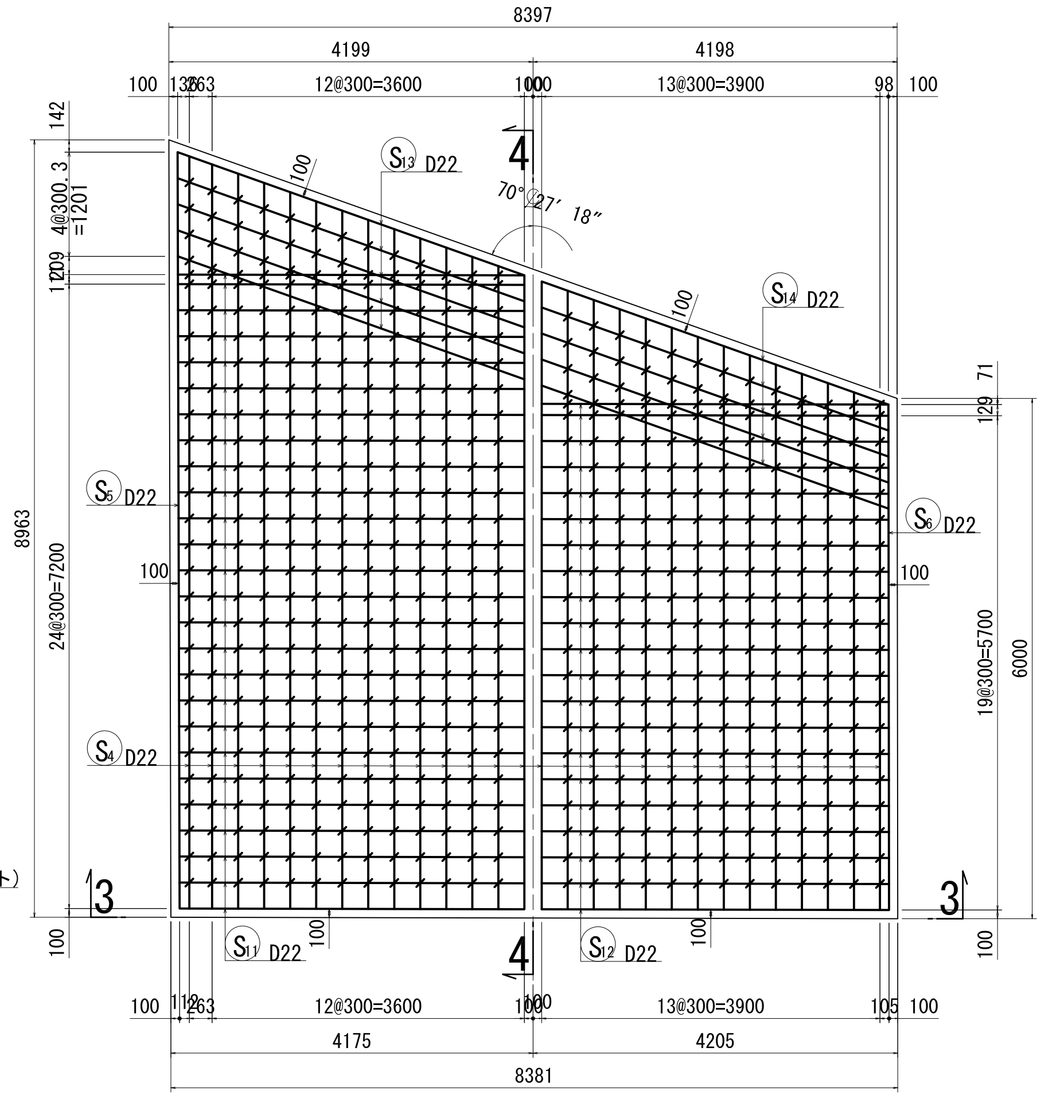
形状図 S=1:100



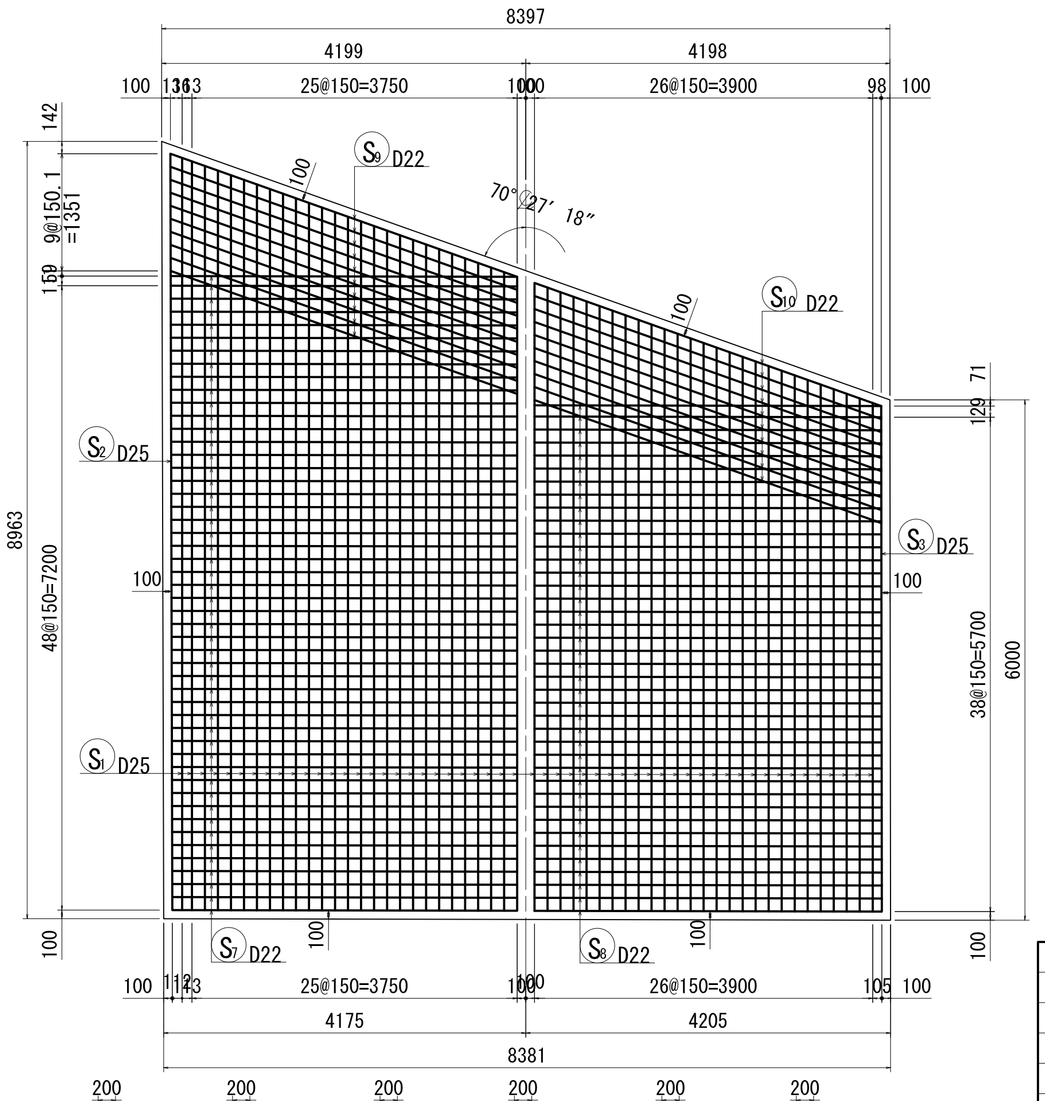
※ 平面図内引出しにおいて
上段は路面高,
中段は踏掛版天端高
下段は舗装厚を示す。

踏掛版平面積：62.738m²

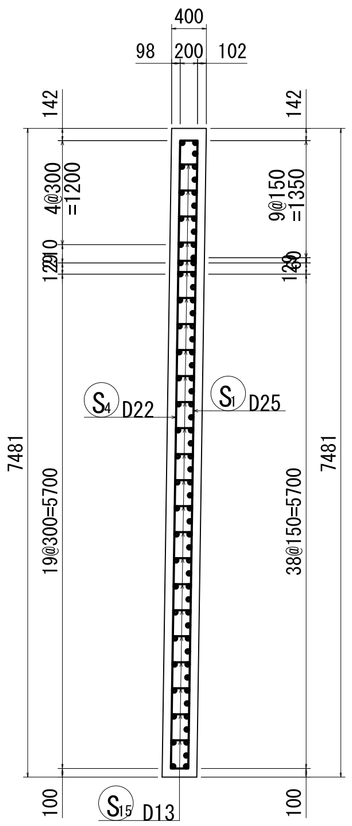
1 － 1



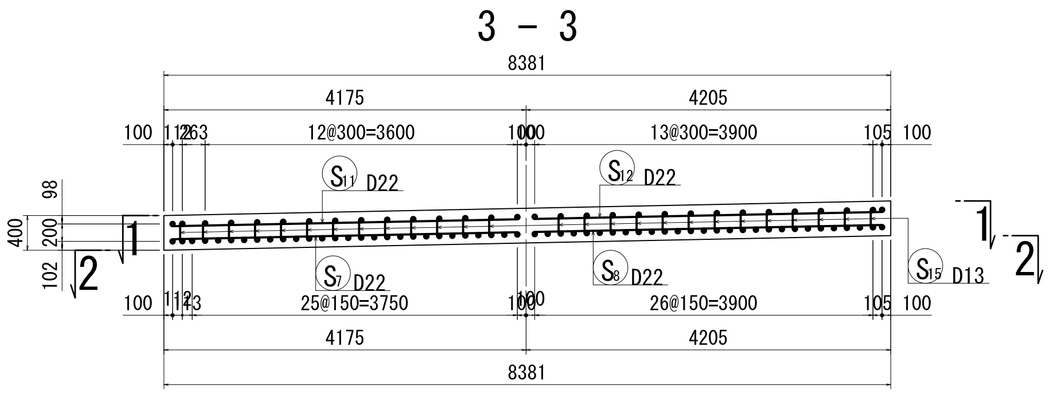
2 － 2



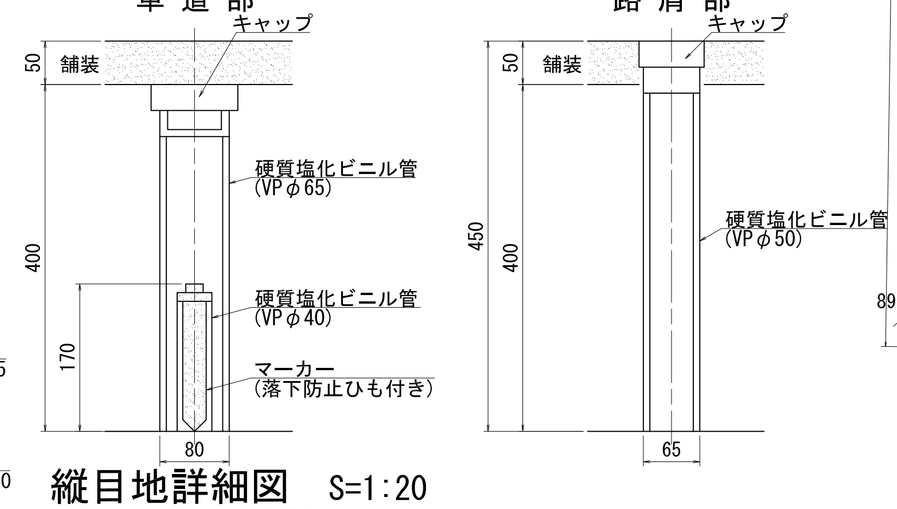
4 － 4



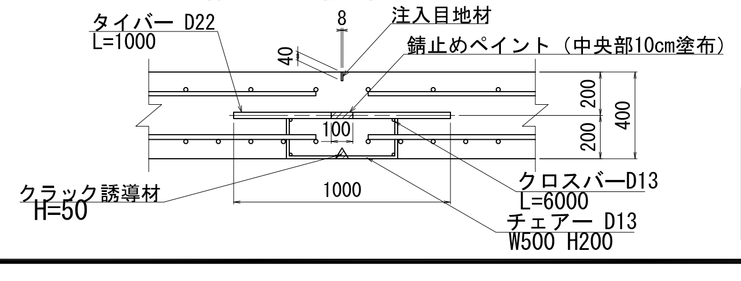
3 － 3



空洞確認孔 S=1:5

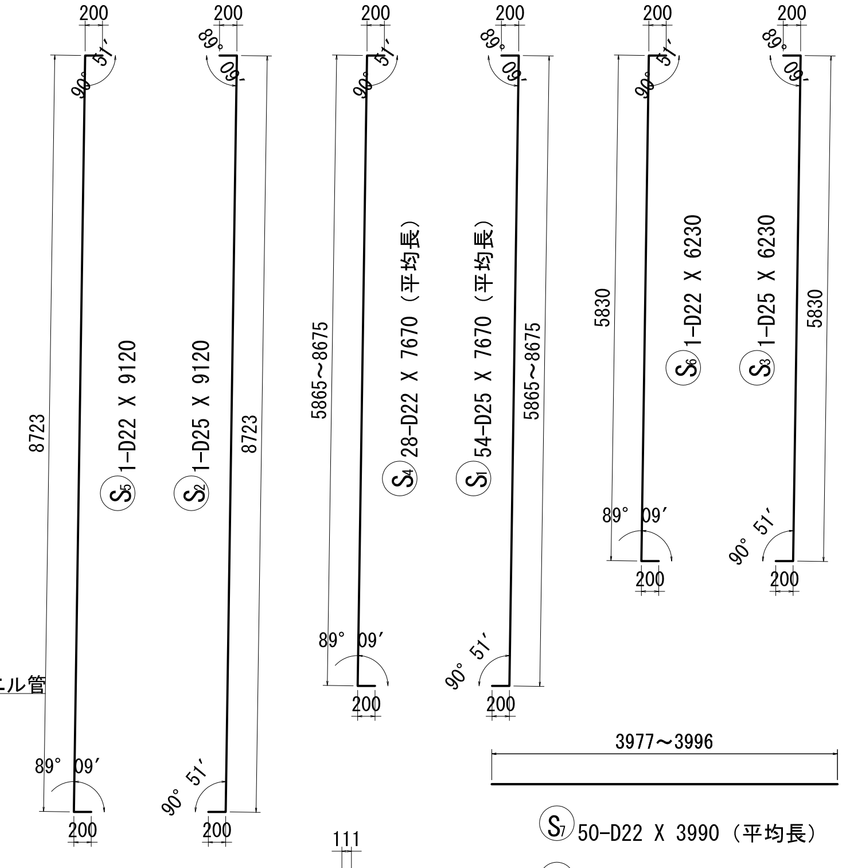


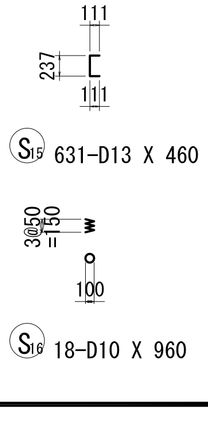
縦目地詳細図 S=1:20

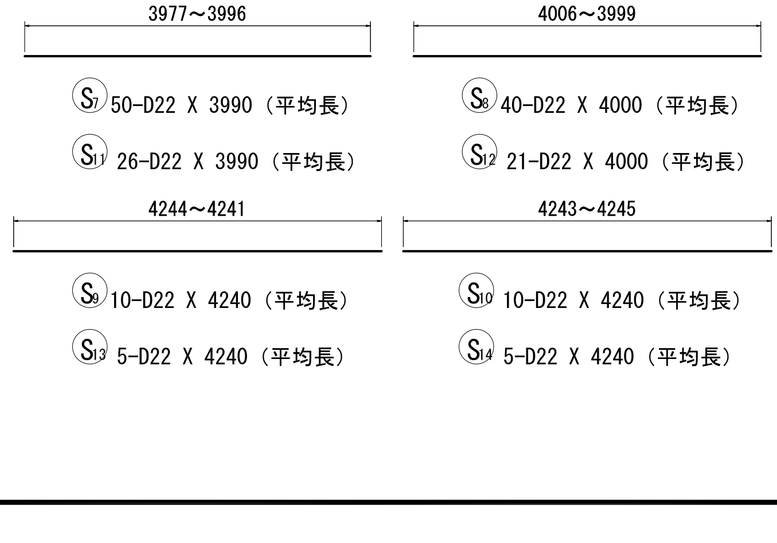


目地部重量

縦目地用数量	
タイバー	D22 L= 1000 n=7本 w=21kg
クロスバー	D13 L= 6000 n=4本 w=24kg
チェアー	D13 L= 900 n=7本 w= 6kg







鉄筋重量表

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S 1	D25	7670	54	3.98	30.53	1649	I (平均長)
S 2	D25	9120	1	3.98	36.30	36	I
S 3	D25	6230	1	3.98	24.80	25	I
S 4	D22	7670	28	3.04	23.32	653	I (平均長)
S 5	D22	9120	1	3.04	27.72	28	I
S 6	D22	6230	1	3.04	18.94	19	I
S 7	D22	3990	50	3.04	12.13	607	(平均長)
S 8	D22	4000	40	3.04	12.16	486	(平均長)
S 9	D22	4240	10	3.04	12.89	129	(平均長)
S10	D22	4240	10	3.04	12.89	129	(平均長)
S11	D22	3990	26	3.04	12.13	315	(平均長)
S12	D22	4000	21	3.04	12.16	255	(平均長)
S13	D22	4240	5	3.04	12.89	64	(平均長)
S14	D22	4240	5	3.04	12.89	64	(平均長)
S15	D13	460	631	0.995	0.46	290	⊏
S16	D10	960	18	0.560	0.54	10	：
						4759	

合 計	D25	1710 kg
	D22	2749 kg
	D13	290 kg
	D10	10 kg
総重量		4759 kg

使用材料		
コンクリート	躯体コンクリート	σck＝24N/mm²
鉄 筋	SD345	

47/54

実 施

【４号橋】

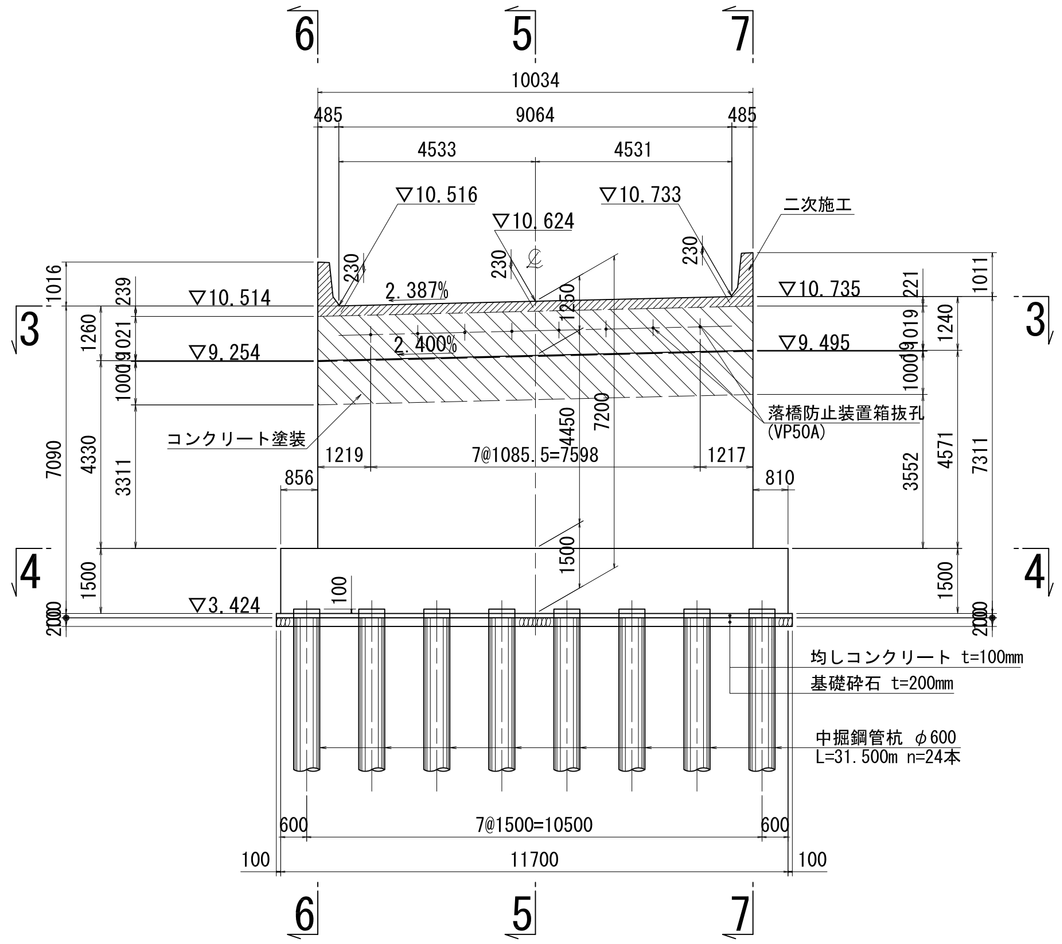
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事
図面名	A1橋台踏掛版配筋図
縮尺	図示
設計者	
位置	NO. ～NO.
設計年度	
図番	成果番号 当該番号

宮 城 県

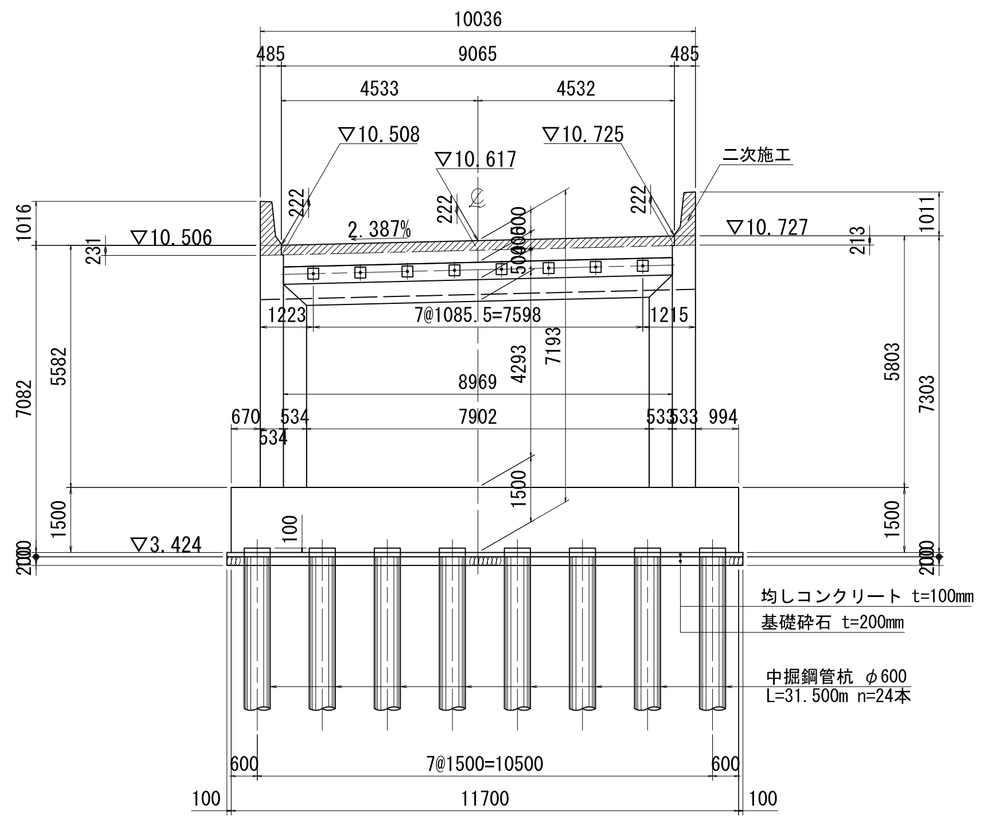
Ａ２橋台構造図（その１） S=1:100

（支承条件：固定）

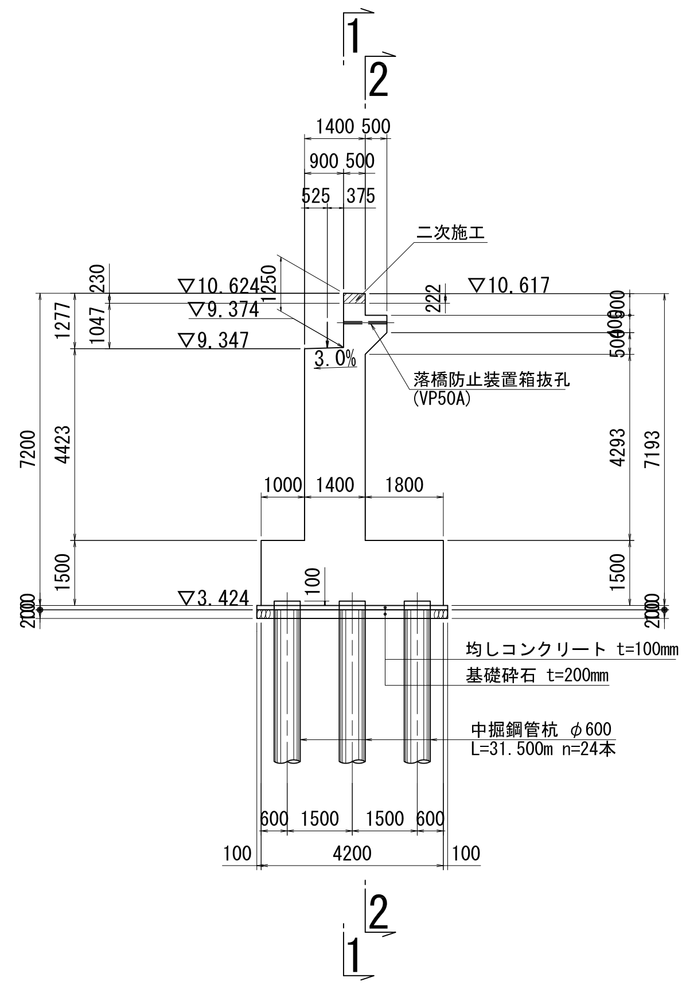
1 － 1



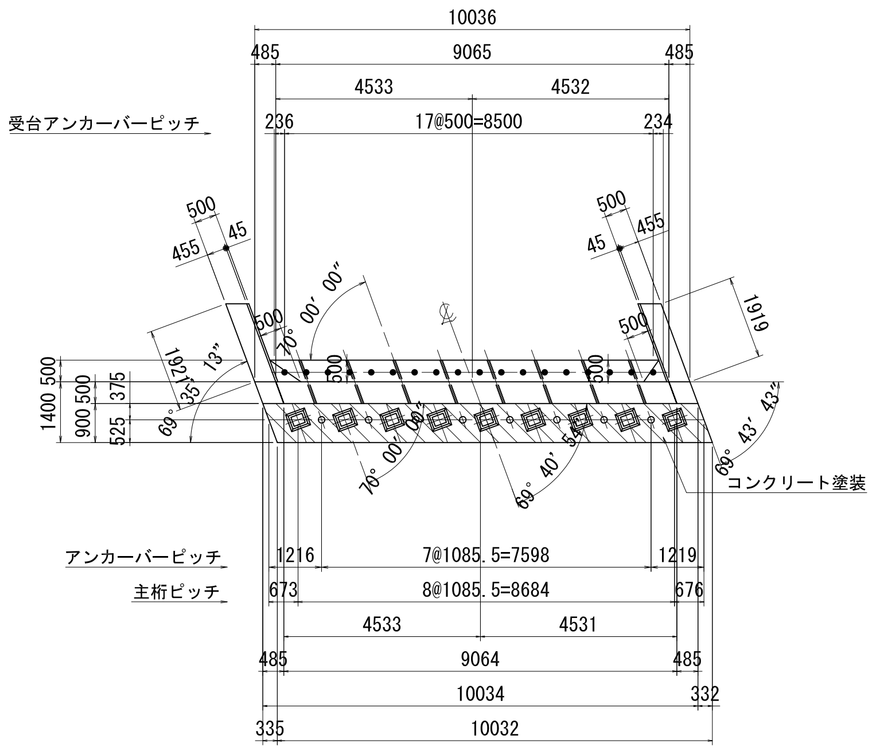
2 － 2



5 － 5

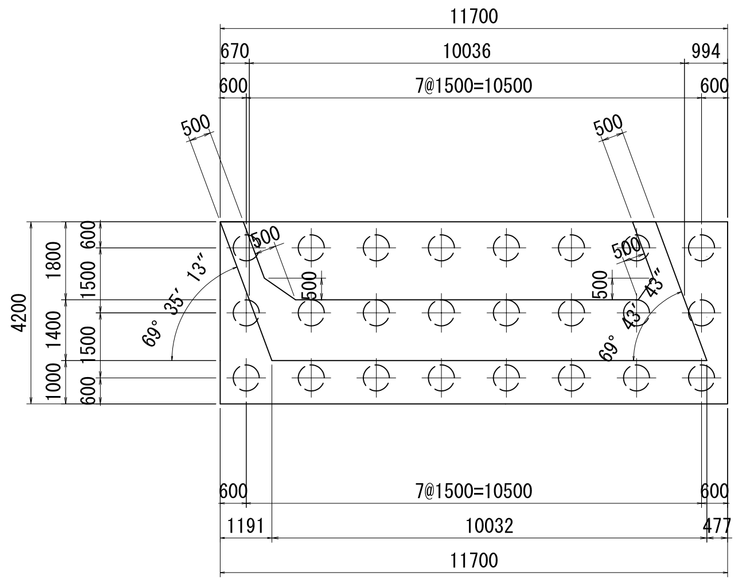


3 － 3



※落橋防止装置箱抜孔と受台アンカーバーが、
干渉する箇所については箱抜孔位置を優先すること。
その際のアンカー筋位置については、
現場で微調整にて対応することとする。

4 － 4



構造高表

(m)

A2		S2 G1	S2 G9	A2
計画高	EL1	10.5266	10.7338	10.6244
舗装厚	H1	0.0800	0.0800	
調整コンクリート厚	H2	0.0608	0.0608	
桁高	H3	1.0000	1.0000	
レアー厚	H4	0.0100	0.0100	
支承厚	H5	0.0680	0.0680	
沓座モルタル	H6	0.0456	0.0444	パラ高
沓座高	EL2	9.3078	9.5150	1.2500
橋座高	EL3	9.2622	9.4706	9.3744

落橋防止装置設置標高（中心E.L）

(m)

	RB1	RB2	RB3	RB4	RB5	RB6	RB7	RB8
舗装天端	10.534	10.560	10.586	10.611	10.637	10.663	10.689	10.715
落橋EL	9.854	9.880	9.906	9.931	9.957	9.983	10.009	10.035

注記
1. 伸縮装置用ｱﾝｶｰ筋は、伸縮装置詳細図によること。
2. 踏掛版ずれ止めｱﾝｶｰは、踏掛版構造図によること。
3. 二次施工については、伸縮装置設置時に
コンクリートを打設すること。
4. 落橋防止装置箱抜孔は、落橋防止装置図によること。

使用材料		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck＝24N/mm²
鉄　筋	SD345	

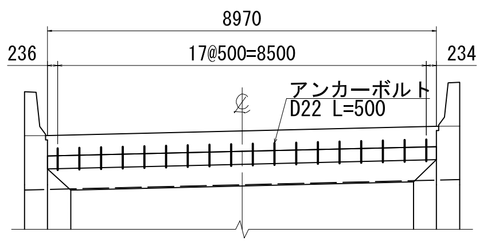
【４号橋】

実　施

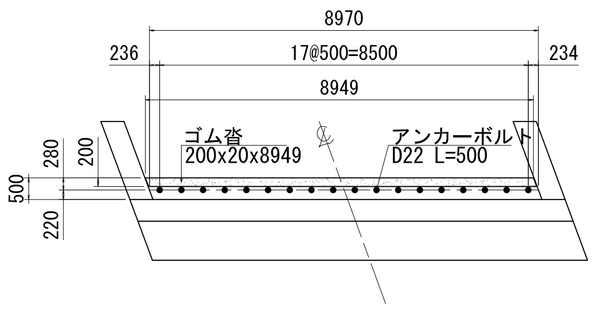
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	Ａ２橋台構造図(その1)		
縮尺	図示	位置	NO. ～NO.
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 ／ 当該番号 ／

A2橋台踏掛版配筋図 S=1:50

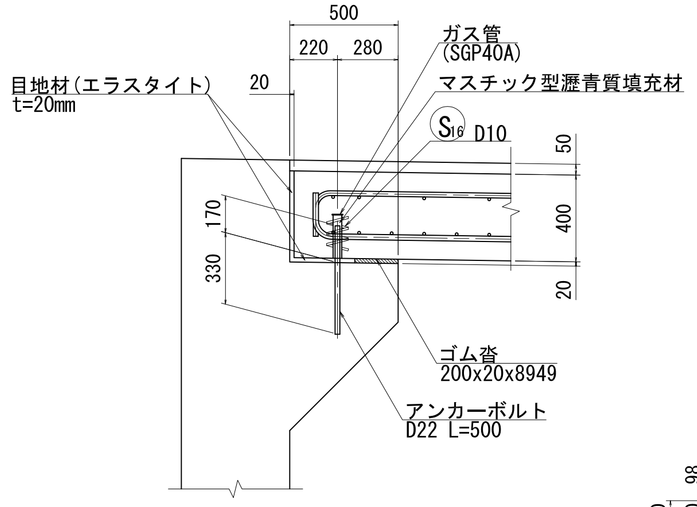
背面図 S=1:100



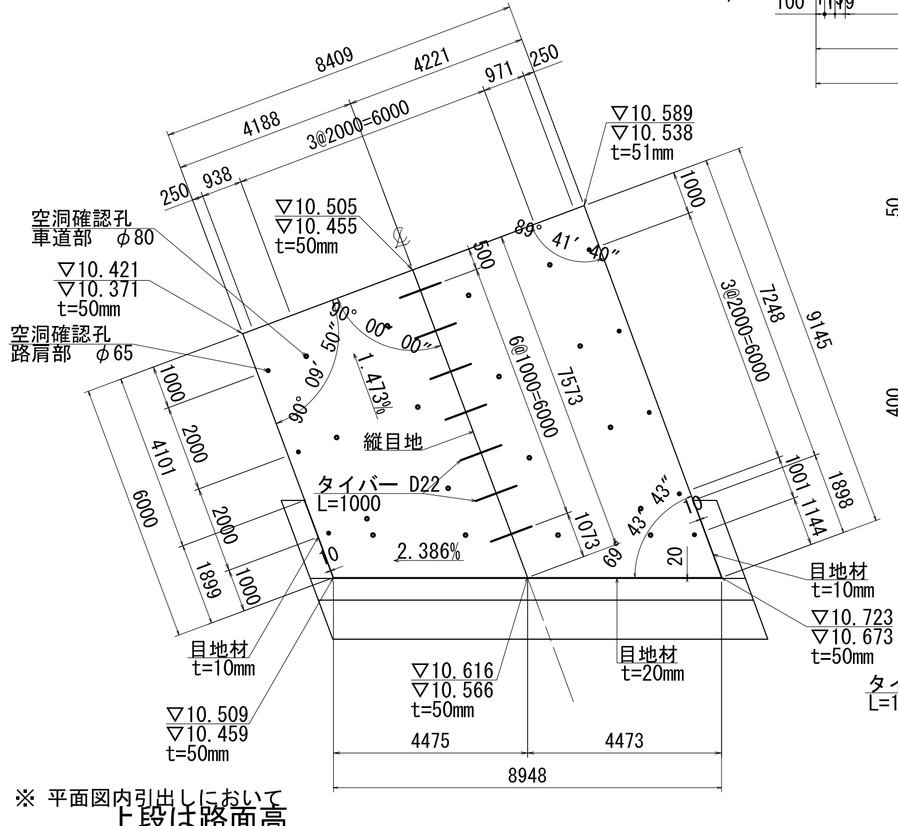
平面図 S=1:100



支承部詳細図 S=1:20



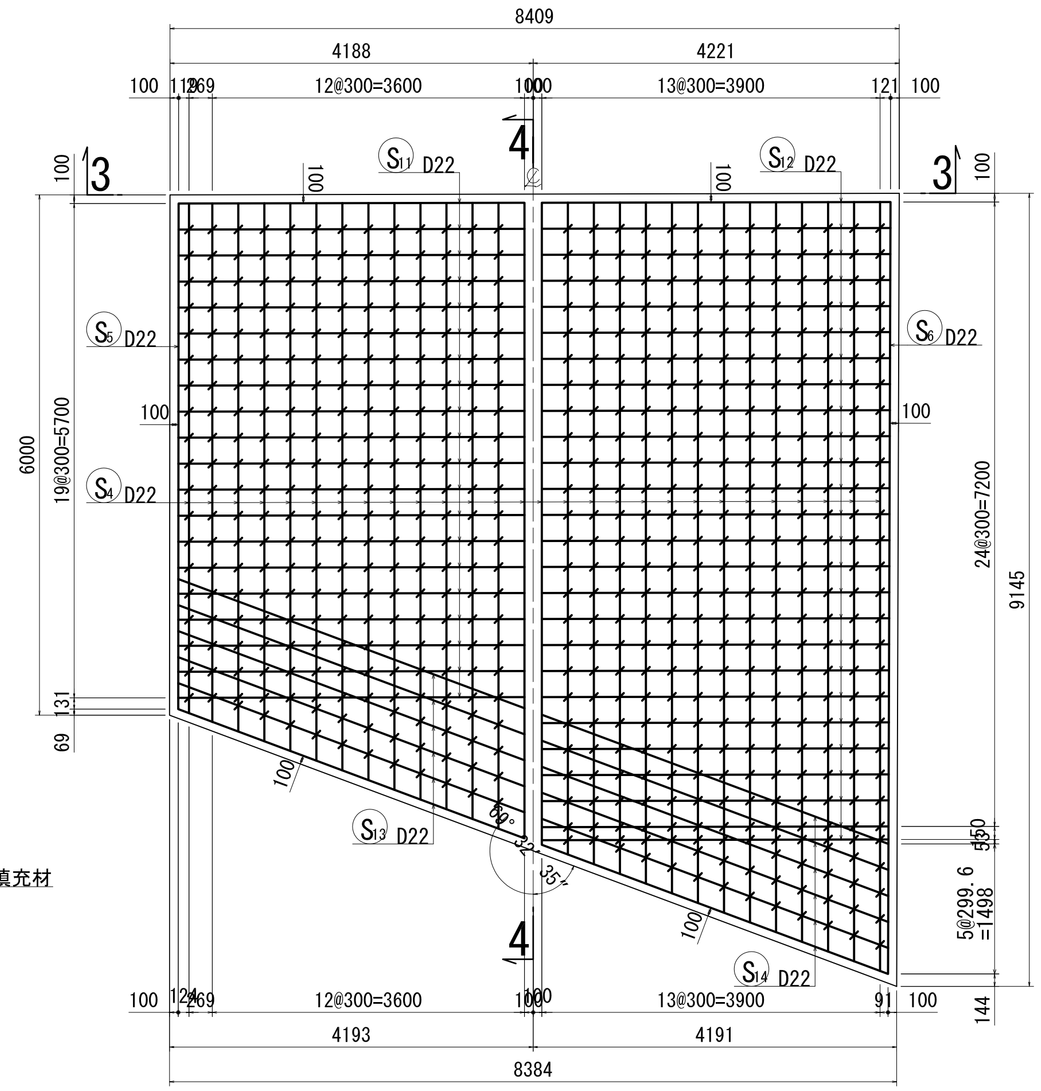
形状図 S=1:100



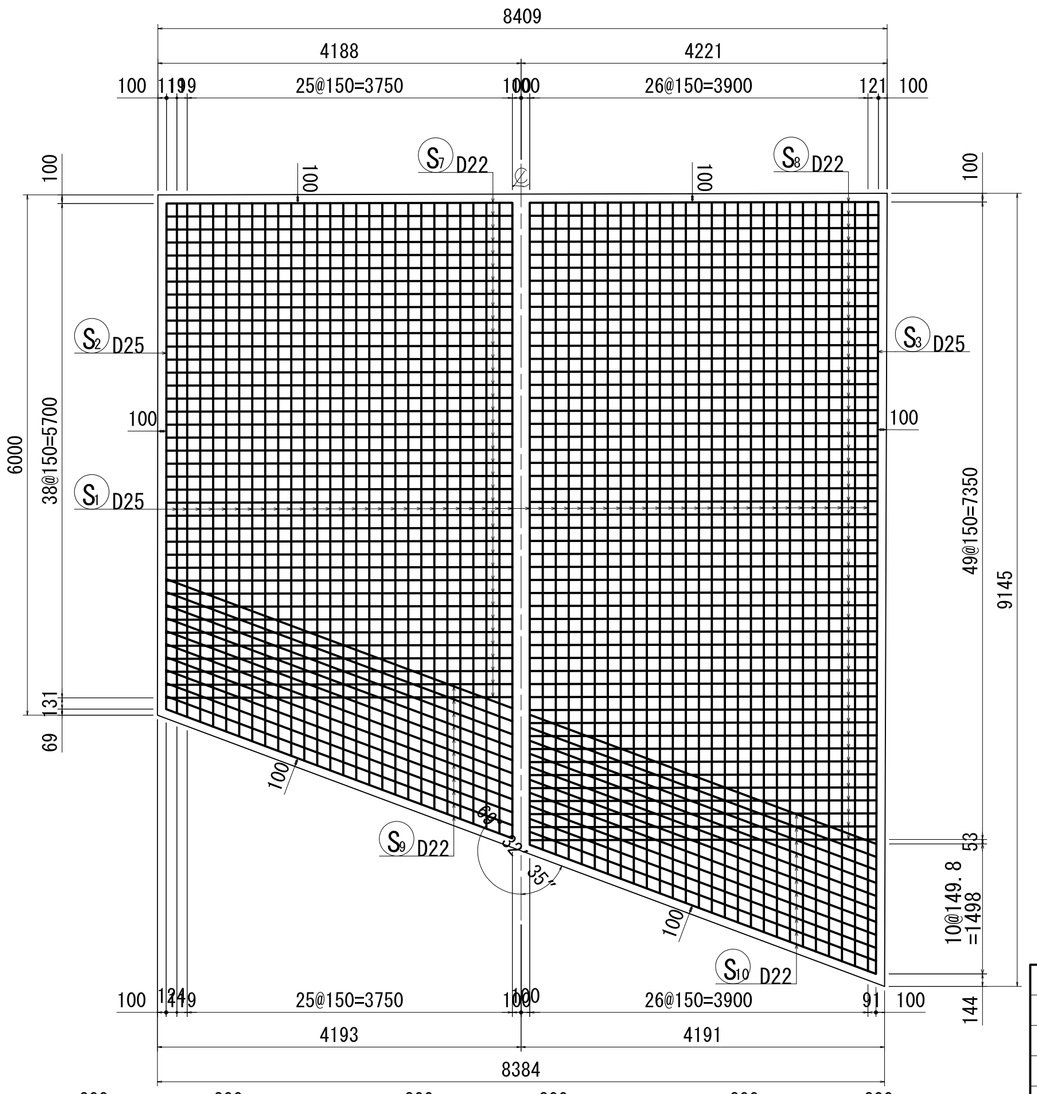
※ 平面図内引出しにおいて
上段は路面高
中段は踏掛版大端高
下段は舗装厚を示す。

踏掛版平面積：63.607m^2

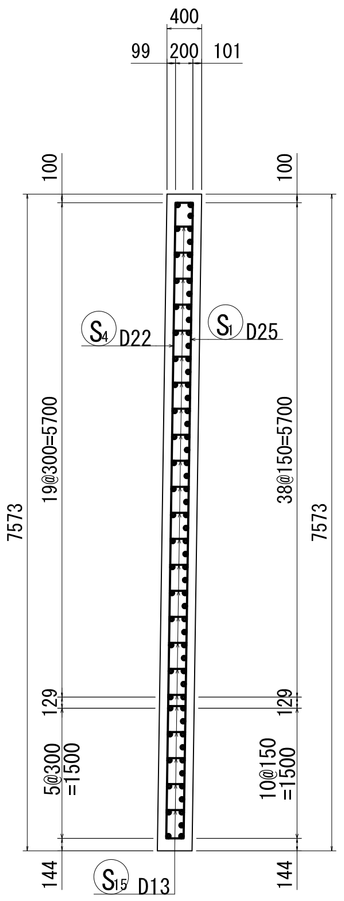
1 － 1



2 － 2

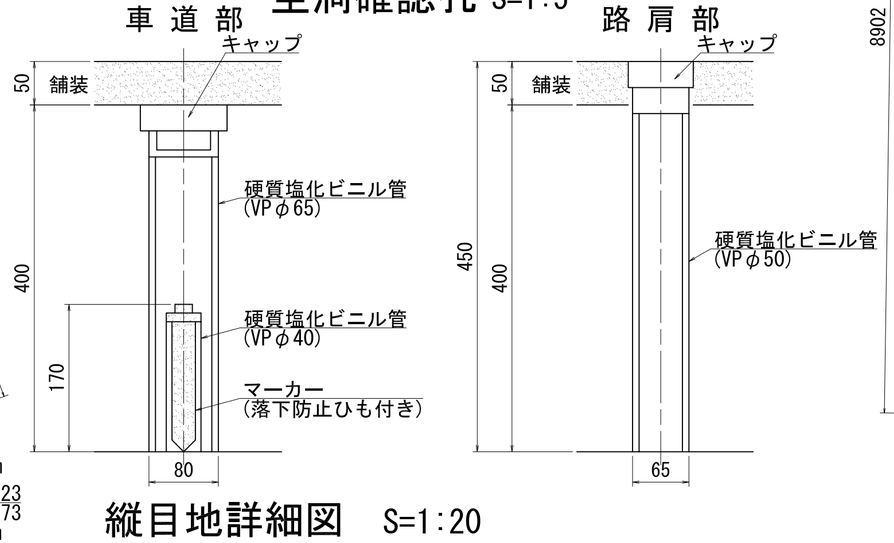


4 － 4

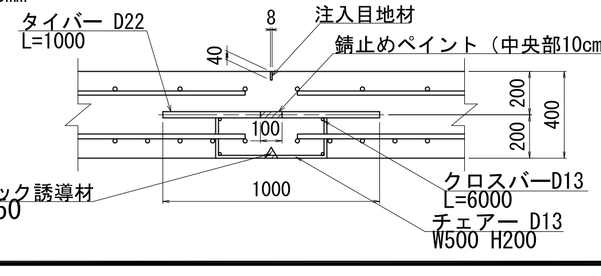


3 － 3

空洞確認孔 S=1:5

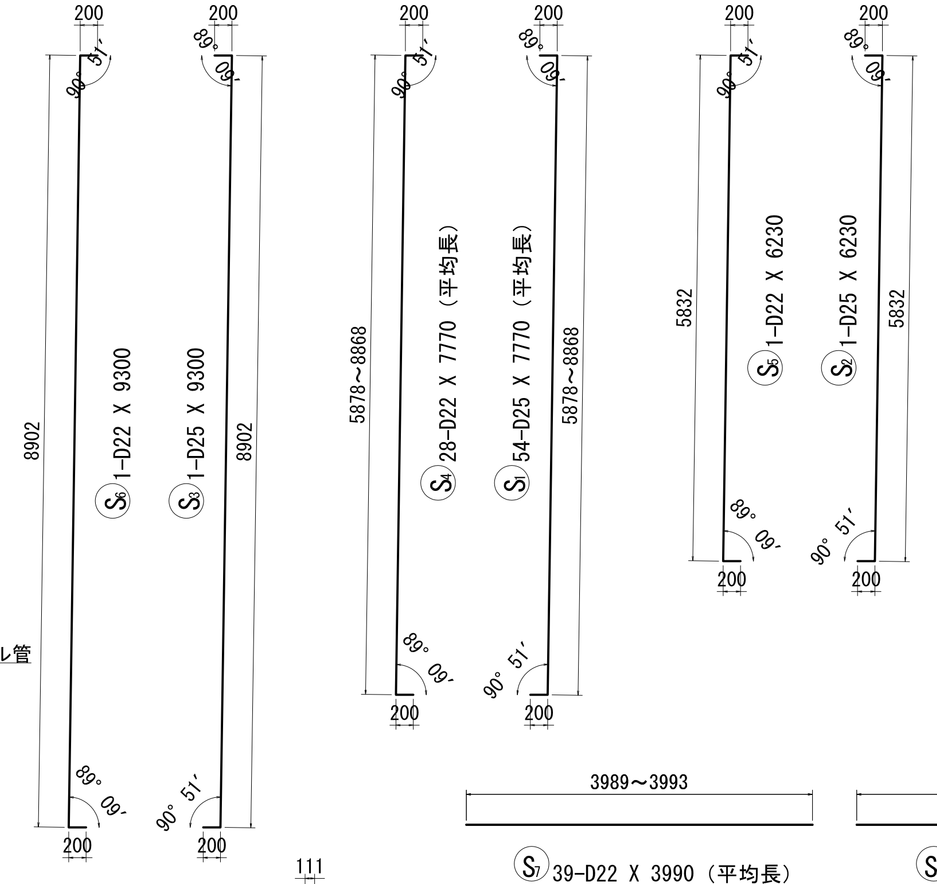


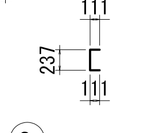
縦目地詳細図 S=1:20



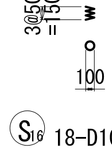
目地部重量

縦目地用数量					
タイバー	D22	L= 1000	n=7本	w=21kg	
クロスバー	D13	L= 6000	n=4本	w=24kg	
チェアー	D13	L= 900	n=7本	w= 6kg	





S15 626-D13 X 460



S16 18-D10 X 960

3989～3993

S7 39-D22 X 3990 (平均長)

S11 20-D22 X 3990 (平均長)

4021～3998

S8 50-D22 X 4010 (平均長)

S12 26-D22 X 4010 (平均長)

4261～4262

S9 11-D22 X 4260 (平均長)

S13 6-D22 X 4260 (平均長)

4266～4261

S10 11-D22 X 4260 (平均長)

S14 6-D22 X 4260 (平均長)

鉄筋重量表

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S 1	D25	7770	54	3.98	30.92	1670	(平均長)
S 2	D25	6230	1	3.98	24.80	25	
S 3	D25	9300	1	3.98	37.01	37	
S 4	D22	7770	28	3.04	23.62	661	(平均長)
S 5	D22	6230	1	3.04	18.94	19	
S 6	D22	9300	1	3.04	28.27	28	
S 7	D22	3990	39	3.04	12.13	473	(平均長)
S 8	D22	4010	50	3.04	12.19	610	(平均長)
S 9	D22	4260	11	3.04	12.95	142	(平均長)
S10	D22	4260	11	3.04	12.95	142	(平均長)
S11	D22	3990	20	3.04	12.13	243	(平均長)
S12	D22	4010	26	3.04	12.19	317	(平均長)
S13	D22	4260	6	3.04	12.95	78	(平均長)
S14	D22	4260	6	3.04	12.95	78	(平均長)
S15	D13	460	626	0.995	0.46	288	
S16	D10	960	18	0.560	0.54	10	
						4821	

合 計	D25	1732 kg
	D22	2791 kg
	D13	288 kg
	D10	10 kg
総重量		4821 kg

使用材料		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck＝24N/mm^2
鉄 筋	SD345	

48
54

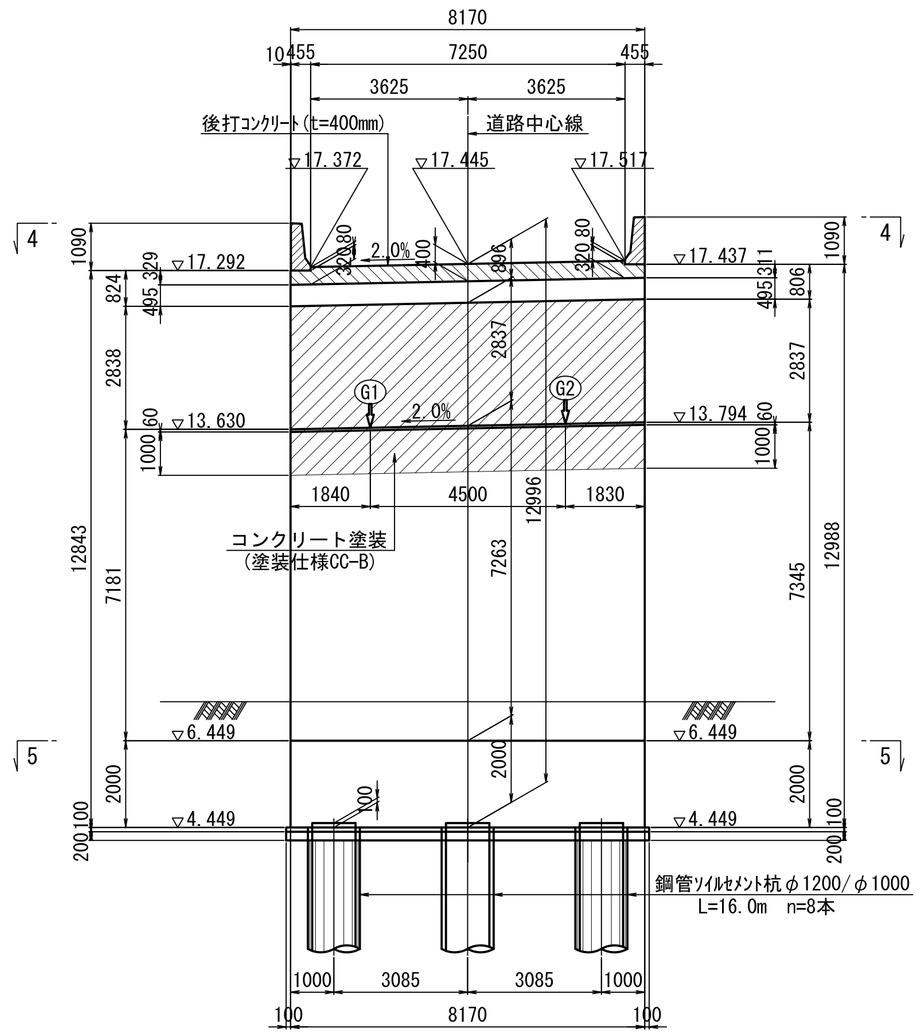
実 施

【４号橋】

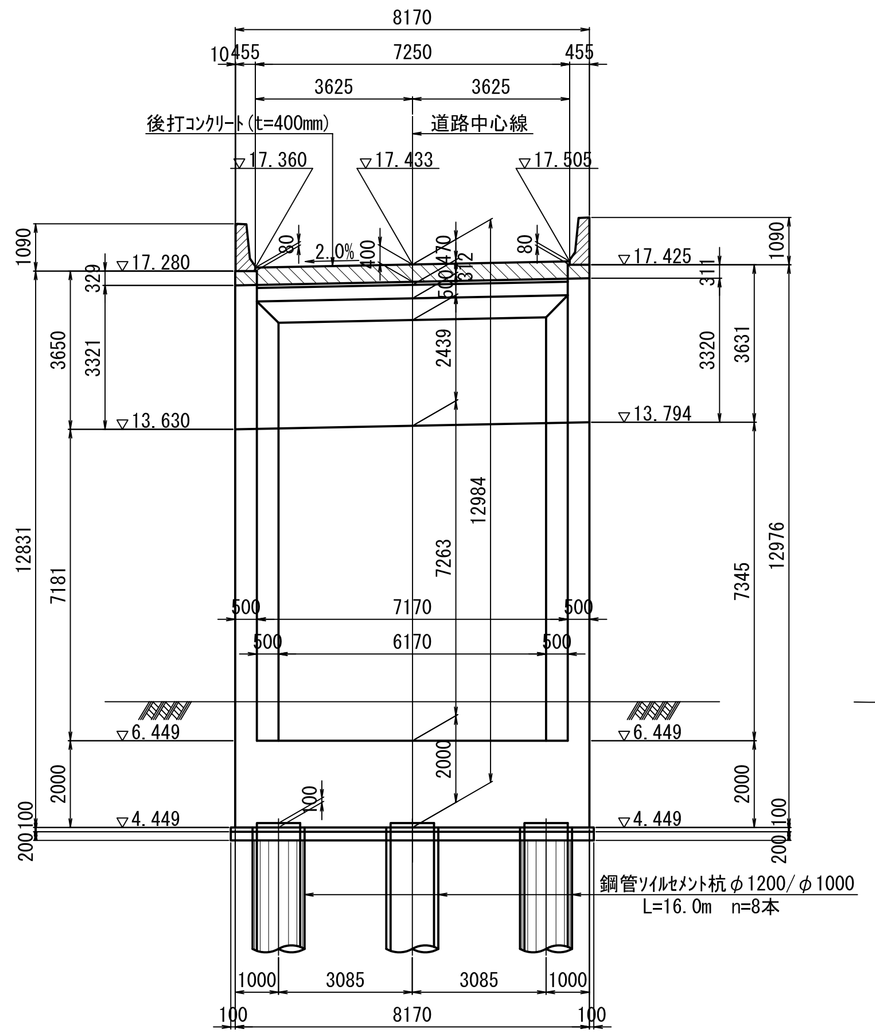
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	A2橋台踏掛版配筋図		
縮尺	図示	位置	NO. ～NO.
設計者		設計年度	
宮城県		図番	成果番号 当該番号

A1橋台構造一般図(その1) S = 1:100

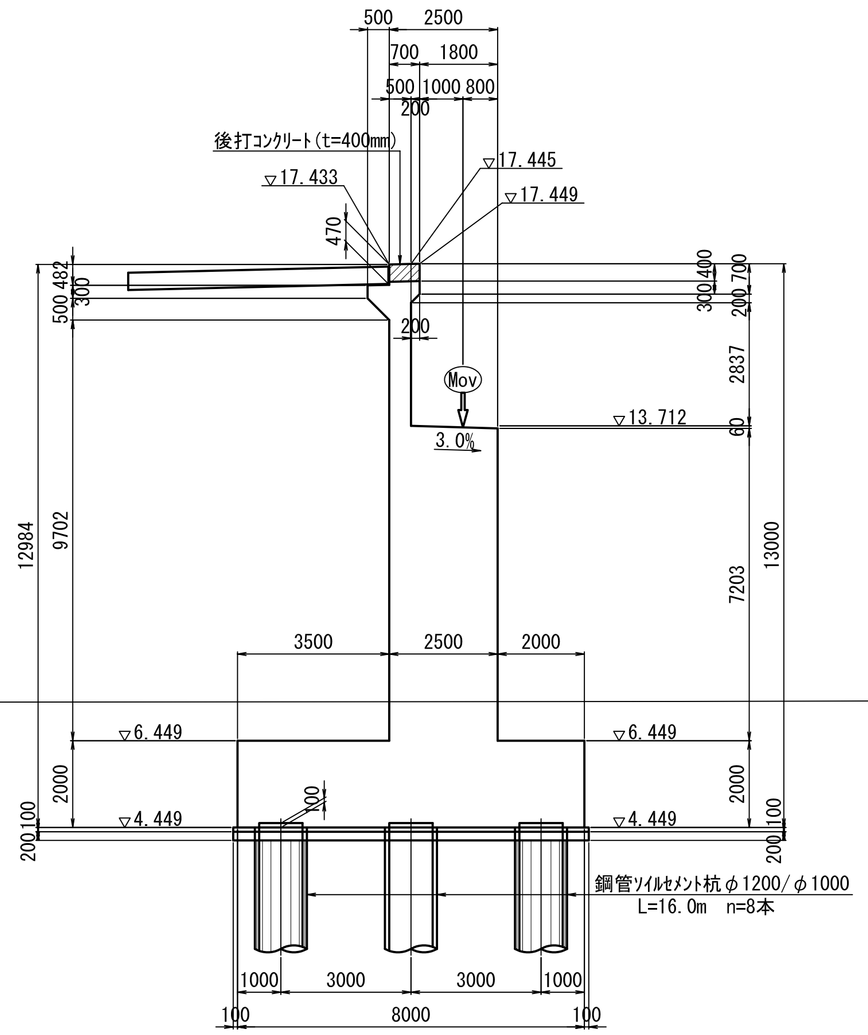
パラペット前面図(1-1)



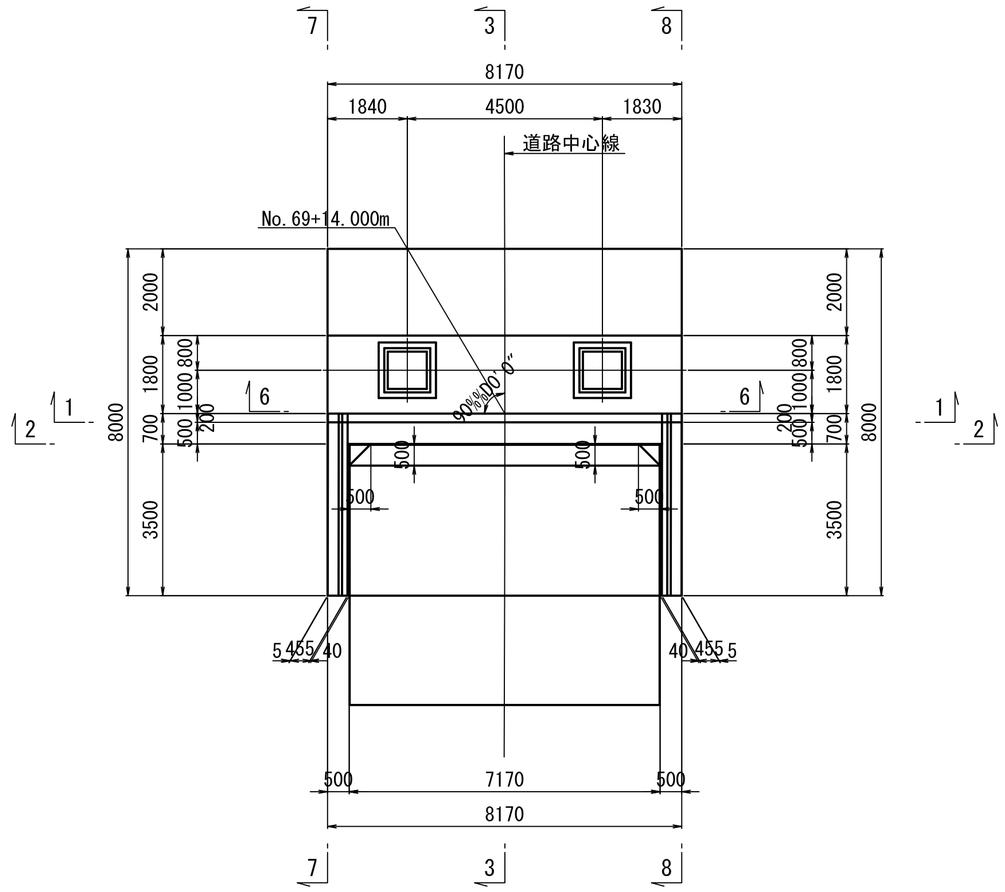
パラペット背面図(2-2)



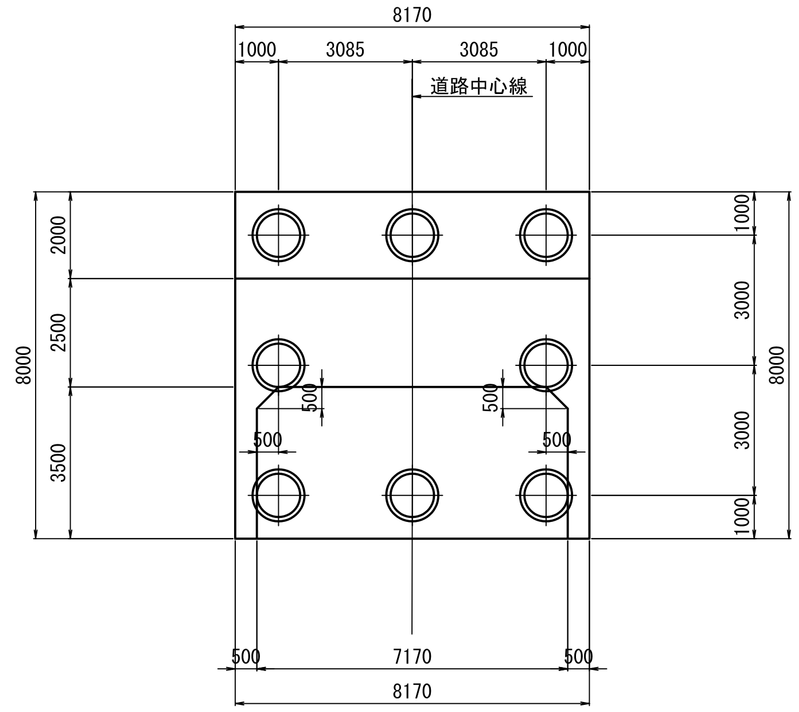
断面図(3-3)



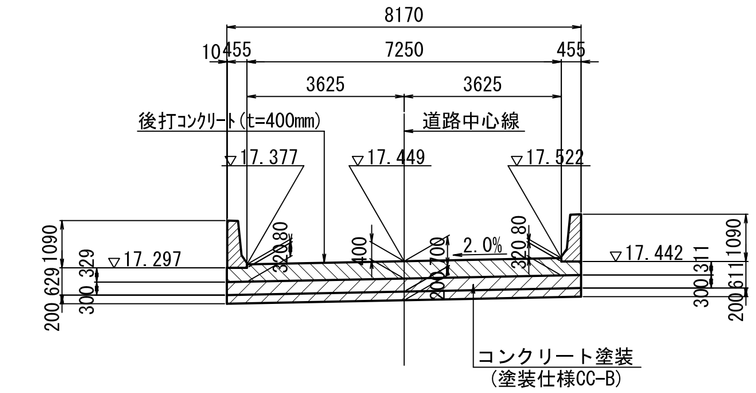
平面図(4-4)



杭配置図(5-5)



端部断面図(6-6)



※ は上部工施工を示す。

※ はコンクリート塗装範囲を示す。

使用材料一覧表

コンクリート	躯　体	σck=24N/mm²
	底　版	σck=30N/mm²
	均　し	σck=18N/mm²
鉄　筋	本　体	SD345
	杭頭鉄筋	SD490
基礎杭	鋼管杭材質	SKK490
基礎砕石		RC-40

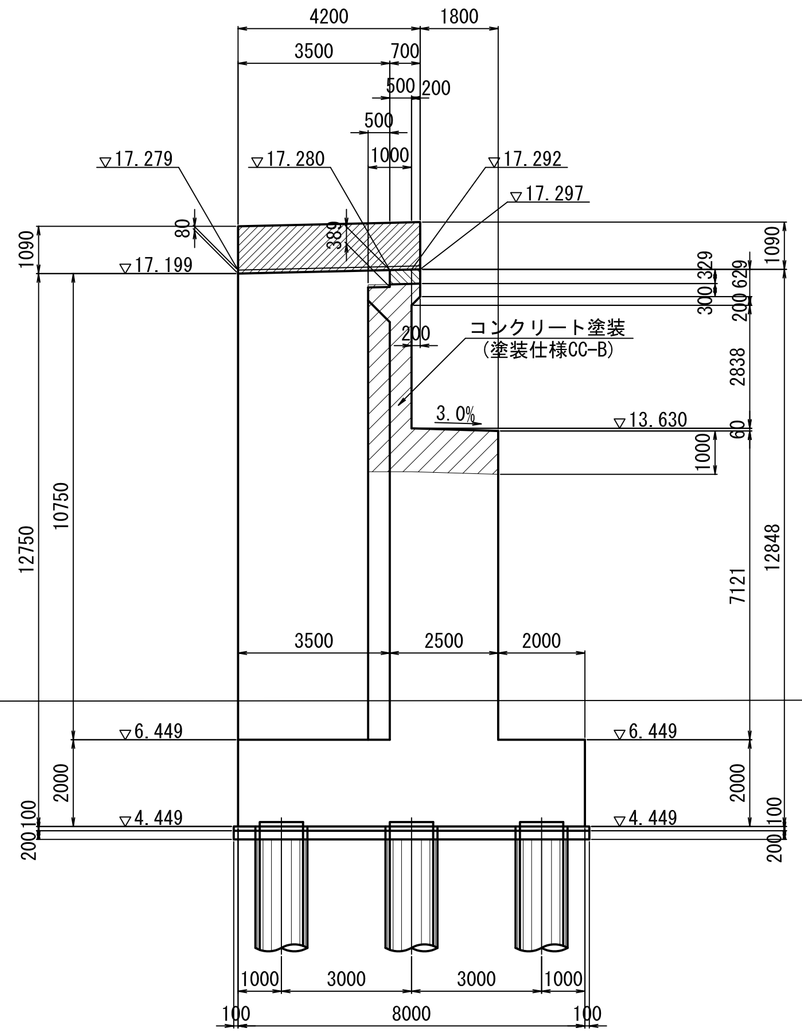
実　施

50/54

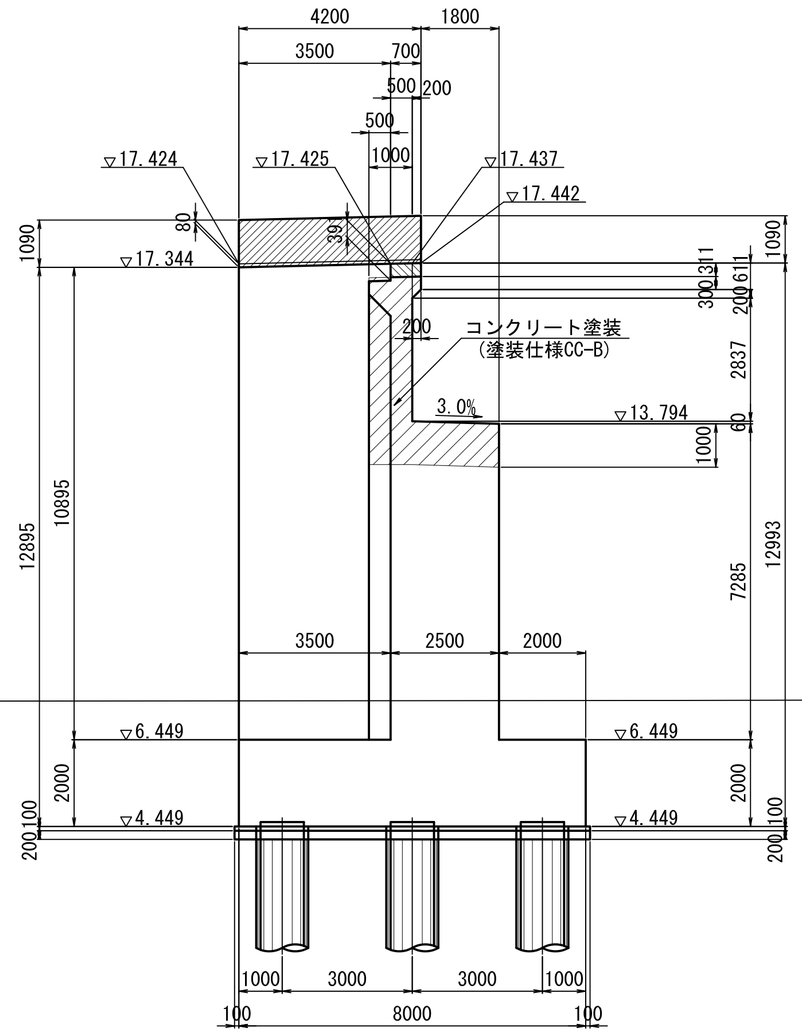
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	A1橋台構造一般図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	平成28年3月
宮城県		図番	

A1橋台構造一般図(その2) S = 1:100

左側面図(7-7)

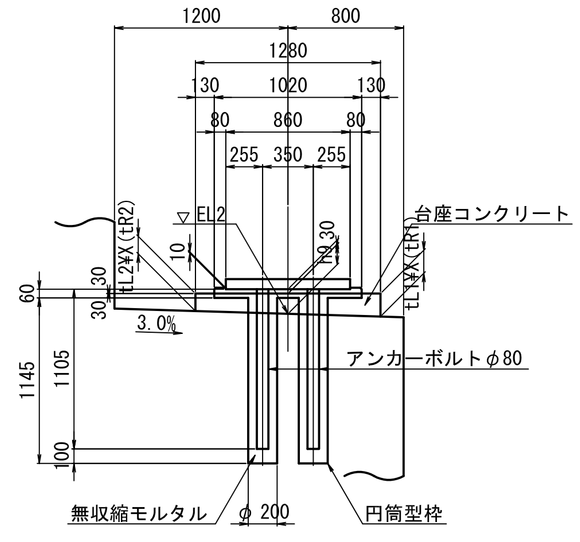


右側面図(8-8)

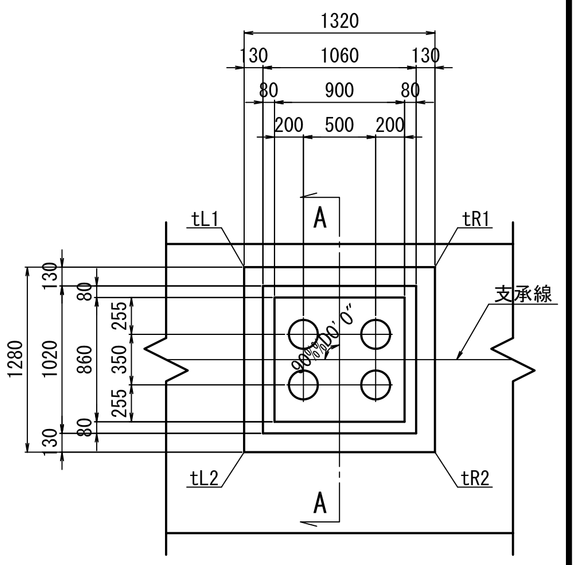


支承箱抜き詳細図 S = 1:30

橋軸方向(A-A)



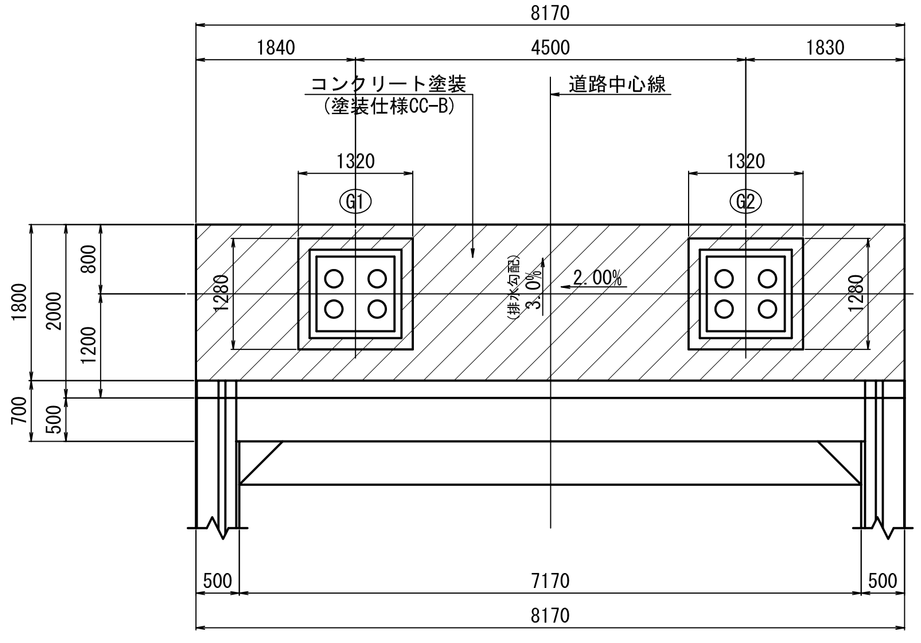
平 面 図



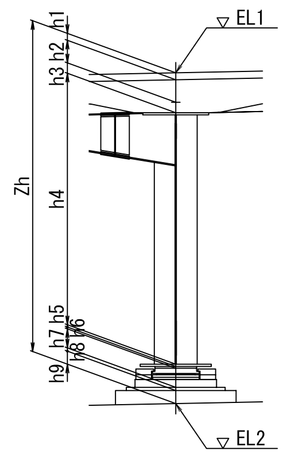
台座寸法表

	G1	G2
台座中心高(h9)	140	140
tL1	172	172
tL2	134	134
tR1	146	146
tR2	108	108

橋 座 平 面 図 S = 1:50



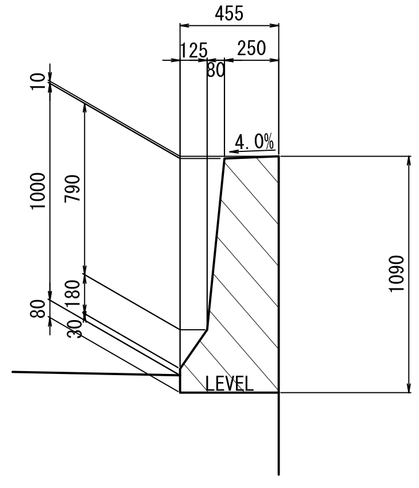
支点上構造高さ



(m)

		G1	G2
道路面高	EL1	17.428	17.518
舗装厚	h1	0.080	0.080
床版厚	h2	0.260	0.260
ハンチ高	h3	0.120	0.120
主桁高	h4	2.900	2.900
下フランジ厚	h5	0.026	0.026
ソールプレート厚	h6	0.042	0.042
支承高	h7	0.199	0.199
モルタル厚	h8	0.030	0.030
台座コンクリート	h9	0.140	0.140
構造高計	Zh	3.797	3.797
下部工橋座高	EL2	13.631	13.721

地覆壁高欄詳細図 S = 1:20



※ は上部工施工を示す。

※ はコンクリート塗装範囲を示す。

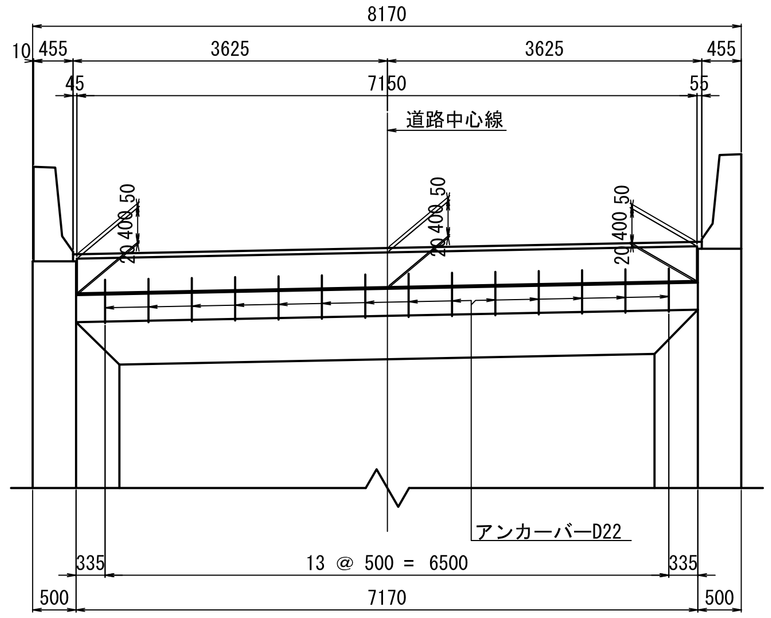
実 施

51/54

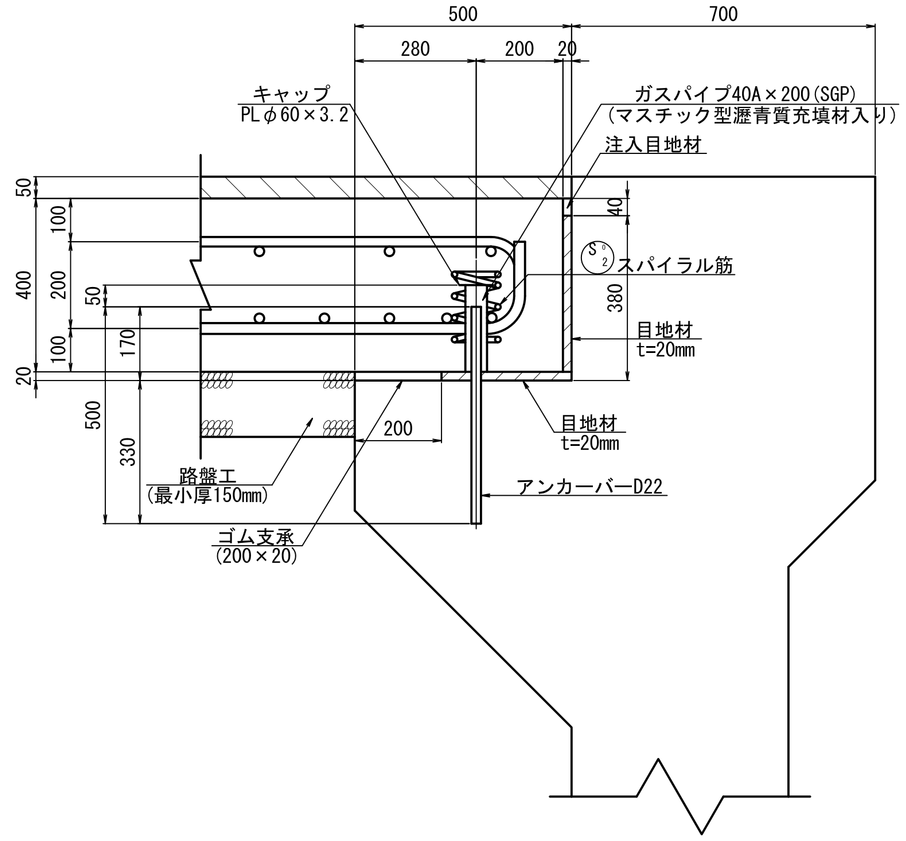
工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	A1橋台構造一般図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	平成28年3月
宮城県		図番	

A1橋台踏掛版配筋図(その1) S = 1:50

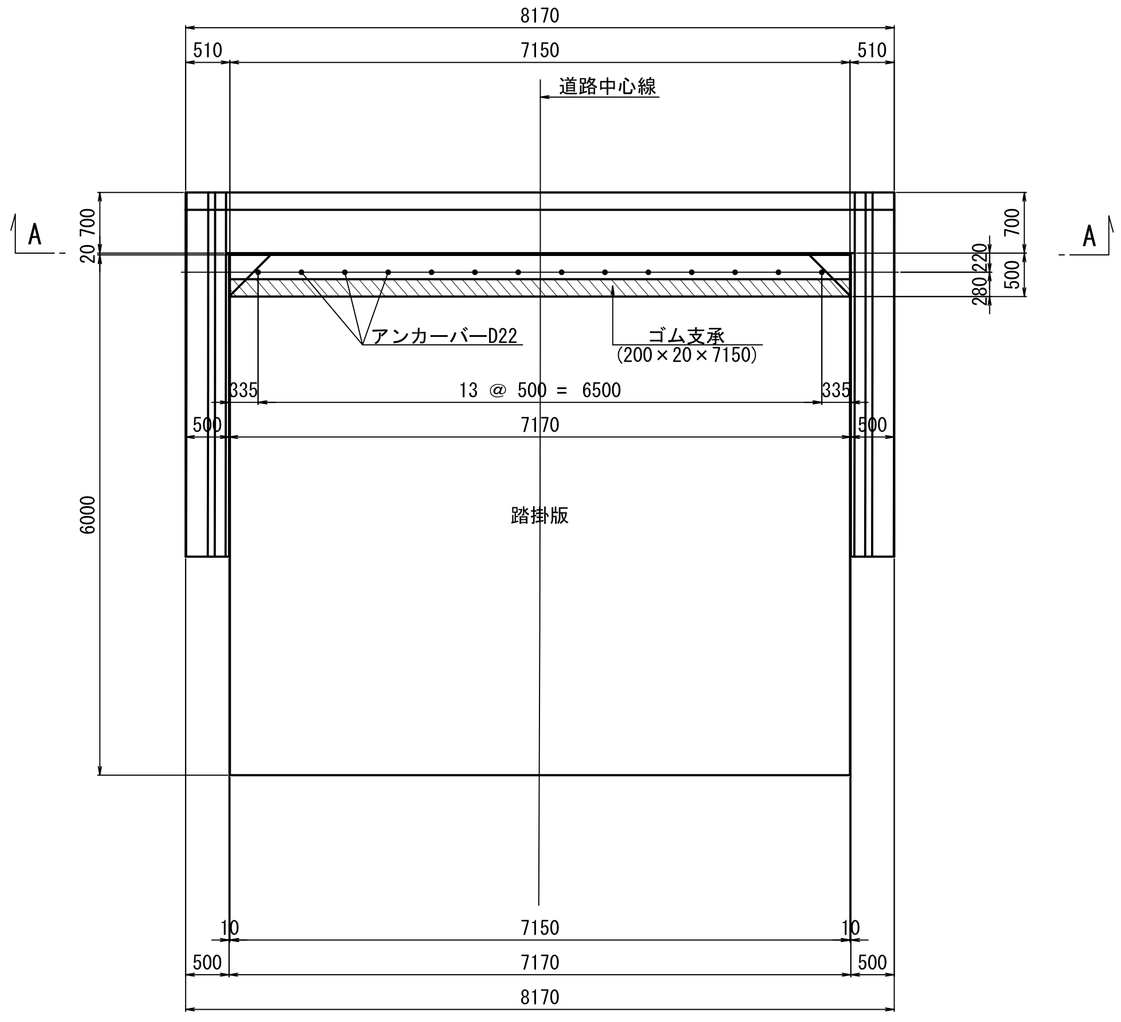
背面図(A-A)



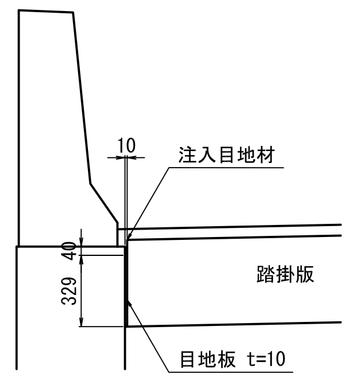
支承部詳細図 S = 1:10



平 面 図



翼壁接続部詳細図

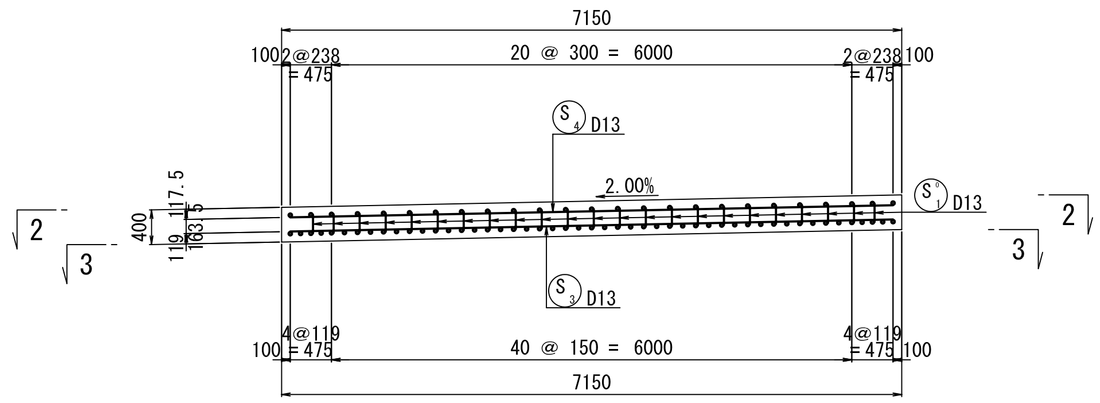


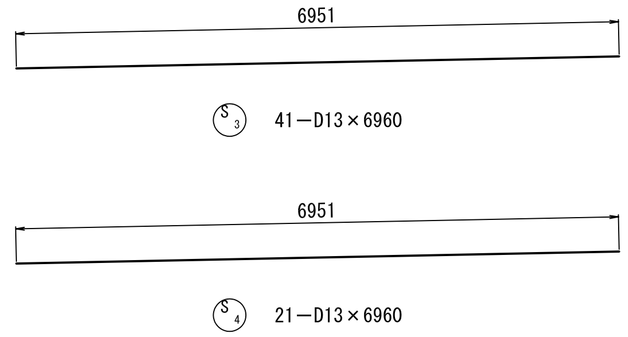
実 施

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	A1橋台踏掛版配筋図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	平成28年3月
宮城県		図番	

A1橋台踏掛版配筋図(その2) S = 1:50

1 － 1

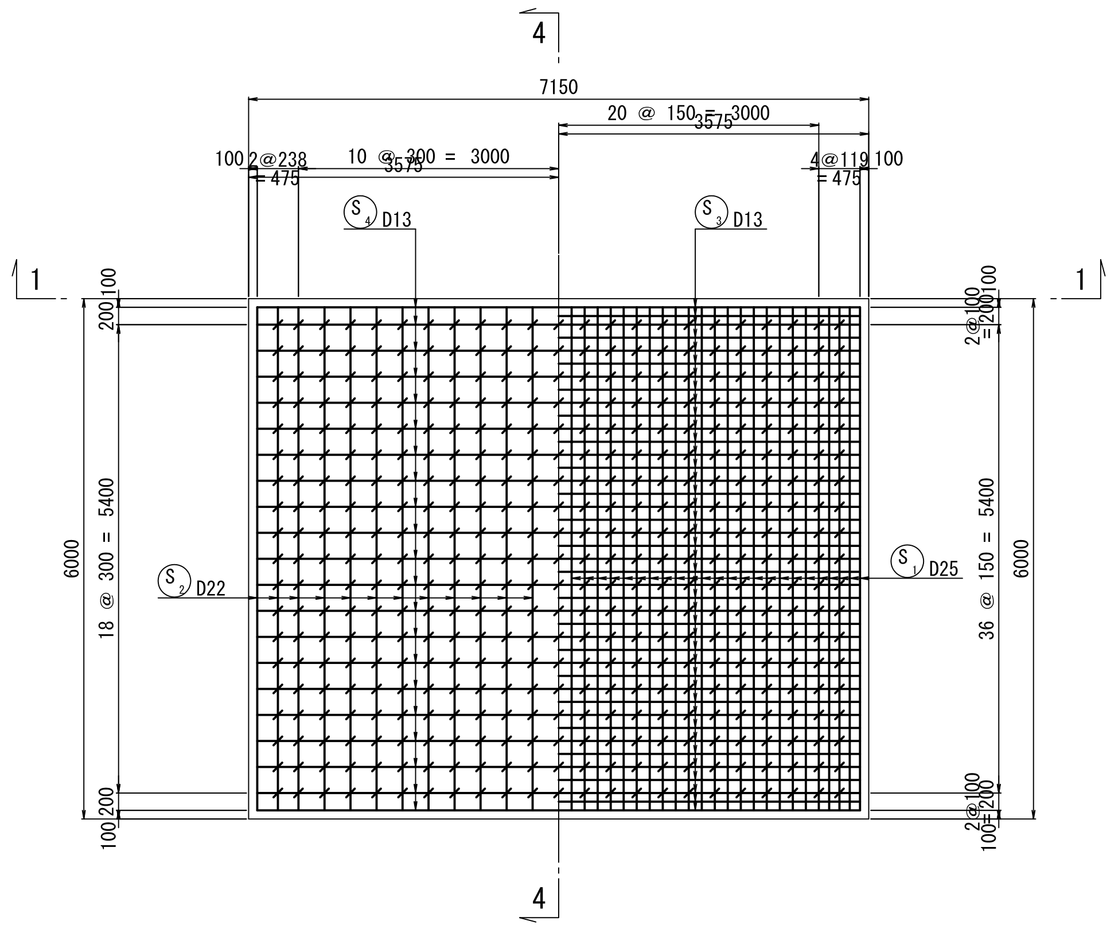




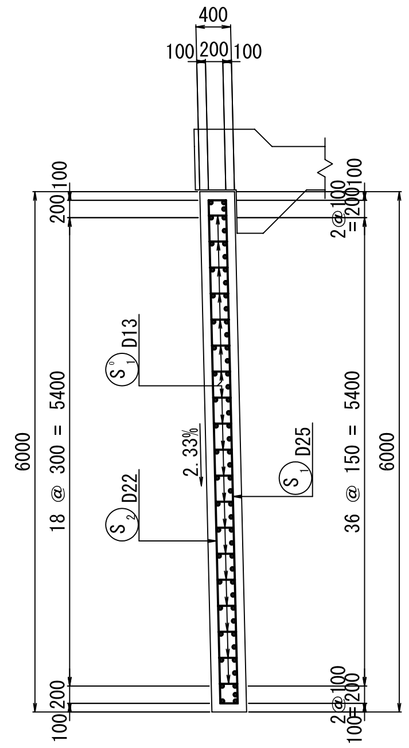
鉄筋集計表

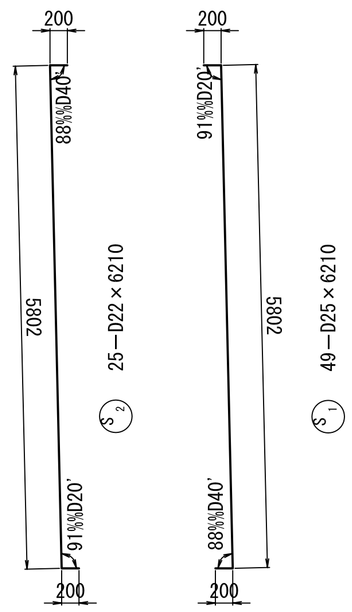
符号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	1本当り質量(kg)	総質量(kg)	摘要
S 1	D25	6 210	49	3.980	24.72	1 211	
S 2	D22	6 210	25	3.040	18.88	472	
S 3	D13	6 960	41	0.995	6.93	284	
S 4	D13	6 960	21	0.995	6.93	146	
S゜1	D13	460	437	0.995	0.46	201	
S゜2	D10	960	14	0.560	0.54	8	
					小計	2 322 kg	
					D25	1 211 kg	
					D22	472 kg	
					D13	631 kg	
					D10	8 kg	
					総合計	2 322 kg	
SGP	40A×200		14	3.890	0.778	11	ガスパイプ
PL	φ60×3.2		14	1.507	0.090	1	キャップ
						12 kg	

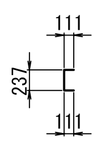
2 － 2　　3 － 3

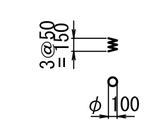


4 － 4









実　施

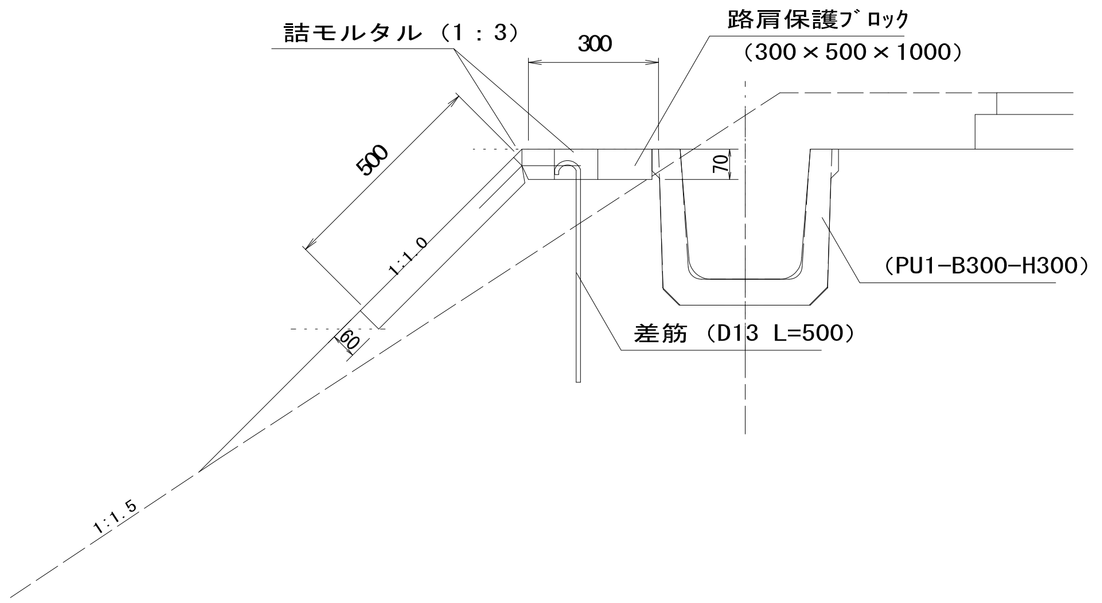
53/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1-1工区)工事		
図面名	A1橋台踏掛版配筋図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	平成28年3月
宮城県		図番	

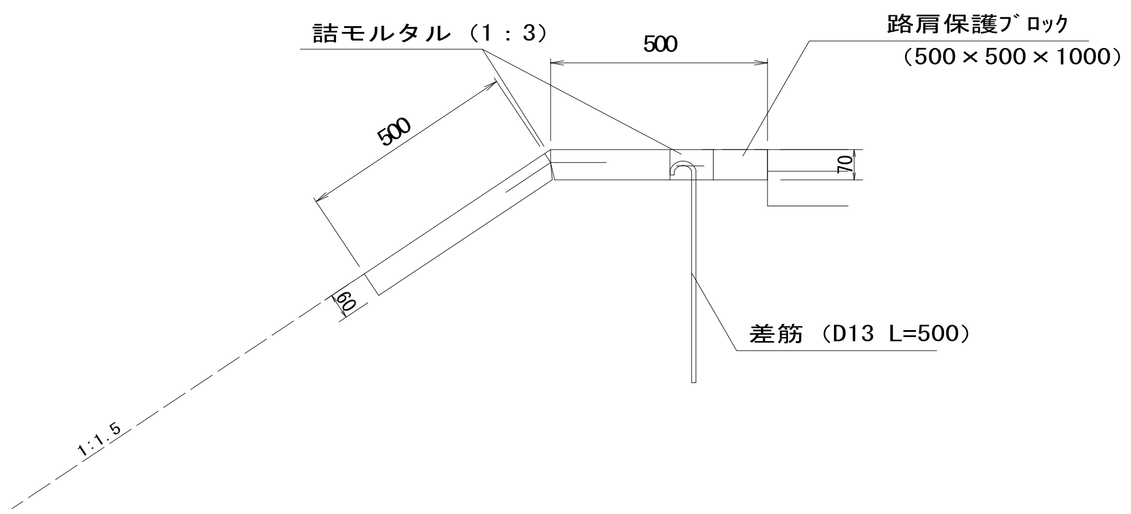
防草工詳細図(参考図)

S=1:10

第１種　防草工



第２種　防草工



実　施

54/54

工事番号	令和2年度 受(Ⅲ)舗第2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 舗装(1−1工区)工事		
図名	防草工詳細図(参考図)		
縮尺	1：10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	成果番号 / 当該番号